

94

286

松岡文太郎
桑原兵次郎筆述

二遍間
豫備
數學受驗本

東京

文想堂發行

帝國新聞

緒言

余ハ明治十九年ヨリ私塾ニ
 官立學校入學受験者ノ爲ニ數
 學豫備講習ヲナセリ然シテ今是
 等受験者ヲシテ速ニ登第立身ノ
 途ヲ計ラシメント欲スル一切ナ
 リ混ニ於テ余ガ屢々實驗ヲ經タ
 ル受験豫備自修ノ法ヲ授ケシニ
 聽ク者大ニ之ヲ便トシ筆記シテ
 以テ同志ニ頒タント乞フ幸ニ學
 友桑原君之ヲ補助セラル依テ之
 ニ應ジテ大要ヲ摘ミ印刷ニ附シ
 タルナリ。

明治三十七年三月

私立數理學館主 松岡文太郎識ス

明治

37 6 9

内交

目次

	頁
受験豫備總論	1
學力養成法	3
時間ノ使用法	3
讀書法	4
問題ヲ解クニ於テノ心得	5
記憶ノ事	7
登場ノ心得	8
受験十二箴	8
受験豫備法	11
算術試験ノ受方	13
受験前ニ少クトモ記憶スヘキ算術問題	15
四則	15
數ノ性質	24
複名數	27
比・比例・或ハ分數	31
比例配分	37
混合法	40
歩合算・利息算	44
開方	48

(二) 目 次

小數點ノ打方	49
計算問題	50
代數試験ノ受方	59
必ズ暗記スベキ乗除法公式	61
代數ノ原則	62
殘餘定理	63
因子分解	66
分 數	70
方程式	73
分數方程式	74
二次方程式ノ公式	77
二次方程式ノ性質	78
無理方程式	82
高次方程式	87
二元一次方程式公式	89
多元一次方程式	90
多元二次方程式	93
方程式應用問題	100
比例・分數定理	107
指數・不盡數	110
等差級數	114
等比級數	116
順 列	120

目 次 (三)

組 合	122
二項法	124
對 數	126
雜例解	130
幾何試験ノ受方	135
幾何學ノ學ビ方	137
幾何題解ヲ記憶スル最良法	137
幾何問題ヲ解ク一般ノ注意	139
三角形ノ恒等ナル場合	140
邊ト角トノ關係	140
三角形ノ重要ナル性質	141
角ノ基本定理	146
平行線, 平行四邊形	152
圓ノ性質	155
面積ノ基本定理	158
軌 跡	169
作 圖	174
比 例	184
立体幾何試験ノ受方	189
必ズ記憶スベキ立体幾何定理	189
三角法試験ノ受方	199
平生ノ研究法	200
受験ノ豫備	200

(四) 目 次

三角函數定義.....	203
單角ノ公式.....	204
複角ノ公式.....	206
各象限ニ於ケル函數ノ正負號.....	208
特別角ノ三角函數值.....	209
$n \cdot \frac{\pi}{2} \pm 0$ 弧度ノ函數表.....	212
三角方程式公式.....	214
反函數.....	217
三角形ノ邊ト角.....	218
熟讀シ置クベキ三角法問題解.....	220

以 上

二週間豫備
數學受験法

受験豫備總論

1. 試験トハ抑モ如何ナル事實ノ遂行ナルカ; 場所ハ指定セラレテ入りニ出入ヲ許サレズ、時間ハ制限セラレテ些ノ猶豫ナシ、嚴肅ナル監督ノ下ニ立チ、劇烈ナル競争ノ間ニ夾マレ、質問ハ一切差止メラレ、参考書ハ悉ク取り上げラル、此制限中ニ在リテ與ヘラレタル問題ノ答案ヲ作成スル之ヲ試験ヲ受クルト云ヒ; 而テ試験官ガ一人ノ答案ニ付平均三分時ヲ越ユルヲナキ短時間ニ於テ通覽審判シタルモノ表ハレテ評點トナル、之ヲ試験成績ト云ヒ; 此全部ヲ名ケテ之ヲ試験ト云フ、

試験ハ上述ノ如ク受験者ニ種々ノ制限ヲ加ヘ参考書ヲ奪フテ記憶ニノミ依ラシメ、時限ヲ設ケテ推考ノ違ナカラシムルヲ以テ、假ニ若シ試験官ヲシテ急ニ其位置ヲ換ヘテ受験者ヲラシメバ、果シテ及第點ヲ得ベキヤ否トヲ保シ難キコト之レアリ、夫レ試験ノ成績ノ學力ノ

(2) 試験ノ受方

多少ニ基クテハ論ヲ竣タズト雖モ、平生ニ於テ相當ノ學力アリナガラ、試験ニ掛リテ其成績ノ思ハシカラズ人少ナカラズ、是レ平生ト試験トハ同シカラザル事實アルガ爲メナリ。故ニ試験ヲ受クルニハ多少ノ豫備ヲナサルベカラズ、之ヲ怠ルハ甚タ不覺ノコナリトス。

サテ其受験ノ豫備ハ云フ迄モナク試験期ニ近キタル或週間ニ行フハ普通ニシテ、且ツ最も効アルコトナシ；依テ茲ニハ

受験前二三週ニ於ケル豫備ノ方法

ヲ與ヘテ、試験ナルモノノ性質事實ニ副フべき復習ノ仕方ヲ知ラシメ、之ニ附隨シテ

登場ノ心得

ヲモ與ヘテ、其當日ノ出來不出来ヲカラシメ、以テ其學力ノ有ラン限リヲ發展セシメントスルニ在リ。

(3)

學力養成法

2 學力ヲ平素ニ養成スルコトハ本書ノ大目的ニアラザレド、素養ノ有無ハ試験ニ大關係アルヲ以テ、少シク茲ニ記述スベシ、

數學ニ於ケル學力ノ養成法ハ唯一言ニテ盡ク、曰ク

問題ヲ解ケ

然レド此語ノ妙意ヲ解セザル人モアルベケレバ、次ニ之ヲ分解シテ示サン。

時間ノ使用法

思想ハ連續セザルベカラズ、故ニ隔日ニ二時、日ノ學アヨリハ毎日一時間ノ學ヲ優レリトス；一週ニ二回ヨリ少キ練習ハ殆ンド効ヲナサズルガ如シ；又數學ハ語記四分ニシテ悟道六分ノモノナレバ、他ヨリ習フソミニテハ、決シテ熟達スベキモノニアラズ；故ニ心靜ニ思ヲ凝ラスノ時ナクンバ、之ヲ學ブトハ言ヒ難シ、彼ノ物ヲ考フルハ枕上馬上園上ヲ宜シトスト古哲ノ言ヒシハ實驗說ニテ、之ハ單ニ零碎ノ光陰ヲ使用セヨト云フ如クニ思ハルレド、其義ノミニアラズ、試ミニ園上ニテ事理ヲ考察セヨ、所謂ル六根清淨ニシテ何等ノ邪念ナク、理想高尚ニ最も善ク悟道ヲ啓クニ適スルヲ知ラン；之ニ依テ時ヲ數學ノ練習ニ用フル此園上ニ學ル時ノ如クナルヲ要ス；初學者ガ數學ノ受業中ニ英語ノ下讀ミヲ入ガ如キハ時ノ使用ハ課ルモノナリ。

(4) 學力養成法

ムベシ。又教師ヨリ受ケタル日課ハ必ズ復習スベク、其復習ハ必ズ其日ノ内ニナスベシ、是レ復習ノ秘訣ナリ何トナレバ其日ノ内ナレバ強テ書ヲ開カズトモ、ソレコソ道ヲ歩キナガラ考ヘ直ホシテモ、亦枕ニ就キ眼ヲ閉ガテ其事ヲ考ヘ直ホシテモ容易ニ追想シ得ルノ便アレシ、翌日ニナレバトテモ本ナシテハ其想像繰り返ラズ、且ツ甚ダ其復習ノ勞ヲ感ズ、此事日ヲ歷ルニ從テ益ス多大ナリ、故ニ遂ニ自棄スルニ至ル、依テ其日ノ復習ハ時間ノ經濟ト學力ノ進歩トヲ兼ヌル學問上ノ秘事ナリト知ルベシ。

讀書法。二書三書ヲ讀マンヨリハ一書ヲ再讀三讀スルノ優レルニ若カズ、同書ヲ二度讀ムホドイヤナ氣ガスルコトハナク、之レホド學力ノ進ムコトハナシ、然ルニ誰レシモ一度學ビ終リタル所ハ復讀スルコトヲ厭フハ是レ數學ヲ學ブノ法ヲ知ラザルモノナリ、算術ヲ學ビタリトテ已ニ習ヒ得タル其問題ヲ忘レテ其レ以上ヲ考ノ浮ブ道理ナク、代數トテ公式及ビ其應用ヲ覺ホエス、幾何トテ定義及ビ定理ヲ暗記セズシテ推シ進マントスルハ、定石ヲ心得ズシテ狼リニ争フざる碁ノ如シ何ノ進歩ヲ得ンヤ。若シ一書ニ精通スレバ次ニ同種ノ他書ヲ讀ムコトハ新聞雜誌ヲ讀ムガ如ク、讀ムニ從テ其意ヲ得、一ツノ進歩ナク不可解ナシ、之ヲ受験ノ側ヨリ觀ルモ一書ニ精通スレバ決シテ落第ノ恐レナク、却テ好成绩ヲ得ルノ例多

學力養成法 (5)

シ、故ニ一書ノ精讀ハ斯道ニ入ルノ大法ナリト知ルベシ、倍又一書ヲ精讀スルトハ本文ヲノミ精讀スルノ義ニアラズ、其書ノ問題ヲ一ツ殘ラズ解クコトナリ、總テ畫冊ニハ夫々著者ノ苦心アリテ本文ニ言ヒ盡サザル微妙ノ意義ハ問題ニ依テ自然ニ理解セシムル爲メ種々ノ方法ニテ之ヲ暗示セルガ故ニ初學者ノ考ヘ及ブ所ニアラズ、然ルニ是レハ無用ナリトテ自ラ取捨スルガ如キハ何等ノ無法ノヤ、是レ斯道ニ入ルノ順序ヲ知ラザルモノナリ。

又算術ニモ普通ト高等トアリ、代數ニモ大ト小トアリ、然ルニ大ハ小ヲ兼ヌトノ格言ヲ誤用シテ普通算術ヨリ入ラズシテ高等算術ヲ讀ミ、小代數ヲ見ズシテ大代數ヲ讀ムガ如キハ益ナキノミナラズ、甚ダ有害ノコトナリ、斷シテ此類ノ無稽ノコトヲナス勿レ。

問題ヲ解クニ就テノ心得。問題ヲ解クニ當テ其終決ヲ得ヌトテ落膽シ或ハ不快ニ感ズルガ初學者ノ常ナレシ、是レ甚ダ心得違フコトナリ、其解キ試ムル内ニハ終決ヲ得ルコトモアルベク、又得ザルコトモアルベシ、其結果ヲ得ヌトテ其思考ガ無用ニ歸シタリ、其時間ガ無駄ニ費テタリトナスハ數ヲ學ブノ法ヲ知ラザルモノナリ、問題ガ十ガ十マテ解キ得ルコトハ一般ニ不可能ノコトナリ、然ルニ下手ナ人モ其解ヲ急キ少シノ時間ニテモ考ヘテ答ムハ、下手ナシテ益ス下手ヲラシムルモノナリ、愚智ト下愚トハ暫ク措キテ中等以上ノ教育ヲ受ケタル人

(6) 學力養成法

テ見ルニ上手ト云フモ下手ト云フモ其差ハ甚々些細ノモノニテ、其上手ト下手トノ程度ヲ次ノ算術問題ニテ示シ聊カ諸子ノ參考トセン。

問題 一本ニ付一錢五厘ニテ鉛筆若干本ヲ買ヒ入レ之ヲ一本ニ付一錢八厘ニテ賣リ已ニ橘原價ト外ニ六十錢ヲ得タル後、尙ホ五十本ノ賣レ残リアリ、其買入レシ鉛筆數如何

此問題ハ格別ニ六ヶ數トモ見ハス、例ハ、上手ト云フモノナルガ、實際之ヲ教場ニテ數十回課シ試シ、中學卒業以上ノ學力ヲ有スル生徒ニテ正解答ヲ得タル者、五十人中四五人ニ過ギズ、今此正解答ヲ得タル者、上手トシ其他ヲ下手トセン、諸諸君ハ此問題ヲ讀ミ見ラレヨ、若シ其答が二百五十本トカ又、四百五十本トカ出タラバ下手ノ仲間ニテ、若シ正シキ答五百本ヲ得タラバ上手ノ仲間ナリ、若シ其誤答ヲ得タル者、更ニ又正答ヲ得ル迄ニ何程ノ思考力ト何程ノ時間トヲ費スルカヲ見バ是レ上手ト下手トノ差ニシテ其差動ニ隔リホキヲ知ラン。

問題ヲ解クニモ本ヲ讀ムニモ袖手ハ禁制ナリ、手ヲ下ダシテ運算シ見レバ直ニ解ルトモ、算スレバ非常ニ困難ヲ感ズルコトナリ、從テ讀ムニテモ幾度讀ミ直ホシテモ遂ニ理解シ得ザルモノアリ、若シ理解ニ難ムコトアラバ其時運算ヲ試ムベシ、

學力養成法 (7)

意義貫通スベシ、若シ斯クシテモ尙ホ通セザレバ翌日更ニ又試ムベシ、尙ホ出來ザレバ二三日ヲ隔テ、考フベシ、一氣ニ事ヲ成シ遂ゲントスルハ不可ナリ、總テ學術技藝何事ニテモ幼小ノ時ニ學ビ初ムルヲ手ほどきト云ヒ、其手ほどきノアル人ハ自然ニ其學ビ工合ヲ知ルガ故ニ一氣ニあせらザレバ、齡三十近クナリタル人が初メテ數學ニ志ストモ問題ハロクニ解カズ理屈ニノミ氣ヲあせるガ故ニ二三月ニテ自失スルヲ常トス、之ヲ觀テモ學問ハあせりテあせらぬガヨキナリ、殊ニ數學ヲ然リトス。

記憶 何人が言ヒ慣ラハセシカ數學ヲ記憶ノ學問ナラズト云フ、詳ハ固ヨリ新學ノ根本ナレバ其關係ヲ記憶スルノ度ニ依テ應用ニ敏活ナル度ヲ異ニス、故ニ平生ニ於テハ或程度以上ノ之ヲ補フニ本或ハ手控ヲ以テスルニ試験ニ於テハ悉ク記憶ニ依ラザルベカラズ、記憶ノ解答ヲ敏活ナラシムルハ言フニ及バズ、其定理、定則、公式、類題解等ヲ暗記セズシテ何ニ依テ數ヲ論ズルコトヲ得ン、問題ヲ解析シテ之ヲ綜合スルハ研究トシテ固ヨリ可ナリ、然レバ或定理關係ヲ知り居テ直ニ之ヲ應用スルノ敏捷ナルニハ若カザルナリ、解析ハ研究ノ素ナリ記憶ハ應用ノ素ナリ、重要ナル事項ヲ記憶セズシテ理否ノ即決ハ望ミ難シ、故ニ

平生ニ於テハ解析綜合ヲテ事理ノ遺蹟ヲ遺シ、解ニ當リテハ記憶ノ内ヨリ誘導シテ直ニ

登場ノ心得

3. 試験ハ定時間ニ於テ執行スルモノナルガ故ニ、場ニ登リテ技能ヲ顯ハサントスルニハ、最も心神ノ明快ヲ要ス、此時ニ當リ若シ身体ノ調和ヲ失セシカ正ニ學力ノ半ヲモ損スベシ、故ニ先ヅ健康ヲ有ツコトニ注意スベシ、殊ニ試験前ニ於ケル過度ノ勉學ハ害アツテ益ナキコトナリ；何トナレバ數學ガ二日ヤ三日テ其學力ハ急進スルモノニアラザレバ徒ニ身体ヲ疲勞セシムルノミニテ其効ナキコト明カナレバナリ、去レバ受験前夜ノ知キハ安眠シテ精神ヲ休養スルヲ要ス；サテ又其翌日登場ノ時ハ、次ノ十二箴ヲ服膺スベシ。

受験十二箴

I. 筆跡拙ナケレバ成績拙シ。

答案ハ自身ノ心算ニ記スモノニアラス、長上ニ聞ク之ハシガ爲メノ目的ナレバ必ず丁寧ニ分リ易ク書クベシ、自身ニ見テサヘ讀ミ難キ答解ヲ試験官トテ仔細ニ見ル理屈ナキハ明カナリ；加之ノミナラズ第一頁ニ記シタル如クシテ採點ハ行ハルレバナリ。

II. 數字ヲ讀ミ違ヘヌ様ニセヨ。

問題ノ文意ヲ讀ミ違ヘル類ハ談ニナラズ、意ハ正ニ數字ヲ見違ヘ又ハ見殘シ之ガ爲メニ運算其他ノ關係ニ

非常ナル困難ヲ來シ、時間ヲ空費シテ失敗ヲ招クノ例少ナカラズ、深ク注意スベシ。

III. 問ヲ悟ラザル答ハ答ニアラス。

此式ヲ省略法ニテ計算セヨト命セラレハ、省略スルヨリモ普通ニ計算シタル方更ニ完全ナレバトテ、之ニ普通法ヲ適用シタトテ其答ト云フモノニアラス、況ンヤ算術問題ヲ代數ニテ解シ、幾何問題ヲ三角法ニテ答ヘタリトテ之ヲ其答トハ見做シ難シ。

IV. 易題ヲ先ニシ難題ヲ後ニセヨ。

少シニテモ手掛リノアル問題ヨリ取り掛レ。

V. 五問ニ對シテナランヨリハ四問ニ密ナレ。

問題ヲ殘ラズ解答センコトハ誰シモ望ム所ナレド、若シ能ハズンバー間ヲ減ラシテ殘ル問題ニ完全ノ解答ヲ附セヨ、五問ノ内三問出來ルモ尙ホ及第點ハ取レルニアラス。

VI. 質問ハ不能ヲ証明ス。

試験場ニテハ何事モ無言ヲ尊ブ、質問シタトテ答ヘヌガ慣ヒナレバ必ず言句ヲ駁スルコト勿レ。

VII. 答ハ繁ニ失センヨリ寧ロ簡ニ失セヨ。

答ハ要領ヲ得ルニアリ、試験官ニ向テ講義ヲナスモノニアラス、幾何問題ヲ解クニ本解ノ外ニ補題解ヲ附記スルノ類ハ其繁ニ堪ヘズ、簡單明亮ヲ務ムベシ。

VIII. 答案ニ樂書ヲ爲ス勿レ。

答案ニ本題ハ間違ナリ、或ハ時間來レリ嘘、或ハ不勉強
ヲ悔ユノ類ヲ紙端ニ記スハ非禮ナリ；何レニシテも満
足ナル答案トハ成ラズ、單ニ其輕跳ヲ示スニ止マル。

IX. 一番ニ答ヲ出スモノハ一番ノ成績ナシ
眞先ニ答案ヲ出スモノハ白紙カ、否ラザルモ亦シテ優
等者ニアラザルナリ、最優等ノ答案ハ統計ニヨルニ大
約定時間ノ三分ノ二以上ニ成ルモノナリ、急クナカレ、

X. 恐ル、勿レ侮ル勿レ。

受験場ヲ見渡セバ一騎當千ヲシキ俊雄星ノ如ク、此内
ヨリ幾人カ及第スルカト思ヘバ物スゴクモ亦ホソ
シ、然レモ是等ノ多ハ似非俊雄ニテ存外出来ノ器ルキ
モノナリ、問題ガ六ヶ敷トテ恐ルニ足ラズ、然レモ
却テ恐ルベキハ問題ガ平易ナル時ナリ、此時ハ一層ノ
精力ヲ注ガザレバ衆ニ秀テ難シ必ス備ルテ勿レ。

XI. 出来テモ出来ナクトモ出ルナ。

答案ガ出来上レバ兎角ニ氣ガ落ち附カズ、大手ヲ振ッ
テ之レ見ヨカシニ試験場ヨリ出タクナルガ儀ナリ、出
ヅルハ容易ナリ、落附テ答案ヲ再考セヨ。

XII. 及落ラ心ニ掛クル勿レ。

已ニ登場シタル以上ハ出来ル丈ケシカ出来ス、心配シ
タリトテ何ノ甲斐アラシ、寧モ日常自修室ニアルカ如
クナルベシ、及落ノ念ヲ斷シテ正ニ是レ大安心。

受験豫備法

4. 數學ノ問題ヲ解キ實力ヲ精練スルハ平生ノ事ニシ
テ、已ニ受験前二三週ニ迫マリテ困難ナル問題ヲ解キ覺
エントスルハ得策ニハアラザルナリ、之迄ニ習ヒ得タル
所ヲ反覆復習シテ全般ノ記憶ヲ回復確實ニスベシ。

夫レ試験ハ普通ニ知ルべき所ヲ知ルヤ否ヤノ試験ニ
シテ新理新問題ニ答ヘ得ルヤ否ヤノ試験ニアラズ、之ニ
由テ試験ハ

一部ニ精通センヨリハ、全部ノ大要ヲ
得ルニシカズ、

試ニ見ヨ世ニ達人ト稱シ實際ニ於テモ達人ト認ムベキモ
ノガ或ハ試験ニ不結果ヲ得ルコアリ、其故如何トナレバ
平生ニ達人ト稱スルモノハ腦力ニモ富ミ諸種ノ問題ヲ解
スル働キモ充分ニアルベカ、又或部分ニハ非常ニ精通シ
タル所モアルベシ、去レド達人トテ習ヒ得タル所ハ何レ
モ其研究當時ノ如ク恒ニ同一ノ力ヲ保ツコハ六ヶ敷、其
働ケナル所モ忘レタル所モアルベシ、然シテ試験ハ時間
ニ制限アルヲ以テ其打捨テ置キタル所ニ出會ヘバ其働キ
ナル若クハ忘レタル記憶ヲ回復スルニ時間ヲ要スベシ、
試験ハ此記憶回復ノ時間ヲ許スベシ否ヤ、是レ達人ト稱ス
尙ホ失敗ヲ招ク所以ナリ、況ンヤ常人ナリ。

受験ニ處スルノ法如何、試験ハ時間ニ制限アリ、

其時間内ニ於テ解答ヲ完全スルニハ敏捷ナル働キヲ要スルヲ明ニシテ、此敏捷ナル働キヲナスニハ平生ノ如ク各題ヲ夫々解析綜合スルノ速ヲ許サズ、隨テ或定理、或定則、或公式、或類題等ヲ記憶シ置キ、機ニ應ツテ其所設ノ問題ヲ已ニ知レル部分ニ誘フテ之ヲ解スルコトヲ務メザルベカラズ、此敏捷ノ働キヲナス豫備、即チ受験ノ豫備ハ、算術代數幾何三角法夫々多少ノ法ヲ異ニスト雖モ、要スルニ

受験二三週間前ヨリ定理公式類題解等ヲ平生ヨリ多ク暗記スルコトニ務ムベシ。

尤モ之ヲ細別スレバ、其暗記スル事項ニモ、

第一 受験前ニ暗記シ置カベキ事項、

第二 受験當日丈ケ暗記スベキ事項、

トアリ。之レヨリ各科ニ就テ詳説セシ、就テ見ルベシ。

算術試験ノ受方

5. 學問ニモ流行アリ；算術難問時代、理論時代ヲ經テ今ハ計算及ビ實地眞似事時代トナレリ；何方ノ入校試験問題ヲ見テモ、小數點以下幾位マテ計算セヨト出テ居ラヌ試験紙ハ唯ノ一枚モナイ、ソレニ又幾メートルナ尺寸ニ直ホセ、又何年ニ閏ガアルカ、又一覽拂トカ利落公債トカ云フ様ナル度量衡法ヤラ曆法ヤラ、商業上ノ術語ヤラナ態々入レテ普通識ノ有無トカ何トカヲ試験スルヲ流行ル；其等ノ流行ノ善キカ惡キカハ今論ズルニ及パス、兎モ角モ試験ヲ受ケル人ハ此流行ヲ心得テ置カネバナラヌ。此流行ノ強テ非難スベキニアラズト雖モ、或人ハ之ヲ極端ニ考ヘテ一哩ノ長サ又ハ一圓金貨ノ目方等ヲ普通識ノ中ニ加ヘテ問題ヲ與フルニ至レリ。之ニ依テ

メートル法、曆法、經度ト時トノ關係、寒暖計、ヨリ哩、海里ノ長サ、貨幣制度ノ一部；等ハテ

受験日丈ケニテモ暗記セザルベカラザルトナレリ；而シテ是等ノ必要ナル事項ハ下文ノ問題解答ノ間ニ處々ニ分チ記セリ、就テ見ルベシ。

6. 然リト雖モ其言葉其實事ヲ如何ニ新シクシタリトテ、算術ハ四則、數性及ビ開方ノ應用ニ過キタルヲ以テ其解法ハ永却異ナル所ナシ。依テ次ニ算術ノ應用

(14) 算術試験ノ受方

中必要ナル問題ノミヲ擇ミ一々之ニ詳解ヲ附シ置キメ
バ受験前二三週間前ヨリ熟讀シテ少クモ下ニ記シタル題
解ヲ暗記セラルベシ、是レ受験ニ要スル知識ノ最下程度
ヲ示シタルモノナレバ此以上ニ好キ問題ヲ擇シテ暗記セ
ラルトナラナクテ可シ。

6. 前ニモ述ベタル如ク類題解ヲ記憶シ置クコトハ、應
用ヲ敏捷ニスルノ最要手段ナレバ此書ヲ讀ミテ其儘ニ
テ其儘ニ願ミザレバ其効薄シ、一回通覽シタル後ハ毎
日必ズ一度ハ此書ヲつらつらト見渡スルコトヲ、然ル
ノ書キ方モ自然ニ覺エラルベシ。

元來算術ハ解ノ書キ方ニテ試験時ニ其ノ最良ノ解
ヲ生ズルモノナレバ、可成ハ解ヲ書キ方モ同時ニ記憶
ラルベシ。

7. 運算ノ達者ニナラント思ハクハ算術ノ基礎ヲ固
シ、又開平及ビ開立ハ必ズ熟練ヲ要スルガ故ニ其心掛
ルベキ。

省略算法ハ小面倒ナル理屈アルモノナレバ其
深ク知ルニモ及バザレバ多少ノ心得ハナカレバ
カラス。

8. 試験前ニハ解ノ書キ方ヲモ稽古セザレバ
特ニ算術解答ノ書キ難シ、時々之ヲ書キ試
スルコトヲ。

9. 次ニ記憶スベキ最モ大切ナル問題ヲ選ビ
一々一讀シ置キテ受験前二三週間前ヨリ毎日
一問半四五分時位ノ内ニソツソツト見渡
スルコトヲ。

受験前ニ少クモ記憶スベキ

算術問題

次ノ問題解ハ豫メ熟讀シ置キ受験前二三週間前ヨリ
毎日一回必ズ通覽スベシ。

四ノ則

1. 甲乙ニ旅人アリ、甲ハ毎日15里、乙ハ毎日12里ヲ
行キ、今270里ノ遠ル處ヨリ甲乙同日ニ相向テ出發セ
バ其後幾日ニソツテ相會スルカ。

(解) 出發フ迄ノ日數ハ甲乙同數ナリ、依テ每一日
ノ進行ノ速ヲ見ルニ甲15里ト乙12里ト合セテ毎日12里
トナリ、是レヲ270里ヲ近寄ル、即チ相會スルニ
 $270 \div (15 + 12) = 10$ 日ヲ要ス。

2. 甲乙ニ旅人アリ、甲ハ毎日15里、乙ハ毎日12里ヲ
行キ、今乙四日前ニ出發シ、甲之ヲ追ハト其後幾日ニソ
ツテ乙ニ追ヒ及ブカ。

(解) 甲が出發セントスルトキ乙ハ已ニ12日ニ144
里ヲ行キ、其時ヨリ甲が乙ニ追ヒ及ブニ至ルニ至
ル日數ヲ求メザレバ可カラズ、依テ甲が乙ニ追ヒ及
ブ日數ヲ求ルニ $144 \div (15 - 12) = 48$ 日ヲ要ス。

(16) 算題解 (四則)

48里ヲ多ク歩マンニハ $48 \div (15-12) = 16$ 日

カ ③ 二輪車アリ前輪ノ周囲ハ95寸、後輪ノ周囲ハ62寸8分ナリ、此二輪車或距離ヲ往復セシニ後輪ノ回轉ヨリ966回多ク回轉セリト云フ、後輪ノ回轉數及ビ往復ノ距離ヲ問フ

(解) 前輪ガ一回轉スル間ニ後輪ハ $\frac{95}{62\frac{8}{10}}$ 回轉スルガ故ニ前輪ノ一回轉毎ニ $\frac{95}{62\frac{8}{10}}$ 回轉シ差アリ、因テ $966 \div \frac{95}{62\frac{8}{10}} = 1884$ ハ前輪ノ總回轉數ナリ、從テ所求ノ距離ハ $95 \times 1884 = 1$ 里13町43間、又後輪ノ回轉數ハ $1884 + 966 = 2850$ 回

カ ④ 七時間内ニ遠距離ヲ自轉車ニテ往復シ、往クハ毎時二里ヅ、徐行シ復ルニハ毎時五里ヅ、往復ノ間ハ幾里ノ遠キニ到ルヲ得ルカ

(解) 往クモ復ルモ同里數ナリ、假テ往クニ要スル時間ヲ考フルニ、往クニ3時復ルニ要スル時間ヲ考フルニ、往クニ3時復ルニ要スル時間ヲ考フルニ、故ニ七時間ニハ $7 \div (3+3) = 1$ 往復スルコトヲ得ベシ

カ ⑤ 一組ノ生徒ニ書籍ヲ貸シ、其ノ中ニ小説ハ五冊、地理書ハ三人ニ一冊ノ割ニ各冊均ク貸シ、其一組ノ人數如何

(解) 地理書ノ數ニ對シテ、小説ノ數ハ其ノ五倍ナリ、故ニ一組ノ人數ハ $5 \times 3 = 15$ 人ナリ

算數題解 (四則) (17)

同數ナリ、依テ每一人ニ貸シ渡ス冊數ハ兩書合セテ $\frac{1}{2} + \frac{1}{3} = \frac{5}{6}$ 冊ニシテ合計65冊アレバ其人數ハ $65 \div (\frac{5}{6}) = 50$ 人ナリ

カ ⑥ 3000人ノ軍隊ヲ四列ニ行進セシメ、各列ノ間隔ヲ三尺トナシ、毎時二里ノ速度ヲ以テ長サ120間ノ橋ヲ渡ルトキハ之ニ要スル時間如何

(解) 3000人ヲ四列トナセバ一列ノ人數ハ $3000 \div 4 = 750$ 人トナル、此一人毎ノ間隔ハ半間ナリ、以テ此一列ノ長サハ $5 \times (750 - 1) = 374.5$ 間ナリ、之ヲ橋ノ長サト合セテ $374.5 + 120 = 494.5$ 間ナリ、此一列ノ長サヲ以テ時間ハ其列ノ最後一人ノ其列長ト橋長トヲ進ムノ時間ニ等シキヲ以テ求ムル時間ハ

$\frac{494.5}{2} \text{ 時} = 6 \text{ 分} 52 \frac{1}{5} \text{ 秒}$ ナリ

カ ⑦ 或人毎月80圓ヲ、假シテ六月ヲ經テ若干ノ負債ヲ生ラシメ、其後ハ毎月70圓ヲ、其ノ負債ヲ消シテ之ヲ償却セリ、此人ノ月収入如何

(解) 初メ六月ニ消費セシ金額ハ $80 \times 6 = 480$ 圓ナリ、又後十ヶ月ニ消費セシ金額ハ $70 \times 10 = 700$ 圓ナリ、故ニ此 $6 + 10 = 16$ ヶ月間ニ合計 $480 + 700 = 1180$ 圓ヲ消費セシト明カニシテ、斯クテ負債ヲ消シテトイヘバ此一ヶ月ノ収入ハ $1180 \div 16 = 73.75$ 圓ナリ

(18) 算術題解(四則)

8 雞 20 羽ヲ買ヒ、其中 13 羽ハ一羽 42 錢ノ
ニ、其他ハ一羽 48 錢ノニ賣リシニ兩度ノ利益相
等シカリシト云フ、一羽ノ原價如何。

(解) 13 羽ノ總賣價ハ $42 \times 13 = 546$ 錢ニシテ、
又其残り $20 - 13 = 7$ 羽ノ總賣價ハ $48 \times 7 = 336$ 錢
ナリ、而シテ兩度ノ利益相等シト云ハバ $13 - 7 = 6$
羽ノ原價ハ $546 - 336 = 210$ 錢ナリ、由テ一羽ノ原
價ハ $210 \div 6 = 35$ 錢ナリ。

9 或人甲地ヨリ乙地ニ行クニ其速サヲ遅クシテ
トセバ豫定ノ時刻ヨリ三時間遅ルヲ以テ、
時 35 町トセシニ豫定ノ時刻ヨリ一時間早
ト云フ、然ラハ豫定ノ時刻ニ到着セシメ
トセバヨロシキカ。

(解) 毎時 21 町行クト 35 町行クト
町行クニ付テ $35 - 21 = 14$ 町ノ差アリ、
是ハ此速サヲ以テ同シ距離ナル甲乙兩地ニ行ク
ニ、三時間遅速スルト一時間早達スルノ差
時間ノ差ヲ爲スヲ見レバ此兩地ノ距離ハ
 $14 \times 3 = 42$ 町ナルコト明カニシテ、
間ハ $(21 \times 3) - 3 = 7$ 時ナリ、因テ此速サ
ハ毎時 $210 \div 7 = 30$ 町ノ行クナリ。

算術題解(四則) (19)

10. 二錢銅貨ト五錢白銅貨ト合セテ三十個アリ、
其價合セテ九十六錢ナリ、各幾個ナルカ。

(解) 若シ此 30 個ガ悉ク二錢貨ナラバ其總價
ハ $2 \times 30 = 60$ 錢ナルベシ、然ルニ茲ニハ此ヨリ
 $96 - 60 = 36$ 錢多シ、今若シ二錢貨一個ヲ五錢貨一
個ニ換フレバ其價 $5 - 2 = 3$ 錢ヲ増スヲ以テ、36 錢
ヲ増サンニハ五錢貨 $36 \div 3 = 12$ 個 混ズベキナリ、
是テ二錢貨ノ數ハ $30 - 12 = 18$ 個ナリ。

11. 銀器ヲ運ブニ一個運ビ了レバ三錢ヲ得ベク、一
個運ビ五錢ヲ出スベキ約束ニテ百個ヲ運ビテ
得タリ、銀器ノ幾個ナルカ。

(解) 百個ヲ悉ク運ベバ $3 \times 100 = 300$ 錢得
キ豫定ナリ、然ルニ茲ニハ豫定ヨリ $300 - 260 = 40$
錢少シ、是レ一個ヲ毀セバ三錢ヲ得ザルノミナラズ
テ五錢ヲ失フヲ以テ一個ヲ毀セバ豫定ヨリ $3 + 5 = 8$
錢ノ不足ヲ生スルニ由ル、故ニ其毀キ數ハ
 $40 \div 8 = 5$ 個ナリ。

12. 金銀ノ混雜アリ其目方 106 匁ナリ、若シ之ヲ
水中ニテ秤レバ其目方七匁ヲ減クナリ、金銀ノ目方各
如何。

金ノ比重ハ 19、銀ノ比重ハ 10 とな
シテ、(解) 106 匁ガ悉ク金ナラバ其目方
九匁減ルベキナルニ、茲ニハ七匁

(20) 算術題解 (四則)

又 多ク減ツタルハ銀ヲ含メルニ由ル、一匁ニ付水
中ニテ金ハ $\frac{1}{10}$ 、銀ハ $\frac{1}{10}$ ナ減ズルヲ以テ一匁ニ付
金銀減リ方ノ差ハ $\frac{1}{10} - \frac{1}{10} = \frac{0}{10}$ 匁ナリ
故ニ $\frac{1}{10}$ 匁 多ク減ズルニハ銀 $\frac{1}{10} \div \frac{0}{10} = 30$ 匁ヲ
含マザル可カラズ、從テ金ハ $106 - 30 = 76$ 匁

13. 甲ノミナラバ 12 日、乙ノミナラバ 15 日ニ成
ルベキ業アリ、二人共ニ働ケバ幾日ニシテ成レカ

(解) 甲ハ一日ニ其一業ノ $\frac{1}{12}$ ナシ、
乙ハ一日ニ其一業ノ $\frac{1}{15}$ ナシヲ以テ、二人共ニ働
ク日ニ共業ノ $\frac{1}{12} + \frac{1}{15}$ ナシ、因テ此一業ヲ全
クニハ $1 \div (\frac{1}{12} + \frac{1}{15}) = \frac{20}{7}$ 日 ナ要ス

14. 米ナラバ 20 石、麥ナラバ 30 石買ハ
キ金高ヲ以テ、米麥同石數ニ買ハントス、但石高如何

(解) 其金高ヲ一單位トス、然ルニ米一石ノ價
ハ $\frac{1}{20}$ 、麥一石ノ價ハ $\frac{1}{30}$ ナリ、因テ米一石ヲ
買フ毎ニ其價ハ $\frac{1}{20} + \frac{1}{30}$ ナルヲ以テ、斯クテ全一單位
ニテ買ハバ各 $1 \div (\frac{1}{20} + \frac{1}{30}) = 12$ 石 ナ得

15. 馬五頭四日ニテモ牛三頭六日ニテモ運バ
荷物アリ、之ヲ牛馬各二頭ニテ運バシムルハ幾日ナ
レカ

算術題解 (四則) (21)

(解) 馬一頭一日ニテハ其荷物ノ $\frac{1}{4 \times 5}$ ナ運ビ
又 牛一頭一日ニテハ其荷物ノ $\frac{1}{3 \times 6}$ ナ運フ、故ニ
各二頭ニテハ之ヲ $1 \div \left\{ \left(\frac{1}{4 \times 5} + \frac{1}{3 \times 6} \right) \times 2 \right\} = 4 \frac{1}{15}$ 日
ニテ運フベシ

16. 彌生、春日ノ兩漁船甲乙兩港ノ間ヲ航海スルニ、
彌生丸ハ三晝夜、春日丸ハ二晝夜半ヲ要ス、本日午前
八時ニ甲港ヲ出帆セシ春日丸前日ノ正午ニ乙港ヲ出帆セ
シ彌生丸出會スルノ時ヲ問フ

(解) 兩丸ハ夫々一時間ニ全距離ノ $\frac{1}{10}$ 、 $\frac{1}{15}$ ナ
航行スベシ、春日ノ出帆スルキニ方テ兩船ノ距離ハ
全線路ノ $1 - \frac{1}{15} \times 20 = \frac{1}{3}$ 、因テ春日が出帆シテヨリ
 $\frac{1}{3} \div (\frac{1}{10} + \frac{1}{15}) = 2 \frac{2}{3}$ 時間ニシテ相會スベク其時刻ハ
翌日午前七時十一分ノセナリ

17. 或職工七日ト二時間働キテ賃錢 432 錢ヲ得、
又五日ト六時間働キテ賃錢 336 錢ヲ得タリ、一日
ノ就業時間如何

(解) 最初ノ場合ヲ五倍即チ 35 日ト 10 時間
働ケバ賃錢 $432 \times 5 = 2160$ 錢ヲ得ベク、又終
合ノ七倍即チ 35 日ト 42 時間働ケバ賃錢
 $336 \times 7 = 2352$ 錢ヲ得ベシ、而シテ $2352 - 2160 = 192$
= 192 錢ハ 35 日 10 時間ノ賃錢ノ 35 日 10 時間

(22) 算術題解(四則)

間ノ賃錢トノ差即チ 32 時間ノ賃錢ナルコト明カナリ。故ニ一時間ノ賃錢ハ $192 \div 32 = 6$ 錢 因テ最初ノ場合ニハ $432 \div 6 = 72$ 時間働キシナリ、故ニ所要ノ時間ハ $(72 - 2) \div 7 = 10$ 時間ナリ。

18. 第三時ト第四時トノ間ニ於テ

(1) 分針が時針ト相重ル時刻如何

(2) 分針ト時針ト直角チナス時刻如何

(解) (1) 第三時ニハ時針ハ標記 III ヲ指シ分針ハ XII ヲ指スヲ以テ時針ハ分針ヨリ 15 刻ミナリ、而シテ一時間ニ分針ハ 60 刻ニテ時針ハ 5 刻ミヲ進ムヲ以テ每一時ニ分針ハ時針ヨリ $60 - 5 = 55$ 刻ミ多ク進ム、故ニ其後 $15 \div (60 - 5) = \frac{3}{11}$ 時 $= 16 \frac{2}{11}$ 分時 ヲ要ス。

(2) 前同理ニテ分針が時針ヨリ $15 + 15$ 即チ 30 刻ミ多ク進ムトスルニ第三時ノ後 $30 \div (60 - 5) = \frac{6}{11}$ 時 $= 32 \frac{4}{11}$ 分時 ヲ要ス。

19. 長サ八十五間ノ列車ト長サ十五間ノ列車ト相會フ行シタリ線路ニ於テ出會フキハ四秒時ニシテ、一ノ前端ガ他ヲ逐フキハ十秒時ニシテ逐ヒ越ス、兩列車ノ進速ノ速サ如何

(解) 85 間ノ列車ト 15 間ノ列車ト相會フテ

算術題解(四則) (23)

4 秒時ニ離ルルニハ一秒時ノ兩列車ノ進速ノ和ガ $(85 + 15) \div 4 = 25$ 間ナルベシ

又 一ガ他ヲ逐ヒ越スニ 10 秒時ナルニハ一秒時ノ兩車ノ進速ノ差ガ $(85 + 15) \div 10 = 10$ 間ナリ。

故ニ各車各秒時ノ速度ハ

$\frac{25 + 10}{2} = 17.5$ 間, $\frac{25 - 10}{2} = 7.5$ 間.

注意 本題ハ長キニツノ物ノ出會ナリ、出合フテ離ルルニハ其後端ト後端トガ出會迄ノ時間ヲ要シ、又逐ヒ越スニハ一ノ前端ガ他ノ後端ニ接シテヨリ、其第一ノ後端ガ第二ノ前端ニ逐ヒ附ク迄ノ時間ヲ要ス下知レ。

20. 甲槽ニハ水九石六斗、乙槽ニハ水一石二斗ヲ入ル、今若シ甲ヨリ毎時六斗ヅ、乙ニ流レ込ムモノトスレバ幾時ノ後乙ノ水ハ甲ノ三倍トナルカ。

(解) 甲乙水量ノ和ハ一定ナリ。故ニ乙ノ水量ガ甲ノ水量ノ三倍トナルノ時ハ、甲ガ兩槽ノ和 $96 + 12 = 108$ 斗ノ $1 + 3 = 4$ 分ノニトナルノ時ニシテ、此時ノ甲ノ水量ハ $108 \div 4 = 27$ 斗ナリ、依テ今ヨリ

$(96 - 27) \div 6 = 11.5$ 時ノ後ナリ。

注意 問題ノ中ニハ其和ガ一定トモ、或ハ其差ガ一定ナルモノトアリ、何レモ其題ヲ解クニ大切ナル關係ナリ、常ニ注意ヲ怠ルコト勿レ。

數ノ性質

1 矩形ノ地面アリ其長サ 120 間、廣サ 84 間アリト云フ、今其四隅及ビ周圍ニ櫻樹若干ヲ植エントスルニ樹ト樹トノ間ヲ等シクシテ成ルベク濶クセントシテ櫻樹幾本ヲ要スルカ、

解 兩樹ノ間ハ等シクシテ成ルベク廣クセントスルガ故ニ其間隔ヲ表ハス數ハ 120 間ト 84 間トノ最大公約數ナラザルベカラズ、之ヲ求ムレバ 12 間ナルヲ知ル、依テ此矩形ノ周圍ニ 12 間ノ間隔ニ樹ヲ植エルコトナル、計算シテ答ニ十四本

2 周圍 3606 「メートル」ノ馬場ヲ西洋馬ハ一分ノ間ニ 660 「メートル」ヲ走り、日本馬ハ 528 「メートル」支那馬ハ 396 「メートル」ヲ走ルト云フ、今同時ニ同處ヨリ出發スレバ幾時後ニ出發點ニテ出會スルカ

(解) 西洋馬ガ一周ニ要スル時間ハ $\frac{3606}{660} = 5 \frac{1}{10}$ 分時

又 日本馬ガ $\frac{3606}{528} = 6 \frac{3}{4}$ 分時
又 支那馬ガ $\frac{3606}{396} = 9 \frac{1}{3}$ 分時

故ニ各馬ガ出發點ニ相會スルハ各此一周ノ時間ノ倍數ナルベキヲ以テ、其初メニ相會スル時間ハ以上ノ時間ノ最小公倍數ニ十八分時ヲ要スベシ

3. 分數ノ最大公約數及ビ最小倍數ヲ求ムル法及ビ其理ヲ示セ

(解一) 凡テノ分數ヲ通分母ニ化シ其分子ノ最大公約數及ビ其最小公倍數ヲ夫々分子トシ其通分母ヲ分母トシタル分數ハ其衆分數ノ最大公約數及ビ最小公倍數ナリ

例バ $\frac{56}{105}$, $\frac{100}{105}$ ヲ通分母ニ化スレバ $\frac{56}{105}$, $\frac{100}{105}$ トナル、而シテ此分子 56, 100 ノ最大公約數ハ 4 ニシテ其最小公約數ハ 1400 ナリ、

故ニ此最大公約數ハ $\frac{56}{105}$ 此最小公倍數ハ $\frac{1400}{105} = \frac{40}{3}$ 、何トナレバ分母ノ分數 $\frac{56}{105}$, $\frac{100}{105}$ 同單位 $\frac{1}{105}$ ナ有シテ以テ $\frac{56}{105} = 56$ 單位, $\frac{100}{105} = 100$ 單位、即チ 56, 100 ノ最大公約數及ビ最小公倍數ハ 4, 1400; 即チ 4 單位, 1400 單位、即チ $\frac{4}{105}$, $\frac{1400}{105}$ ナルコト明カナリ

(解二) 凡テ衆已約分數ニ於テハ其分子ノ最大公約數ヲ分子トシ其分母ノ最小公倍數ヲ分母トシタル分數ハ其最大公約數ニシテ、又其分子ノ最小公倍數ヲ分子トシ其分母ノ最大公約數ヲ分母トシタル分數ハ其最小公倍數ナリ

例バ $\frac{8}{15}$, $\frac{20}{21}$ ニ於テ是ハ已約分數ナルヲ以テ (此分子 8, 20 ノ最大公約數ハ 4) ニシテ (此分母 15, 21 ノ最小公倍數ハ 105) ナリ

(26) 算術題解(數性)

故ニ此最大公約數ハ $\frac{40}{105}$ ナリ.

此分子 8, 20 ノ最小公倍數ハ 40 ニシテ

此分母 15, 21 ノ最大公約數ハ 3 ナリ.

故ニ此最小公倍數ハ $\frac{40}{3}$ ナリ.

何トナレバツノ已約分數ヲ以テ他ノ已約分數ヲ除シテ其商ガ整數ナルニハ $\frac{a}{b} \div \frac{x}{y} = \frac{a}{b} \times \frac{y}{x} = \frac{a}{b} \times \frac{y}{x} = 4 \times 3$, 即チ

$$\frac{a}{b} \div \frac{x}{y} = \frac{a}{b} \times \frac{y}{x} = \frac{a}{b} \times \frac{y}{x} = (\text{整數}) \times (\text{整數})$$

ナル如ク除數 $\frac{x}{y}$ ノ分子 x ハ, 被除數 $\frac{a}{b}$ ノ分子 a ノ約數ニシテ, 同ク除數ノ分母 y ハ, 同ク被除數ノ分母 b ノ倍數ナラザルベカラズ, 之ニ由テツノ已約分數ガ多クノ已約分數ノ公約數ナルニハ其分子ハ各分子ノ公約數, 分母ハ其分母ノ公倍數ナルベシ, 然シテ尙ホ其約數ヲ最大ナラシメンニハ其分子ヲ最大ニシ, 分母ヲ最小ナラシムルコトヲ要ス, 其最小公倍數ノ場合ハ此反理ナルコト明カナリ.

注意 試験ニハ最大公約數ノ應用問題ハ出ルコト稀ニシテ, 其最小公倍數ノ應用問題ハ出ルコト甚ダ多シ; 而シテ其分數ノ最小公倍數ヲ求ムルコトハ忘レ易キモノナリ, 殊ニ意ヲ用ヒテ其求ムル法ヲ記憶スベシ.

(27)

復名數

注意 外國度量衡ノ中ニテ「メートル」法ハ最も大切ナリ; 其他ノモノハ其概要ヲ知レバ足ルベシ.

- 1 「メートル」(米) = 3.3 尺,
- 1 「アール」 = 10 米平方,
- 1 「リットル」(立) = 1 「デシメートル」立方,
- 1 「グラム」(瓦) = $\frac{4}{15}$ 匁, 1 匁 = $\frac{15}{4}$ グラム = 3.75,
- 1 「グラム」トハ攝氏四度ノ溫度ヲ有スル蒸溜水,
- 1 立方「センチメートル」ノ目方ニ等シ.

英國ノ度量衡

- 1 「マイル」(哩) = 1760 「ヤード」(碼), = 5280 「フット」(呎),
- 1 「フット」(呎) = 12 「インチ」(吋) = 1.0058218 尺,
- 1 海里 = 6080 呎 = 16.075 町,
- 1 噸 = 2240 封度 = 270. 946009 貫,
- 1 封度 = 120. 95804 匁,
- 一馬力ハ一分間ニ 33000 封度ノ重量ヲ一呎ダテ引上ケル力, 或ハ一秒時間ニ 75 匁ノ重量ヲ一米引上ケル力ヲ云フ即 一秒時間ニ 60 貫目ヲ一尺引上ケル力ヲ云フ.

(28) 算術題解 (複名數)

次ニ掲クルモノノ内ノ終リノ部ハ試験當日丈ケハ必ズ記憶スベシ

1 平方尺 = 100 平方寸

1 坪 = 36 平方尺

1 立方尺 = 1000 立方寸

1 立坪 = 1 間立方 = 216 立方尺

1 才 = 1 立方尺

尺ノトハ材木ノ切口 1 尺平方、長サ 2 間ノ体積ヲ云フ

1 升樹ノ体積 = $49^2 \times 27$
= 64.827 立方寸

1 斤 = 160 匁 = 600 瓦

五圓金貨ノ目方 = $4\frac{1}{2}$ 瓦 = $1\frac{1}{2}$ 匁

金貨ノ品質 …… 金九、銅一

算術題解 (複名數) (29)

1. 紀元二千五百六十三年十一月二十二日(日曜日)ニ或港ヲ出帆スル船アリ、此船ハ十六日毎ニ定期航海ヲナスモノトス、然ラバ此船ガ日曜日ニ再ビ出帆スルハ何年何月何日ナルカ。

(解) 船ノ出帆スルハ 15 日毎ニシテ此出帆日ガ日曜日ニ當ルベキ最近日數ハ 7 ト 15 トノ最小公倍數 105 ニシテ、即チ最初ノ出帆日ヨリ 105 + 1 = 106 日目ナリ、故ニ十一月廿二日ノ日曜日ヨリ 106 日目ニ當ル日ハ所要ノモノナリ。然ルニ翌年ハ西洋紀元 1904 年ナルヲ以テ此數 1904 ハ 4 ニテ整除シ得ベシニテ閏年ナリ、因テ二月ヲ二十九日トシテ計算スレバ三月六日ヲ答トス。

注意 現今我國ヲ始メ歐米各國(露西亞ヲ除ク)ニ用ヒラル所ノ太陽曆ハ「グレゴリアン」曆ト稱スルモノニシテ西曆年數(或ハ我紀元年數ヨリ 660 ヲ減シタルモノ)ヲ 4 ニテ整除シ得ルキハ其年ハ閏年ナレド西曆年數ガ 100 ニテ整除シ得ルモノハ中、其商ガ更ニ 4 ニテ整除シ得ザル數ノ年ハ平年ナリトス。例ハ西紀 1900 年ハ平年ニシテ 2000 年ハ閏年ナルガ如シ。

2 東京ハ東經 139 度 45 分ナリ、然ラバ中央標準時ノ午前第八時ハ東京地方時ノ何時ニ當ルカ

(解) 中央標準時ハ東經 135 度子午線ヲ基トス

(30) 算術題解 (複名數)

今東京ハ中央標準時ノ經度ヨリ東ニ在ルコト、
 $139^{\circ} 45' - 135^{\circ} = 4^{\circ} 45'$ ニシテ此レニ對スル
 時差ハ $24 \text{ 時} \times \frac{4^{\circ} 45'}{360} = 19 \text{ 分}$ トス、東地ハ西地ヨ
 リ時刻進メルヲ以テ、地方時ハ午前八時十九分ナリ

注意 我國、凡沖繩以東ハ東經 135 度ノ子午線ヲ
 以テ定メ之ヲ中央標準時トイヒ、臺灣、澎湖及ビ八
 重山附近一帶ノ地ハ東經 120 度ノ子午線ヲ用ヒ、之
 ヲ西部標準時ト云フ。故ニ内地ノ時刻ハ臺灣地方ノ時
 刻ヨリ一時間早クシテ内地ノ正午ノ時、臺灣ニテハ午
 前十一時ニ當ル。
 次ニ經度ノ差ヨリ時差ヲ求ムルノ演算ハ下ノ表ニヨリ
 テ行ヘバ便ナリ。

經度	時間	時間	經度
1°	4分	1時	15'
1'	4秒	1分	15"
1''	$\frac{4}{60}$ 秒	1秒	$\frac{15}{60}$ 分

例ハ上ノ問題ニ於テ 4 度 45 分ノ時差ハ
 $4 \text{ 分} \times 4 = 16 \text{ 分}$ 、 $45' \div 15' = 3 \text{ 分}$
 $\therefore 16 + 3 = 19 \text{ 分}$

(31)

比 比例

(或ハ 分數)

1. 河水ヲ上下スルニ其時間ノ比五ト三トノ如シ、流
 速ト漕力トノ比如何。

(解) 同處ヲ進ム速度ノ比ハ時間ニ反比スルモノ
 ナリ、故ニ此上下ノ進速ハ $3 : 5$ 。
 故ニ流速ト漕力トノ比ハ

$$\frac{5-3}{2} : \frac{5+3}{2}, \text{ 即チ } 1 : 4.$$

2. 二丈八尺ニ付十圓五十錢ノ縮緬六尺ノ値如何。

(解) 本題ヲ普通ニ解スレバ

28尺ノ價ハ 10.5 圓ナルヲ以テ、

1尺ノ價ハ $\frac{10.5}{28}$ 圓ナリ。

故ニ 6尺ノ價ハ $\frac{10.5}{28} \times 6 = 2.25$ 圓。

(別解) 本題ニ比例ヲ適用シテ解スレバ、

品物ノ量ハ其價ニ正比スルモノナリ。故ニ所要ノ價ヲ

x トスレバ、次ノ比例ヲ得

$$28 : 6 = 10.5 : x,$$

$$x = \frac{6 \times 10.5}{28} = 2.25.$$

答 2.25 圓

(32) 算術題解(比・比例或ハ分數)

3. 三十人が十二日働キテ成ルベキ業アリ、之ヲ二十四人ニテ爲セバ幾日ニ成ルカ。

(解) 之ヲ普通ニ解スレバ、

○ 若シ 30 人 12 日ノ業ヲ一人ニテ爲セバ、

$30 \times 12 = 360$ 日ヲ要スベシ、又若シ之ヲ 24 人ニテ爲セバ、其日數ハ $360 \div 24 = 15$ 日ヲ要ス。

(別解) 若シ之ニ比例ヲ適用シテ解スレバ、

同シ仕事ヲナスニ就テ、其日數ハ人數ニ反比ナルモノナリ。故ニ次ノ比例ヲ得。

$$24 : 30 = 12 : x$$

$$x = \frac{30 \times 12}{24} = 15. \quad \text{答 十五日}$$

注意 或人ハ此題ハ比例ナリト云フ、此語ハ甚クシテ初學者ヲ惑ハシム。問題ガ縱令比ニテ與ヘラレドモ、其題ハ分數ニテモ解シ得ルコトナレバ、比例ノ問題ハ分數ノ問題ト判然區別アルベキ理ナシ、唯之ヲ解スルニ當リ分數ヲ應用スルト比例ヲ應用スルトハ各自ノ適宜ナリト知ルベシ; 問題自ラ比例題トナルコト能ハズ。

4. 一晝夜ニ四分進ム時計ヲ有スル人アリ某日午後三時ニ或人ノ許ニ行ク可ク約セリ、然ルニ此人ノ家迄行クニハ常ニ此時計ノ 15 分間ヲ要スト云フ、今此時計ヲ其日ノ正午ニ合セ置キテハ自宅ヲ此時計ノ何時ニ出テ違約セザルカ。

算術題解(比・比例或ハ分數) (38)

(解) 一晝夜即チ 24 時間ニ四分進ム時計ハ三時間ニハ $4 \times \frac{3}{4} = 30$ 秒進ムヲ以テ某日ノ正午ニ正時ニ合セ置ケハ其日ノ午後三時ニハ此時計ハ第三時三十分ヲ示スベキヲ以テ、若シソレヨリ 15 分前ニ自宅ヲ出ヅベキモノトスレバ其時ハ、此時計ノ午後第二時四十五分三十分ノ時ナラバ可ナリ。

5. 昨日ノ正午ニ正シキ時刻ニ合セ置キタル時計ガ今日ノ正午ニハ十一時五十二分ヲ示セリ; 此時計ガ明朝午前八時ヲ示メトキノ正シキ時刻ヲ問フ。但シ今日ノ正午ニハ合セ置カザリ。

(解) 此時計面ノ (24 時 - 8 分) ノ間ニ正シキ時刻ハ 8 分進ム割合ナリ、斯クシテ昨日ノ正午ヨリ明朝此時計ガ八時ヲ指ス迄即チ此時計面ノ 44 時間ニハ正シキ時刻ハ幾何進ムカヲ求ムルニ

$$(24 \times 24) - 8 : 60 \times 44 = 8 : x$$

$$x = 14 \text{ 分 } 44 \text{ 秒 } 164/179$$

因テ所要ノ時刻ハ午前八時十四分四十四秒百七十九分ノ百六十四ニナリ。

6. 華氏下温氏下ノ兩寒暖計ガ同度ヲ示スハ幾度カ

(解) 華氏ハ沸騰點ヲ 212 度、氷點ヲ 32 度ト

シ; 又列氏ハ沸騰點ヲ 100 度ト、氷點ヲ 0 度トスルヲ

(34) 算術題解(比・比例或ハ分數)

以テ、華氏ノ $212-32=180$ 度ト攝氏ノ 100 度ト長短ヲ等シクス。

然シテ華氏ノ 0 度ハ氷點下 32 度ニアルガ故ニ、計ガ同度ヲ示スハ氷點下 32 度ノ差ヲナスノ處ニアル。攝氏 100 度ニ對シテ華氏ハ $180-100$ ノ差アルヲ以テ

$$180-100:32=100:x, \quad x=40.$$

答 零點下各四十度ノ時ナリ。

附言 華氏ノ 112 度ト攝氏ノ 0 點下 112 度ト同度ナレモ、之レハ呼ビ方ヲ異ニスルヲ以テ茲ニ取ラス。

7. 馬三頭ヲ養フ費用ハ羊二十五頭ヲ養フ費用ニ等シトスレバ、馬六頭ト羊二十頭トナ三十日間養フ費用ヲ以テ馬九頭ト羊三十頭トナ幾日間養モ得ベキカ。

(解) 馬三頭ヲ養フ費用ハ羊二十五頭ヲ養フ費用ニ等シ; 故ニ馬 1.....羊 $\frac{25}{3}$

故ニ馬六頭ト羊二十頭トナ養フ費用ハ

$$\text{羊 } 6 \times \frac{25}{3} + 20 = 70 \text{ 頭ヲ養フ費用ニ等シ}$$

又 馬九頭ト羊三十頭トナ養フ費用ハ

$$\text{羊 } 9 \times \frac{25}{3} + 30 = 105 \text{ 頭ヲ養フ費用ニ等シ}$$

故ニ所要ノ日數ハ

$$30 \text{ 日} \times \frac{70}{105} = 20 \text{ 日}$$

算術題解(比・比例或ハ分數) (35)

8. 男二人ト女五人ト腦力シテ 10 日間ニ田 9000 坪ヲ耕スト云フ; 此割合ヲ以テセバ男十五人ニテ田 12 町 7 反 25 歩ヲ幾日ニ耕シ得ルカ。但シ男五人ト女八人ト其力相等シ。

(解) 男女一人ノ力ノ比ハ $8:5$ ナルガ故ニ、男二人女五人ト男十五人トノ力ノ比ハ

$$(8 \times 2 + 5 \times 5) : (8 \times 15), \text{ 即チ } 41 : 120 \text{ ナリ,}$$

又 12町7反25歩 = 38125坪 ナルヲ以テ、

次ノ比例式ヲ得

$$\left. \begin{array}{l} 120 : 41 \\ 9000 : 3125 \end{array} \right\} :: 10 : x$$

$$x = \frac{41 \times 38125 \times 10}{120 \times 9000} = 14 \frac{409}{864} \text{ 日}$$

9. 35 日間ニ仕上ルベキ工事アリ、全 16 人ニテ毎日六時間宛働キ 20 日ニテ漸ク $\frac{2}{3}$ ノ業ヲナセリ、約束ノ期日マデニ残業ヲ成シ終ルニハ毎日八時 $\frac{1}{2}$ グ働カシムルモ尙ホ幾人ノ不足ナルカ。

(解) 20 日ニテ $\frac{2}{3}$ ノ業ヲ成シタルガ故ニ残業ハ $\frac{1}{3}$ ニシテ、ヨレヨリ約束期日迄ニハ 15 日間ノ日子アリ、因テ問題ハ先ヅ、毎日八時間宛働キ $\frac{1}{3}$ ノ仕事ヲ

15 日間ニ仕上ルニハ幾人ヲ要スルカニ歸ス、因テ実ノ

式アリ。

(36) 算術題解(比・比例或ハ分數)

$$\left. \begin{array}{l} 15日:20日 \\ 8時:6時 \\ \frac{3}{2}:\frac{3}{5} \end{array} \right\} = 16:x \quad x=24人$$

答 $24-16=8人$

10. 一磅英貨ノ品位 $\frac{11}{12}$ ノ重量 7.98805「グラム」ナリ
 今金銀ノ比價ヲ 38 ト 1 トノ如シトスレバ、品位 $\frac{11}{12}$ 、
 價ニ志ノ銀塊ノ重量幾「グラム」トナルカ。但シ小数第五
 位マテ算出シ以下四捨五入セヨ。

(解) 金屬ノ重量ハ品位、比價ニ逆比例シ、價ニ正
 比例ス、而シテ一磅ハ 20 志ニ等シキガ故ニ

$$\left. \begin{array}{l} \frac{37}{10}:\frac{11}{12} \\ 1:38 \\ 20:2 \end{array} \right\} = 7.98805瓦:x瓦$$

$$x = 7.98805 \times \frac{11}{12} \times 38 \times 2 \times \frac{10}{37} \times \frac{1}{20} = 30.08118瓦$$

11. 三百ヤードノ競走ニ於テ甲ト乙ト争ハ、甲ニ十
 ヤード勝テ、乙ト丙ト争ハ、乙三十ヤード勝テ、甲ト
 丙ト争ハ、甲幾ヤード勝ツカ

(解) 甲 300 ヤード走ル間ニ、乙ハ $300-20$
 $=280$ ヤード走ル; 又乙 300 ヤード走ル間ニ丙
 ハ $300-30=270$ ヤード走ルヲ以テ、甲ハ 300 ヤード
 走ル間ニ丙ハ

$$300 \times \frac{270}{280} \times \frac{10}{30} = 252 \text{ ヤード走ル。答 } 48 \text{ ヤード}$$

(37)

比例配分

1. 金五百二十五圓ヲ甲乙丙三人ニ分テ、其所得ヲ甲
 ト乙トガ 5 ト 4、乙ト丙トガ 3 ト 2 トノ比ナル様ニ
 セヨ。

(解) 比ノ兩項ニ等シキ數ヲ乘ズルモ比ノ値ハ變
 ヒザルヲ以テ

甲乙取分ノ比 5:4, 即チ 15:12;

乙丙取分ノ比 3:2, 即チ 12:8;

トナスヲ得。依テ甲乙丙ノ取分ノ比ハ又
 15:12:8 見做スヲ得。然ルキハ

$$\text{甲ノ取分} = 525 \text{圓} \times \frac{15}{15+12+8} = 225 \text{圓}$$

$$\text{乙ノ取分} = 525 \text{圓} \times \frac{12}{15+12+8} = 180 \text{圓}$$

$$\text{丙ノ取分} = 525 \text{圓} \times \frac{8}{15+12+8} = 120 \text{圓}$$

2. 甲乙二人アリ、甲ハ二千五百圓、乙ハ四千圓ノ資本
 金ヲ出シ、相合シテ或商業ヲ營ミ一年後ニ至リテ決算シ
 タルニ五百二十圓ノ損トナレリ; 然ルニ此時丙ナル人四
 千五百圓ヲ出シテ前二人ニ聯合シテ更ニ一年間原商業ヲ
 續ケタルニ今回ハ二千三百五十八圓ノ利益ヲ得メリト云
 フ、甲乙丙ノ利益配分額ヲ問フ。但シ損益ハ出金額ニ異ナ

(38) 算術題解 (比例分配)

ヲ分配シ且ツ丙ハ前回ノ損ニ關セザルモノトス。

(解) 第二年目ニ於ケル甲乙兩人ノ資本金合計ハ
(2500+4000)-520=5980圓 ナルヲ以テ、第二年ニ
於ケル利益分配ハ次ノ如シ、

$2358 \text{圓} \times \frac{5980}{5980+4500} = 1345.5 \text{圓} \dots\dots \text{甲乙ノ分}$

$2358 \text{圓} - 1345.5 \text{圓} = 1012.5 \text{圓} \dots\dots \text{丙ノ分}$

甲乙兩人ノ資本ノ割合ハ常ニ同一ナルニ依リ、甲
乙ノ利益分配ハ初年ノ金額ニ應ジテ分テバ可ナリ、依

テ $1345.5 \text{圓} \times \frac{2500}{2500+4000} = 517.5 \text{圓} \dots\dots \text{甲ノ分}$

$1345.5 \text{圓} - 517.5 \text{圓} = 828 \text{圓} \dots\dots \text{乙ノ分}$

答 甲517.5圓、乙828圓、丙1012.5圓、

3. 金 37 銅 3 ノ比ノ合成金 168 グラムアリ、之ニ
更ニ銅ヲ加ヘテ法定金貨性金 9 銅 1 ノ比ノ合成金トサ
サントスレバ混スベキ銅ノ目方何程ヲ要スベキカ。

(解) 合成金ノ金銅ノ比ハ 37:3 即チ $37 \times 9:3 \times 9$
即チ 333:27 ナリ、又法定金貨性ノ合成金ノ金銅ノ
比ハ 9:1 即チ $9 \times 37:1 \times 37$, 即チ 333:37, 今金
量ヲ變ヘズ銅ヲ加ヘテ後ノ合金ヲ得ントスルニハ、合
金 $333 + \frac{2}{37} = \text{對シテ銅 } 37 - 27 \text{ ヲ加フベキナリ}$
因テ加フベキ銅ノ目方ハ

算術題解 (比例分配) (39)

$333+27:37-27=168:2; \quad x=4\frac{2}{3} \text{ グラム}$

(別解) 合成金 168 瓦中ニ金銅ノ重量ハ夫々

$168 \times \frac{37}{37+3} = 155.4 \text{瓦}$ 及ビ $168 - 155.4 = 12.6 \text{瓦}$ ナリ、

故ニ法定性ノ合成金ニ於テハ金 155.4 瓦ニ對シテ銅ハ
 $9:1 = 155.4:r \quad x=17.26 \text{瓦}$ ヲ要スルヲ以テ茲ニ
ハ $17.26 - 12.6 = 4.6 \text{瓦}$ ノ銅ヲ増スコトヲ要ス。

注意 比例配分ノ問題ヲ解クニハ、其配分率ヲ發見セザ
ルベカラズシテ、之ヲ發見セシムルヲ此種ノ問題ノ目的
トス; 去レバ之ヲ發見スルニ例ヲ次ニ示サン。

例 1. 其取分ノ比甲ト乙トハ 2:3, 乙ト丙トハ 4:5,
丙ト丁トハ 6:7, ト云フキ; 甲乙丙丁ヲ通シタル取分ノ
比ハ

$2:3:3 \times \frac{5}{4}:3 \times \frac{5}{4} \times \frac{7}{6}$ ナリ; 然レモ分數ニテハ
取扱上不便ナルガ故ニ之ニ 4×6 ヲ乘ジテ
 $2 \times 4 \times 6:3 \times 4 \times 6:3 \times 5 \times 6:3 \times 5 \times 7$,
即チ 48:72:90:105, ヲ其比トス。

例 2. 其取分ノ割合ハ甲ノ二倍ハ乙ノ三倍ニ等シク
乙ノ取分ノ四倍ハ丙ノ取分ノ五倍ニ等シト云フキ;
甲ノ取分ヲ 1 トスレバ、之ニ對シテ乙ハ $1 \times \frac{2}{3}$,
又丙ノ取分ハ $1 \times \frac{2}{3} \times \frac{4}{5}$ ナリ、此比ヲ整數ニナス爲メ
之ニ 3×5 ヲ乘ズレバ、其取分ノ比 15:10:8 ナル。

(40)

混合法

1. 一斤ニ付十二錢及ビ十七錢ノ砂糖アリ、之ヲ混シテ平均一斤ニ付十五錢ノモノヲ製ラントス、其混合ノ法如何。

(解) 一斤12錢ノ品ヲ15錢トスレバ、1斤ニ付3錢ノ利
又 1斤17錢.....15..... 1斤ニ付2錢ノ損
故ニ

1斤12錢ノ品ヲ15錢トスレバ、2斤ニ付6錢ノ利、
又 1斤17錢.....15錢..... 3斤ニ付6錢ノ損、
之ニ依テ下品二斤ト上品三斤トノ割合ニ混スレバ
損益ナシ。

注意 此答ノ二斤ト三斤トハ又四斤ト六斤或ハ一斤ト一斤半トスルモ可ナルガ故ニ往々此答ハ不定ナリト謂フト雖下モ茲ニ此混合ノ割合ガ 2:3 ナリト云フガ求ムル答ナレバ、答數ハ唯一ツノ外ナキト知ルベシ。

又此運算ノ通例下ノ如クスルガ故ニ以下便宜之ヲ用

$$15 \left| \begin{array}{l} 12 \\ 17 \end{array} \right. \begin{array}{l} 2 \\ 3 \end{array}$$

2. 一升ニ付八十錢六十錢及ビ五十錢ノ三種ノ酒アリ、之ヲ混シテ平均一升ニ付五十五錢ノ酒ヲ造ラントス、其混合ノ法如何。

80 25
60 5
50 5

算術題解 (混合法)

(41)

(解) 本題ハ下ノ二問ヲ組合セタルモノナリ。

(A) 一升ニ付八十錢及ビ五十錢ノ酒アリ、之ヲ混シテ平均一升ニ付五十五錢ノモノヲ造ラントス、其法如何

$$\text{答 } 55 \left| \begin{array}{l} 80 \\ 50 \end{array} \right. \begin{array}{l} 5 \\ 25 \end{array} \left| \begin{array}{l} 1 \\ 5 \end{array} \right. \quad 1:5 \text{ノ割合}$$

(B) 一升ニ付六十錢及ビ五十錢ノ酒アリ、之ヲ混シテ平均一升ニ付五十五錢ノモノヲ造ラントス、其法如何

$$\text{答 } 55 \left| \begin{array}{l} 60 \\ 50 \end{array} \right. \begin{array}{l} 5 \\ 5 \end{array} \left| \begin{array}{l} 1 \\ 1 \end{array} \right. \quad 1:1 \text{ノ割合}$$

本題ハ此二問ヲ組合セタルモノナレバ、茲ニ求ムル答數ハ前ニ得タル二ツノ場合

八十錢ノ酒 六十錢ノ酒 五十錢ノ酒

$$1 \times m \quad \quad \quad : 5 \times m$$

$$1 \times n \quad \quad \quad : 1 \times n$$

チ合セタル $m:n:5m+n$ ナルヲ明カナリ、茲ニ m, n ハ任意ノ數ナルヲ以テ

$$m=1, \quad n=1 \quad \text{トスレバ、} \quad 1:1:6 \quad \text{ヲ得}$$

$$\text{又 } m=1, \quad n=2 \quad \text{トスレバ、} \quad 1:2:7 \quad \text{ヲ得}$$

此他幾種ノ答ヲモ見出シ得ルヲ以テ此場合ニ於テハ其答數不定ナリト知ルベシ。

注意 三種ノ相異ナル品物ヲ混シテ一種ノ平均値ノ品物ヲ製造スル問題ハ試験問題トシテハ不適當ナリ、随テ試

(42) 算術題解 (混合法)

驗ノ多クニ於テハ此類ノ問題ヲ見ルナシ、然レモ之ヲ知ラザレバ或他ノ場合ニ不便アリ、依テ茲ニ掲ゲテ基本トス。

3. 一圓ニ付五升四合替及ビ六升一合替ノ白米アリ、之ヲ混シテ平均一圓ニ付五升八合ノモノヲ作ラントス、其混合ノ法如何。

(解) 一圓ニ付 54 合ノ米ヲ 58 合ニ賣レバ 4 合ノ損
又 一圓ニ付 61 合..... 58 3 合ノ利
故ニ一圓ニ付

54 合ノ米ヲ 58 合ニ 3 圓分賣レバ 12 合ノ損

又 61 合ノ米ヲ 58 合ニ 4 圓分賣レバ 3 合ノ利

因テ上米 3 圓分ト下米 4 圓分ト混ズレバ損益ナシ

即チ之ヲ樹高ヨリ言ヘバ $54 \times 3 = 61 \times 4$ 、即チ 81 = 122

即チ 八升一合ト一斗二升八合ト混合ニ混ズベシ

附言 本題ヲ普通ニ解クニハ各一升ノ價 $\frac{1}{54}$ 圓、 $\frac{1}{61}$ 圓ヲ求メ而シテ平均一升ノ價 $\frac{1}{58}$ 圓ノモノヲ求ムルナリ、即チ

$\frac{1}{58}$ ノ分數ヲ遮クンガ爲メニ各項ニ 58, 54, 61
 $\frac{1}{58}$ ノ最小公倍數 $58 \times 27 \times 61$ ヲ乘ズレバ、

$$1647 \left| \begin{array}{l} 1769 \\ 1566 \end{array} \right. \begin{array}{l} 81 \\ 122 \end{array}$$

注意 本題ハ其割合ヲ誤リ易シ吃度注意スベシ

算術題解 (混合法) (43)

4. 甲乙丙丁ノ四種ノ茶アリ、其價ハ一斤ニ付甲 43 錢乙 40 錢、丙 37 錢、丁 36 錢ナリ、今此四種ノ茶ヲ混シテ一斤ニ付 39 錢ノ茶 100 斤ヲ得ント欲ス、丁幾斤ヲ要スル。カ但シ甲ト乙ト丙トハ四ト七ト三トノ如ク取ルコトトス。

(解) 甲乙丙ノ平均價ヲ求ムレバ

$$43 \times 4 = 172$$

$$40 \times 7 = 280$$

$$37 \times 3 = 111$$

$$\hline 1563$$

$$40 \frac{3}{4}$$

斯クシテ得ル茶ト丁茶トヲ混シテ一斤三十九錢ノ茶ヲ得ン爲メニ此兩種ノ茶ノ比ヲ求ムレバ

$$39 \left| \begin{array}{l} 40 \frac{3}{4} \\ 36 \end{array} \right. \left| \begin{array}{l} 3 \\ 1 \frac{3}{4} \end{array} \right. \left| \begin{array}{l} 42 \\ 17 \end{array} \right.$$

此比ニ 100 斤ヲ分チテ丁茶ノ分ヲ求ムレバ

$$100 \times \frac{17}{42+17} = 28 \frac{48}{59} \text{ 斤}$$

注意 此(4)問ノ如キハ試験ニ出易キ問題ノ一ナリ

歩合算 利息算

1. 元價五圓ノモノニ定價ヲ附シ、其定價ノ二割引ニ賣ルモ尙ホ二割ヲ利セントス、定價ヲ何程トナスベキカ

(解) 元價五圓ノ二割ヲ利セントスルニハ、

$$5 \times 1.2 = 6 \text{ 圓得ザルベカラズ、而テ之レガ定價}$$

ノ二割引ニ當ラシムルニハ定價ハ下ノ如クスベシ、

$$6 \div (1 - .2) = 7.5 \text{ 圓}$$

2. 或人甲乙丙ナル三個所ノ土地ヲ買テ其面積ノ割合ハ 11:12:17 ニシテ其一坪ノ買價ノ割合ハ

7:5:3 ナリ、此人甲ヲ賣リテ二割ノ利ヲ得、乙ヲ賣リテ七分ヲ利シ、丙ヲ賣リテ五分ヲ利シ、三人共ニ

引 381.15 圓ヲ利セリト云フ、甲乙丙ノ買價各幾ナルカ。

(解) 甲乙丙ノ買價及ビ純益ノ割合ハ

$$7 \times 11 : 5 \times 12 : 3 \times 17 : (7 \times 11 \times 0.12 + 5 \times 12 \times 0.07 + 3 \times 17 \times 0.05) \text{ 即チ } 77 : 60 : 51 : 10.89$$

$$77 : 60 : 51 : 10.89$$

$$381.15 \times \frac{77}{10.89} \text{ 圓, } 381.15 \times \frac{60}{10.89} \text{ 圓}$$

$$381.15 \times \frac{51}{10.89} \text{ 圓}$$

$$\text{即チ } 2695 \text{ 圓, } 2100 \text{ 圓, } 1765 \text{ 圓}$$

3. 整理公債証書年五分利附 7800 圓ヲ有スル人アリ之ヲ額面 100 圓ニ付市價 93 圓 50 錢ニテ悉ク賣拂ヒ其代金ヲ以テ年七分五厘利附ノ某起業債券ヲ額面 100 圓ニ付市價 110 圓 50 錢ニテ買フトキハ、六ヶ月間ノ所得ノ増減何程ナルカ。

(解) 整理公債 7800 圓ノ六ヶ月間ノ利子ハ

$$7800 \times 0.05 \times \frac{1}{2} = 195 \text{ 圓ナリ、}$$

之ヲ額面百圓ニ付 93.5 圓ニ賣リテ 110.5 圓ノ起業債券ヲ買入ルレバ其額面ハ

$$7800 \times \frac{93.5}{110.5} = 6600 \text{ 圓ナリ}$$

今又此起業債券ヨリ生ズル六ヶ月ノ利子ヲ見ルニ

$$\frac{1}{2} \times 6600 \times 0.075 = 248.625 \text{ 圓ナリ}$$

故ニ此賣買ヨリ六ヶ月ノ所得ハ

$$248.625 - 195 = 53.625 \text{ 圓ニ増スベシ}$$

4. 三分ノ口錢ト一株拾錢ノ手数料ト毎出シテ株式株 50 圓拂込ノモノヲ買入レ置キシニ六分ノ利益配當ヲ受ケシニヨリ資金ニ對シテ八分ノ利益ニ當ルト云フ、一株ノ買入相算ヲ算セヨ

(解) 六分ノ配當ガ資金ニ對シテ八分ニ當ルハ故ニ

$$50 \text{ 圓} \times \frac{0.06}{0.08} = 37.5 \text{ 圓}$$

ハ一株ニ對シテ此人ガ仕拂ヒタル金額ナリ、

(46) 算術題解 (歩合・利息)

故ニ此内ヨリ拾錢ヲ減シタル残り即チ 37.40 圓ハ賣入ノ時ノ相場ト其二分トノ和ヨリ成ル、故ニ之ヲ1.02ニテ割レバ三拾六圓六拾六錢三分ノ二ヲ得。

5. 三ヶ月後ニ金百圓、六ヶ月後ニ金二百圓、九ヶ月後ニ金三百圓ヲ支拂フ代リニ總計金六百圓ヲ支拂ハントス期日ハ何月後ナルカ。

(解) 利息ノ歩合ガ終始變動ナキモノトセバ元金百圓ガ三ヶ月間ニ生ム利息ト元金三百圓ガ三ヶ月間ニ生ム利息トハ相等シ、故ニ
三ヶ月後ニ支百圓ヲ即時ニ支三百圓ノ利息一ヶ月拂フベキ
六……………二百圓……………千圓
九……………三百圓……………千圓

故ニ此等ノ金額ノ和六百圓ヲ即時ニ支拂フト
 $309 + 1200 + 2700 = 4200$ 圓ノ利息一ヶ月分ヲ積ル
因テ此損金ヲ償フ爲メ六百圓ノ利息ガ此損金ニ等シ
迄支拂ハズニ置ケバ $4200 \div 600 = 7$ ヶ月ニ達スベシ
乃チ此時六百圓ヲ一時ニ支拂ヘバ利息ニ損金トナリ

6. 元金若干圓アリ年利二割ニテ三ヶ年ノ利息ヲ算スルニ複利ハ單利ヨリ 24 圓多シト云フ元金如何。但シ複利ノ計算ニ於テハ利息ハ一年毎ニ元金ニ繰込ムモノトス
(解) 年利二割ニシテ三ヶ年ノ單利トシテ其利子

算術題解 (歩合・利息) (47)

元金 = $0.2 \times 3 = 0.6$ ヲ乘シタルモノニ等シ。
又複利法ニ由ルトキハ其利子ハ元金 = $(1 + 0.2)^3 - 1$
= 0.728 ヲ乘シタルモノニ等シクシテ、其複利法ト單利法トノ利子ノ差ハ元金 = $0.728 - 0.6 = 0.128$ ヲ乘シタルモノニシテ之ガ24圓ニ當ルヲ以テ所要ノ元金ハ
 $24 \div 0.128 = 187.5$ 圓 即チ 百八十七圓五十錢

7. 家屋ヲ五百圓ニテ新築シ之ニ保險ヲ附シ年一分ノ保險料ヲ拂ヒ一ヶ年内ニ焼失スルモ保除料ヲモ合セテ損益ナカラシメントス。何程ノ保險ヲ所シ置クベキカ。

(解) 100 圓ノ保險ヲ附スレバ年一分ノ保險料ヲ拂フガ故ニ正味 $100 - 1 = 99$ 圓入手スルトナル。
故ニ 500 圓ヲ入手セントスルニハ
 $99 : 500 = 100 : x$
 $x = 505.1$ 圓ノ保險、即チ實際ニハ 506 圓ノ保險ヲ附スレバ可ナリ。

注意 外割内割ノ事、眞割引商業割引ノ事、茲ニ掲ガスト雖モ是等ノ事實ハ普通算術ニ審カテレバ必ズ之ヲ知ルノ必要アリ。

開方

1. 長サト幅トハ四ト三トノ比ヲ有スル面積 6348 坪ノ地面アリ、此長サ幅各幾間ナルカ

(解) 此面積ニ $\frac{1}{4}$ ナ乗ズレバ其長サハ二邊トシタル正方形ヲ得ベシ、之ニ依テ其長サハ $\sqrt{6348 \times \frac{1}{4}} = 92$ 間、從テ幅ハ $92 \times \frac{3}{4} = 69$ 間、

2. 東西兩地ヨリ同日ニ出發シタル甲乙二人ハ途中ニテ相會シテヨリ甲ハ四日ニシテ西地ニ着シ、乙ハ九日ニシテ東地ニ着セリト云フ、各全道程ニ幾ノカ日數如何

(解) 甲乙二人出發ヨリ相會スル迄ハ同日數ニシテセルヲ以テ、之ヲ x 日トスレバ、甲ハ四日ニシテ全道程ヲ乙ハ x 日ヲ要シ、又甲カ x 日數ニシタル道程ヲ乙ハ九日ニテ達シ其日數ハ正比ナルハ $4 : x = x : 9$ 、 $x^2 = 4 \times 9$ 、 $x = \sqrt{4 \times 9} = 6$ 日即チ相會スル迄ノ日數ハ六日、從テ所要ノ日數ハ甲ハ $6 + 4 = 10$ 日、及乙ハ $6 + 9 = 15$ 日ナリ

注意 開平方ノ應用問題ハ上ノ如キ二問ニ類シ、開立方ノ應用問題ハ試験ニ出スル價値ナキモノナリ、併シ此運算ハ大切ナルバ次ノ計算問題ノ部ヲ見ルベシ

小數點ノ打方

小數除法ニ於テ何人モ誤リ易キハ小數點ノ打方ナリ、依テ茲ニ之ヲ記サン

場合 1. 除數ガ整数ナルキ、商ノ末位ハ除數ノ割リ仕舞ノ末位ト位ヲ等シクス

例 1.	$456 \overline{) 7.89}$	$(.01 \text{ 厘 } 23)$	$.040 \overline{) .040}$	$(.01 \text{ 厘 } 75)$
	456		23	175
	$\underline{3.33}$			

此除數ノ割リ仕舞ノ末位ハ厘位ナル故ニ商ノ末位モ亦厘位、又毛位ナレ、冬毛位ナリ

場合 11. 除數ハ小數ナルキ、其除數ガ整数ニナル迄除數及被除數ノ小數點ヲ切り上ケ可シ

例 2.	$6.948 \div .87$	$.00064 \div .016$
	$87 \overline{) 694.8}$	$16 \overline{) .64}$
	609	64
	$\underline{858}$	
	783	
	$\underline{75}$	

除數ニ小數位ガアル丈ケ兩數ノ小數點ヲ切り下ゲテ、除數ヲ整数トシテ扱フベシ、然ルキハ例 1 ト等シク被數ノ末位ト商ノ末位ト其位ヲ同シクス

計算問題

1. 次ノ式ノ値ヲ小數第七位マテ算出セヨ.

$$\frac{1}{3} - \frac{1}{3 \times 22} + \frac{1}{3 \times 22 \times 118}$$

(解) 與ヘラレタル分數ノ兩項ニ $3 \times 22 \times 118$ ヲ

$$\text{乘ズレバ } \frac{3 \times 22 \times 118}{22 \times 118 - 118 + 1} = \frac{7788}{2479}$$

此商ヲ小數第七位マテ求メントスルニハ、通例ノ除法ヲ用フ (省略除法ノ必要ナシ) 即チ

$$\begin{array}{r} 7798 \overline{)2479} \\ 7437 \underline{)3.1415893} \\ 3510 \\ 2479 \\ \hline 10310 \\ 9916 \\ \hline 3940 \\ 2479 \\ \hline 14610 \\ 12295 \\ \hline 22159 \\ 19832 \\ \hline 23180 \\ 22311 \\ \hline 8690 \\ 7437 \\ \hline 1253 \end{array}$$

答 3.1415893 強

2 圓周率 3.14159 ヲ $\frac{22}{7}$ トシテ算スレバ

半徑 120 尺ノ圓周ニ於ケル誤差幾寸ナルカ.

$$(解) 3.14159 = \pi_1, \quad \frac{22}{7} = \pi_2, \quad 120 = r$$

トスレバ幾何學ノ證明スルコトニ依リテ、圓周率ノ是等ノ値ニ對スル圓周ノ略近ノ値ハ夫々

$$2\pi_1 r, \quad 2\pi_2 r \quad \text{ナリ.} \quad \text{故ニ是等二ツノ間ノ誤差ヲ表スニ } \varepsilon \quad \text{ヲ以テスレバ}$$

$$\varepsilon = 2\pi_2 r - 2\pi_1 r = 2r(\pi_2 - \pi_1) = 2 \times 120 \times (\frac{22}{7} - 3.14159)$$

$$\text{サテ } 3.14286 > \frac{22}{7} > 3.14285$$

$$\therefore \varepsilon < 240 \times (3.14286 - 3.14159)$$

$$\text{即チ } \varepsilon < 240 \times 0.00127 = 0.3048$$

$$\text{又 } \varepsilon > 240 \times (3.14285 - 3.14159) = 0.3024$$

故ニ 誤差ハ 0.30 寸ナリ.

$$3 \cdot 458.9276 \quad \text{トノ積ヲ } 0.0427 \quad \text{ト}$$

0.5839 トノ積ヲ割リテ商ヲ百ノ位マテ算出セヨ.

(解) 先ツ第一ノ積ノ整數部分ハ五位ニシテ其首位ノ數字ハ 3, 又第二ノ積ハ小數八位ニシテ厘位ヨリ始マリ其數字ハ 2 ナルヲ知ル, 故ニ求ムル商ノ整數部分ニアル數字ノ數ハ七ナリ, サテ求ムル商ハ百位マテ計算セントスルニアルヲ以テ此除法ノ結果ハ第一ノ積ヲ第二ノ積ニテ割リタル商ヲ五位ダケ求ムルトニ歸ス, 而シテコノ除法ニ於テ除數ハ 2 ヲ以テ始マルガ故ニ省略除法ヲ行フニ際シ除數中ニ要スル數字ノ數ハ求ムル商ノ位ノ數五ノ九倍(之レハ畧算ノ法ナリ) 45 ヲヨリ大ナル數(即チ除數中ニ於ケル最初ノ三位)

(52) 算術題解(計算)

ト、此スグ次ニ 5-1 即チ四個丈ケノ數字ヲ書キ並
ベタルモノナルガ故ニ、ツマリ該除數ニ要スル數字ノ
數ハ七個ナリ。

前ニ述ベタル如ク被除數ノ首位ノ數字ハ 3、除數ニ於
テハ 2 ナルヲ以テ、求ムル商ハ第一ノ積ヲ七位丈ケ
計算シテ後省略除法ニ依テ計算スベシ

而シテ 458.9276 × 67.58423 ナ首メヨリ七位丈ケ
計算スルニハ上ノ積ニ於テ「コムマ」以下二桁丈ケ計算
スレバヨシ。

458.9276	0.5839	3101627	× × × ×
32485.76	0.0427	2493253	2468253
275356560	40873	608874	12440
32124932	116782	498650	
2294635	23356	109724	
367136	0.02493253	99728	
18356		9996	
916		9972	
135			
310162670		22	答12440(百)

4. 次式ノ値ヲ小數三位マテ求メ以下四捨五入スベシ
 $\sqrt{5} \approx 72.86$.

(解) 與ヘラレタ式ヲ小數以下三位マテ求メ以下
四捨五入セントスレバ、ツマリ小數點以下四位マテ正
シク求メザル可カラザルトナル、然シテ $\sqrt{5} \approx 72.86$ ノ
首位ハ厘位ナルヲ以テ、其平方根ヲ小數點以下四位迄
正シク求ムルニハ此除商ヲ小數點以下六位迄求ムベシ

算術題解(計算) (53)

即チ五桁ノ除法ヲナサザル可カラズ 因テ

7286)5000000(0.068624	68624 .2619
43716	46 4
62840	286
58288	521 276
45520	1024
43716	521
1804	503
1457	469
347	34
291	
56	

5. 547.306 ト 0.3492 トノ比例中數ヲ求ム、但シ
小數五位マテ計算スベシ。

(解) 所要ノ比例中數ハ $\sqrt{547.306 \times 0.3492}$

ナリ、因テ之ヨリ計算スレバ、視察ニ由テ根號内ノ積
ハ百六十餘個トナルヲ以テ、其平方根ハ一十餘個トナ
ルベシ、茲ニハ小數點以下五位迄求ムベキヲ以テ七桁
ノ平方根ヲ求メザル可カラズ、然ルニ之ヲ略算セント
スルニ平方根ノ首位ハ一十ナルヲ以テ之ヲ所要ノ位
マテ正シク計算セントスルニハ、平方根ヲ五桁マテ正
シク計算シ、然ル後略法ヲ施スヲ得、斯ク平方根ヲ
五桁迄正シク計算スルニハ積ヲ小數點六位迄求メザ
ルヲ得ザルヲ以テ、從テ其積ヲ求ムルニ略算ヲ用フル
トハ不必要トナル、因テ先ツ此根號内ノ積ヲ普通ニ求
ムレバ 191.1192552 ヲ得、之ヲ平方ニ開キ商 13.824
マテ普通ニ計算シ然ルニ其已ニ得タル立商ノ 2 倍

(54) 算術題解 (計算)

17648 ナ以テ其時ノ殘餘 16279 ナ略除スレバ次ノ
二桁ノ數 58 ナ得ベシ、答 13.82458+

6 $\frac{227}{23}$ ノ平方根ト $\frac{355}{113}$ トノ差ヲ小數第七位マテ求
メヨ。

(解) $\sqrt{\frac{227}{23}} = \sqrt{\frac{227 \times 23}{23^2}} = \frac{\sqrt{5221}}{23}$

分子ノ値ヲ小數第八位マテ省畧算法ニテ計算シ之ヲ分
母ニテ除スレバ分數ノ値ヲ小數第八位マテ計算シ得ベ
ク、從テ小數第七位マテ正シク計算スルコトヲ得ベシ
依テ次ノ如ク計算ヲ行フ

	52.21 72.2564		
	49	1265004	1445128
142	321	1156096	8759
	284	109808	
1442	3700	101157	
	2884	8651	
14445	81600	7225	
	72225	1476	
144596	897500	1296	
	637036	130	
1445124	7046400		
	5780496		
	1265004		

$72.25648759 \div 23 = 3.14158641$

他ノ分數ノ値ハ通常ノ割算ヲ用テ 3.14159292 ナ得、
因テ此兩數ノ差ハ次ノ如シ(小數第七位マテ正シク)
0.0000065

注意 省畧開平方ニ於テ割算ニ移ル時ニ於テ次ノ數字ガ

算術題解 (計算) (55)

零ナラザルヤ否ヤヲ注目スベシ。

7. 237184705.472 ノ立方根ヲ小數第三位迄算出セヨ

(解) 小數第三位迄算出スルニハ數字ノ數六ツヲ
要ス、因テ首位ヨリ四(六桁ノ過半數)ツダケハ普通ノ
開立方ニヨリ殘レル二ツハ割算ニヨリ求ムルヲ得、其
運算ハ次ニ示スガ如シ、

181	108	237 184 705.472 619.0
	181	216
	10981	21184
	1	10981
1839	11163	10203705
	16551	10195659
18570	1132871) 8 46472 (07
	83	8046381
	1149483	111
	答	619.007

8. 地球赤道ニ於ケル周圍ハ 40070368「メートル」ナ
リ、今其二万一千六百分ノ一ヲ一海里トスルハ一海里
ハ何町何間何尺トナルカ。

(解) 一海里 = $\frac{40070368}{21600}$ 米 = $\frac{40070368 \times 3.3}{21600}$ 尺
= 6121.8617 = 17町0間2.8617尺

9. 三里五町九間四尺五寸ハ幾「メートル」ニ當ルカ。

(解) 3里 5町 9間 4.5尺 = 46738.5尺、
一「メートル」ハ 3.3尺ナルヲ以テ
 $46738.5 \div 3.3 = 12845$ 米

(56) 算術題解(計算)

10. 「メートル」ノ幾倍カ三尺ノ3.1416倍ニ等シキカ

(解) 本問ハ 3×3.1416 尺ハ何「メートル」ニ當ル
カヲ計算スルコトニ歸ス故ニ

$$3 \times 3.1416 \text{ 尺} = \frac{3 \times 3.1416}{3^3} \text{ 米} = 2.856 \text{ 米}$$

11. 地球カ太陽ヲ一周スル時間ハ 365日 5時 48分
50秒ナリ、之ヲ日ノ小數四位マテ求メヨ。

(解) 日ヨリ小ナルモノヲ秒ニ換算スレバ 2093
秒トナル、而シテ一日ハ 86400 秒ナルカ故ニ是ニテ前
ノモノヲ割レバ 0.2422 ヲ得、

因テ求ムル時間ハ 365.2422 日ナリトス。

12. 十二石九斗七升六合バ幾「リットル」ニ當ルカ、但
シ一升枘ノ内法ハ底ノ各邊四寸九分深サ二寸七分ナリ

(解) 一升ハ $49^2 \times 27$ 立方分ナルカ故ニ與ヘラレ
タル容積ハ $49^2 \times 27 \times 1297.6$ 立方分ナリ、然レニ「リ
ットル」ハ「デシメートル」立方即チ 33 分立方ニシテ
 33^3 立方分ニ當ル因テ求ムル容積ハ $49^2 \times 27 \times 1297.6$
 $\div 33^3 = 2341$ 弱ナルヲ以テ二千三百四十一「リットル」
弱ナリ。

13. 五万坪ノ地面ヲ縮尺千分ノ一ノ地圖ニ表ハサバ
幾寸平方ニ等シクナルカ、但シ小點二位迄求ムベシ。

(解) 縮尺千分ノ一ナルキ面積ハ $\frac{1}{1000^2} = \frac{1}{1000000}$
トナル、故ニ $50000 \text{ 坪} = (10 \times 6)^2 \times 50000 \text{ 平方寸}$
即チ 18000000 平方寸ハ 180 平方寸トナル。

算術題解(計算) (57)

因テ $\sqrt{180} = 13.42$ ニシテ 即チ 13.42寸平方ニ等シ。

14. 二個ノ圓アリ、其面積甲ハ 150 平方寸、乙ハ 120
平方寸ナリ、大圓ノ直徑ハ小圓ノ直徑ノ幾倍ニ當ルカ、小
數點以下四位マテ求メヨ。

(解) 圓ノ面積ハ直徑ノ平方ニ比例スルヲ以テ圓
ノ直徑ハ面積ノ平方根ニ比例スルヲ知ル。
因テ求ムル所ノ比ハ

$$\sqrt{\frac{150}{120}} = \sqrt{\frac{5}{4}} = \frac{\sqrt{5}}{2} = 1.1180 \text{ 強}$$

15. $.836 \times .185$ ノ積ヲ小數點以下五位迄求メヨ。

(解)

$$.836 \times .185 = \frac{836-8}{990} \times \frac{185}{990} = \frac{828}{990} \times \frac{185}{990} = \frac{46}{2673}$$

$$\begin{array}{r} 2673 \overline{) 46.00} \quad .01720 \\ \underline{2673} \\ 19270 \\ \underline{18711} \\ 5590 \\ \underline{5346} \\ 244 \end{array}$$

答 .01720+

$$17. \frac{1}{1 \times 2} + \frac{1}{3 \times 4} + \frac{1}{5 \times 6} + \frac{1}{7 \times 8} + \frac{1}{9 \times 10} + \frac{1}{11 \times 12}$$

$+ \frac{1}{13 \times 14} + \frac{1}{15 \times 16}$ ナ小數點以下六位迄求メヨ。

(解) 此分數ヲ簡單ニスレバ,

此分數 = $\frac{111111}{166666} = 0.662871 \dots$

答 0.662871+

附言 此分數ハ簡單ニナシ易キ故ニ上ノ如クシタレ
ル、若シ之ヲ集メテ單分數トナスニ手數ナルルハ、直ニ
下ノ如ク割リテモ宜シ、(但シ其分數ガ九項マテハ望ム
位ヨリ一桁多ク取り十項以上九十九項マテハ二桁多ク取
リテ計算シ、其末位ヲ何ニ係ラズ切り去ルベシ) 茲ニハ
八項ナル故一位多ク取り七桁マテ計算シテ、

$\frac{1}{1 \times 2} = 0.5$

$\frac{1}{3 \times 4} = 0.0833333$

$\frac{1}{5 \times 6} = 0.0333333$

$\frac{1}{7 \times 8} = 0.0178571$

$\frac{1}{9 \times 10} = 0.0111111$

$\frac{1}{11 \times 12} = 0.0075757$

$\frac{1}{13 \times 14} = 0.0054945$

$\frac{1}{15 \times 16} = 0.0041666$

答 0.662871+

斯ク略算シテ切り上ルルハ其略値ハ過大ナルカ過少
ナルカ即チ強弱明カナラザルヲ以テ生ラズ

代數試験ノ受方

10. 代數ハ其條項極メテ多ク一時ニ速成習得スベキ
學問ニアラズ、平生ヨリ練習ニ心掛ケ、定理公式ヲ暗記ス
ルハ勿論ニシテ其上ニ善ク其理屈ヲ呑ミ込マザルベカラ
ズ、其力ヲ養フニ尤モ大切ナルハ先ヅ因子分解ト方程式
トノ解法ナリ。然シテ受験ニモ平生ニモ最も多ク必要
ナルハ二次方程式ナリ。今若シ中學卒業程度ニ於テ代
數ノ試験問題ガ五問出ルトスレバ其一問ハ必ズ方程式ノ
解法、一問ハ二次方程式ノ性質、一問ハ對數カ級數カ類錯
列カ二項式カノ中ヨリ出テ其他ノ二問ハ分數、指數、殘餘
定理、公約數、因子分解等初部ノ内ナルベシ。

11. 二三週間前ヨリノ受験ノ豫備 トシテハ
次ノ如クスベシ。

既ニ學ビ得タル教科書ニ就テ、其注意スベキ條項ヲ
指摘シ、之ニ紙ヲ貼ルカ、或ハ朱線ヲ引キテ目標ヲ作ルベ
シ; 然ル後其注意スベキ條項件々ヲ毎日必ズ一回通覽ス
ベシ; 通覽ノ仕方ハ、初日ニ其書ノ初メヨリ其件々ヲ通覽
セント務ムベシ、斯クスレバ漸クニ精魂疲レテ其四五分
ノ一モ見透スル六ヶ數シカラズ、然ル後ハソレニテ休ミ、
翌日又必ズ最初ヨリ其始ムベシ是レ復習通覽法ノ秘訣ナ
リ、此日モ亦通覽シ得ザレバソレニテ休ミ、其翌日又必ズ
最初ヨリ其始ムベシ、斯ノ如クセバ遂ニ學ビ得タル所マ

(60) 代 数 試 験 ノ 受 方

・通覽シ得ルノ日アルベシ。其翌日ヨリハ毎日一回之ヲ通覽スルヲ忘ルベカラズ、初メハ此通覽一回ニ一二時間ヲ費スベキモ一週間之ヲ繼續スレバ十五分時位ニテ通覽シ得ル様ニナリ、決シテ他科ノ豫備ヲ妨ケルモノニアラス。此法ニ依リ全部通覽スレバ代数ノ事、總テ暗記暗誦セラレテ其達者ナルヲ身自ラ驚カニ至ルベシ試験ノ結果想像スルニ難カラズ。

又取り分ク注意シ置クハ試験前一週間ニ迫リテ六ヶ敷問題ヲ解キ、又ハ新書ヲ多ク見シテ欲スルガ如ク可ラズ、トテモ其間際ニナリテ博覽強記モ不可能ノコトナレバナリ；然レモ自分ノ已ニ習ヒ得ルモノヲ再三復習スルハ肝要ノコトナリ、其間際ニハ博覽強記ノ損ナルガ如キモ、其ハ多慾ナリ、既習ノ所ヲ繰り返シテ試験題五問ノ内ノ三問ハ立ロニ解答シ得ルコトヲ、残ル二問ノ内ノ何レカ一問ニ必死ノ力ヲ盡シテ解答シ、意クハ其間一問ヲ得シ、斯クシテ僅クニ五分ノ點ニ達スルノミナラズ寧ロ僅等ノ得點ヲ得ルコトヲ望ムラズヤ。

12. 代数ノ題解モ記憶スベキモノナルベシ。其緊要ナル公式、定理、題解ヲ撰ク。

必ズ暗記スベキ

乗除法公式

- I.
$$\begin{cases} (a \pm b)^2 = a^2 \pm 2ab + b^2, \\ (a+b)(a-b) = a^2 - b^2. \end{cases}$$
- II.
$$\begin{cases} (x+a)(x+b) = x^2 + (a+b)x + ab, \\ (ax+b)(px+q) = apx^2 + (aq+bp)x + bq. \end{cases}$$
- III.
$$\begin{aligned} (a \pm b)^3 &= a^3 \pm 3a^2b + 3ab^2 \pm b^3 \\ &= a^3 \pm b^3 \pm 3ab(a \pm b). \end{aligned}$$
- IV.
$$\begin{cases} (a+b)(a^2-ab+b^2) = a^3+b^3, \\ (a-b)(a^2+ab+b^2) = a^3-b^3. \end{cases}$$
- V.
$$(a+b+c)(a^2+b^2+c^2-bc-ca-ab) = a^3+b^3+c^3-3abc.$$
- VI.
$$(a^2-ab+b^2)(a^2+ab+b^2) = a^4+a^2b^2+b^4.$$
- VII.
$$(a \pm b)^4 = a^4 \pm 4a^3b + 6a^2b^2 \pm 4ab^3 + b^4$$

$$\begin{aligned} \text{VIII. } \frac{a^n - b^n}{a - b} &= a^{n-1} + a^{n-2}b + a^{n-3}b^2 + \dots + b^{n-1} \\ \frac{a^n - b^n}{a + b} &= a^{n-1} - a^{n-2}b + a^{n-3}b^2 - \dots - b^{n-1} \\ \frac{a^n + b^n}{a + b} &= a^{n-1} - a^{n-2}b + a^{n-3}b^2 - \dots + b^{n-1} \end{aligned}$$

代數ノ原則

$$\begin{aligned}
 &+(+a)=+a, & -(+a)=-a, \\
 &+(-a)=-a, & -(-a)=+a. \\
 &+(a-b)\doteq+a-b, \\
 &-(a-b)=-a+b.
 \end{aligned}$$

$$\left[\begin{array}{l} +\infty \dots \dots +2 \dots +1 \dots \pm 0 \dots -1 \dots -2 \dots -\infty \\ \text{即チ } a-b > = < 0 \text{ 従テ } a > = < b \text{ ナリ.} \end{array} \right.$$

$$\begin{aligned}
 \circ & \times (\times a) = \times a, & \circ & + (\times a) = \times a, \\
 \circ & \times (\div a) = \div a, & \circ & \div (\div a) = \times a. \\
 & \times (a \div b) = \times a \div b, \\
 & \div (a \div b) = \div a \times b.
 \end{aligned}$$

$$\left\{ \begin{array}{l} (+a)(+b) = +ab, & (-a)(+b) = -ab, \\ (+a)(-b) = -ab, & (-a)(-b) = +ab, \\ \pm a \pm b \pm c = \pm a \pm c \pm b = \pm c \pm b \pm a = \dots \end{array} \right.$$

$$\left\{ \begin{array}{l} a \times b = b \times a \quad (\text{互換原則}) \\ a \times b \times c = a \times (b \times c) \quad (\text{結合原則}) \\ (a \pm b) \times c = ac \pm bc \quad (\text{配分原則}) \end{array} \right.$$

$$\left\{ \begin{array}{l} a^m \times a^n = a^{m+n} \quad (\text{指數ノ原則}) \\ a^m \div a^n = a^{m-n} \\ a^m \times a^n = a^{mn} \\ (ab)^n = a^n b^n \end{array} \right.$$

殘餘定理

爰ニ x ニ關スルーツノ多項式アリトシ、之ヲ x ニ就テ一次ノ式ニテ割ルルハ其殘餘トシテ x ナ含マザル式ヲ得ベシ、此殘餘ヲ除法ヲ施サズトモ直チニ求メ得ベシ

今例トシテ極メテ平易ナル式ヲ採ルモ、ソノ証明ノ方法ハ一般ニ通用セラルベキモノナリ。

$$8x^3 + 4x^2 + 5x + 3$$

チ $x-a$ ニテ割ルニ方リ、其商ハ之ヲ一次ノ式ニ乗シテ三次ノ式ヲ得ベキモノナレバ必ズ二次ノ式ナルベクテ $Ax^2 + Bx + C$ ナル形ヲ有スベシ、

茲ニ A, B, C ハ未定數ノ係數ナリトス。若シ殘餘アルルハ其殘餘ハ x ナ含マザルベク、之ヲ R ニテ表ハス、然ルトキハ割算ノ定理ニヨリ

$$8x^3 + 4x^2 + 5x + 3 \equiv (x-a)(Ax^2 + Bx + C) + R,$$

茲ニ A, B, C 及ヒ R ハ此式ノ右邊ヲ實際ニ掛テ合ハセ兩邊ニ於テ同類項ノ係數ヲ互ニ相等シト置キテ求メ得ベキモノナリ、然レモ此式ハ恒同式即チ x ニ如何ナル値ヲ以テスルモ兩邊恒ニ全ク相等シキ値ヲ有スベキ式ナルヲ知ルル故ニ、今 x ニ換フルニ a ナ以テセバ前式ハ

$$8a^3 + 4a^2 + 5a + 3 \equiv (a-a)(Aa^2 + Ba + C) + R$$

此右邊ノ第一因子ハ零トナル故ニ從テ殘餘ヲ得ル

(64) 算術題解(殘餘定理)

次=右邊ノ第二項 R ハ已ニ言ヒタル如ク x ヲ含マザル
ガ故ニ a 等シト置キタリトテ變ズモノニアラ
ズ、故ニ

$$8a^3 + 4a^2 + 5a + 3 = R$$

之ニ因テ考フレバ R ハ始テ多項式ニ於テ x ノ
代リニ a ヲ置キ代フルコトニ依テ得ラルベシ。

若シ又前ノ式ヲ x+a ニテ除スルハ次ノ恒同式
ヲ得

$$8x^3 + 4x^2 + 5x + 3 = (x+a)(A'x^2 + B'x + C') + R'$$

今 x ノ代リニ -a ヲ置キ代フルハ

$$-8a^3 + 4a^2 - 5a + 3 = R'$$

之ニ依テ次ノ法則ヲ得

x ニ就キテノ多項式ヲ x ノ一次式ニテ除シテ其殘
餘ハ除式ヲ零トナスベキ x ノ値ヲ元ノ多項式中ニ置キ
代フレバ可ナリ

又特別ノ場合トシテ若シ殘餘ガ零ナルハ被除式ハ
多項式ハ除式ニテ整除セラルベキヲ示ス。

Ex. $x^2 + ax + 3$ ヲ $x-1$ ニテ割リ切ラフ

a ノ値ヲ幾何ニ定ムベキカ。

(解) $x^2 + ax + 3$ ガ $x-1$ ニテ割リ盡シ得ルニ

ハ此式ニ於ケル x ノ代リニ 1 ヲ置キタル時其數値
 $1+a+3$ ガ零ナルヲ要ス、因テ求ムル a ノ値ハ

代數題解(殘餘定理) (65)

2. $2x^3 + mx^2 + nx + 2$ ガ $x-2$ 及ビ $x-1$ ニテ割リ切
ルノ様ニ m, n ノ値ヲ定メヨ。

(解) $x-2$ ニテ除シ盡シ得ル爲ニハ其式ニ於テ
 $x-2=0$ 即 $x=2$ ト置キタル結果ガ零ナルコトヲ要
ス、故ニ $2x^3 + mx^2 + nx + 2$ ガ $x-2$ ニテ割リ切ル
ルニハ

$$2 \times 2^3 + m \times 2^2 + n \times 2 + 2 = 0$$

即チ $2m + n + 9 = 0 \dots\dots(1)$ ナラザル可カラズ

同理ニテ此式ガ $x-1$ ニテ割リ切ルルニハ

$$m + n + 4 = 0 \dots\dots(2)$$

(1) 及ビ (2) ヨリ $m = -5, n = 1$ ヲ得。

3. $ax^2 + bx + c$ ガ $x=\alpha$ 及ビ $x=\beta$ ナル并

各消滅スルハ 此式ニ $a(x-\alpha)(x-\beta)$ トナル。

(解) 題言ニ依レバ此式ノ x ヲ a トシタル時
 $ax^2 + bx + c = 0$ ナリト云ヘバ、此式ハ $x-\alpha$
ニテ除シ得ベシ。 同理ニテ此式ハ $x-\beta$ ニテモ除シ
得ベシ。 依テ此式ハ $(x-\alpha)(x-\beta)$ ニテ除シ得ベ
ク、之ヲ除シタル商ハ a ヲ得ベキニ依リ、

$$ax^2 + bx + c \equiv a(x-\alpha)(x-\beta)$$

注意 此關係ハ二次三項式ノ性質トシテ甚ダ要用ナリ、
隨テ二次方程式ノ性質ニモ甚ダ必要ナリ、忘ルルコト勿レ

因子分解

注意一 因子分解ヲナスニハ乗除法ノ公式(第61頁ニ掲グ)ヲ最モ善ク記憶セザルベカラズ、但シ試験ニ於テハ殊ニ除法公式 VIII ヲ運用スルヲ要ス。然レトモ因子分解ハ平生ニ練熟スベキモノニシテ急務古ク得ベキモノニアラズ、故ニ茲ニ數多ノ例ヲ掲グルモ益ナケレバ單ニ忘レ易キ數例ヲ示スニ止ム。(詳クハ因子分解活法ヲ見ヨ)

1. $x^4 + 4$ ナ因子ニ分カテ

(解) 此式ニ $4x^2$ ヲ加ヘ又減スレバ

$$\begin{aligned} x^4 + 4 &\equiv (x^4 + 4x^2 + 4) - 4x^2 \\ &\equiv (x^2 + 2)^2 - (2x)^2 \\ &\equiv (x^2 + 2 + 2x)(x^2 + 2 - 2x) \\ &\equiv (x^2 + 2x + 2)(x^2 - 2x + 2) \end{aligned}$$

2. $x^6 - 1$ ナ因子ニ分解セヨ

(解) $x^6 - 1 \equiv (x^2 + 1)(x^4 - 1)$
 $\equiv (x + 1)(x - 1)(x^2 + 1)(x^2 + 1)$

附言 $x^6 - 1 \equiv (x^2)^3 - 1$
 $\equiv (x^2 - 1)(x^4 + x^2 + 1)$
 $\equiv (x + 1)(x - 1)(x^2 + x + 1)(x^2 - x + 1)$
 ハ面白カラズ

3. $x^3 + x^2 + x - 3$ ナ因子ニ分解セヨ

(解) $x^3 + x^2 + x - 3 \equiv (x^3 - 1) + (x^2 - 1) + (x - 1)$
 $\equiv (x - 1)\{(x^2 + x + 1) + (x + 1) + 1\}$
 $\equiv (x - 1)(x^2 + 2x + 3)$

4. $(x+1)(x+2)(x+3)(x+4) + 1$

ハ完全平方數ナルヲ証セヨ

(解) 此式 $\equiv (x+1)(x+4)(x+2)(x+3) + 1$
 $\equiv (x^2 + 5x + 4)(x^2 + 5x + 6) + 1$
 $x^2 + 5x \equiv y$ トスレバ
 $\equiv (y + 4)(y + 6) + 1$
 $\equiv y^2 + 10y + 25$ 即チ $(y + 5)^2$
 $\equiv (x^2 + 5x + 5)^2$

5. $(a+b+c)^3 - a^3 - b^3 - c^3$ ナ因子ニ分解セヨ

(解) $(a+b+c)^3 \equiv a^3 + b^3 + c^3 + 3(b+c)(c+a)(a+b)$
 ナルニ依リ、之ヲ用フレバ
 此式 $\equiv a^3 + b^3 + c^3 + 3(b+c)(c+a)(a+b) - a^3 - b^3 - c^3$
 $\equiv 3(b+c)(c+a)(a+b)$

6. $(a+b+c)^5 - a^5 - b^5 - c^5$
 $\equiv a^5 + b^5 + c^5 + 5(a+b)(b+c)(c+a)(a^2 + ab + b^2)$
 $- a^5 - b^5 - c^5 \equiv 5(a+b)(b+c)(c+a)(a^2 + ab + b^2)$

(68) 代 數 題 解 (因 子 分 解)

7. $(ax+by+cz)^3 + (cx-by+az)^3 \div (a+c)(x+z)$ 〃
ニテ除シ得ベキコトヲ証セ.

(解) 此式 $\equiv \{(ax+by+cz) + (cx-by+az)\} \times (\text{整式})$
 $\equiv (ax+cx+az+cz) \times (\text{整式})$
 $\equiv (a+c)(x+z) (\text{整式})$

故ニ此式ハ $(a+c)(x+z)$ ニテ除シ得.

8. n が正整数ナルハ $7^{2n}-1$ ハ 48 ニテ除シ得ベキコトヲ証セヨ.

(解) $7^{2n}-1 = (7^2)^n - 1 = 49^n - 1$
 $= (49-1)(49^{n-1} + 49^{n-2} + \dots + 1)$
 $= 48 \times \text{整数}$

即チ本数ハ 48 ノ倍数ナルヲ明カナリ.

9. $a^3(b-c) + b^3(c-a) + c^3(a-b)$ 〃 因子ニ分解ス.

(解) 此式ニ於テ $b=c$ トスレバ,

此式 $a^3(c-c) + c^3(c-a) + c^3(a-b) = 0$

故ニ此式ハ $b-c$ ニテ除シ得. 同理ニテ此式ハ

$b-a, a-b$ ニテモ除シ得.

今此式ヲ見ルニ a, b, c 2 変代式ナルヲ以テ

$(b-c)(c-a)(a-b)$ ナル因子ヲ得タルハ一次ノ整式

$a+b+c$ ナル因子アルベクシテ,

此式 $\equiv N(b-c)(c-a)(a-b)(a+b+c)$

代 數 題 解 (因 子 分 解) (69)

茲ニ N ハ 數係數ナリ. 今此恒同式ヨリ N ヲ
求ムル爲メ, 兩邊ヨリ a^3b ノ係數ヲ比ブれば,

$N = -1$ ヲ得, 依テ此式ハ下ノ如クナル,

$-(b-c)(c-a)(a-b)(a+b+c).$

注意 此 (9) 題ノ如キヲナスハ試験場ニテハ甚
ダ手数ナレバ, 問題ガ因子分解ナラザル限リハ可成ハ此
結果ヲ諸記スルヲ要ス, 次ニ其決果ヲ掲ゲ置キタレバ
之ヲ暗記スベシ. 此公式ハ分數ニ特效アリ.

公 式

$(b-c) + (c-a) + (a-b) \equiv 0.$

$a(b-c) + b(c-a) + c(a-b) \equiv 0.$

$a^2(b-c) + b^2(c-a) + c^2(a-b) \equiv ab(a-b) + bc(b-c) + ca(c-a), \equiv -(b-c)(c-a)(a-b).$

$a^3(b-c) + b^3(c-a) + c^3(a-b)$

$\equiv -(b-c)(c-a)(a-b)(a+b+c).$

$a^4(b-c) + b^4(c-a) + c^4(a-b)$

$\equiv -(b-c)(c-a)(a-b)(a^2+b^2+c^2+bc+ca+ab).$

10. $(x+a)(b-c) + (x+b)(c-a) + (x+c)(a-b)$ 〃 全上.

(解) $(x+a)(b-c) \equiv (b-c)x^2 + 2a(b-c)x$

$+ a^2(b-c) \quad \text{ナレバ,}$

此式 $\equiv \{(b-c) + (c-a) + (a-b)\} x^2$

$+ 2\{a(b-c) + b(c-a) + c(a-b)\} x + a^2(b-c) + b^2(c-a)$

$+ c^2(a-b) \equiv -(b-c)(c-a)(a-b).$

(70)

分 數

次式ヲ簡單ニセヨ

$$1 \quad (yz+zx+xy)\left(\frac{1}{x}+\frac{1}{y}+\frac{1}{z}\right)-xyz\left(\frac{1}{x^2}+\frac{1}{y^2}+\frac{1}{z^2}\right)$$

(解) 與ヘラレタル式

$$= \frac{yz}{x} + \frac{zx}{y} + \frac{xy}{z} + 2(x+y+z) - \left(\frac{yz^2}{x} + \frac{zx^2}{y} + \frac{xy^2}{z}\right)$$

$$= 2(x+y+z)$$

$$2 \quad \frac{1}{1+x} + \frac{1}{1-x} + \frac{2}{1+x^2} - \frac{4}{1+x^4} + \frac{8x^4}{1+x^8}$$

(解) 初ノ二項ヲ加フニ

$$\therefore \text{初ノ三項ノ和} = \frac{2}{1-x^2} + \frac{2}{1+x^2} = \frac{4}{1-x^4}$$

$$\therefore \text{初ノ四項ノ和} = \frac{4}{1-x^4} - \frac{4}{1+x^4} = \frac{8x^4}{1-x^8}$$

$$\therefore \text{全式ノ和} = \frac{8x^4}{1-x^8} + \frac{8x^4}{1+x^8} = \frac{16x^4}{1-x^{16}}$$

$$3 \quad \frac{a^2}{(a-b)(a-c)(x+a)} + \frac{b^2}{(b-c)(b-a)(x+b)} + \frac{c^2}{(c-a)(c-b)(x+c)}$$

(解) 此分數ニ

$$= \frac{a^2(b-c)(x+b)(x+c) - b^2(c-a)(x+c)(x+a) + c^2(a-b)(x+a)(x+b)}{(a-b)(b-c)(c-a)(x+a)(x+b)(x+c)}$$

$$\text{而シテ } -a^2(b-c)(x+b)(x+c) - b^2(c-a)(x+c)(x+a) - c^2(a-b)(x+a)(x+b)$$

$$\equiv -a^2(b-c)x^2 + a^2(b^2-c^2)x - a^2bc(b-c)$$

ナルヲ以テ

$$\text{此分數ノ分子} \equiv -\{a^2(b-c) + b^2(c-a) + c^2(a-b)\}x^2$$

$$+ \{a^2(b^2-c^2) + b^2(c^2-a^2) + c^2(a^2-b^2)\}x$$

$$- abc\{a(b-c) + b(c-a) + c(a-b)\}$$

$$\equiv (a-b)(b-c)(c-a)x^2 \quad (\text{頁69ヲ見ル})$$

$$\text{故ニ 此分數} \equiv \frac{(a-b)(b-c)(c-a)x^2}{(a-b)(b-c)(c-a)(x+a)(x+b)(x+c)}$$

$$\equiv \frac{x^2}{(x+a)(x+b)(x+c)}$$

$$4 \quad \frac{1}{(a-b)(b-c)(c-a)} + \frac{1}{(b-c)(c-a)(a-b)} + \frac{1}{(c-a)(a-b)(b-c)}$$

(解) 與ヘラレタル三ツノ分數ヲ通分スルニ公分

母ヲ $(b-c)(c-a)(a-b)(x-a)(x-b)(x-c)$ トスレ

バ其分子ノ和ハ次ノ如シ

$$-(b-c)(x-b)(x-c) - (c-a)(x-c)(x-a) - (a-b)(x-a)(x-b)$$

此式ハ a, b, c ノ内ニツヲ相等シトスレバ零トナ

ル。因テ $(b-c)(c-a)(a-b)$ ナル因子ヲ有ス

而シテ此代數式ハ此因子ト共ニ a, b, c ニ關ス

ル三次式ナルガ故ニ分子ヲ $L(b-c)(c-a)(a-b)$

ニ等シトスレバ L ハ a, b, c ヲ含マザルヲ

以テ此 L ヲ決定スル爲ニ a, b ノ數價ヲ比較スレ

バ L=1. ナルヲ知ル; 因テ與ヘラレタル分數ハ約シタル後次ノ如クナルベシ

$$\frac{1}{(x-a)(x-b)(x-c)}$$

附言 上ニ記シタルガ世間並ノ解ナレモ、之ニテハ大變ナリ、矢張り頁 69 ノ公式ニ依テ下ノ如ク爲ス方宜シ、

$$\begin{aligned} \text{此分子} &\equiv -\{(b-c)+(c-a)+(a-b)\}x^2 \\ &+ \{b^2-c^2\} + \{c^2-a^2\} + \{a^2-b^2\} \\ &- bc(b-c) - ca(c-a) - ab(a-b) \\ &\equiv (b-c)(c-a)(a-b) \end{aligned}$$

$$5 \quad \frac{bc(x-a)^2}{(a-b)(a-c)} + \frac{ca(x-b)^2}{(b-c)(b-a)} + \frac{ab(x-c)^2}{(c-a)(c-b)}$$

(解) 此分數

$$\equiv \frac{-bc(b-c)(x-a)^2 - ca(c-a)(x-b)^2 - ab(a-b)(x-c)^2}{(a-b)(b-c)(c-a)}$$

而シテ

$$-bc(b-c)(x-a)^2 \equiv -bc(b-c)x^2 + 2abc(b-c)x - bc(b-c)a^2$$

ナルヲ以テ

$$\begin{aligned} \text{此分數ノ分子} &\equiv -\{bc(b-c) + ca(c-a) + ab(a-b)\}x^2 \\ &+ 2abc\{(b-c) + (c-a) + (a-b)\}x \\ &- abc\{a(b-c) + b(c-a) + c(a-b)\} \\ &\equiv (a-b)(b-c)(c-a)x^2 \end{aligned}$$

$$\text{因テ此分數} \equiv \frac{(a-b)(b-c)(c-a)x^2}{(a-b)(b-c)(c-a)}$$

方 程 式

同値方程式 其根ヲ全ク等シクナルニツノ方程式

或ハ二組ノ方程式ハ互ニ同値ナリト云フ。

方程式變化ノ要 ハ其同値方程式ヲ誘導スルニ

在リテ其最モ注意スベキハ、

- (1) 方程式ノ兩邊ニ已知數ヲ加、減、乘或ハ除スルモ恒ニ同値方程式ヲ誘ク。
- (2) 其項ヲ一邊ニ移スモ亦同値方程式ヲ導ク。
- (3) 方程式ノ兩邊ニ零ヲ乘シ、或ハ之レニテ除スルヲ得ズ。(多クハ錯誤ヲ來ス)
- (4) 方程式ノ兩邊ニ未知數ヲ含ミタル式ヲ乘シ或ハ之レニテ除スルハ、其式ハ所設ノ要件ニ關シテ零ナルヲキヤ否ヤヲ吟味セザルベカラズ。
- (5) 方程式ノ各邊ヲ平方スレバ一般ニ無縁根ヲ誘起ス。但シ其各邊何レモ正數ナルヲ知リ得ル場合ニ限リテ同値方程式ヲ誘ク。

方程式ノ根ノ個數 ハ一般ニ其次數ト等シ、即

チ二次方程式ハ恒ニ二個ノ根ヲ有シ、三次方程式ハ恒ニ三個ノ根ヲ有スルガ如シ。若シ二次方程式ガ三根ヲ有スレバ恒同方程式ナリト知ルベシ。分數或ハ根數方程式ハ其次數ヲ決シ得ズ、往々一根ヲモ有セザルモノアリ。

(74)

分數方程式

① $\frac{x+3}{3-x} + \frac{x+6}{6-x} + \frac{x+9}{9-x} = 3$ ナ解ケ

(解) 各項ノ形ヲ變ズレバ

$$\frac{x+3}{3-x} - 1 + \frac{x+6}{6-x} - 1 + \frac{x+9}{9-x} - 1 = 0.$$

即チ $\frac{2x}{3-x} + \frac{2x}{6-x} + \frac{2x}{9-x} = 0$, 此兩邊ヲ $2x$ ニテ割リ,

$$\frac{1}{3-x} + \frac{1}{6-x} + \frac{1}{9-x} = 0.$$

$(3-x)(6-x)(9-x)$ ハ零ニ等シカラズトシテ之ヲ方程式ノ兩邊ニ乗シテ分母ヲ拂ハバ

$$(6-x)(9-x) + (3-x)(9-x) + (3-x)(6-x) = 0.$$

括弧ヲ解キ同類項ヲ集メテ逐次簡單ニスレバ

$$3x^2 - 36x + 96 = 0.$$

$$x^2 - 12x + 32 = 0.$$

$$\therefore x = 6 \pm \sqrt{36 - 32},$$

$$= 6 \pm \sqrt{4}.$$

コレニ得タル値ハ先キニ方程式ノ兩邊ニ乗シテ分母ヲ零ナラシメズ, 因テ是等ノ値ハ採用シ得ベキモノナリ. 猶先キニ方程式ノ兩邊ヲ割リタルモノヲ零ニ等ストシテ置キテ得ベキ $x=0$ トナ合セテ所要ノ根ハ本 $x=0$ 或ハ $x=6 \pm 2$.

代數題解 (分數方程式) (75)

② $\frac{x-1}{x-2} + \frac{x-6}{x-7} = \frac{x-2}{x-3} + \frac{x-5}{x-6}$ ナ解ケ,

(解) 與ヘラレタル方程式ヲ次ノ如ク變化ス

$$1 + \frac{1}{x-2} + 1 + \frac{1}{x-7} = 1 + \frac{1}{x-3} + 1 + \frac{1}{x-6}.$$

兩邊ヨリ 1ヲ二ツ去リテ

$$\frac{1}{x-2} + \frac{1}{x-7} = \frac{1}{x-3} + \frac{1}{x-6}.$$

轉項シテ $\frac{1}{x-2} - \frac{1}{x-3} = \frac{1}{x-6} - \frac{1}{x-7}$

$$\frac{-1}{(x-2)(x-3)} = \frac{-1}{(x-6)(x-7)},$$

$$\therefore (x-2)(x-3) = (x-6)(x-7)$$

$$x^2 - 5x + 6 = x^2 - 13x + 42,$$

$$8x = 36.$$

$$\therefore x = \frac{9}{2}.$$

注意 分數方程式ヲ間違ヒテ解クニハ, 其方程式ノ項ヲ一邊ニ送リテ, 之ヲ出來得ベキ丈ケ簡約ニシ, 然ル後其分子ヲ零ト置キ其方程式ヲ解キテ答トスレバ恒ニ完全ナリトス. 然レモ普通ニ其手數ヲ省カンガ爲メニ, 其分母ヲ拂フト雖モ, 之レ正法ニアラザルヲ以テ其分母ノ最小公倍数ナラザルモノヲ乘ズレバ必ズ無縁根ヲ導ク.

例ハ $\frac{x}{x-1} + \frac{5}{1-x} = 0$

(76) 代 解 題 數 (分數方程式)

= (x-1)(1-x) ナ乗ズレバ

$$x(1-x)+5(x-1)=0,$$

即チ (x-5)(1-x)=0,

之レヨリ x=5, 或ハ x=1 ナ得テ, 此 x=1 ハ明ニ無縁根ナリ.

尤モ其分母ノ最小公倍数ヲ乗シテ分母ヲ拂フトモ, 無縁根ヲ導カズトハ限ラズ, 例バ

$$\frac{x^2-2x}{x^2-1}+2+\frac{1}{x-1}=0$$

(x+1)(x-1) ナ乗ズレバ

$$x^2-2x+2(x^2-1)+x+1=0$$

ナ得テ, 之ヲ解ケバ x=1 或ハ x=-1/3 ナ得テ x=1 ハ明ニ無縁根ナリ.

之ニ依テ分數方程式ヲ解クニハ, 例バ前題ニ於テハ

$$\frac{x^2-2x}{x^2-1}+2+\frac{1}{x-1}=\frac{x^2-2x+2(x^2-1)+(x+1)}{(x+1)(x-1)}$$

$$=\frac{(3x+1)(x-1)}{(x+1)(x-1)}=\frac{3x+1}{x+1}=0$$

ヨリ, 其最後ノ分數ノ分子ヲ零ト置キ, 即チ 3x+1=0
ヨリ x=-1/3 ナ求ムルヲ安全ナリトス.

故ニ若シ其傾ヲ欲スル爲メ, 分母ヲ拂フトテ解スルナラバ, 其結果ガ要件ニ適フヤ否ヤヲ悉ク驗スベシ; 而シテ若シ其中ニ不都合ノモノアテバ, 完全ナル仕方ニ違リ直ホスルベシ.

二次方程式ノ公式

二次方程式ノ解法并ニ其性質ハ受験ニハ最モ緊要ナルモノナレバ必ズ之レヲ記憶スベシ

$$ax^2+bx+c=0.$$

ナルトキ,

$$x=\frac{-b\pm\sqrt{b^2-4ac}}{2a}.$$

然シテ此式ガ

{ 實量異根ヲ有スル要件ハ	$b^2-4ac>0,$
{ 實量等根.....	$b^2-4ac=0,$
虚量異根.....	$b^2-4ac<0,$

又此二根ヲ α, β トスレバ

$$\alpha+\beta=-\frac{b}{a}, \quad \alpha\beta=\frac{c}{a},$$

$$\alpha^2+\beta^2=(\alpha+\beta)^2-2\alpha\beta=\frac{b^2}{a^2}-\frac{2c}{a}=\frac{b^2-2ac}{a^2}.$$

$$\alpha^3+\beta^3=(\alpha+\beta)^3-3\alpha\beta(\alpha+\beta)=\frac{-b^3}{a^3}-3\times\frac{-b}{a}\times\frac{c}{a}$$

$$=\frac{-b^3+3abc}{a^3}$$

$$\text{又 } ax^2+bx+c=a(x-\alpha)(x-\beta).$$

二次方程式ノ性質

1 $ax^2+bx+c=0$ ノ二ツノ根ヲ α, β トスレバ

$$\alpha+\beta=-\frac{b}{a}, \text{ 及ビ } \alpha\beta=\frac{c}{a} \text{ ナルコトヲ証セ.}$$

(解) 殘餘定理ニヨリ此方程式ノ左節ハ

$x-\alpha, x-\beta$ ニテ除シ得ルヲ以テ次ノ恒等方程式ヲ得

$$ax^2+bx+c \equiv a(x-\alpha)(x-\beta)$$

$a \neq 0$ トシ上ノ両邊ヲ a ニテ除スレバ

$$x^2+\frac{b}{a}x+\frac{c}{a} \equiv x^2-(\alpha+\beta)x+\alpha\beta$$

$$\therefore \frac{b}{a} = -(\alpha+\beta), \quad \frac{c}{a} = \alpha\beta$$

$$\text{即チ } \alpha+\beta = -\frac{b}{a}, \quad \alpha\beta = \frac{c}{a}$$

2 $ax^2+bx+c=0$ ノ一ノ根ガ他ノ根ノ m 倍ナルコトヲ如何

(解) 二根ヲ α 及ビ $m\alpha$ トスレバ

$$\alpha+m\alpha = -\frac{b}{a}, \quad \alpha(m\alpha) = \frac{c}{a} \text{ ナリ}$$

$$\text{コレヨリ } \alpha \text{ ヲ消去シテ } \frac{(1+m)^2}{m} = \frac{b^2}{ac}$$

3 $ax^2+bx+c=0$ ノ二根ノ比ガ $m:n$ ナルコトヲ如何

如何.

(解) $m:n = \frac{m}{n}:1$ ナレバ猶一ノ根ガ他ノ根ノ $\frac{m}{n}$ 倍ナリト云フニ同シ, 因テ二根ヲ $\alpha, \frac{m}{n}\alpha$ トスレバ

$$\text{前解ノ如ク } \frac{(m+n)^2}{mn} = \frac{b^2}{ac} \text{ ナリ}$$

(尤モ比ノ性質ニ依リ此二根ヲ $m\alpha, n\alpha$ ト命スレバ更ニ容易ニ解シ得ル)

4 $ax^2+bx+c=0$ ノ二根ヲ α, β トシ α^2, β^2 ナ根トスル方程式及ビ $\frac{\alpha^2}{\beta}, \frac{\beta^2}{\alpha}$ ナ根トスル方程式ヲ作レ.

(解) α^2, β^2 ナ二根トスル方程式ハ次ノ如シ

$$(x-\alpha^2)(x-\beta^2)=0,$$

$$\text{即チ } x^2-(\alpha^2+\beta^2)x+\alpha^2\beta^2=0 \dots\dots\dots(1)$$

而シテ方程式 $ax^2+bx+c=0$ ノ二根ハ α, β ナルガ

$$\text{故ニ } \alpha+\beta = -\frac{b}{a}, \quad \alpha\beta = \frac{c}{a}$$

$$\text{故ニ } \alpha^2+\beta^2 = (\alpha+\beta)^2 - 2\alpha\beta = \left(-\frac{b}{a}\right)^2 - 2\frac{c}{a}$$

$$= \frac{b^2-2ac}{a^2} \dots\dots\dots(2)$$

$$\alpha^2\beta^2 = \frac{c^2}{a^2} \dots\dots\dots(3)$$

(2), (3)ノ右邊ヲ(1)中ニ置キ代フルレバ

$$x^2 - \frac{b^2-2ac}{a^2}x + \frac{c^2}{a^2} = 0$$

a ノ零ニアラザルガ故ニ兩邊ニ a^2 ナ乗シテ

$$a^2x^2 - (b^2-2ac)x + c^2 = 0.$$

(80) 二次方程式ノ性質

次 $\frac{\alpha^2}{\beta}, \frac{\beta^2}{\alpha}$ ナ二根トスル方程式ハ次ノ如シ

$$x^2 - \left(\frac{\alpha^2}{\beta} + \frac{\beta^2}{\alpha}\right)x + \frac{\alpha^2}{\beta} \cdot \frac{\beta^2}{\alpha} = 0$$

即チ $x^2 - \frac{\alpha^3 + \beta^3}{\alpha\beta}x + \alpha\beta = 0$

而シテ $\alpha^3 + \beta^3 = (\alpha + \beta)^3 - 3\alpha\beta(\alpha + \beta)$
 $= -\frac{b^3}{a^3} + 3\frac{c}{a} \cdot \frac{b}{a}$

故ニ $\frac{\alpha^3 + \beta^3}{\alpha\beta} = \frac{-\frac{b^3}{a^3} + 3\frac{bc}{a^2}}{\frac{c}{a}} = -\frac{b^3 - 3abc}{a^2c}$

故ニ求ムル所ノ方程式ハ

$$x^2 + \frac{b^3 - 3abc}{a^2c}x + \frac{c}{a} = 0$$

即チ $a^2x^2 + (b^3 - 3abc)x + ac^2 = 0$

5 方程式 $x^2 - (8\alpha - 2)x + 15\alpha^2 - 2\alpha - 7 = 0$

ノ根ノ平方ノ和ガ 24 ナルトキハ α ノ値如何

(解) 此方程式ノ二根ヲ x_1, x_2 トシテ

關係アリ, $x_1 + x_2 = 8\alpha - 2, x_1x_2 = 15\alpha^2 - 2\alpha - 7$

與ヘラレタル條件ヨリ

$$x_1^2 + x_2^2 = 24$$

$$\therefore x_1^2 + x_2^2 = (x_1 + x_2)^2 - 2x_1x_2$$

$$= (8\alpha - 2)^2 - 2(15\alpha^2 - 2\alpha - 7) = 24$$

即 $17\alpha^2 - 14\alpha - 3 = 0$

$$\therefore \alpha = \frac{7 \pm \sqrt{49 + 51}}{17} = \frac{7 \pm 10}{17} \therefore \alpha = 1, \alpha = -\frac{3}{17}$$

二次方程式ノ性質 (81)

6 $(x^2 - 2x + 2) - m(x^2 + 2x + 2) = 0$

ガ等根ヲ有ツタメニ m ハ如何ナル値ヲ取ルベキカ

此場合ニ於ケル根ヲ求メヨ

(解) 與ヘラレタル方程式ヲ次ノ如ク變化スレバ

$$(m-1)x^2 + 2(m+1)x + 2(m-1) = 0$$

此方程式ガ等根ヲ有ツタメノ要件ハ次ノ等式ニテ表ハ

スヲ得

$$\{2(m+1)\}^2 - 2(m-1)^2 = 0 \quad b^2 - 4ac = 0$$

即チ $m^2 - 6m + 1 = 0$

コレヨリ $m = 3 \pm \sqrt{9-1} = 3 \pm 2\sqrt{2}$

兩根ガ相等シキト爲ルニ共通ナル値ハ兩根ノ和ハ

$$-(m+1)/(m-1) = \text{等シ}$$

今 $m = 3 + 2\sqrt{2}$ ナルハ

$$x_1 = \frac{-(4+2\sqrt{2}) - (-2+\sqrt{2})}{2+2\sqrt{2} - 1+\sqrt{2}} = \sqrt{2}$$

$m = 3 - 2\sqrt{2}$ ナルハ

$$x_2 = \frac{-(4-2\sqrt{2}) - (-2-\sqrt{2})}{2-2\sqrt{2} - 1-\sqrt{2}} = -\sqrt{2}$$

附言 上ノ二次方程式ノ二ツノ根ノ積ハ

$$2(m-1)/(m-1) \text{ 即チ } 2 \text{ ニシテ } m \text{ ニ無關係}$$

ナリ 因テ若シモ根ガ相等シキナラバ $\pm\sqrt{2}$

ニ等シカルベキヲ豫知スルヲ得

無理方程式

注意. $\sqrt{\quad}$ ノ前ニ±號ヲ理解スト規約スルモノト,
+號ノミヲ理解スト規約スルモノトノ二説アリテ, 後ノ
規約ニ從フチ最近ノ解法トス.

1. $\sqrt{x^2-9}=9-x$(1) ナ解ケ.

(解) 此各邊ヲ平方シテ

$x^2-9=81-18x+x^2$(2)

簡單ニシテ

$18x=90,$

$\therefore x=5.$

吟味 (1)ノ各邊ヲ平方シテ得タル (2)ノ

$\sqrt{x^2-9}=9-x$(3)

ノ根ヲモ併セ含ムヲ以テ此 $x=5$ ガ(1)ノ根ナルヤ否
ヲ驗メサザルベカラズ, 依テ(1)ノ各邊ノ $x=5$ ヲ
換フレバ $\sqrt{x^2-9}=\sqrt{5^2-9}=4, 9-x=9-5=4;$
由テ $x=5$ ハ此根ナルヲ知ル.

注意 本題ノ如キ平易ナルモノニ於テハ置キ換ヘテ驗メ
シテ行ハザルモ觀察ニ依テ直ニ知ルヲ得, 即チ(1)ノ
根ニシテ(3)ノ根ナラザル爲メニハ左邊ノ $9-x$ ガ正
ナルヲ, 即チ $9-x>0$, 即チ $x<9$ ナレバ可ナリ.

由テ 5ハ9ヨリ小ニシテ求ムル根ナリ.

2. $\sqrt{2x+8}-2\sqrt{x+5}=2$ ナ解ケ.

(解) 兩邊ヲ平方シテ

$2x+8-4\sqrt{2x+8}\sqrt{x+5}+4(x+5)=4,$

簡約スレバ $3x+12=2\sqrt{2x+8}\sqrt{x+5},$

再ビ兩邊ヲ平方シテ

$9x^2+72x+144=4(2x+8)(x+5)$

即チ $x^2=16. \therefore x=\pm 4.$

驗シテ行フニ前ノ例ニ用ヒタル如クスルモ可ナレドモ
此場合ニ於テハ二回平方シタルヲ以テ稍複雑ナル吟味
ヲ來スガ故ニ x ノ値ヲ代用スルヲ以テ便ナリトス,
斯クシテ x ノ何レノ直モ方程式ヲ満足セザルヲ知ル,
因テ與ヘラレタル方程式ノ根ヲ有セズ, 何トナレバ若
シ根ヲ有スルモ其總テノモノハ逐次兩邊ヲ平方シテ
得タル最後ノ方程式ノ根ノ中ニ必ず現出スベキモノニ
シテ最後ノ方程式ノ根ガ皆與ヘラレタル方程式ヲ満足
セザレバ, コレ根ヲ有セザルナリ.

3. $x^2-5x+\sqrt{x^2-5x+11}=19$ ナ解ケ.

(解) 變形シテ

$x^2-5x+11+\sqrt{x^2-5x+11}=30,$

即チ $(\sqrt{x^2-5x+11})^2+\sqrt{x^2-5x+11}-30=0,$

$(\sqrt{x^2-5x+11}+6)(\sqrt{x^2-5x+11}-5)=0.$

此第一ノ因子ハ二ツノ正數ノ和ナルヲ以テ決シテ零トナルコトナシ、故ニ第二ノ因子ヲ零ナラシムベキ値ヲ求ムレバ可ナリ、因テ

$$\sqrt{x^2-5x+11}=5,$$

ナル方程式ヲ解クコトニ歸ス、コレガタメニ根號ノ内ニアル式ヲシテ 5^2 ナラシムル x ノ値ヲ見出セバ足レリ、因テ次ノ方程式アリ、

$$x^2-5x+11=25,$$

$$x^2-5x-14=0,$$

$$(x-7)(x+2)=0.$$

$$\therefore x=7, \text{ 或ハ } -2,$$

コレニ得タル二ツノ根ハ與ヘラレタル方程式ノ根ナリ

$$\textcircled{4} \quad \sqrt{x^2-5x+1}-4=\frac{5}{\sqrt{x^2-5x+1}} \quad (1)$$

ヲ解ケ.

(解) 今 $\sqrt{x^2-5x+1}=y$ ト命スレバ

$$y-4=\frac{5}{y} \quad (1')$$

サテ $y \neq 0$ ナルコト明カナリ、何トナレバモシ $y=0$ ナルキハ方程式ハ不能ナルガ故ナリ、因テ分母ヲ拂ヒ且項ヲ移セバ

$$y^2-4y-5=0 \quad (2)$$

ハ (1') ト同値從テ (1) ト同値ナリ、

$$(y-5)(y+1)=0, \therefore y=5 \text{ 或ハ } y=-1.$$

$\sqrt{x^2-5x+1}$ ノ根號ノ前ニハ常ニ正及ビ負號ヲ考ヘ得ルガ故ニ正ヲ考ヘタルキニハ前ニ得タル y ノ二値ノ中、唯 5 ノミヲ採リ、根號ノ前ニ負ヲ考ヘタルキハ -1 ヲ採ル、故ニ各ノ場合ニ於テ次ノ如シ、

$$\text{I} \quad y > 0, \sqrt{x^2-5x+1}=5 \quad (3)$$

兩邊ヲ平方シテ後項ヲ移セバ

$$x^2-5x-24=0,$$

$$\therefore (x-8)(x+3)=0,$$

$$\therefore x=8 \text{ 或ハ } x=-3.$$

x ノ此ノ二ツノ値ハ何レモ (3) ヲ満足ス、從テ (2) ヲ満足シ尙ホ之ト同値ナル (1'), (1) ヲ満足ス、即チ上ノ二値ハ所要ノ根ナリ.

$$\text{II} \quad y < 0, -\sqrt{x^2-5x+1}=-1 \quad (3')$$

兩邊ヲ平方シテ後項ヲ移スレバ

$$x^2-5x=0$$

$$\therefore x=0, \text{ 或ハ } x=5.$$

此兩根ハ何レモ (3') ヲ満足シ、從テ (2) ヲ満足ス、而シテ尙ホ之ト同値ナル (1') 及ビ (1) ヲ満足ス故ニ此二種ハ所要ノ根ナリ.

$$\textcircled{5} \quad \frac{\sqrt{x+2a}-\sqrt{x-2a}}{\sqrt{x+2a}+\sqrt{x-2a}}=\frac{x}{2a} \quad \text{ヲ解ケ.}$$

(解)
$$\frac{(\sqrt{x+2a}-\sqrt{x-2a})^2}{(\sqrt{x+2a}+\sqrt{x-2a})(\sqrt{x+2a}-\sqrt{x-2a})} = \frac{x}{2a}$$

即ち
$$\frac{(x+2a)+(x-2a)-2\sqrt{x^2-4a^2}}{(x+2a)-(x-2a)} = \frac{x}{2a}$$

即ち
$$\frac{x-\sqrt{x^2-4a^2}}{2a} = \frac{x}{2a}$$

$a=0$ ナラバ此式ハ不能ナルヲ以テ、 a ハ零ナラズ

因テ
$$x-\sqrt{x^2-4a^2} = x$$

$$\therefore \sqrt{x^2-4a^2} = 0$$

$$\therefore x = \pm 2a$$

注意 無理方程式ハ乗器セザレバ、其根ヲ得ズ、止ム
 ナ得ズノ乗器スレバ無縁根ヲ導クノ恐レアリテ、其解法
 ニ困難ヲ感ズルコト通リノコトニアラズ、然レモ受験ノ際
 ナドニハ遠慮ナク乗器ヲ遂行シテ、其最後ニ得ル結果
 ガ元ノ方程式ニ當テハマルキ否ヤヲ驗セバヨシ

又(3)題解ハ特ニ注意スベキモノナリ、隨テ(4)題解
 モ熟讀ヲ要ス、

高次方程式

1 次ノ方程式ヲ解ク。

(A) $x^3-1=0$, (B) $x^3+1=0$, (C) $x^4-1=0$.

(解) (A) $x^3-1=0$,

即ち $(x-1)(x^2+x+1)=0$.

$\therefore x=1$, 或ハ $x = \frac{-1 \pm \sqrt{-3}}{2}$,

(B) $x^3+1=0$,

$x^3+2x^2+x=2x^2$

$x^2+1 = \pm \sqrt{2x}$

$x^2 \mp \sqrt{2x} + 1 = 0$

$x = \frac{\pm \sqrt{2} \pm \sqrt{-2}}{2}$

(C) $x^4-1=0$.

$(x-1)(x+1)(x^2+1)=0$,

$\therefore x=1$, 或ハ $x=-1$, 或ハ $x = \pm \sqrt{-1}$

2. $(x-1)(x-2)(x-3)(x-4)=120$ ヲ解ケ。

(解) 左邊ノ因子ノ順序ヲ換フレバ、

$(x-1)(x-4)(x-2)(x-3)=120$,

即ち $(x^2-5x+4)(x^2-5x+6)=120$,

$x^2-5x=y$ トズレバ

$$(y+4)(y+6)=120$$

即チ $y^2+10y-96=0$,

即チ $(y+16)(y-6)=0$.

$$y+16=0 \text{ 或ハ } y-6=0$$

$$x^2-5x+16=0 \text{ 或ハ } x^2-5x-6=0$$

$$x = \frac{5 \pm \sqrt{-39}}{2} \quad (x+1)(x-6)=0$$

$$x = -1 \text{ 或ハ } 6$$

3. $x^2-x-3 = \frac{108}{x^2-x}$ ナ解ケ.

(畧解) $x^2-x=y$ トスベシ.

4. $\frac{x+2}{x^2+1} + \frac{x^2+1}{x+2} = 2\frac{1}{2}$ ナ解ケ.

(解) $\frac{x+2}{x^2+1} = y$ トスレバ,

$$y + \frac{1}{y} = 2\frac{1}{2},$$

之レヨリ $2y^2-5y+2=0$ ナ得, 之ヲ解キテ

$y-2=0$ 或ハ $2y-1=0$ ナ得. 然ルトキ,

$$\frac{x+2}{x^2+1} - 2 = 0 \text{ 或ハ } \frac{x+2}{x^2+1} - 1 = 0.$$

二元一次方程式

$$\begin{cases} ax+by+c=0 \\ a'x+b'y+c'=0 \end{cases}$$

ニ於テ

x, y ガ一定有理ノ値ヲ有ツ要件ハ

$$ab'-a'b \neq 0 \text{ 即チ } \frac{a}{a'} \neq \frac{b}{b'}$$

ナラザルニシテ, 此時ノ x, y ノ値ハ

$$x = \frac{bc'-b'c}{ab'-a'b}, \quad y = \frac{ca'-c'a}{ab'-a'b}$$

又此方程式ガ不能ナル爲メノ要件ハ

$$\frac{a}{a'} + \frac{b}{b'} = \frac{c}{c'}$$

又此方程式ガ不定ナル爲メノ要件ハ

$$\frac{a}{a'} = \frac{b}{b'} = \frac{c}{c'}$$

附言 以上ノ關係ハ方程式ノ能不能ヲ決定スル大切

ノ關係ナレバ必ズ記憶スベシ.

(此用法ハ聯立方程式解法及ビ能不能ニ詳シ, 就テ見ヨ)

(90)

多元一次方程式

1. 代数式 $px+2q$ に於て x ナ 5 及ビ 20 トスレバ其値夫々ニ 87, 及ビ 12 トナルト云フ, 若シ x ナ 3.5 トスレバ其數値如何, 尙ホ又其數値ヲ零ナラシムルニハ x ニ如何ナル値ヲ與フベキカ?

(解) 題意ニヨリ p, q ニ關シテノ方程式ヲ得,

$$5p+2q=87,$$

$$20p+2q=12.$$

此方程式ヲ解キテ $p=-5, q=56.$

故ニ與ヘラレタル式ナ y トスレバ次ノ如シ

$$y=-5x+112$$

$x=3.5$ トスレバ

$$y=-5 \times 3.5 + 112 = 94.5$$

又 $y=0$ ナル爲ニハ

$$5x=112$$

故ニ $x=22.4.$

2.
$$\left. \begin{aligned} x-ay+a^2z &= a^3, \\ x-by+b^2z &= b^3, \\ x-cy+c^2z &= c^3. \end{aligned} \right\} \text{ヲ解ケ.}$$

(解) 與ヘラレタル方程式ト X ニ關スル次ノ方程式

トヲ聯立セシムレバ

多元一次方程式 (91)

$$x-yX+zX^2=X^3,$$

ニ於ケル三根ハ a, b, c ナルニ明カナリ.

之ヲ變形スレバ

$$X^3-2X^2+yX-x=0$$

トナル. 依テ三次方程式ノ根ト係數トノ關係ヨリ

$$z=a+b+c, \quad y=bc+ca+ab, \quad x=abc.$$

3.
$$\left. \begin{aligned} ax+by+cz &= m, \\ a^2x+b^2y+c^2z &= m^2, \\ a^3x+b^3y+c^3z &= m^3, \end{aligned} \right\} \text{ヨリ } x, y, z \text{ ナ算出セヨ.}$$

(解) 三元一次方程式ノ根ヲ與フル公式ニ據リ

$$x = \frac{m(b^2c^3 - b^3c^2) + m^2(b^3c - bc^3) + m^3(bc^2 - b^2c)}{a(b^2c^3 - b^3c^2) + a^2(b^3c - bc^3) + a^3(bc^2 - b^2c)}$$

$$= \frac{m\{bc - m(b+c) + m^2\}}{a\{bc - a(b+c) + a^2\}} = \frac{m(m-b)(m-c)}{a(a-b)(a-c)}$$

y, z ノ値ハ x ノ値ヨリ a, b, c ナ循環ノ順序ニ置キ換ヘテ

$$y = \frac{m(m-c)(m-a)}{b(b-c)(b-a)}, \quad z = \frac{m(m-a)(m-b)}{c(c-a)(c-b)}$$

4.
$$\left. \begin{aligned} ax+y+z &= 1, \dots\dots\dots(1) \\ x+ay+z &= a, \dots\dots\dots(2) \\ x+y+az &= a^2, \dots\dots\dots(3) \end{aligned} \right\} \text{ヲ解ケ.}$$

(解) (1)(2)(3)ヲ邊々相加フレバ

(92) 多元一次方程式

$$(a+2)(x+y+z)=1+a+a^2 \dots\dots\dots(4)$$

$a+2 \neq 0$ ト假定シテ此方程式ノ兩邊ヲ除スレバ

$$x+y+z=\frac{1+a+a^2}{a+2} \dots\dots\dots(5)$$

(1)ノ兩邊ヨリ(2)ノ兩邊ヲ減ズレバ

$$(a-1)x=1-\frac{1+a+a^2}{a+2}=-\frac{a^2+1}{a+2}$$

$a-1 \neq 0$ ト假定シテ此方程式ノ兩邊ヲ除スレバ

$$x=-\frac{a+1}{a+2}$$

(2)ト(3)トニ就テ前ト同様ノ手數ヲ施セバ同シ假定ノ下ニ

$$y=\frac{1}{a+2} \quad z=\frac{(a+1)^2}{a+2}$$

吟味 $a+2=0$, 即チ $a=-2$ ナル時(1)(2)ヲ邊々加ヘタルモノハ $-x-y+2z=-1$ トナリ,(3)ハ

$$x+y-2z=4, \text{ 即チ } -x-y+2z=-4, \text{ トナル因テ方程式ハ不能ナリ, } a-1=0, \text{ 即チ } a=1 \text{ ナル時(1)(2)(3)}$$

ハ皆同シモノトナル, 因テ此場合ハ不定ナリ.

多元二次方程式

次ノ各方程式ヲ程ケ

1 $x+y=10 \dots\dots\dots(A)$

$$xy=21 \dots\dots\dots(B)$$

(解一) (A)ヨリ $y=10-x$, 之ヲ

(B)式ニ代入シ

$$x(10-x)=21, \text{ 即チ } x^2-10x+21=0;$$

$$(x-7)(x-3)=0, \therefore x=7, \text{ 或ハ } x=3.$$

注意 又(B)ヨリ $y=\frac{21}{x}$ ヲ得之ヲ(A)ニ代ユルモ可ナリ.

(解二) (A)ヲ平方シテ之ヨリ(B)ノ4倍ヲ減ズ

レバ $(x+y)^2-4xy=10^2-4 \times 21$, 即チ $(x-y)^2=16$,

$$\therefore x-y=\pm 4 \dots\dots\dots(C)$$

今(A)ト(C)トヲ加ヘ若クハ減ズレバ

$$2x=10 \pm 4, \quad 2y=10 \mp 4,$$

$$\therefore x=7, \text{ 或ハ } 3; \quad y=3, \text{ 或ハ } 7.$$

(解三) 二次方程式ノ性質ニヨレバ

$$X^2-(\text{二根ノ和})X+(\text{二根ノ積})=0 \text{ ナリ,}$$

而シテ爰ニハ 二數ノ和ハ10, 二數ノ積ハ21ヲ與ヘリ

故ニ $X^2-10X+21=0$ ヲ解キテ

$$(X-7)(X-3)=0, X=7, \text{ 或ハ } 3$$

ヲ得, 此二根7及ビ3ハ所要ノ二數即 x, y ノ値ナリ

(94) 多元二次方程式

(解四) (A)ヨリ $x=5+z, y=5-z$ ト命ズルコトヲ得. 之ヲ(B)ニ代入スレバ

$$(5+z)(5-z)=21, \text{ 即チ } 25-z^2=21,$$

$$\therefore z^2=4, \therefore z=\pm 2.$$

$$\therefore x=5\pm 2(\text{即チ } 7, \text{ 或ハ } 3),$$

$$y=5\mp 2(\text{即チ } 3, \text{ 或ハ } 7).$$

注意 一般ニ $x+y=2a$ ナレバ $x=a+z, y=a-z$ ト命ジ, 又 $x-y=2a$ ナレバ $x=z+a, y=z-a$ ト命ズルコトヲ得テ, 之ヲ對稱方程式, 例ヘバ

$$x\pm y=l, \quad x^2+y^2=m^2$$

ノ如キ方程式ニ用ヒテ甚ダ効アリト知ルベシ.

$$2 \quad x^2+xy+2y^2=44, \dots\dots\dots(1)$$

$$2x^2-xy+y^2=16, \dots\dots\dots(2)$$

(解一) $y=vx$ ト命ズ. 之ヲ(1)及ビ(2)ニ置キ換

$$\text{フレバ } x^2(1+v+2v^2)=44, \quad x^2(2-v+v^2)=16,$$

$$\text{然ルニ除シテ } \frac{1+v+2v^2}{2-v+v^2} = \frac{44}{16} = \frac{11}{4},$$

$$\text{故ニ } 4(1+v+2v^2)=11(2-v+v^2),$$

$$\text{即チ } 3v^2-15v+18=0,$$

$$\text{即チ } 3(v-2)(v-3)=0,$$

$$\therefore v=2, \text{ 或ハ } v=3,$$

爰ニ方程式 $x^2(1+v+2v^2)=44$ ノ v ノ代リニ 2 ヲ

多元二次方程式 (95)

置ケバ, ソレヨリ $x=2$, 或ハ -2 ヲ得,

而シテ $y=vx$ ナルヲ以テ之ニ應ジタル y ノ値ハ 4

或ハ -4 ナリ.

又同様ニ v ノ代リニ 3 ヲ置ケバ, 其レヨリ

$x=\sqrt{2}$, 或ハ $-\sqrt{2}$ ヲ得, 從テ $y=3\sqrt{2}$, 或ハ

$-3\sqrt{2}$ ヲ得, 因テ此答數ハ

$$\left. \begin{array}{l} x=2 \\ y=4 \end{array} \right\}, \left. \begin{array}{l} x=-2 \\ y=-4 \end{array} \right\}, \left. \begin{array}{l} x=\sqrt{2} \\ y=3\sqrt{2} \end{array} \right\}, \left. \begin{array}{l} x=-\sqrt{2} \\ y=-3\sqrt{2} \end{array} \right\},$$

(解二) 二式ヨリ常數項ヲ消去スル爲ニ(1)ニ 4 ヲ乘ジ, (2)ニ 11 ヲ乘ジテ相減スレバ

$$22x^2-11xy+11y^2=176$$

$$4x^2+4xy+8y^2=176$$

$$18x^2-15xy+3y^2=0,$$

$$\text{即チ } 3(2x-y)(3x-y)=0,$$

$$\therefore y=2x, \text{ 或ハ } 3x,$$

之ヲ(1)ニ兩度別々ニ置キ換フレバ x 及ビ y ノ値ヲ得

(解三) x^2 ノ項ヲ消去スル爲ニ(1)ニ 2 ヲ乘ジソ

レヨリ(2)ヲ減ズレバ $3xy+3y^2=72,$

$$\text{故ニ } y^2=24-xy, \dots\dots\dots(3)$$

又 y^2 ノ項ヲ消去スル爲メニ(2)ニ 2 ヲ乘ジソレヨリ

$$(1) \text{ ヲ減ズレバ } 3x^2-2xy=-12$$

$$\text{故ニ } x^2=xy-4, \dots\dots\dots(4)$$

(3)ト(4)トヲ邊々相乘ズレバ

(96) 多元二次方程式

$$x^2y^2 = (24 - xy)(xy - 4),$$

簡約ニシテ $2x^2y^2 - 28xy + 96 = 0,$

即チ $2(xy - 8)(xy - 6) = 0,$

$\therefore xy = 8, \text{ 或ハ } xy = 6,$

之ヲ(1)及ビ(2)ニ別々ニ二度置き換フレバ

$$\begin{cases} x^2 + 2y^2 = 36, \\ 2x^2 + y^2 = 24, \end{cases} \text{ 或ハ } \begin{cases} x^2 + 2y^2 = 38, \\ 2x^2 + y^2 = 22, \end{cases}$$

ヲ得、之ヨリ x^2 及ビ y^2 ヲ求ムベシ。

3. $x^2 + 2xy = 16, \dots\dots\dots(1)$

$xy + 2y^2 = 24, \dots\dots\dots(2)$

(解) (1)及ビ(2)ノ左邊ヲ因数ニ分テ

$x(x + 2y) = 16, \dots\dots\dots(1')$

$y(x + 2y) = 24, \dots\dots\dots(2')$

(1')ヲ(2')ニテ除スレバ

$$\frac{x}{y} = \frac{2}{3} \text{ 即 } x = \frac{2}{3}y \dots\dots\dots(3)$$

(3)ヲ(1)ニ置き代フレバ

$$\frac{4}{9}y^2 + \frac{4}{3}y^2 = 16 \text{ 即チ } \frac{16}{9}y^2 = 16, \quad y^2 = 9,$$

$\therefore y = \pm 3, \quad x = \pm 4.$

4. $x^2 + x = 4y, \dots\dots\dots(1)$

$x^3 + 1 = 6y, \dots\dots\dots(2)$

(解一) (1)ノ各邊ヲ(2)ノ各邊ニテ除スレバ

多元二次方程式 (97)

$$\frac{x(x+1)}{(x+1)(x^2-x+1)} = \frac{4y}{6y}$$

即チ $\begin{cases} x+1=0, \\ y=0, \end{cases} \text{ 或ハ } \frac{x}{x^2-x+1} = \frac{2}{3},$

$\therefore \begin{cases} x = -1, \\ y = 0 \end{cases}$

又他式ヨリ分母ヲ拂フテ

$$2x^2 - 2x + 2 = 3x,$$

簡約シテ $2x^2 - 5x + 2 = 0, \text{ 即チ } (x-2)(2x-1) = 0,$

$\therefore x = 2, \text{ 或ハ } x = \frac{1}{2}; \text{ 之ニ應ジテ}$

$y = \frac{3}{8}, \text{ 或ハ } y = \frac{3}{18}.$

注意 一ツノ方程式ヲ他ノ方程式ノ各邊ニテ除スル時、

各邊ヨリ未知數ヲ含メル因子ガ同時ニ除去サルハ

之ヲ一組トシテ各ヲ零トナスベシ。

(解二) y 2項ヲ消去スル爲ニ(1)ニ3ヲ乗ツ、(2)

ニ2ヲ乗ツテ相減ズレバ

$$3(x^2 + x) = 12y$$

$$2(x^3 + 1) = 12y$$

$$2(x^3 + 1) - 3x(x + 1) = 0$$

即チ $(x+1)\{2(x^2 - x + 1) - 3x\} = 0,$

即チ $(x+1)(x-2)(2x-1) = 0,$

$\therefore x = -1 \text{ 或ハ } x = 2, \text{ 或ハ } x = \frac{1}{2},$

之ニ應ジテ $y = 0, \text{ 或ハ } y = \frac{3}{8}, \text{ 或ハ } y = \frac{3}{18}.$

(98) 多元二次方程式

5 $x^2 - xy = 8x + 3, \dots\dots\dots(1)$

$xy - y^2 = 8y - 6, \dots\dots\dots(2)$

(解) (1) ㊦ (2) ㊦ 減シテ

$(x-y)^2 = 8(x-y) + 9,$

$\therefore (x-y)^2 - 8(x-y) - 9 = 0,$

$\therefore (x-y-9)(x-y+1) = 0,$

$\therefore x-y-9=0 \dots\dots(3) \text{ 或 } x-y+1=0 \dots\dots(4)$

(1) ㊦ 變形スレバ $x(x-y) = 8x + 3,$

$\therefore 9x = 8x + 3 \quad [(3) \text{ ㊦ }]$

$\therefore x = 3, \quad y = -6,$

又 $-x = 8x + 3 \quad [(4) \text{ ㊦ }]$

$\therefore x = -\frac{3}{9}, \quad y = -\frac{3}{9}.$

6. $xy = 6, \dots\dots\dots(1)$

$yz = 12, \dots\dots\dots(2)$

$zx = 8, \dots\dots\dots(3)$

(解) (1) ㊦ (2) ㊦ ノ積ヲ (3) ㊦ 除スレバ

$$\frac{xy \times yz}{zx} = \frac{6 \times 12}{8}$$

即チ $y^2 = 9, \dots\dots\dots y = \pm 3,$

之ヲ (1) 及ビ (2) ㊦ 置キ換ヘテ $x = \pm 2, \quad z = \mp 4$ ㊦ 得,

附言 或ハ此解ハ其手順ヲ變ヘテ, 先ヅ (1)(2)(3) ㊦

連乘シテ $x^2 y^2 z^2 = 6 \times 12 \times 8$ ㊦ 作り, 此両邊ヲ平方ニ開

キ $xyz = \pm 24$ ㊦ 得, 此結果ヲ (1)(2)(3) ㊦ 夫々除

多元二次方程式 (99)

スレバ $z = \pm 4, \quad x = \pm 2, \quad y = \pm 3$ ㊦ 得.

7. $x(y+z) = 14,$

$y(z+x) = 18,$

$z(x+y) = 20,$

(解) 各括弧ヲ解キテ

$\begin{cases} xy + xz = 14, \\ yz + yx = 18, \\ zx + zy = 20, \end{cases}$

此三式中ノ二式ヲ加ヘ, 殘ル一式ヲ夫々減シ, 且ツ其結果ヲ夫々 2 除スレバ

$xy = 6, \quad yz = 12, \quad zx = 8,$

㊦ 得, 此二式ヲ相乘シ殘ル一式ニテ除スレバ

$x^2 = 6 \times 8 \div 12 = 4 \quad \therefore x = \pm 2,$

從テ $y = \pm 3, \quad z = \pm 4.$

8 ($x(x+y+z) = 6, \dots\dots\dots(1)$

$y(x+y+z) = 12, \dots\dots\dots(2)$

$z(x+y+z) = 18, \dots\dots\dots(3)$

(解) (1) (2) (3) ㊦ 加フレバ

$(x+y+z)(x+y+z) = 36$

此各邊ヲ平方ニ開ケバ

$x+y+z = \pm 6$

之ヲ以テ (1) (2) (3) ノ各式ヲ除シテ下式ヲ得,

$x = \pm 1, \quad y = \pm 2, \quad z = \pm 3.$

(100)

方程式應用問題

1. 歩行スレバ九時間ヲ要シ、人力車ニ乗レバ六時間ヲ要スベキ地ニ、七時間ニテ達セントスルニハ何時間人力車ニ乗ルベキカ。

(解) 人力車ニ乗ルベキ時間ヲ x 時トシ、全道程ヲ y 里トスレバ、歩行一時間ノ速サハ $\frac{y}{9}$ 里、人力車一時間ノ速サハ $\frac{y}{6}$ 里ナリ、故ニ次ノ方程式ヲ得

$$\frac{y}{9}(7-x) + \frac{y}{6}x = y.$$

y が零ナラザル限リハ如何ナル數ニテモ可ナルヲ以テ y ヲ省約スレバ

$$\frac{1}{9}(7-x) + \frac{1}{6}x = 1. \quad \therefore x = 4, \quad \text{答四時間}$$

2. 長サ 153 碼ト長サ 135 碼トノ二列ノ電車ガ相向テ進行スルキハ相會シテヨリ離ルマデニ九秒ヲ要シ、同シ方向ニ進行スルキハ相會シテヨリ離ルマデニ一分十二秒ヲ要スト云フ、一秒時間ノ速サ各如何。

(解) 各一秒時間ノ速ヲ夫々 x 碼、 y 碼トスレバ

$$\begin{cases} 9(x+y) = 153 + 135, & \dots\dots\dots (1) \\ 72(x-y) = 153 + 135. & \dots\dots\dots (2) \end{cases}$$

方程式應用問題解 (101)

(1) 及ビ(2)ノ各邊ヲ夫々 9 及ビ 72 除スレバ

$$x+y=32 \dots\dots\dots (1')$$

$$x-y=4 \dots\dots\dots (2')$$

之ヲ加へ、又相減シテ $2x=36, 2y=28,$ ヲ得、之レヨリ $x=18, y=14.$ 答 18碼, 14碼.

3. 19 斤ノ金ヲ水中ニテ測レバ一斤ヲ減少シ、十斤ノ銀ヲ水中ニテ測レバ一斤ヲ減少スベシ、空氣中ニテ 106 斤ノ金銀混雜物ヲ水中ニテ測レバ 99 斤トナルト云フ、各幾斤ヲ混雜セルカ。

(解) 金ノ目方ヲ x 斤トスレバ、銀ハ $(106-x)$ 斤ナリ、

$$\text{因テ } \frac{11}{9}x + \frac{10}{9}(106-x) = 99,$$

各項ヲ 9 除シテ分母ヲ拂ヘバ

$$20x + 19 \times 106 - 19x = 11 \times 10 \times 19,$$

$$\therefore x = 76,$$

答 金 76斤, 銀 30斤.

4. 甲合金ハ金 36 匁、銀 54 匁ヨリ成ル; 乙合金ハ金 27 匁、銀 9 匁ヨリ成ル。今此兩合金ヨリ金銀各 21 匁ヲ含有セル新合金ヲ造ラントス、甲乙兩合金各幾何ヲ要スルカ。

混合

(102) 方程式應用問題解

(解) 新合金 42 匁ヲ得ルタメニ甲合金 x 匁ヲ取
 レバ、乙合金ハ $42-x$ 匁ヲ取ルコトナル、而シテ甲
 乙両合金ヨリ取りタルモノ、中ニ在ル金ノ目方ハ
 甲合金 x 匁ノ中ニ $x \times \frac{36}{36+54} = \frac{2}{5}x$ 匁
 乙合金 $42-x$ 匁ノ中ニ

$$(42-x) \times \frac{27}{27+9} = \frac{3}{4}(42-x) \text{ 匁}$$

是等ノ目方ノ和ハ新合金ノ中ニアル金ノ目方ニ等シキ
 ナリテ次ノ方程式ヲ得、

$$\frac{2}{5}x + \frac{3}{4}(42-x) = 21,$$

$$\text{分母ヲ拂フテ、} 8x + 15(42-x) = 420,$$

$$\therefore x = 30,$$

因テ甲ヨリ 30 匁、乙ヨリ $42-30=12$ 匁ヲ取ルベシ。

5. 一時間 10 哩ノ速サヲ以テ鐵道線路ニ沿ヒテ騎
 行スル人アリ、初メ一時間 50 哩ヲ走ル急行列車ニ追
 越サレ其後又一時間 40 哩ヲ走ル普通列車ニ出會シテ
 各列車ノ全長ガ此人ノ傍ヲ通過スルニ要キシ時間ハ同
 一ナリト云フ、各列車ノ長サノ比ヲ求ム。

(解) 急行列車、普通列車ノ長サヲ夫々 x 哩、 y 哩
 トスレバ急行列車ガ人ノ傍ヲ通過スルニ要スル時間ハ
 $x/(50-10)$ 、時、又普通列車ガ人ニ出會フテ其傍ヲ通
 過スルニハ $y/(40+10)$ 時ヲ要ス、因テ次ノ方程式ヲ得、

方程式應用問題解 (103)

$$\frac{x}{50-10} = \frac{y}{40+10} \quad \therefore \frac{x}{y} = \frac{4}{5}$$

故ニ兩列車ノ長サノ比ハ 4 : 5 ナリ。

6. 混合酒若干升アリ、其全量ノ $\frac{1}{10}$ ハ純酒ナリ、今
 ノ之ヨリ九升汲ミ出シ同量ノ水ヲ以テ補フキハ純酒ハ全量
 ノ $\frac{1}{12}$ ニ當ルト云フ、全量幾何ナルカ。

(解) 混合酒ノ全量ヲ x 升トス、
 九升汲ミ出シタル殘量ノ中ニハ純酒 $\frac{1}{10}(x-9)$ 升含ム
 コトヲ知ル、又是レハ全量ノ $\frac{1}{12}$ ニ當ルト云フヲ以
 テ、次ノ方程式ヲ得ベシ、

$$\frac{1}{10}(x-9) = \frac{1}{12}x, \quad \therefore x = 54,$$

因テ混合酒ノ全量ハ 五斗四升ナリ。

7. 二個ノ燭火 A 及ビ B アリ、其距離三尺ニシテ A ノ
 光度ハ B ノ光度ノ四倍ナリ、今 A、B ヲ連結セル直線上
 如何ナル處ニ障子ヲ置ケバ此障子ノ A、B ヨリ受クル光
 量相等シキカ。但シ障子ノ受クル光量ハ燭火ノ光度ニ正
 比シ距離ノ平方ニ逆比スルナリ。

(解) A ヨリ B ノ方ニ計リテ所要ノ點迄ノ距離ヲ
 x 尺トスレバ、 x ガ如何ナル値ナルモ A ヨリ此點ガ受

(104) 方程式應用問題解

クル光量ト Bヨリ受クル光量トハ題言ニ因テ次ノ如ク比例ヲナス、

$$x^2 : (3-x)^2 = 1 : 4$$

$$\therefore 4(3-x)^2 = x^2,$$

各邊ヲ平方ニ開キテ、

$$2(3-x) = \pm x$$

之ヲ解キテ $x=2$, 或ハ $x=6$.

因テ Aヨリ Bノ方ヘ計リテ二尺或ハ六尺ノ處ニ障子ヲ置ケバ等シキ光量ヲ受クベシ.

8. 正午ニ甲府ヲ發スル普通列車ト、午後六時ニ同所ヲ發スル急行列車トガ、翌朝同時ニ乙府ニ到着スルトキハ急行列車ノ毎時ノ速度如何. 但シ甲乙兩府ノ距離ハ 320 哩ニシテ急行列車ハ普通列車ヨリ毎時平均 12 哩早シトス

(解) 急行列車ノ毎時ノ速度ヲ x 哩トスレバ、普通列車ノ毎時ノ速度ハ $x-12$ 哩ナリ、兩列車ガ甲地ヨリ乙地ニ達スル迄ニ要スル時間ハ夫々 $320/x$, $320/(x-12)$ ニシテ其差六時間ナリ; 因テ次ノ方程式ヲ得、

$$\frac{320}{x} = \frac{320}{x-12} - 6,$$

方程式ノ兩邊ニ $x(x-12)$ ヲ乘ツテ分母ヲ拂ヒ、且ツ簡單ニシテ $x^2 - 12x - 640 = 0$, $\therefore x=32$, 或ハ $x=-20$,

方程式應用問題解 (105)

此 -20 ハ明カニ問題ノ答トスル能ハズ、而シテ 32 ハ正數ニシテ 12 ヨリ大キク、且ツ分母ヲ拂フタメニ方程式ノ兩邊ニ掛ケタル式ヲ零ナラシメザルヲ以テ、問題ノ答トシテ採用スルヲ得、因テ急行列車ノ毎時ノ速度ハ三十二哩ナリ.

9. 鐵棒アリ其重量 36 斤ナリ、若シ之ヲ一尺延長スルキハ一尺ニ付重量半斤ヲ減ズト云フ; 棒ノ長サ幾何ナルカ.

(解) 所要ノ棒ノ長サヲ x 尺トスレバ、元ノ一尺ノ重量ハ $36/x$ ニシテ、延バシタルキ一尺ノ重量ハ $36/(x+1)$ ナリ. 而シテ後ノ一尺ハ重量半斤少キヲ以テ方程式 $\frac{36}{x} = \frac{36}{x+1} + \frac{1}{2}$. 即チ $x^2 + x - 72 = 0$,

ヲ解キテ $x=8$ 或ハ $x=-9$, ナリ

此 -9 ハ問題ニ適セザルヲ以テ之ヲ棄テ、八尺ヲ所要ノ棒ノ長サトス.

10. 180 哩隔タリタル甲乙兩驛ヨリ二ツノ列車相向テ同時ニ出發シ、其途中ニテ出會ヒタル後、甲驛ヲ發シタル列車ハ二時間ヲ經テ、乙驛ヲ發シタル列車ハ四時三十分間ヲ經テソレソレ乙驛及ビ甲驛ニ達シタリ、各ノ列車毎時平均何哩進行シタルカ.

(解) 甲驛ヨリ二車ノ相會セシ點マデノ距離ヲ x 哩トスレバ、此會點ヨリ乙驛マデノ距離ハ $180-x$ 哩ナリ; 而シテ甲ヨリセル列車ハ $(180-x)/2$ 哩ヲ二時間ニテ達シタルガ故ニ一時間ノ速サハ $(180-x)/2$ 哩ニシテ; 乙ヨリセル列車ハ x 哩ヲ四時間半ニテ達シタルガ故ニ一時間ノ速サハ $x/4\frac{1}{2}$ 哩ナリ. 又各出發セシヨリ相會スル迄ノ時間ハ相等シキヲ以テ次ノ方程式ヲ得,

$$\frac{x}{180-x} = \frac{180-x}{x}$$

即チ $\frac{x^2}{4\frac{1}{2}} = \frac{(180-x)^2}{2}$,

即チ $\frac{1}{2}x^2 = (180-x)^2$,

兩邊ヲ平方ニ開キテ $\frac{1}{2}x = \pm(180-x)$

$\therefore x=108$, 或ハ $x=540$.

此 540 ハ全程 180 ヨリ大ナルヲ以テ採ルヲ得ズ,

因テ $x=108$ 哩トス, 從テ毎時ノ速サハ

甲ヨリセルモノ $(180-108) \div 2 = 36$ 哩,

乙ヨリセルモノ $108 \div 4\frac{1}{2} = 24$ 哩.

比例 分數定理

1. $a:b=c:d$ ナルキ,
 $ad=bc$.

又 $a:c=b:d$.

又 $\frac{a}{c} = \frac{b}{d} = \frac{a+b}{c+d} = \frac{a-b}{c-d}$

又 $\begin{cases} ma:mb=nc:nd; \\ ma:nb=mc:rd. \end{cases}$

$\begin{cases} a > b \text{ ナラバ } c > d; \\ a < b \text{ ナラバ } c < d; \end{cases}$

2. $a:b=b:c=c:d$ ナルキ,

$\begin{cases} a:c=a^2:b^2; \\ a:d=a^3:b^3. \end{cases}$ ナリ.

注意 比例ノ定理ヲ暗記スルニ依テ始メテ比例ノ効能ヲ生ズ; 若シ此理ヲ知ラントナラバ方程式變化ヲ知レバ可ナリ; 敢テ比例ヲ學ブニ及バズ.

之ヲ要スルニ比例ハ善ク其定理ヲ暗記シテ方程式變化ノ上ニ迄モ之ヲ應用シ得ル様ニ心掛ケザルベカラズ. 上ニ示シタル關係ハ少クモ忘ルベカラザルモノナリ, 之ヲ忘ルレバ比例ヲキナリ.

(108) 比例 (分數定理)

1. $a:b=c:d$ ナル時, 次式ヲ証セヨ.
 $a^2+ab+b^2:c^2+cd+d^2=a^2-ab+b^2:c^2-cd+d^2$.

(解) $a:b=c:d$ ヨリ次式ヲ得.

$$\frac{a}{c} = \frac{b}{d}$$

依テ

$$\frac{a^2}{c^2} = \frac{a}{c} \times \frac{b}{d} = \frac{b^2}{d^2} = \frac{a^2+ab+b^2}{c^2+ca+d^2} = \frac{a^2-ab+b^2}{c^2-cd+d^2}$$

故ニ所題ノ如シ.

2. $\frac{x}{a-b} = \frac{y}{b-c} = \frac{z}{c-a}$ ナラバ, $x+y+z=0$ ナリ.

(解) $\frac{x}{a-b} = \frac{y}{b-c} = \frac{z}{c-a} = \lambda$ トスレバ,

$$x=(a-b)\lambda, \quad y=(b-c)\lambda, \quad z=(c-a)\lambda,$$

邊々相加フレバ $x+y+z=0$ ナリ得.

3. $x:a=y:b$ ナラバ, $\frac{x^3}{a^2} + \frac{y^3}{b^2} = \frac{(x+y)^3}{(a+b)^2}$ ナリ.

(解) $\frac{x}{a} = \frac{y}{b} = \lambda$ トスレバ, 次式ヲ得

$$x=a\lambda, \quad y=b\lambda.$$

$$\text{然ル時 } \frac{x^3}{a^2} + \frac{y^3}{b^2} = \frac{a^3\lambda^3}{a^2} + \frac{b^3\lambda^3}{b^2} = (a+b)\lambda^3.$$

比例 (分數定理) (109)

$$\text{又 } \frac{(x+y)^3}{(a+b)^2} = \frac{(a\lambda+b\lambda)^3}{(a+b)^2} = (a+b)\lambda^3.$$

依テ題言ノ如シ.

4 若シ $\frac{2b+2c-a}{x} = \frac{2c+2a-b}{y} = \frac{2a+2b-c}{z}$

ナレバ

$$\frac{2y+2z-x}{a} = \frac{2z+2x-y}{b} = \frac{2x+2y-z}{c}$$

ナリ其証ヲ問フ.

(解) 與ヘラレタル三ツノ相等シキ分數ノ兩項ニ
 順次 2, 2, -1 ナ乗シテ分子分母ヲ別々ニ加ヘタルモ
 ノヲ分子分母トスル分數ヲ作レバ此分數ハ與ヘラレタル
 分數ト相等シ

$$\frac{2(2b+2c-a)+2(2c+2a-b)-(2a+2b-c)}{2x+2y-z}$$

$$\text{簡單ニシテ } \frac{9c}{2x+2y-z}$$

同様ニシテ順次 -1, 2, 2 及ビ 2, -1, 2 ナ乗ズル

コトニ依テ得ベキ分數

$$\frac{9a}{2y+2z-x} \quad \frac{9b}{2z+2x-y}$$

ハ與ヘラレタル分數ニ等シ.

$$\frac{9a}{2y+2z-x} = \frac{9b}{2z+2x-y} = \frac{9c}{2x+2y-z}$$

(110)

指数及不盡數

指数原則 I $a^m \times a^n = a^{m+n}$, II $a^m \div a^n = a^{m-n}$

III $(a^m)^n = a^{mn}$ IV. $(ab)^n = a^n b^n$,

注意 $a^{-n} = \frac{1}{a^n}$ $a^n = \frac{1}{a^{-n}}$ $a^0 = 1$,

1. $\frac{(a^m)^{\frac{1}{r}} (a^{-n})^{\frac{1}{s}}}{(b^p)^{\frac{1}{q}} (c^q)^{\frac{1}{m}}}$ $= \left(\frac{a}{b}\right)^{\frac{1}{r}}$ ナ簡單ニ

セヨ.

(解) 與ヘラレタル式 $= \frac{(a^{\frac{m}{r}} a^{\frac{q}{s}})^{nr}}{(b^{\frac{n}{q}} c^{\frac{r}{m}})^{mq}} = \frac{a^{mq}}{b^{nr}}$
 $= \frac{a^{mn} a^{qr}}{b^{nq} b^{mr}} = \frac{a^{qr}}{b^{mr}} = \frac{a^{mn}}{b^{mn}} = \left(\frac{a}{b}\right)^{mn}$

2. $\frac{a^2 + b^2 - a^{-2} - b^{-2}}{a^2 b^2 - a^{-2} b^{-2}} + \frac{(a - a^{-1})(b - b^{-1})}{ab + a^{-1} b^{-1}}$ ナ簡單ニセ

ヨ.

(解) 與ヘラレタル式

$= \frac{a^2 + b^2 - a^{-2} - b^{-2} + (ab - a^{-1} b^{-1})(b - b^{-1})}{a^2 b^2 - a^{-2} b^{-2}}$
 $= \frac{a^2 + b^2 - a^{-2} - b^{-2} + a^2 b^2 - a^2 - b^2 + 1 - 1 + a^{-2} + b^{-2} - a^{-2} b^{-2}}{a^2 b^2 - a^{-2} b^{-2}}$
 $= \frac{a^2 b^2 - a^{-2} b^{-2}}{a^2 b^2 - a^{-2} b^{-2}} = 1$

指数不盡數 (111)

3. $\frac{(7-2\sqrt{5})(5+\sqrt{7})(31+13\sqrt{5})}{(6-2\sqrt{7})(3+\sqrt{5})(11+4\sqrt{7})}$ ナ簡單ニセヨ.

解 $(6-2\sqrt{7})(11+4\sqrt{7}) = 10 + 2\sqrt{7} = 2(5 \pm \sqrt{7})$,

$(7-2\sqrt{5})(31+13\sqrt{5}) = 87 + 29\sqrt{5} = 29(3 + \sqrt{5})$

ナルヲ以テ

與ヘラレタル式 $= \frac{29(3+\sqrt{5})(5+\sqrt{7})}{2(5+\sqrt{7})(3+\sqrt{5})} = \frac{29}{2} = 14\frac{1}{2}$

4. $\sqrt{11}$ ト $\sqrt[3]{37}$ トハ孰レが大ナルカ.

(解) 同シ根指数ニ有セシムル爲ニ $\sqrt{a} = \sqrt[6]{a^3}$ ナル定理ニヨリニツノ與ヘラレタル不盡根數ニ適用スレバ次ノ如ク書クコトヲ得

$\sqrt{11} = \sqrt[6]{11^3} = \sqrt[6]{1331}$,

$\sqrt[3]{37} = \sqrt[6]{37^2} = \sqrt[6]{1369}$,

故ニ明カニ $\sqrt{11} < \sqrt[3]{37}$.

5. $\sqrt{3} = 1.73205$ ナ與ヘテ $\frac{6}{\sqrt{3}-1}$ ナ小數點以下

五位ニテ計算セヨ.

(解) $\frac{6}{\sqrt{3}-1} = \frac{6(\sqrt{3}+1)}{(\sqrt{3}-1)(\sqrt{3}+1)} = 3(\sqrt{3}+1)$
 $= 3 \times 2.73205 = 8.19615$.

6. $\frac{\sqrt{2+\sqrt{3}} + \sqrt{2-\sqrt{3}}}{\sqrt{2-\sqrt{3}} + \sqrt{2+\sqrt{3}}}$ ナ最簡ニセヨ

(解) 與ヘラレタル式ノ第一、第二ノ根號内ナル分數

(112) 指数 不盡數

ノ両項=夫々消根因数 $2+\sqrt{3}$, $2-\sqrt{3}$ ナ乗ズレバ

$$\begin{aligned} & \sqrt{\frac{2+\sqrt{3}}{2-\sqrt{3}}} + \sqrt{\frac{2-\sqrt{3}}{2+\sqrt{3}}} \\ &= \sqrt{\frac{(2+\sqrt{3})^2}{(2-\sqrt{3})(2+\sqrt{3})}} + \sqrt{\frac{(2-\sqrt{3})^2}{(2+\sqrt{3})(2-\sqrt{3})}} \\ &= \sqrt{\frac{(2+\sqrt{3})^2}{4-3}} + \sqrt{\frac{(2-\sqrt{3})^2}{4-3}} = (2+\sqrt{3}) + (2-\sqrt{3}) = 4, \end{aligned}$$

但シ根號ハ正數ヲ表ハスモノトシ、正負ニツアルベキ根ノ内正號ノモノニヲ採レリ。

7. 方程式 $5x^2+7x-3=0$ ノ根ヲ小數點下三位マテ計算セヨ。又此方程式ヲ解カズシテ次ノ三ツノモノヲ計算セヨ

(A) 二根ノ和, (B) 二根ノ積, (C) 二根ノ平方ノ和。

(解) 此方程式ノ根ヲ求ムレバ

$$\begin{aligned} x &= \frac{-7 \pm \sqrt{7^2 + 4 \times 5 \times 3}}{2 \times 5} = \frac{-7 \pm \sqrt{119}}{10} \\ &= -0.7 \pm \sqrt{\frac{119}{100}} = -0.7 \pm \sqrt{1.09} \end{aligned}$$

然ルニ $\sqrt{1.09} = 1.044$ (不足ナル近似數)

$$\therefore x = -0.7 \pm 1.044, \therefore x_1 = 0.344, x_2 = -1.744,$$

又 方程式ヲ解カズシテ次ノ關係ヲ知ルコトヲ得

指数 不盡數 (113)

$$(A) x_1 + x_2 = -\frac{7}{5} = -1.4,$$

$$(B) x_1 x_2 = -\frac{3}{5} = -0.6,$$

$$\begin{aligned} (C) x_1^2 + x_2^2 &= (x_1 + x_2)^2 - 2x_1 x_2 \\ &= (-1.4)^2 - (-0.6) \times 2 = 3.16. \end{aligned}$$

8. $11+2\sqrt{30}$ ノ平方根ヲ求メヨ。

(解) $\sqrt{11+2\sqrt{30}} = \sqrt{x+y}$ トシテ兩邊ヲ平方ス

$$\text{レバ } 11+2\sqrt{30} = x+y+2\sqrt{xy}$$

$$\therefore x+y=11, \quad xy=30,$$

視察ニ依リ $x=6, y=5$ ナ得

因テ求ムル所ノ平方根ハ $\sqrt{6+5}$ ナリ。

9. $\sqrt{5} = 2.23607$, 及ビ $\sqrt{2} = 1.41421$, ナ與ヘテ次式ノ値ヲ求ム,

$$\sqrt{\frac{\sqrt{5}+\sqrt{3}}{2}} - \sqrt{\frac{\sqrt{5}-\sqrt{3}}{2}}$$

$$(解) \sqrt{\frac{\sqrt{5}+\sqrt{3}}{2}} - \sqrt{\frac{\sqrt{5}-\sqrt{3}}{2}} = x \text{ トス,}$$

各邊ヲ平方スレバ

$$\frac{\sqrt{5}+\sqrt{3}}{2} + \frac{\sqrt{5}-\sqrt{3}}{2} - 2\sqrt{\frac{5-3}{4}} = x^2,$$

$$\text{即チ } \sqrt{5}-\sqrt{2} = x^2,$$

$$\text{即チ } 2.23607 - 1.41421 = x^2$$

$$\therefore x = \sqrt{.82186} = .906+,$$

(114)

等差級數

注意 級數ノ試験問題ガ出ルトスレバ算術級數ナレバ應用問題、幾何級數ナレバ式題ガ出ルガ常ナリ。

$$l = a + (n-1)d,$$

$$s = \frac{n}{2}(a+l), \text{ 或ハ } s = \frac{n}{2}\{2a + (n-1)d\}.$$

1. 8, 16, 24, 32.....ナル級數ノ初項ヨリ任意ノ項迄ノ和ニ 1 ナ加ヘタルモノハ或奇數ノ平方ニ等シキヲ證セヨ。

(解) 任意ノ項數ヲ n トシ其總和ヲ s トスレバ

$$s = 8 + 16 + 24 + 32 + \dots + n\text{項}$$

$$= \frac{n}{2}\{2 \times 8 + (n-1) \times 8\} = 4n^2 + 4n.$$

$$\therefore s+1 = 4n^2 + 4n + 1 = (2n+1)^2, \text{ 即チ (奇數)}^2.$$

2. 甲乙ノ旅人アリ甲ハ毎日 20 哩ヲ行ク、今甲出發ノ後三日ヲ經テ、乙之ヲ追フニ初日ニハ八哩ヲ行キ次々ヨリハ毎日四哩ツ、ヲ増加シテ行キ若干日ノ終ニテ甲ニ追付ケリト云フ。其日數如何

(解) 其求ムル日數ヲ n トスレバ

$$\frac{n}{2}\{2 \times 8 + (n-1) \times 4\} = 20(n+3)$$

之ヲ解キテ $n=10$ ヲ得。

等 差 級 數 (115)

3. 甲乙ノ二人同時ニ 343 哩隔リタル兩地ヨリ相向テ出立セリ而シテ各毎日ノ行程ハ甲ハ二哩ヅ、増加シ、乙ハ五哩ヅ、減少セリ、此ノ如クニシテ兩人會合シタル日ハ各 20 哩ヲ歩ミシト云フ、幾日ニシテ相會セシヤ、

(解) 求ムル日數ヲ n トスレバ、

$$\text{甲ノ歩ミタル哩數ハ } \frac{n}{2}\{2 \times 20 + (n-1)(-2)\}$$

$$\text{乙ノ } \dots \dots \dots \frac{n}{2}\{2 \times 20 + (n-1) \times 5\}$$

甲乙ノ行程ヲ加ヘテ

$$\frac{n}{2}(77 + 3n) = 343.$$

之ヲ解キテ $n=7$ 或ハ $n=-\frac{98}{3}$ ヲ得。

由テ求ムル日數ハ 七日。

4 連續自然數ノ $2n+1$ 項ノ和ハ恒ニ $2n+1$ ニテ割リ切ルコトヲ得ベシ、之ヲ證セ。

(解) 初項ヲ a トスレバ $2n+1$ 項ノ總和ハ

$$S = \frac{2n+1}{2}\{2a + (2n+1-1) \times 1\},$$

$$= \frac{2n+1}{2}(2a+2n) = (2n+1)(a+n).$$

是レ總和ハ $2n+1$ ノ倍數ナルガ故ニ恒ニ $2n+1$ ニテ整除シ得ルコト明カナリ。

念亮ノミテハ東ノ推測ナリ

(116)

等比級數

$$l = ar^{n-1} \quad r < 1, \quad n = \infty \text{ ナル時,}$$

$$s = \frac{a(1-r^n)}{1-r}, \quad s = \frac{a}{1-r}$$

1. $\frac{\sqrt{3}}{\sqrt{3}+1} + \frac{\sqrt{3}}{\sqrt{3}+2} + \frac{\sqrt{3}-2}{\sqrt{3}+2} + \dots$ 20項ノ和ヲ求ム.

(解) 公比ハ

$$\frac{\sqrt{3}}{\sqrt{3}+2} \div \frac{\sqrt{3}}{\sqrt{3}+1} \text{ 即チ } \frac{\sqrt{3}}{\sqrt{3}+2} \times \frac{\sqrt{3}+1}{\sqrt{3}} = \frac{\sqrt{3}+1}{\sqrt{3}+2}$$

尙ホ分子ニ $\sqrt{3}-2$ ヲ乘ツテ分母ヲ有理數ニ化スレ

$$\times \frac{\sqrt{3}+1}{\sqrt{3}+2} \times \frac{\sqrt{3}-2}{\sqrt{3}-2} = \frac{1-\sqrt{3}}{3-2} = 1-\sqrt{3}, \text{ ナ得.}$$

故ニ總和ヲ求ムル公式ニ

$$s = \frac{\frac{\sqrt{3}}{\sqrt{3}+1} \{1 - (1-\sqrt{3})^{20}\}}{1 - (1-\sqrt{3})} = \frac{1}{\sqrt{3}+1} \{1 - (1-\sqrt{3})^{20}\}$$

$$= \frac{1}{\sqrt{3}+1} \times \frac{\sqrt{3}-1}{\sqrt{3}-1} \{1 - (1-\sqrt{3})^{20}\}$$

$$= \frac{\sqrt{3}-1}{2} \{1 - (1-\sqrt{3})^{20}\}$$

2. $\frac{2}{5} + \frac{3}{5^2} + \frac{2}{5^3} + \frac{3}{5^4} + \dots$ 無窮項ノ和ヲ求ム.

(解) 此級數ヲ初ヨリ二項ツ、括弧ニ入ルルハ

次ノ如キ等比級數ヲナス、即チ

$$\left(\frac{2}{5} + \frac{3}{5^2}\right) + \left(\frac{2}{5^3} + \frac{3}{5^4}\right) + \dots = \left(\frac{2}{5} + \frac{3}{5^2}\right) + \frac{1}{5^2} \left(\frac{2}{5} + \frac{3}{5^2}\right) + \dots$$

等 差 級 數 (117)

即チ 初項ハ $(\frac{2}{5} + \frac{3}{5^2})$, 公比ハ $\frac{1}{5}$ ナルヲ以テ, 無窮級數ノ總和ヲ求ムル公式 $s = \frac{a}{1-r}$ ニヨリ

$$\text{求ムル所ノ總和ハ } \frac{\frac{2}{5} + \frac{3}{5^2}}{1 - \frac{1}{5}} = \frac{2}{5} \cdot \frac{5}{4} \text{ ナリ.}$$

3 等比級數ノ n 項ノ和ヲ s_n トスルハ

$$s_1 + s_2 + s_3 + \dots + s_n \text{ ノ和ヲ求ム.}$$

(解) 初項ヲ a , 公比ヲ r トスルハ

$$s_1 = \frac{a(r-1)}{r-1}, \quad s_2 = \frac{a(r^2-1)}{r-1}, \quad \dots, \quad s_n = \frac{a(r^n-1)}{r-1}$$

今是等 n 項ノ和ヲ求ルニ 各項皆 $\frac{a}{r-1}$ ナ有スルヲ

以テ之ヲ括リ $(r-1)$, (r^2-1) , 等ノ和ヲ求レバヨ

シ, 故ニ

$$s_1 + s_2 + s_3 + \dots + s_n = \frac{a}{r-1} (r + r^2 + r^3 + \dots + r^n - n),$$
$$= \frac{a}{r-1} \left\{ \frac{r(r^n-1)}{r-1} \right\}, \text{ ナ答トス.}$$

4 第 m 項ハ $(-1)^m a^{4^m}$ ナル所ノ級數 n 項ノ和ヲ求

ム.

(解) 第 m 項ガ $(-1)^m a^{4^m}$ ナルヲ以テ,

$$\text{第一項} = (-1)^1 a^{4 \times 1} = -a^4,$$

$$\text{第二項} = (-1)^2 a^{4 \times 2} = +a^8$$

$$\text{第三項} = (-1)^3 a^{4 \times 3} = -a^{12}, \dots$$

故ニ 公比 $= a^8 \div (-a^4) = -a^4$, 因テ所要ノ總和ハ

$$-a^4 \{ (-a^4)^n - 1 \} / (-a^4 - 1) = a^4 \{ (-a^4)^n - 1 \} / (a^4 + 1).$$

(118) 等 差 級 數

5. 等差級數ヲナス四數アリ此等ノ數ニ順次ニ一、一、三及ビ九ヲ加フレバ等比級數ヲナスト云フ、其數如何。

(解) 四數ヲ $a, a+d, a+2d, a+3d$ トナス
 其ハ次ノ方程式ヲ得、

$$\frac{a+1}{a+d+1} = \frac{a+d+1}{a+2d+3} = \frac{a+2d+3}{a+3d+9}$$

同値分數ノ理ニ由リテ、其分數ノ差ヲ分子トシ、分母ノ差ヲ分母トシタル分數ヲ作レバ

$$\frac{(a+1)-(a+d+1)}{(a+d+1)-(a+2d+3)} = \frac{(a+d+1)-(a+2d+3)}{(a+2d+3)-(a+3d+9)}$$

即チ $\frac{d}{d+2} = \frac{d+2}{d+6}$, 同様ニシテ $= \frac{1}{2}$,

$$2d = d+2,$$

$$\therefore d = 2,$$

之ヲ初ノ式ニ換ヘテ

$$\frac{a+1}{a+3} = \frac{a+3}{a+7}, \text{ 同様ニシテ } = \frac{1}{2},$$

$$2a+2 = a+3,$$

$$\therefore a = 1,$$

故ニ求ムル所ノ四數ハ 1, 3, 5, 7.

6. $\frac{1}{2} + \frac{2}{4} + \frac{3}{8} + \dots$ 無限項ノ和ヲ求ム。

$\frac{1}{2} + \frac{2}{4} + \frac{3}{8}$

等 比 級 數 (119)

(解) $s = \frac{1}{2} + \frac{2}{4} + \frac{3}{8} + \frac{4}{16} + \dots$

$$\frac{1}{2}s = \frac{1}{4} + \frac{2}{8} + \frac{3}{16} + \dots$$

$$\frac{1}{2}s = \frac{1}{2} + \frac{1}{4} + \frac{1}{8} + \frac{1}{16} + \dots$$

$$= \frac{\frac{1}{2}}{1 - \frac{1}{2}} = 1, \therefore s = 2.$$

7. 年利率ヲ i トシ金 b 圓ヲ預ケ更ニ今後滿一年毎ニ金 a 圓宛ニ n 回預ル其ハ n 年ノ後ニ元利合計幾何ナルカ

(解) 年利率ヲ i , 最初 b 圓ヲ預ケ入レアルニヨリ n 年ノ後ニハ之ヨリ生ズル元利合計ハ

$$b(1+i)^n$$

第一年目ノ終リニ預ケ入レタル a 圓ハ夫ヨリ $n-1$ 年後ニハ $a(1+i)^{n-1}$ 以下之ニ準ズ、故ニカク毎年ノ末ニ a 圓ツ、預ケ入レタル金高ノ最利ヨリ n 年後ノ元利合計ハ次ノ如シ

$$a(1+i)^{n-1} + a(1+i)^{n-2} + \dots + a(1+i)$$

$$= a(1+i)\{(1+i)^{n-2} + (1+i)^{n-3} + \dots + 1\},$$

$$= a(1+i) \frac{1 - (1+i)^{n-1}}{1 - (1+i)} = a(1+i) \frac{(1+i)^{n-1} - 1}{i}$$

因テ所求ノ元利合計ハ次ノ如シ

$$b(1+i)^n + a(1+i) \frac{(1+i)^{n-1} - 1}{i}$$

順 列

$${}_n P_r = n(n-1)(n-2)(n-3)\dots(n-r+1),$$

$${}_n P_n = n.$$

1 5, 3, 6, 4, 9 ナル五ツノ数字ヲ悉ク採リテ幾何ノ奇數ヲ作り得ベキカ。

(解) 此五ツノ数字ヲ悉ク用ヒテ作り得ベキ奇數ノ末位ノ数字ハ 5, 3, 及ビ 9 ナリ, 例ヘバ 5 ナ末位ニ有スル數ハ残りノ四個ヲ悉ク取りテ作り得ベキ順列ノ數 4 = 等シ, 故ニ求ムル所ノ數ハ

$$4 \times 3 = 4 \times 3 \times 2 \times 1 \times 3 = 72.$$

2 10 人ナ一列ニ坐セシムルニ其中 3 人ハ仲悪ルニテ隣席スルヲ得ザルモノトス, 其坐リ方幾種アルカ。

解 其仲悪ル 3 人ヲ除キ, 残り 7 人ノ坐スベキ法ハ ${}_7 P_7$ ニシテ, 其 3 人ガ此 7 人ノ傍ニ坐スベキ位置ハ其一順列ニ付 8 ヲ處アリ, 故ニ其 3 人ノ坐スベキ種々ノ法ハ

$${}_8 P_3 \text{ トス,}$$

因テ前ノモノト結び付ケテ

$${}_7 P_7 \times {}_8 P_3 = 7 \times 8 \times 7 \times 6 = 42 \times 8$$

3. 二個ノ皿ヲ有スル秤ニ於テ五個ノ異リタル分銅ヲ有スルキハ幾種ノ重サヲ計リ得ベキカ。

(解) 五個ノ分銅ヲ別々ニ使用スルキハ其仕方ハ ${}_5 P_1$ ニシテ, 五個ノ中二個ヅク用ルキハ其仕方ハ ${}_5 P_2$ ナリ, 其他之ニ準ズ, 故ニ相異リタル重サハ

$${}_5 P_1 + {}_5 P_2 + {}_5 P_3 + {}_5 P_4 + {}_5 P_5 = 325,$$

即チ, 三百二十五種アリ。

4. 四人ガ圓坐スル仕方ハ幾通アルカ。

(解) 坐席ニ特別ノ位置ナク, 唯其廻リ順ニノミ關スルモノトスレバ, 其内ノ一人ハ或場所ニ着席シタルマニテ他ノ三人ヲ種々ニ坐セシムレバ可ナル 7 トナル。由テ其變數ハ

$${}_3 P_3 = 6.$$

5. 6532 は 5 ナル文字ヲ種々ニ並べ變ヘナバ幾種ノ語ヲ得ルカ。

(解) 此種ノ順列ノ公式ニ依リテ直ニ次ノ答ヲ得。

$$\frac{6!}{(2)!} = 90.$$

$$\begin{array}{r} 6 \times 5 \times 4 \times 3 \times 2 \\ \hline 2 \\ \hline 36 \end{array}$$

組 合

$${}^n C_r = \frac{n(n-1)(n-2)\dots(n-r+1)}{r!}$$

$$= \frac{n!}{r!(n-r)!} \quad {}^n C_r = {}^n C_{n-r}$$

1. 三十人ノ議員ヨリ一人ノ議長ト五人ノ常置委員トヲ撰擧スル仕方ハ幾種アルカ。

(解) 30人ノ中ヨリ議長, 委員合セテ六人丈ヲ撰擧スル方法ノ數ハ ${}_{30}C_6$ ナリ; 而シテ是等ノ組合セノ各ニ就テ其組ヨリ議長一人ヲ撰擧スル方法ノ數ハ ${}_6C_1$ ナリ, 故ニ ${}_{30}C_6$ 組ニ就テハ ${}_6C_1 \times {}_{30}C_6 = 3562650$ ナリ。

2. 十人ノ中ヨリ五人ヲ撰ブニハ幾通りノ撰方アルカ, 但シ或二人ハ同時ニ撰ニ入ルヲ能ハザルモノトス。

(解) 10ヨリ5人ヲ撰ブ仕方ハ ${}_{10}C_5$ ナリ, 然ルニ或ル特別ナル二人ガ相共ニ同時ニ此撰ニ入ルベキ數ハ, 先ヅ此二人ヲ取り除ク置キテ殘ル八人ヲ三人ヅノ組合セテソノ各組合セニ前ノ特別ナル二人ヲ夫々加フルニアリ從テ此數ハ ${}_8C_3$ ナリ, 故ニ所要ノ撰方ハ

$${}_{10}C_5 - {}_8C_3 = \frac{10!}{5!5!} - \frac{8!}{3!5!} = 252 - 56 = 196$$

3. 母音子音各三字ヲ以テ六字ノ語ヲ綴ルニ母音ハ恒ニ偶位ニアル様ニナスキハ幾種ノ語ヲ得ルカ。又若シ此六字ヲ以テ子音母音各二字ヨリ成ル四字ノ語ヲ綴ラバ其數如何。

(解) 母音三字ヲ偶位ニ置ク仕方ハ ${}_3P_2$ アリ; 又子音三字ヲ奇位ニ置ク仕方モ ${}_3P_3$ アリ。故ニ之ヲ合セテ六字ヲ所要ノ如ク置ク仕方ハ

$${}_3P_2 \times {}_3P_3 = 3 \times 3 = 36$$

又母音三字ノ中ヨリ二字ヅヲ取ル仕方ハ ${}_3C_2$ 同様ニ子音 ${}_3C_2$ 故ニ母音二字ト子音二字ト組ミ合セル仕方ハ

$${}_3C_2 \times {}_3C_2$$

ニシテ, 之ニ順序ヲ與ヘテ種々ニ順列スレバ

$${}_3C_2 \times {}_3C_2 \times {}_4P_4 = 216$$

4. 正十角形ノ對角線ハ幾筋アルカ。

(解) 正十角形ノ角頂ハ10個アリ, 今若シ之ヲニツ宛結ベハ ${}_{10}C_2$ アリ; 而テ其中ノ十筋ハ邊ト一致スルヲ以テ對角線ノ數ハ ${}_{10}C_2 - 10 = 45 - 10 = 35$ 筋。

注意 順列或ハ組合セノ試験問題が出タリトスレバ, 必ズ應用問題ニ限ル; 茲ニハ記憶スベキ大切ノ問題ノミヲ掲ゲト雖モ遠アラバ其他ノ問題モ涉獵スベシ。

二項法

$$(a+b)^n = a^n + n c_1 a^{n-1} b + n c_2 a^{n-2} b^2 + \dots$$

$$+ n c_r a^{n-r} b^r + \dots + n c_{r-1} a b^{n-1} + n c_n b^n$$

$(a+b)^n$ の展開ニ於ケル第 $r+1$ 番ノ項ハ $n c_r a^{n-r} b^r$ ナリ。

1 $(1-x)^{22}$ ノ展開ニ於テ第二十一項ヲ求ム。

(解) 第 $r+1$ 番目ノ項ハ $n c_r a^{n-r} b^r$ ナルヲ以テ所要ノ項ハ

$${}_{22}c_{20} 1^{22-20} (-x)^{20} = \frac{22 \times 21}{2} \times 1^2 \times x^{20} = 231x^{20}$$

2 $(1+x)^{10}$ ノ展開ニ於テ中央ノ項ヲ求ム。

(解) 此展開セル項數ハ $10+1=11$ ナリ、因テ中央ノ項ハ $(11+1) \div 2 = 6$ 、即チ六番目ナリ

故ニ、所要ノ項ハ ${}_{10}c_5 \cdot 1 \cdot 1^{10-5} x^5 = \frac{10!}{5!5!} x^5 = 252x^5$ ナリ。

3 $(1+x)^{p+q}$ ニ於テ x^p 及ビ x^q ノ係數ハ相等シキコトヲ証セヨ。但シ p 及ビ q ハ整数トス。

(解) x^p ノ有スル係數ハ ${}_{p+q}C_p$ ニシテ、 x^q ノ有スル係數ハ ${}_{p+q}C_q$ ナリ、而シテ組合セノ定理ニ據テ ${}_{p+q}C_p = {}_{p+q}C_q$ ナリ、

故ニ x^p 及ビ x^q ノ係數ハ相等シキナリ。

4 $(x + \frac{1}{x})^8$ ノ展開中 x^2 ナ含ム項ヲ求ム。

(解) $(x + \frac{1}{x})^8$ ノ展開中 x^2 ナ含ム項ハ $x^5 (\frac{1}{x})^3$ ノ項

ニ相當ス即チ第四番目ノ項ナリ、故ニ此係數ハ

$${}_{8}c_3 = \frac{8 \cdot 7 \cdot 6}{3 \cdot 2 \cdot 1} = 56, \text{ 故ニ求ムル所ノ項ハ } 56x^2$$

5 $(x^2 + \frac{1}{x^3})^n$ ノ展開ニ於テ x^r ノ係數ヲ求ム。

(解) 先ヅ求ムル所ノ x^r ハ第 $p+1$ 番目ニ起ルモノト假定スレバ此 $p+1$ 番目ノ項ハ次ノ如シ、

$${}_{n}C_p (x^2)^{n-p} (\frac{1}{x^3})^p = {}_{n}C_p x^{2n-5p}$$

然ルニ此項ハ x^r ナルヲ以テ $2n-5p=r$ ナリ、

故ニ $p = \frac{2n-r}{5}$ ナルベシ、因テ求ムル所ノ係數ハ

$${}_{n}C_p = \frac{n!}{\frac{1}{5}(2n-r)! \frac{1}{5}(3n+r)!} \text{ トス}$$

但シ $\frac{2n-r}{5}$ ガ正整数ナラザレバ展開中 x^r ナ含ム項ナシ。

對・數

對數原理 I $\log_a(M \times N) = \log_a M + \log_a N$,

II $\log_a N^k = k \log_a N$,

III $\log_a N = \frac{1}{\log_b a} \log_b N$.

注意 (1) $\log_a a = 1$, (2) $\log_a 1 = 0$,

(3) $\log_a 0 = \infty$.

1 底 4 及 $2\sqrt{2}$ に於ケル 128 の對數ヲ求ム.

(解) $128 = 2^7 = (2^{\frac{7}{2}})^2 = 4^{\frac{7}{2}}$, $\therefore \log_4 128 = \frac{7}{2}$.

又 $128 = 2^7 = (2^{\frac{14}{3}})^{\frac{3}{2}} = (2\sqrt{2})^{\frac{14}{3}}$.

$\therefore \log_{2\sqrt{2}} 128 = \frac{14}{3}$.

2 底 10 に於ケル .01 の對數及底 $\frac{1}{3}$ に於ケル $\sqrt{27}$ の對數ヲ求ム.

(解) $\log_{10} .01 = \log_{10} \frac{1}{100} = \log_{10} 10^{-2} = -2$

又 $\log_{\frac{1}{3}} \sqrt{27} = \log_{\frac{1}{3}} (3^{\frac{3}{2}}) = \log_{\frac{1}{3}} (3^{-1})^{-\frac{3}{2}} = \log_{\frac{1}{3}} (\frac{1}{3})^{-\frac{3}{2}}$
 $= -\frac{3}{2} \cdot \log_{\frac{1}{3}} \frac{1}{3} = -\frac{3}{2} \cdot (-1) = \frac{3}{2}$.

3 $2^{\log_4 x} = \sqrt{x}$ ナ証セ

(解) $2^{\log_4 x} = k$ トスルニ $\log_4 x \log_4 2 = \log_4 k$,

即チ $\log_4 x \log_4 (4)^{\frac{1}{2}} = \frac{1}{2} \log_4 x = \log_4 x^{\frac{1}{2}} = \log_4 k$, $\therefore \sqrt{x} = k$.

4 $\log 2 = .30103$ ナ與ヘテ $\log \sqrt[3]{6.25}$ ナ求ム.

(解) $\log \sqrt[3]{6.25} = \frac{1}{3} \log \frac{100}{2^4} = \frac{1}{3} (2 - 4 \times .30103) = .26529$.

5 $6 \log \frac{2}{3} - 4 \log 1\frac{1}{9} + 2 \log \frac{25}{6}$ ノ値ヲ計算セヨ.

(解) 與ヘテ \log ナル式 = $\log \{ (\frac{2}{3})^6 \div (\frac{10}{9})^4 \times (\frac{25}{6})^2 \}$
 $= \log 1 = 0$.

6 $\log_{10} 8062$ 及 $\log_6 8062$ ノ指標ヲ求ム.

(解) $10^3 < 8062 < 10^4$, \therefore 指標ハ 3 ナリ,

又 $6^5 < 8062 < 6^6$, \therefore 指標ハ 5 ナリ.

7 $\log_{10} .00023$ 及 $\log_{12} .00023$ ノ指標ヲ求ム.

(解) $10^{-4} < .00023 < 10^{-3}$, $12^{-4} < .00023 < 12^{-3}$
 \therefore 指標 -4.

8 .001 ナ底數トセル .0001 ノ對數ヲ求ム.

(解) $\log_{.001} .0001 = \frac{\log_{10} .0001}{\log_{10} .001} = \frac{-4}{-3} = \frac{4}{3}$.

指數方程式

1 $4^x - 2^{x+1} = 48$ ナ解ケ.

(解) $2^x = y$ ト置ケバ $4^x = (2^2)^x = (2^x)^2 = y^2$

$2^{x+1} = 2 \times 2^x = 2y$ ナルヲ以テ次ノ如クナル

$y^2 - 2y - 48 = 0$, 即チ $(y-8)(y+6) = 0$.

ノ如何ナル値ニテモ y ハ恒ニ正數ナルヲ以テ第二

ノ因子ハ零ナル能ハズ, 因テ第一ノ因子ヨリ

(128) 指數方程式

$y=8$, 即ち $2^x=2^3 \therefore x=3$.

カ 2 $4^x-2^x=56$ を解け.

(解) $2^{2x}-2^x-56=(2^x-8)(2^x+7)=0$,

$\therefore 2^x=8$ 即ち $2^x=2^3$ 或ハ $2^x=-7$ (捨テル)

$\therefore x=3$.

3 $3^x+7 \cdot 3^{-x}=8$ を解け.

(解) 各項に 3^x を乗ズレバ

$3^{2x}+7=8 \cdot 3^x$ 之ヲ轉項シテ

$3^{2x}-8 \cdot 3^x+7=0$, 即ち $(3^x-1)(3^x-7)=0$.

$\therefore 3^x=1$ 即ち $3^x=3^0, \therefore x=0$,

或ハ $3^x=7$, 因テ $x \log 3 = \log 7$, 即ち $x = \frac{\log 7}{\log 3}$.

4 $10^{\log 2} = \log x$ を解け.

(解) 兩邊ノ對數ヲ取レバ

$\log 2 \log 10 = \log(\log x)$,

即ち $\log 2 = \log(\log x)$,

$\therefore 2 = \log x \therefore x = 10^2 = 100$.

5 $\log x + \log y = 1, x + y = 11$ を解け.

(解) $\log x + \log y = \log(xy) = 1, \therefore xy = 10$,

因テ $x + y = 11, xy = 10$ ナル一組ノ方程式ヲ解ケバ

$x=1, y=10$. 或ハ $x=10, y=1$.

指數方程式 (129)

6 次ノ方程式ヲ解ケ

$\log \sqrt{3x+4} + \frac{1}{2} \log(5x+1) = 1 + \log 3$,

(解) 與ヘラレタル方程式ノ次ノ如ク變化スルヲ得,

$\log \sqrt{3x+4} + \log \sqrt{5x+1} = \log 10 + \log 3$,

$\therefore \log(\sqrt{3x+4} \sqrt{5x+1}) = \log(10 \times 3)$,

$\sqrt{3x+4} \sqrt{5x+1} = 10 \times 3$,

$(3x+4)(5x+1) = 30^2$,

簡單ニシテ $15x^2 + 23x - 896 = 0$,

此二次方程式ヲ解キテ

$x = \frac{-23 \pm \sqrt{23^2 - 4 \times 896}}{15 \times 2}$

$\therefore x=7$, 或ハ $-\frac{128}{15}$.

一度方程式ノ兩邊ヲ平方シタレバ之ガ爲ニ餘計ナル根ヲ誘導スルヲナキヤ明カナリ, 然レモ上ニ得タル負根ハ $3x+4, 5x+1$ ナトモニ負ナラシムルヲ以テ採用スルヲ得ズ, 何トナレバ負數ノ對數ハ實數ニアラザレバナリ; 因テ $x=7$ ノミ所要ノ根ナリ.

雑例解

1. 次ノ二ツノ方程式ニ共通ナル根ヲ求メヨ.

$$x^3 + 2x^2 + 9 = 0,$$

$$x^3 - 4x + 15 = 0,$$

(解) 與ヘラレタル二方程式ニ共通ナル根ハ方程式ノ左邊ニアル二ツノ代数式ノ最大公約數ヲ零ニ等シト置キテ得ベキ方程式ノ根ト同シ、因テ先ツ最大公約數ヲ求ムルニ $x+3$ ナリ得、故ニ所要ノ根ハ方程式

$$x+3=0 \text{ ノ根 } x=-3 \text{ ナリ}$$

2. $ax^2 + bx + c = 0, \dots\dots\dots(1)$

$$cx^2 + bx + a = 0, \dots\dots\dots(2)$$

ガ公通一根ヲ有スベキ要件ヲ求ム.

(解) (1)ニ c ナリ, (2)ニ a ナリ乘ツテ相減スレバ

$$\begin{array}{r} acx^2 + bcx + c^2 = 0 \\ acx^2 + abx + a^2 = 0 \\ \hline (bc-ab)x + c^2 - a^2 = 0 \end{array} (\sim)$$

即チ $(c-a)(bx+c+a) = 0$

若シ $c-a=0$ 即チ $a=c$ ナラバ, 二根公通トナルヲ以テ題義ニ合セズ, 故ニ

$$bx+c+a=0 \dots\dots\dots(3)$$

又 (1)ニ a ナリ, (2)ニ c ナリ乘ツテ相減スレバ

$$a^2x^2 + abx + ac = 0$$

$$c^2x^2 + bcx + ac = 0$$

$$\frac{a^2x^2 + abx + ac}{c^2x^2 + bcx + ac} (\sim)$$

$$(a^2 - c^2)x^2 + (ab - bc)x = 0$$

即チ $x(a-c)\{(a+c)x+b\} = 0$

x 及ビ $a-c$ ハ零ナラザルヲ以テ

$$(a+c)x+b=0 \dots\dots\dots(4)$$

(3) 及 (4) ハ公通根ナルベキガ故ニ同値方程式ナリ;

故ニ $\frac{b}{a} = \frac{c+a}{b}$

即チ $(a-c)^2 = b^2$

$\therefore a+c = \pm b$ ハ所要ノ要件ナリ.

3. $x+y+6\sqrt{-1} = xy\sqrt{-1}+5$, ニ適スベキ x, y

ノ實値ヲ求ム.

(解) 此形ヲ變ズレバ

$$x+y-5 = (xy-6)\sqrt{-1},$$

而シテ實値ト虚値ト相等シキハ各唯零ナルトニ限ルヲ

以テ $x+y-5=0, xy-6=0$

之ヲ解キテ x, y ハ 2 及ビ 3 ナルヲ知ル.

4. $x^2 + y^2 - 6x + 4y + 13 = 0$. ニ適スベキ x, y ノ

實値ヲ求ム.

(解) 此形ヲ變ズレバ

$$(x^2 - 6x + 9) + (y^2 + 4y + 4) = 0,$$

即チ $(x-3)^2 + (y+2)^2 = 0.$

而シテ $(x-3)^2$, 及ビ $(y+2)^2$ ハ x, y カ實量ナルベキガ故ニ各正量ナリ, 而シテ兩正量ノ和ガ零ナルハ唯

$$x-3=0 \quad y+2=0 \quad \text{ナル時ニ限ル},$$

故ニ所要ノ答數ハ $x=3, y=-2.$

5. $x^2 + y^2 - 6x - 8y = 0$ ニ適スベキ x, y ノ最大及ビ最小實値ヲ求ム.

(解) 此式ヲ變ズレバ

$$x^2 - 6x + 9 = -y^2 + 8y + 9$$

之ヲ平方ニ開ケバ $x-3 = \pm \sqrt{-(y-9)(y+1)}$

x カ實量ナル爲ニハ $-(y-9)(y+1) \geq 0$ ナルベク,

即チ $-(y-9)(y+1) \geq 0$ ナルベクシテ, 之ニ適スル y ノ最大値ハ 9, 其最小値ハ -1 ナルコト明カナリ
同様ニ原式ヨリ

$$y-4 = \pm \sqrt{-(x-8)(x+2)} \quad \text{ヲ得.}$$

之ヨリ x ノ最大値ハ 8, 最小値ハ -2ナルコトヲ知ル.

6. $2s = a + b + c$ ナル時

$$2(s-a)(s-b)(s-c) + a(s-b)(s-c) + b(s-c)(s-a) + c(s-a)(s-b) \quad \text{ノ最簡式ヲ求ム.}$$

(解) $2(s-a)(s-b)(s-c) + a(s-c)(s-b) + b(s-c)(s-a) + c(s-a)(s-b)$
 $= 2[s^3 - (a+b+c)s^2 + (bc+ca+ab)s - abc]$

$$+ (a+b+c)s^2 - 2(bc+ca+ab)s + 3abc = 2s^3 - (a+b+c)s^2 + abc = abc.$$

7. $x+y+z = \frac{1}{x} + \frac{1}{y} + \frac{1}{z} = 1$ ナルトキハ x, y, z ノ

中ノ何レカ一ツハ必ズ 1ニ等シカラザルベカラザルコトヲ証明セヨ.

(解) 原式ヨリ $1 - (x+y+z) = 0 \dots\dots\dots(1)$ ヲ得.

又 $\frac{1}{x} + \frac{1}{y} + \frac{1}{z} - 1 = 0$ ヨリ, 分母ヲ拂フテ

$$yz+zx+xy-xyz=0 \dots\dots\dots(2) \quad \text{ヲ得.}$$

(1)ト(2)トヲ加ヘテ

$$1 - (x+y+z) + (yz+zx+xy) - xyz = 0$$

即チ $(1-x)(1-y)(1-z) = 0.$

故ニ此要件ヲ滿タス爲メニハ $1-x, 1-y, 1-z$ ノ内ノ何レカ一ツハ零ナラザルベカラズ. 故ニ題言ノ如シ.

8. $a+b+c=0$ ナル時ハ

$$a^3 + b^3 + c^3 = 3abc \quad \text{ナルコトヲ証セ.}$$

(解) $a+b+c=0$ ヨリ $a+b=-c,$

之ヲ三乗シテ $a^3 + b^3 + 3ab(a+b) = -c^3,$

故ニ $a^3 + b^3 + 3ab(-c) = -c^3,$

轉項シテ $a^3 + b^3 + c^3 = 3abc.$

(134)

9. 根が $3+5\sqrt{-1}$ ナル有理整方程式ヲ作レ

(解) 未知數ヲ x トスレバ

$$x=3+5\sqrt{-1},$$

因テ $x-3=5\sqrt{-1}$, 兩邊ヲ平方シテ

$$x^2-6x+9=-5,$$

即チ $x^2-6x+14=0$,

是レ求ムル所ノ方程式ノ最簡ナルモノニシテ, 其一般

ナルモノハ x ノ任意有理, 整, 代數式ヲ P トスレバ

$$P(x^2-6x+14)=0.$$

10. $x = \frac{\sqrt[m]{m+1} + \sqrt[m]{m-1}}{\sqrt[m]{m+1} - \sqrt[m]{m-1}}$ ナルトキ次式ヲ証明セヨ

$$x^3 - 3mx^2 + 3x - m = 0,$$

(解) $\frac{x}{1} = \frac{\sqrt[m]{m+1} + \sqrt[m]{m-1}}{\sqrt[m]{m+1} - \sqrt[m]{m-1}}$ ナルガ故ニ

$$\frac{x+1}{x-1} = \frac{(\sqrt[m]{m+1} + \sqrt[m]{m+1}) + (\sqrt[m]{m+1} - \sqrt[m]{m+1})}{(\sqrt[m]{m-1} + \sqrt[m]{m+1}) - (\sqrt[m]{m-1} - \sqrt[m]{m+1})}$$

$$= \frac{\sqrt[m]{m+1}}{\sqrt[m]{m-1}} = \frac{\sqrt[m]{m-1}}{\sqrt[m]{m+1}}$$

$$\text{故ニ } \frac{(x+1)^3}{(x-1)^3} = \frac{m+1}{m-1}, \text{ 故ニ } \frac{(x+1)^3 + (x-1)^3}{(x-1)^3 - (x+1)^3} = m$$

之ヲ簡略ニシテ分母ヲ拂ヘバ

$$x^3 - 3mx^2 + 3x - m = 0 \quad \text{ヲ得}$$

幾何試験ノ受方

13. 幾何學ハ之ヲ學ブニシテモ其試験ヲ受ケルニシテモ, 此學ノ大体ノ組立ヲ知ラヌハ大ナル損ナリ; 普通教科書ヲ真正面ヨリ觀レバ, 幾何學ハ圖形ノ學問ニシテ之ヲ考究スルニハ數ヲ用ヒズ, 直ニ其量ニ就テ線ノ長短, 角ノ大小等ヲ論ズルガ故ニ其所説ハ一般ナリト云フコトヲ知ルベク, 是レ此學ノ大体ノ組立ニ相違ナケレバ, 此學ヲ早ク會得シ, 又ハ充分ニ受験ノ豫備ヲナサントスルニハ尙ホ, 之ヲ著述ノ裏ヨリ觀タル秘密ノ組立ヲ知ラザルベカラズ; 其秘密ノ組立トハ普通幾何教科書ニ擧ゲタル定理トハ何ノ所論ナルカ其次ニ記セル練習問題トハ何ノ所説ナルカヲ知ルコト是レナリ, 抑モ幾何定理ト云フハ圖形ガ有スル性質ノ一部分ノ論定ナリ, 又之ニ次ク問題トハ同ク圖形ガ有スル性質ノ他ノ一部分ノ論定ナリ, 定理ト雖モ之ニ次ク問題ノ解ヲ抱括セズ, 問題ト雖モ圖形ノ公性ヲ缺ケルニテラズ! 定理問題固ト是レ圖形ノ性質ノ一部分ヲ夫々顯ハス同種ノ論定ノミ, 唯定理ハ問題ニ比較シテ其用幾分カ廣キヲ撰ミテ著者ガ名ヅケタル稱號ナリト知ルベシ, 之ニ依テ觀レバ幾何ノ定理ト問題ト算術代數ノ定理ト問題ト其關係ノ異ナルヲ知ルベク, 別言スレバ幾何ノ定理ハ定理ニシテ其問題モ亦等シク定理

ナリト知ルベシ; 随テ幾何學ハ其定理ヲノミ定理ト思ヒ
基本作圖ヲノミ基本作圖ト思フコト勿レ、其練習題モ亦悉
ク定理及ビ基本作圖ナリ、固ヨリ其已修ノ性質ハ如何ナ
ル場合ニ之ヲ用ヒ之ヲ引証スルヲモ妨ケズ、其成ルベク
ハ人ノ多ク知レル性質ヲ用ヒテ之ヲ論斷スルヲ優レリト
スルノミ

幾何ノ組立上述ノ如シ、即チ定理、作圖、問題ハ何レモ圖形
ノ性質ヲ論斷シ、或ハ必要充分條件ヲ與ヘテ之ヲ作成セ
シムルモノナリ、今其求ムル所ノ何タルニ關ラズ總テ之
ヲ問題ト稱フルルハ、問題ハ初等幾何學ニ於テハ二千ヲ
越ユルコトナカルベク、其重モナルモノハ一千以下ニ在ラ
ン、之ヲ以テ若シ幾何ニ於テ一千題ノ解答ヲ暗記スルニ
於テハ幾何ノ達人トナリ試験問題ハ悉ク既知ノモノノミ
トナルベシ、之ニ依テ

受験ノ豫備 トシテハ其定理、基本作圖ハ勿論、其
重ナル問題ヲモ合セテ其解答ヲ記憶スルコト是レナリ; 而
テ普通幾何學教科書ニ於テハ其問題ハ最も重モナルモノ
ヲ擇ンテ四五百ノ間ニアルベシ、故ニ若シ善ク其一冊ヲ
熟復セバ試験問題五ツノ内ノ三ト、恐ク四ツハ既知ノモ
ノタラン其残りノ一ツモ亦既知ノ性質ヨリ僅カテ之
ヲ解キ得ン、故ニ幾何ノ試験ヲ受ケントスルニハ一書ヲ
熟讀精通センニハ若カザルナリ、依テ次ニ其書ヲ會得シ
目ニ其解ヲ記憶スルノ法ヲ述ベン

幾何學ノ學ビ方 若シ人々ノ視力正確ニシテ線
ノ長短、角ノ大小ヲ目分量ニテ測リ過誤ナクバ、幾何學ノ
必要ナキナリ、既ニ目ガ正確ナラズトスレバ圖形ヲ觀察
スルニハ既得ノ眞理ニ依リテ其部度判決セザルベカラズ
然シテ若シ此判決ヲ速ニセントスルニハ、成ルベク其終
決ニ近キ眞理ヲ擇マザルベカラズ、之ニ依テ幾何學ヲ學
ブニハ其已ニ習ヒ得タル定理、作圖、重ナル問題ハ其語句
ニ至ルマテ之ヲ諳記スルコトヲ務メザルベカラズ諳記ヲ旨
トセザル幾何學ハ習フニアラザルナリ、之ヲ玩ブナリ; 勿
論何科ナリトテ忘レテ可ナルモノナケレドモ幾何學ハ取
リ分ケ記憶ニ記憶ヲトセザルベカラズ; 而シテ之ヲ記憶
スルノ最良法トシテ余ガ經驗ヲ積メルモノハ下ノ如シ

幾何題解ヲ記憶スル最良法 畫學紙ヲ縦四寸
横三寸計リニ裁キ定理ニアレ作圖題ニアレ毎日習ヒ得タ
ル毎ニ一枚ニ一閱シ、丁寧ニ清書シ其証明モ概要ヲ附記
スベシ、尤モ其紙ノ兩面ニ書スルコトヲ嚴禁ス是レ復習ニ
モ受験ニモ大効力アル大切ノ材料タレバナリ; 且ツ其端
ニ見出し易キ様ニ其題ノ部屬ヲ記入シ置クベシ、例バ軌
跡トカ、面積トカ、相似形トカノ類或ハ又其問題ガ作圖ニ
モ極大極小ニモ關係アレバ其兩様ノ見出しヲ附スルガ如
シ、斯クシテ日々經月ヲ閱ミモ積ンテ數百枚ノ幾何
題ヲ得ベシ、而テ此かるたヲ作ルコトハ其ガ記憶ヲ助
ケ且ツ此かるたノ使用ニ依テ解ヲ試ムルニ非常ノ便利ナ

趣味トヲ與フ。此かるたノ問題ノ解法ニ使用セントスルニ其解カントスル問題ガ角度ニ關シタルモノナラバ、其かるたノ中ヨリ角ニ關シタル、例バ相交ルニ直線ニ垂直ナルニ線ノ爲ス角ハ前ノ交角ニ等シトカ、又ハ同弧上ノ圓周角ハ相等シトカ、云フ如キ角バカリニ關係ノモノヲ集メテ之レヨリ推シテ考フレバ立ロニ其解ノ緒ヲ得ルノミナラズ尙ホ角ニ關スル諸般ノ關係ヲ概括スルノ知識ヲ得ベク、斯クテ其面積或ハ軌跡或ハ比例ノ知識ガ夫々自然ニ纏ラバ幾何學ヲ容易ニ且ツ面白ク學ブコトヲ得ベシ。又此かるたヲ受験ノ豫備ニ用ヒントスルニハ受験前二三週前ヨリ毎日一度ハ必ズ之ヲ繰リ返シ通覽スベシ然ルキハ益ス其記憶ヲ強クス、

若シ又以上ノ記憶法ニ從フコトヲ得ザル場合ニハ自分ノ習ヒ得タル教科書ニ就テ其筆記帳ト照ラシ合セ成ルベク多クノ解答ヲ諳記スル様ニセヨ、其法ハ代數ノ受験法ニ記シタル如クセヨ、

又平生ニ於テ幾何學ハ特ニ學ビ掛ケタル一書ヲ中途ニ捨テ、他書ヲ見ルコトヲ許サズ、又解式ヲ見ルコトヲ禁ズレバ受験間際ニハ無理ニ問題ヲ解カント試ムルヨリモ解義ヲ多ク載セタル本ヲ見ル捷徑トス

15. 幾何定理、問題等ノ記憶ニ便シ受験ニ便スル爲メ、かるた形幾何學ヲ出版スル積リナレバ、今ハ間ニ合ハザルヲ以テ、次ニ記憶スベキ基本ノ(或ハ重ナル)定理問

題作圖等ヲ掲ゲ置キタレバ、之ニ依テ大要ヲ知ルベシ;尤モ其証明ヲ附セザルモノハ、普通教科書ニ必ズ記載セラレタルモノノミナルヲ以テ就テ見ルベシ; 又其解ヲ附シタルハ最近ノ試験問題ヨリ取りテ例解ニモナリ解ノ書キ方ノ手本ニモナサンガ爲メニ掲ゲタリ。

幾何問題ヲ解ク一般ノ注意

幾何問題ヲ解クニハ諸種ノ法アリト雖モ受験トシテノ問題ノ解キ方ノノルベク多クノ題解ヲ記憶シ置キ其所設題ヲ僅ニ變ジテ已知ノ性質ニ誘クヲ最良トス; 詳言スレバ例バ問題ガ軌跡ニ屬スレバ之ヲ解クニハ其軌跡ガ直線ヲシキカ圓弧ヲシキカヲ考ヘ圓弧ヲシキナラバ其中心ノ所在ヲ搜ルカ或ハ定直線上ニ定角ヲ張ルカヲ搜ラザルベカラザルモ既ニ圓弧ヲナスベキ軌跡問題ヲ幾少カ記憶シ居レバ少ク考フル内ニ已知ノ關係ト一致スルヲ常トスルガ如シ; 作圖題ニテモ面積ニテモ極大極小、線或ハ積定量、點ノ定位、三線ニ會點、三點一直線等如何ナル場合ヲ問ハズ、其所設題ノ類題ノ記憶ナクシテ問題ヲ解カントスレバ之ヲ考フルニ甚ダ時間ヲ要シ其不利ナル此上ナキナリ尤モ解ノ書キ方ハ言葉ガ善イトカ、記號ニテハ惡シキトカ又ハ種々ノ場合ヲ吟味セヨトカ云フハ一通リノ解ガ出來テノ上ノ事ト知ルベシ

三角形ノ恒等ナル場合

1. 二個ノ三角形ニ於テ

△(1) 三邊相等シキハ、

△(2) 二邊ト其夾角相等シキハ、

△(3) 一邊ト之ニ隣接スル二角相等シキハ、



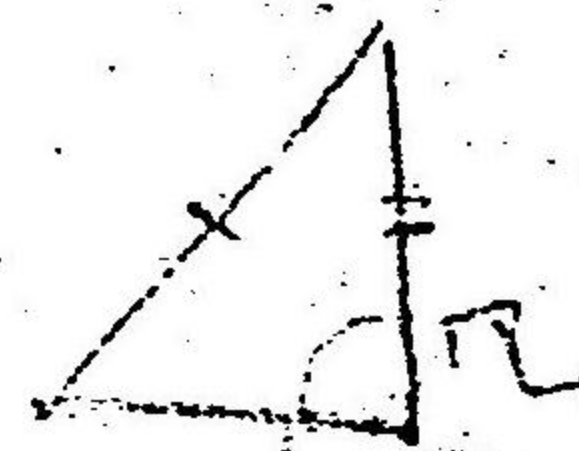
其三角形ハ恒等ナリ

①2. 両意ノ場合 二個ノ三角形ニ於テ二邊夫々相等シク其等シキ一邊ニ對スル角ガ相等シキハ此兩形ハ恒等ナルカ、或ハ他ノ相等邊ニ對スル角ガ補角ナラス。

附言 初學者ハ往々ニシテ、兩三角形ノ三邊ト一角等シキヲ以テ、此兩形ハ恒等ナリト云フ、此理ハ恒ニ眞ナラズト知ルベシ

3. 直角三角形ニ於テ其斜邊ト其他ノ一邊(若クハ其一銳角)相等シケレバ、二ツノ三角形ハ全ク相等シ。

附言 此直三角形ノ恒同ナル場合ハ三角形特別ノ性質ニ屬スレドモ其用一般ノ場合ニ讓ラズ殊ニ注意ヲ要ス



邊ト角トノ關係

1. 三角形ニ於テ一邊ガ他邊ヨリ大等小ナルニ應テ其對角ハ他ノ對角ヨリ大等小ナリ。又之ヲ反言シ得ベシ。

2. 三角形ノ二邊ノ和ハ他ノ一邊ヨリ大ニシテ、其差ハ他ノ一邊ヨリ小ナリ。

3. 三角形ノ内角ノ和ハ二直角ニ等シク、又其外角ノ和ハ四直角ニ等シ。一ツノ外角ハ内對角ノ和ニ等シ。

4. 三角形ノ底ノ中點ト頂點トヲ結ベル線ガ半底ヨリ大等小ナルニ隨テ頂角ハ銳直、鈍角ナリ。又之ヲ反言シ得ベシ。

5. 二個ノ三角形ニ於テ二邊夫々等シク、第三邊ニ大等、小アレバ、其對角ニ大等、小アリ。又之ヲ反言シ得ベシ。

6. 直線外ノ一點ヨリ之ニ至ル諸線ノ中ニ就テ垂線最モ短ク而テ唯一線アリ；又此點ヨリ等シキ長サノ斜線ハ二個ニ限ル。而シテ其垂足ヲ離ル、ト遠キモノハ近キモノヨリ大ナリ。又此逆ハ眞ナリ。

注意 邊或ハ角或ハ邊ト角トノ關係ハ固ヨリ以上ニ止ラザレドモ其基本ノ關係ノミヲ示ス。

三角形ノ重要ナル性質

1. 二等邊三角形ノ頂點ト底ノ中點トヲ結ビタル直線ハ頂角ヲ二等分シ且ツ之ニ直立ス。又此逆ハ眞ナリ。
2. 三角形ノ二邊ノ中點ヲ結ビタル線ハ底邊ニ平行シテ且ツ其中ニ等シ。
3. 直三角形ノ直角頂ト斜邊ノ中點トヲ結ビタル線ハ半底邊ニ等シ

注意 以上三ツノ性質ハ殊ニ大切ナルモノナリ

4. 外心 三角形ノ各邊ノ中點ヨリ之レニ作リタル三ツノ垂線ハ一點ニ會ス
5. 内心 三角形ノ内角ノ二等分線ハ一點ニ會ス
6. 傍心 三角形ノ一内角及ビ他ノ二外角ノ二等分線ハ一點ニ會ス
7. 垂心 三角形ノ三垂線ハ一點ニ會ス
8. 重心 三角形ノ三中線ハ一點ニ會シ而テ其會點ハ各線ヲ三分ノ一ト二トニ分ツ。(頁164ニ解アリ)

注意 以上五ツノ性質ハ必ズ熟知シ置クベシ。又ラザレバ急ニ考へ出シ得ベキモノニアラザルノミナラズ又種々ノ應用スベキ場合アレバナリ

三角形ノ解 (143)

(1) 三角形 ABC ノ A 角ノ二等分線ガ其對邊 BC ニ會スル點ヲ D トスレバ, BD ハ AB ヨリ小ニシテ, CD ハ AC ヨリ小ナリ, 其證ヲ求ム

(解) $\angle ADB > \angle CAD,$

然シテ $\angle CAD = \angle BAD,$

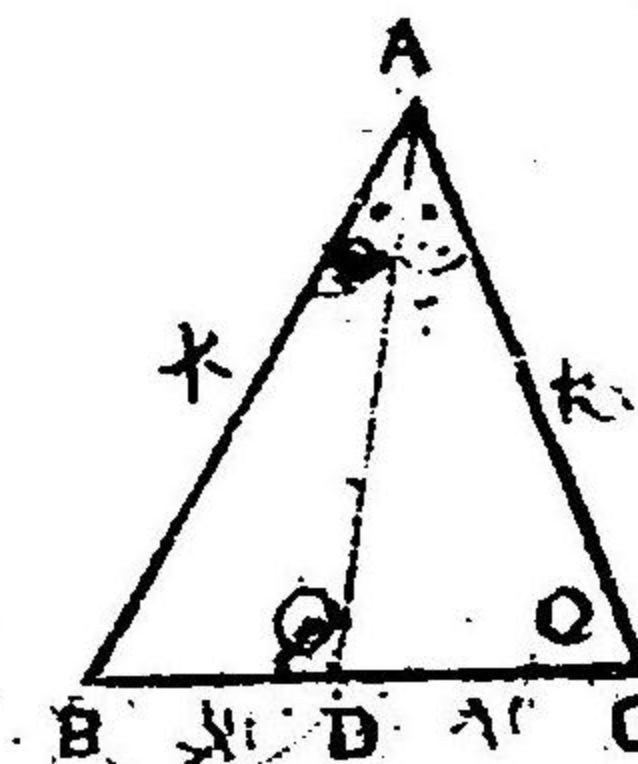
$\therefore \angle ADB > \angle BAD,$

$\therefore AB > BD.$

同理ニテ

$\angle ADC > \angle CAD$

$\therefore AC > CD$



(2) 三角形ノ中線ガ之ト隣ル邊トナス角ノ中ニ就テ小ナル邊トナス角ハ大ナル邊トナス角ヨリ大ナリ。

(解) 三角形ヲ ABC トシ, 其中線ヲ AD トス,

若シ $AB < AC$ ナラバ $\angle CAD < \angle BAD$ ナリ。

何トナレバ AD ヲ延長

シテ $DE = AD$ ナラシメ,

B, E ヲ連結ス。然ルニ

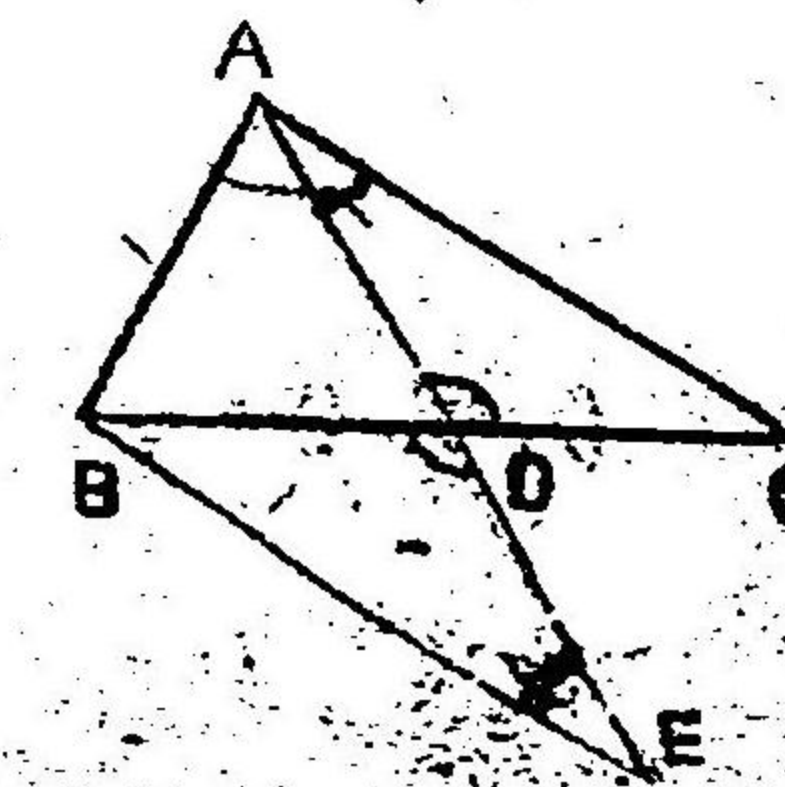
$AD = DE,$

$BD = CD.$

$\angle ADC = \angle BDE,$

ナルヲ以テ

$\triangle ADC \cong \triangle BDE$



(144) 三 角 形 の 解

故に $AC=BE$, $\angle CAD=\angle BED$.

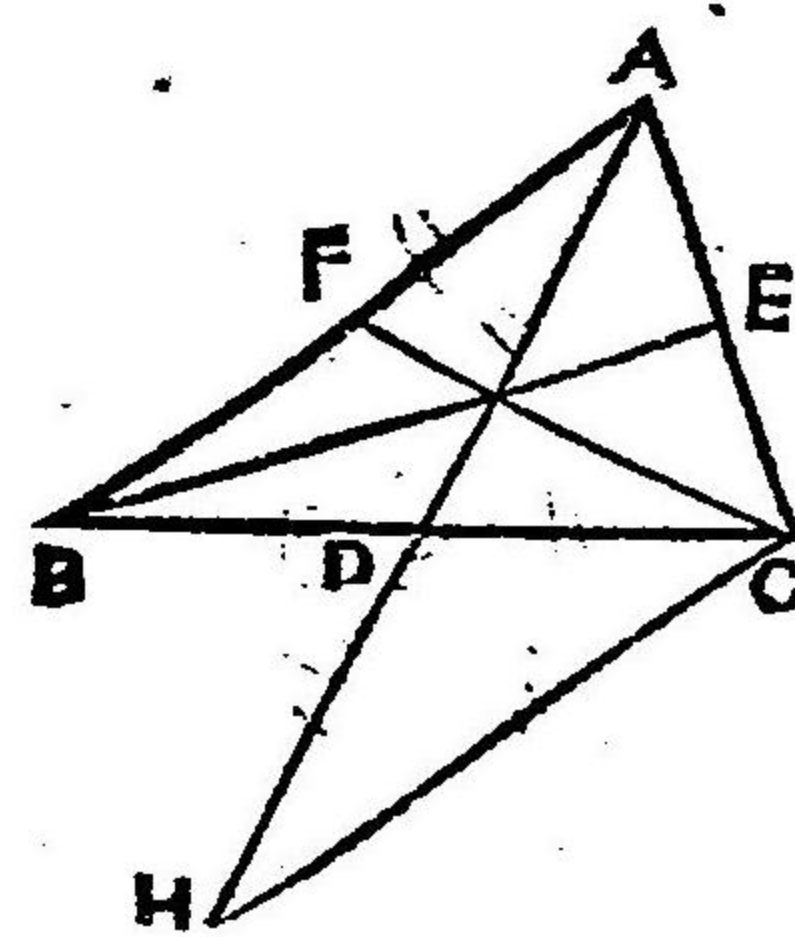
又三角形 ABE より

$BE > AB$ ナルヲ以テ, $\angle BAD > \angle BED$.

$\therefore \angle BAD > \angle CAD$.

√ (3) 三角形ノ三邊ノ和ハ其三中線ノ和ヨリ大ナリ,

(解) 三角形 ABC ノ三中線ヲ AD, BE, CF トスレバ, $AB+BC+CA > AD+BE+CF$ ナルベシ,



AD ヲ延長シテ $DH=AD$ トシ C, H ヲ連結スルキニツノ三角形 ABD, CDH ハ二邊ト其夾角ヲ等シクスルヲ以テ全ク相等シクシテ $AB=CH$

三角形 ACH より $CA+CH > AH$

即チ $CA+AD > 2AD$

$\therefore \frac{1}{2}(CA+AB) > AD$

同様ニシテ

$\frac{1}{2}(AB+BC) > BE$

及ビ $\frac{1}{2}(BC+CA) > CF$

邊々相加ヘテ

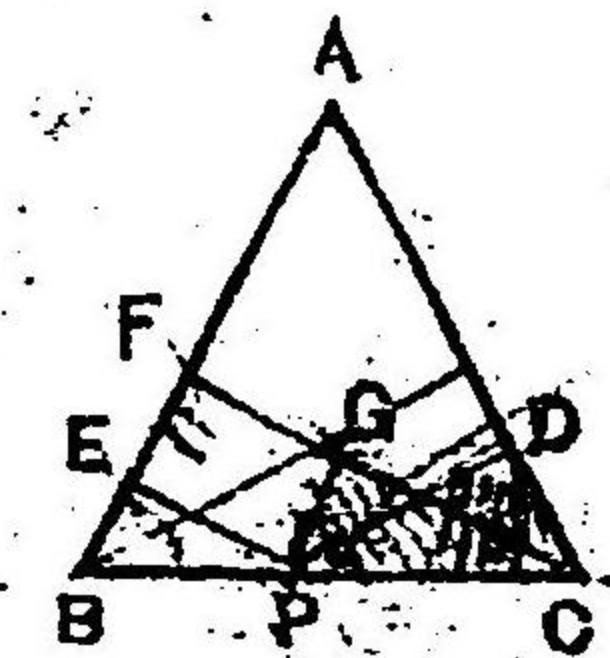
$AB+BC+CA > AD+BE+CF$.

いんたかこの問題が高校 = 出タヨ

三 角 形 の 解 (145)

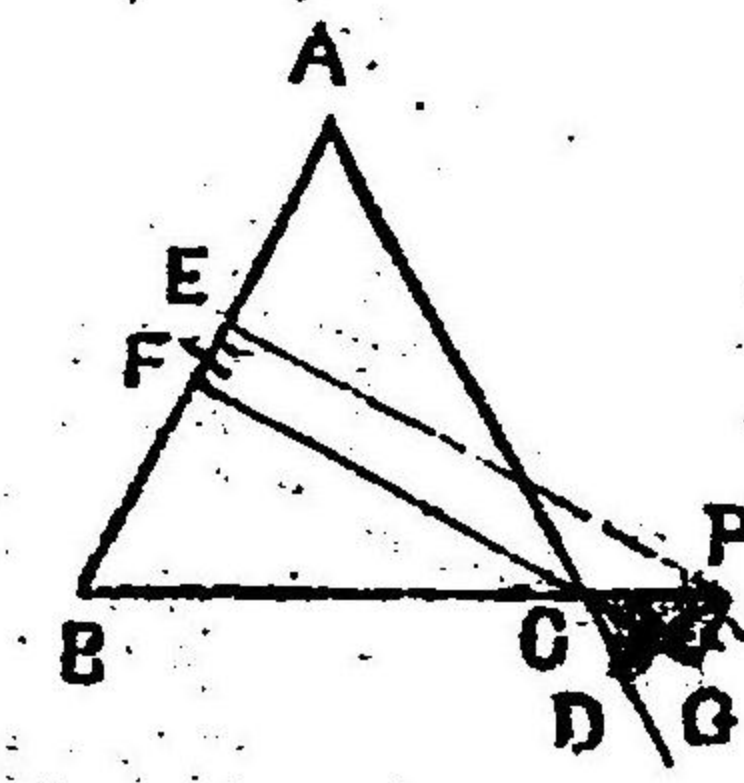
√ (4) 二等邊三角形ノ底邊或ハ其延長ノ上ノ任意ノ一 點ヨリ二邊ニ至ル距離ノ和或ハ差ハ一定ナリ.

(解) 二等邊三角形 ABC ノ底邊 BC 或ハ其延 長ノ上ニアル任意ノ點 P ヨリ AB, AC ニ至ル距 離ヲ夫々 PE, PD トス, C ヨリ



AB ニ垂線 CF ヲ引キ, 又 P ヨリ CF 或ハ其延長ノ上ニ垂線 PG ヲ引ケ; 然ルキハ矩形 $PEFG$ ノ相對スル邊ナルヲ以テ

$PE=FG, \dots\dots\dots(1)$



二ツノ直角三角形 PGC, PDC ニ於テ斜邊ハ共通ニシテ

$\angle GPC = \angle ABC = \angle ACB = \angle PCD,$

ナルヲ以テ 此兩三角形ハ 全ク相等シク; 隨テ

$PD=GC \dots\dots\dots(2)$

[第一] P ガ底邊ノ上ニアルキハ (1) (2) ヨリ

$PE+PD=FG+CG=CF$ (定長),

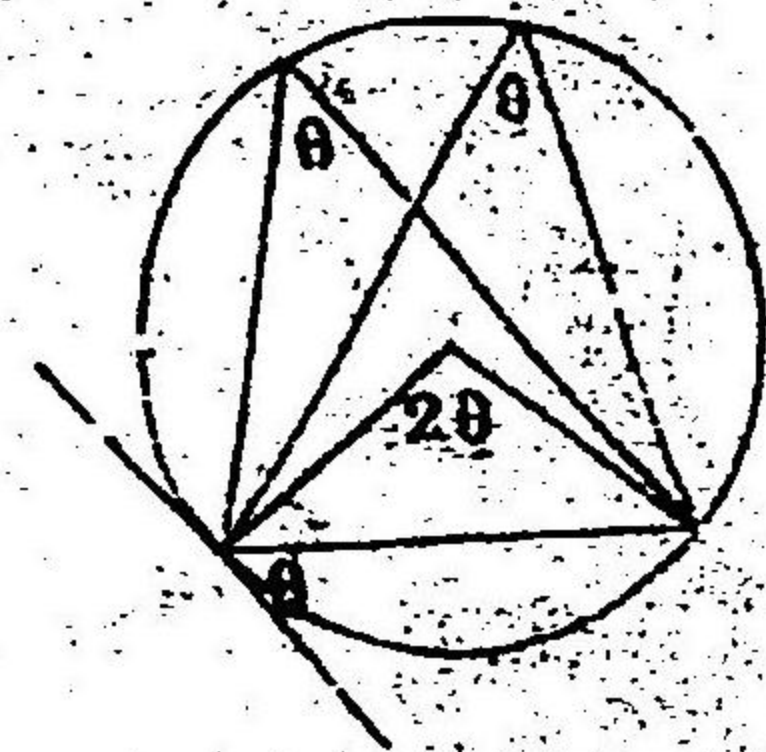
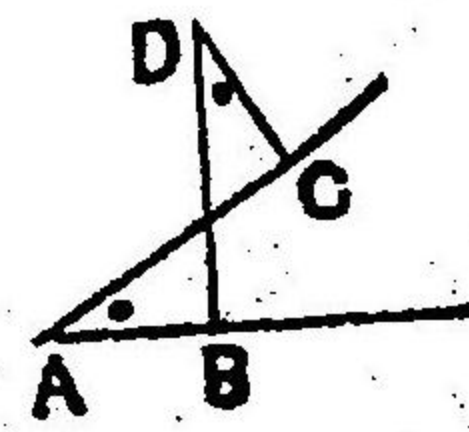
[第二] P ガ底邊ノ延長ノ上ニアルキハ(1) (2)ヨリ

$PE-PD=FG-CG=CF$ (定長);

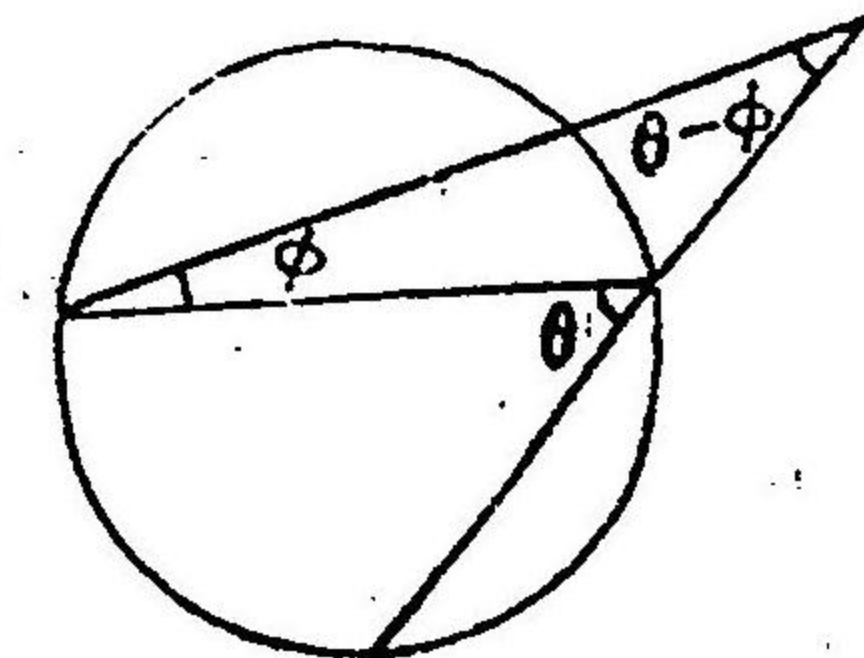
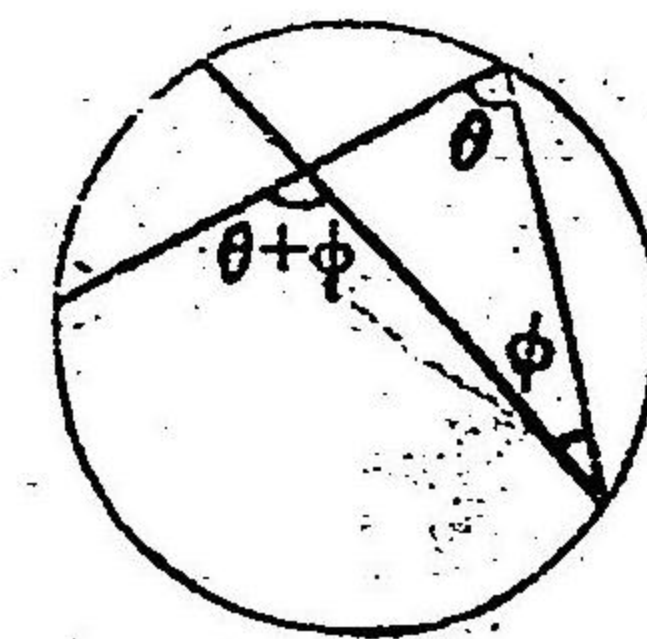
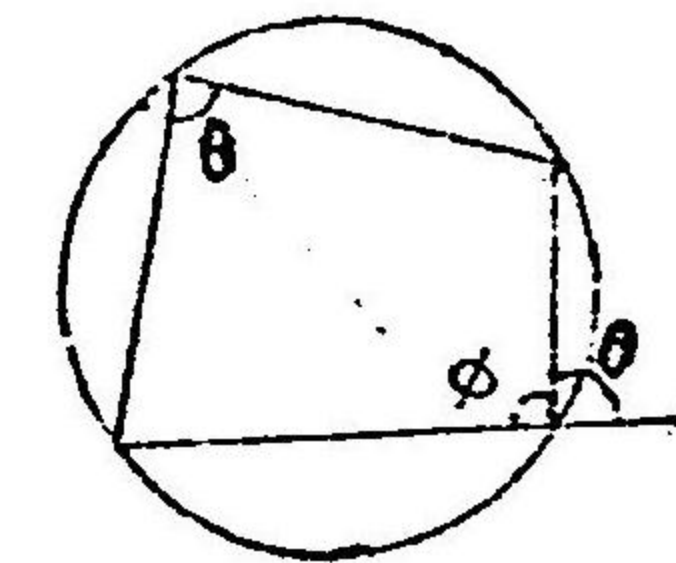
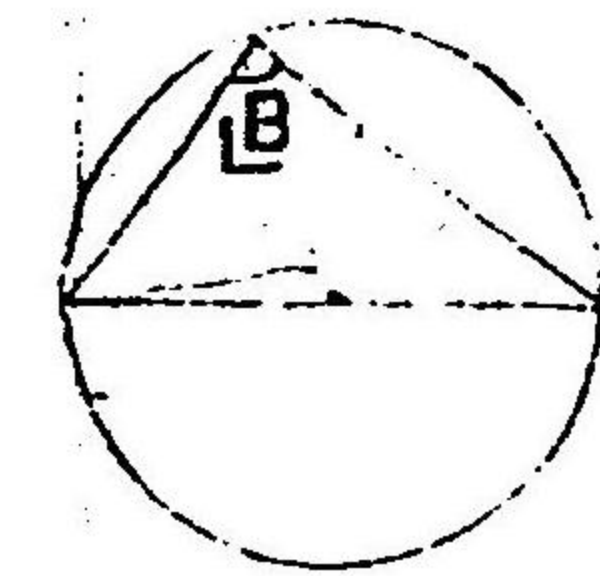
故ニ點 P ガ何レニアルモ PE, PD ノ和或ハ差ハ 常ニ CF ニ等シ.

角ノ基本定理

1. 直角ハ相等シ.
2. 對頂角ハ相等シ.
3. 平行二線ニ他ノ一線ガ交ルキ, 錯角ハ相等シク; 同位角ハ相等シク; 同傍内角(或ハ外角)ハ補角ヲナス.
4. 二雙ノ相交ル二直線ガ夫々平行スレバ, 其交角ハ等シキカ, 或ハ補角ヲナス.
5. 相交ル二線ニ夫々直立シタル二線ノ交角ハ, 初ノ二線ノ交角ニ等シキカ, 或ハ補角ヲナス.
6. 三角形ノ内角ノ和ハ二直角ニ等シク, 外角ノ和ハ四直角ニ等シ. 又一外角ハ内對角ノ和ニ等シ.
7. n 邊ノ凸多角形ノ内角ノ和ハ邊數二倍ノ直角ヨリ四直角ヲ減シタルモノニ等シ. $(2n-4)R$.
又外角ノ和ハ恒ニ四直角ナリ
8. 同弧(或ハ同弦)上ノ圓周角ハ中心角ノ半ニ等シク; 又其圓周角ト圓周角トハ相等シ.
逆ニ, 一定線上ニ等角ヲ張ル諸角頂ハ同一圓周上ニ在リ



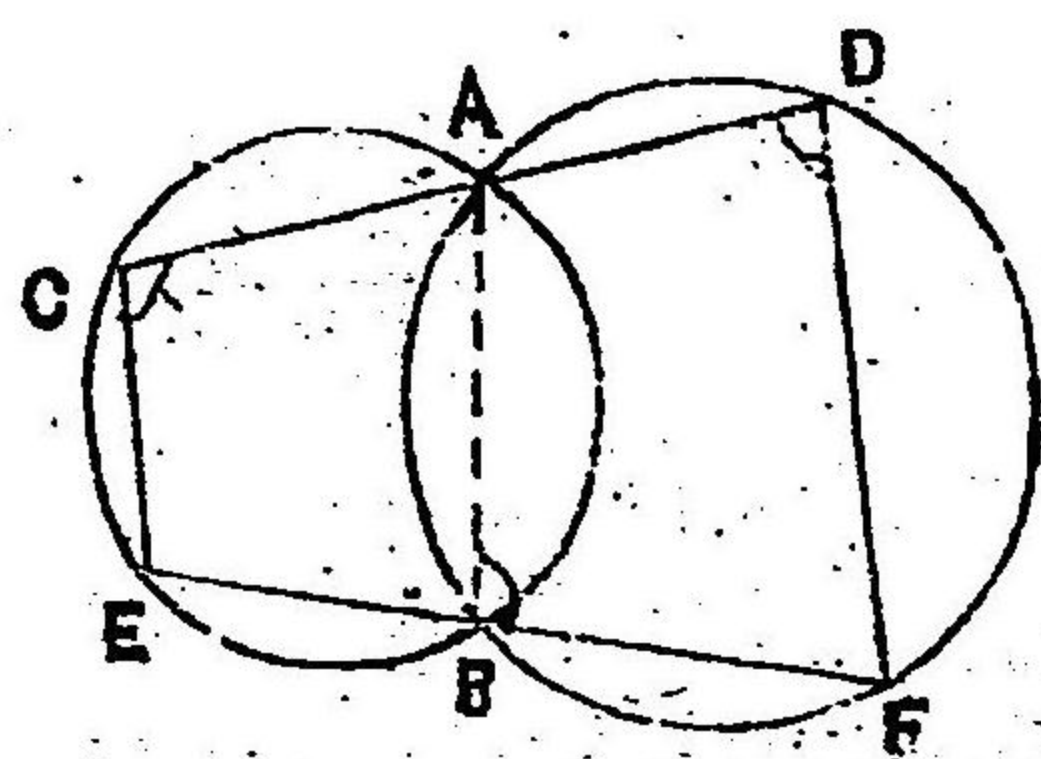
9. 半圓形ニ容ル角ハ直角ナリ.
10. 圓ノ切線ト其切點弦トナス角ハ其弦上ノ圓周角ニ等シ.
又此逆ハ眞ナリ
11. 圓内四邊形ノ對角ハ補角ヲナス. 又其一角ハ對角ノ外角ニ等シ.
逆ニ, 四邊形ノ對角ガ補角ヲナセバ其各角頂ハ同一周圓上ニアリ.
12. 相交二弦(或ハ二割線)ノ交角ハ其二線ガ夾ム弧上ノ中心角ノ和半(或ハ差半)ニ等シ.



附言 若シ角ノ關係ヲ考フルコトアラバ, 少クモ以上ノ定理ヲ記憶シ居テ, 之ニ依テ判定スベシ; 換言スレバ是等ノ角ノ定理ヲ直ニ思ヒ起シ得ズシテ, 幾何問題ヲ解カントスルハ, 蓋シ不可能ノコトナルベシ.

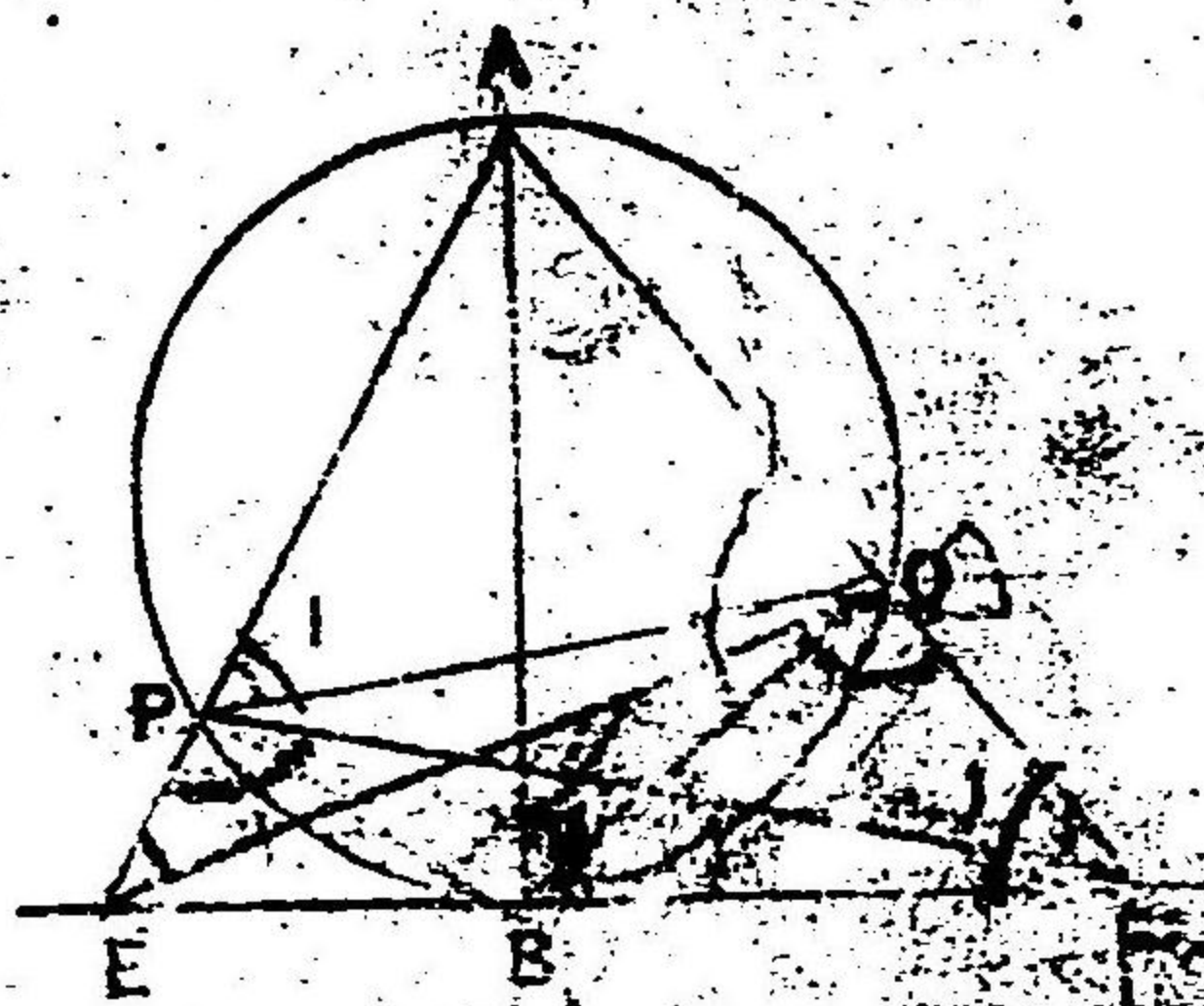
(1) 二圓ノ交點 A, B ナ通シテ二直線 CAD, EBF ナ引キ一圓ト C, Eニ於テ, 他ノ一圓ト D, Fニ於テ夫々交ラシムレバ, 直線 CE, DF ハ平行スルコトヲ証セヨ.

(解) A, B ナ結ブ然ルキハ圓内四邊形ノ對角ハ互ニ補角ヲナスヲ以テ $\angle C = \angle ABF = \angle D$ 故ニ CE ハ DF ニ平行ナリ.



(2) 圓ノ直徑ヲ AB トシ, Bニ於テ切線ヲ引キ Aヨリ AI, AQ ノ二直線ヲ引キ其圓周トノ交點ヲ P, Q トシ切線トノ交點ヲ E, F トス, 然ルキハ角 EQF ハ角 FPE ニ等シ, 之ヲ証セヨ.

(解) P, Q 及ビ B, Q ナ結ブ. 然ルキ $\angle APQ = \angle ABQ = \angle AFB$ 故ニ四邊形 PEFQ 圓ニ内接スルヲ得 故ニ $\angle EPF = \angle EQF$.



(3) ABC ナ三角形トス, 邊BC ノ上ニ任意ニ一點 D ヲ取り, 邊 AC ノ上ニ任意ニ一點 E ヲ取リ, 邊 AB ノ上ニ任意ニ一點 F ヲ取レ, 然ルキハ三角形 AEF, BFD, CDE ノ外接圓ハ一點ニ會ス, 之ヲ証セ.

(解) 兩三角形 AFE, BFD ノ外接圓ノ交點ヲ O トシ OD, OE, OF ナ結ベ, ニツノ四邊形 AFOE, FBDO ハ共ニ圓ノ内接形ナルヲ以テ

$$\angle A + \angle FOE = 2 \text{ 直角}$$

$$\angle B + \angle DOF = 2 \text{ 直角}$$

$$\therefore \angle A + \angle B + \angle FOE$$

$$+ \angle DOF = 4 \text{ 直角}$$

又 三角形 ABC ヨリ

$$\angle A + \angle B + \angle C = 2 \text{ 直角}$$

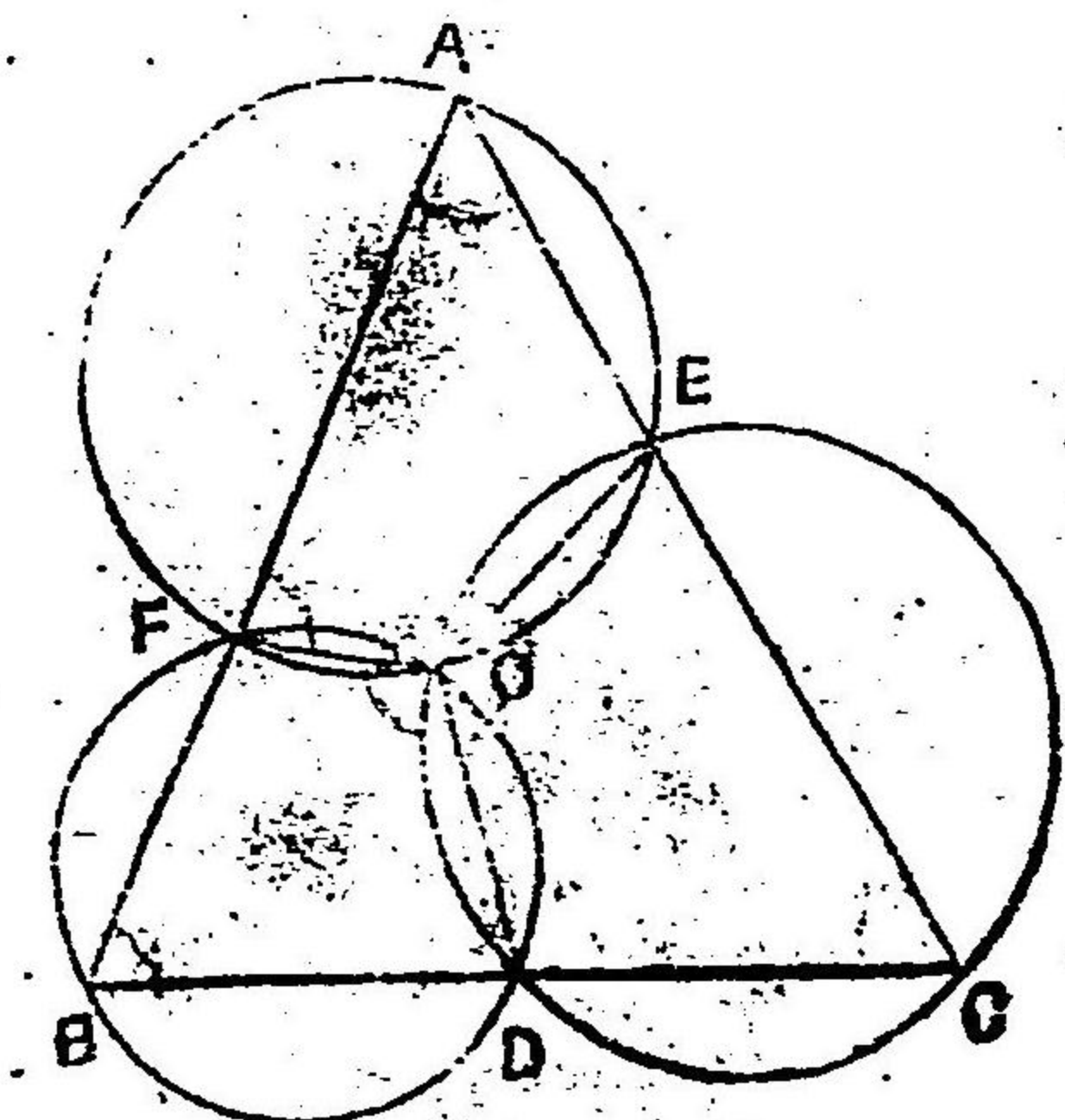
又 $\angle FOE + \angle DOF$

$$+ \angle EOD = 4 \text{ 直角}$$

$$\therefore \angle A + \angle B + \angle C + \angle F$$

$$OE + \angle DOF + \angle EO$$

$$D = 6 \text{ 直角}$$



此結果ト前ニ得タルモノト較シテ

$$\angle C + \angle EOD = 2 \text{ 直角}$$

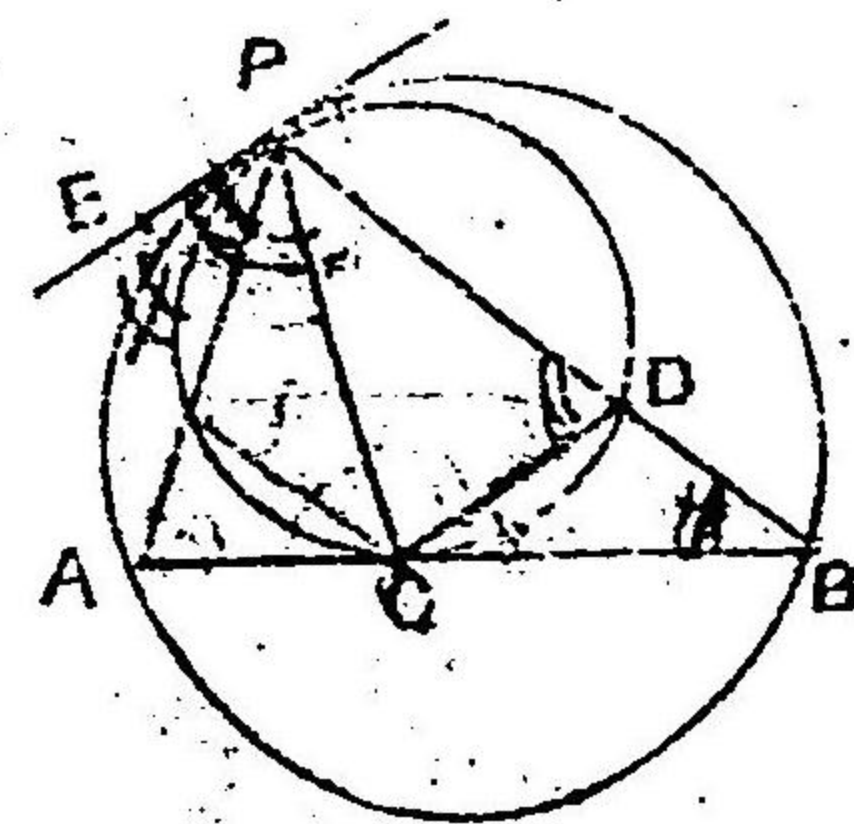
ナルヲ知ル. 因テ四邊形 EODC ニ外接圓ヲ畫クヲ得ベク, 從テ三角形 ECD ニ外接スル圓ハ一ツノ點 O ニ

於テ交ルベシ。

附言 D, E, F ノ取り様ニテ種々ノ場合ヲ生ズレドモ今ハ一般ノ場合ヲ掲ゲテ他ヲ略シヌ。

(4) 點 P ニ於テ内切スルニ圓アリ、大圓ノ弦 AB ガ小圓ニ C ニテ切スレバ PC ハ $\angle APB$ チ二等分スルヲ証セヨ。

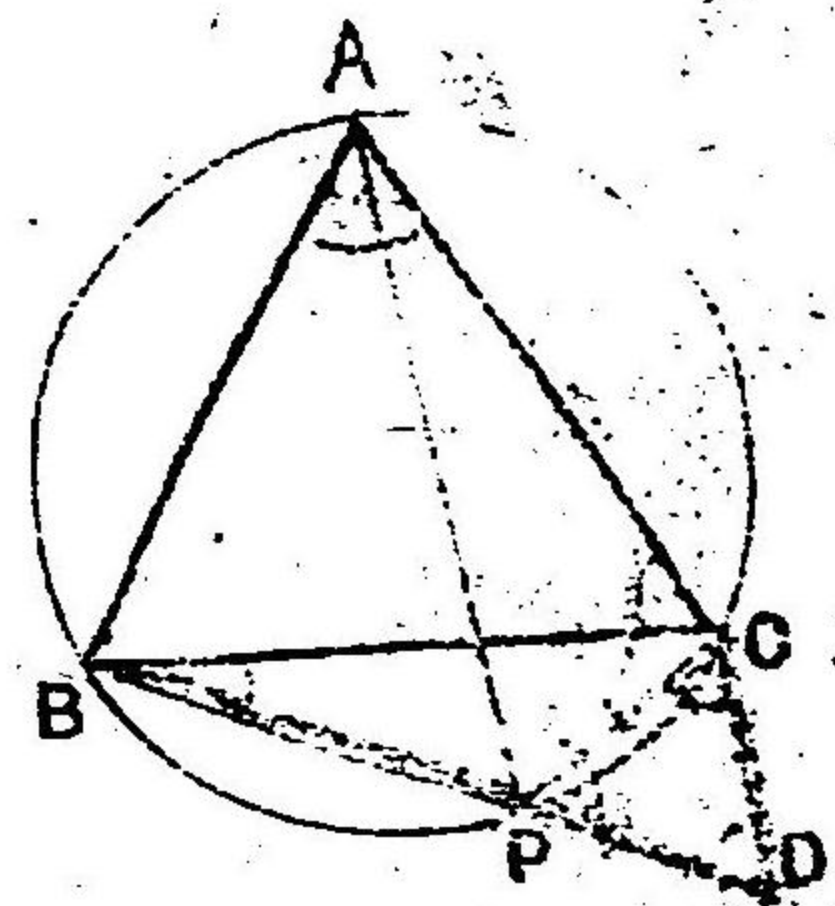
(解) P チ通シテ兩圓ニ共通切線 PE チ作ル。PB ガ小圓周ト交ル點ヲ D トシ、D, C チ結ブ。然ルキハ $\angle EPC = \angle PDC$,
又 $\angle EPA = \angle PBA$



故ニ $\angle EPC - \angle EPA = \angle PDC - \angle PBA$,
即チ $\angle APC = \angle DCB$
又 $\angle DCB = \angle CPD$,
 $\therefore \angle APC = \angle CPD$

(5) 等邊三角形 ABC ニ外接スル圓アリ、今劣弧 BC 上ノ任意ノ一點 P ヨリ PA, PB, PC チ引クキハ PA ハ PB ト PC トノ和ニ等シ、之ヲ証セ。

(解) BP チ延長シテ PD チ PC ニ等シ



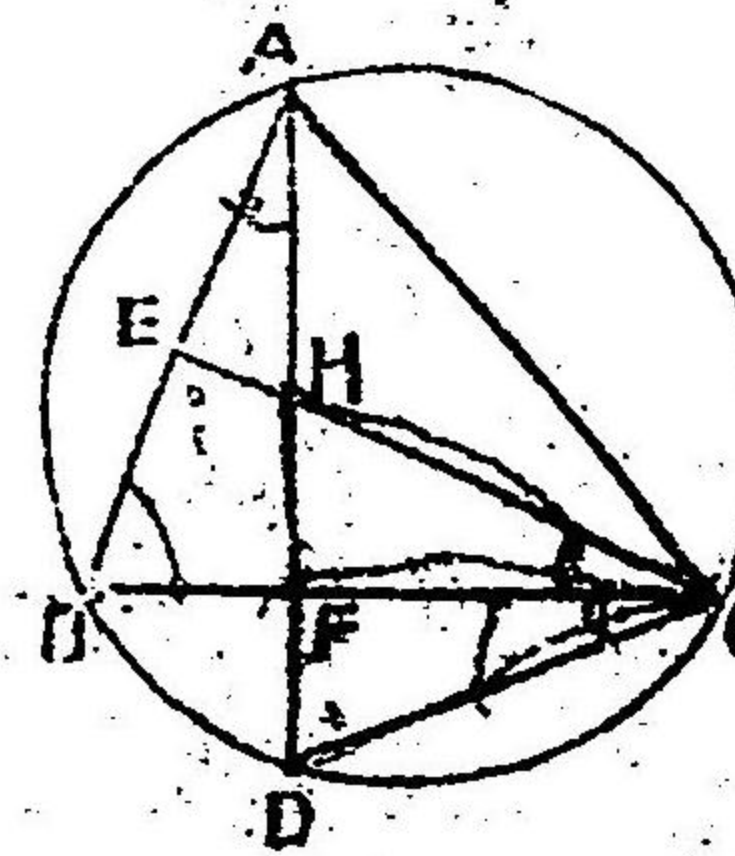
カラシメ、C, D チ連結スレバ、圓内四邊形 ABPC ノ外角 CPD ハ其内對角 BAC 即チ正三角形ノ一角ニ等シキヲ以テ、PCD ハ正三角形ナリ。故ニ $CD = PC$,

又 $\angle PCD = \angle ACB$ ナルヲ以テ、
 $\angle BCD = \angle ACP$.

又 $AC = BC$ ナルヲ以テ、ニツノ三角形 BCD, ACP ハ全ク相等シ。依テ
 $AP = BD = BP + PD = BP + PC$.

(4) 三角形 ABC ノ角頂 A ヨリ對邊 BC ニ垂線 AF チ引キ、之ヲ延長シテ D ニテ其外接圓ニ會セシメ、其三角形ノ垂心ヲ H トスレバ HD ハ BC ニ依リテ二等分セラル。

CH チ延長シ、AB トノ交點ヲ E トシ、C, D チ結ビ付ケヨ; 然ルキハ三角形 CFD, CFH ニ於テ



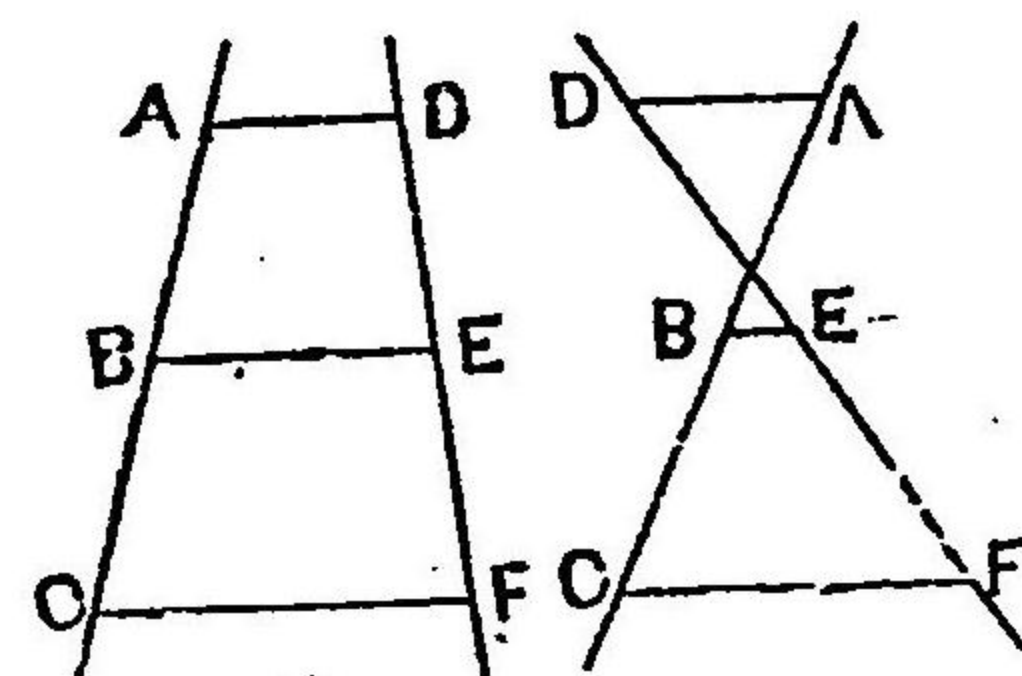
$\angle DCF = \angle DAB = \angle ECB$,
 $\angle DFC = \angle HFC = \text{直角}$

而シテ邊 CF ハ兩形ニ通ズ、故ニ是等ノ三角形ハ全ク相等シ。

故ニ $FD = FH$ ニ等シク; 即チ HD ハ BC ニヨリテ二等分セラル。

等距ノ平行線 平行四邊形

1. 平行三線ガ一直線ニ交リ之レテ相等シキ部分ニ截レバ、何レノ直線ト交ルモ、亦之ヲ相等シキ部分ニ截ル。而テ其二線ノ間ニ夾マル平行線ノ部分ノ其中間ニアルモノハ、両端ニアルモノノ和半或ハ差半ニ等シ。

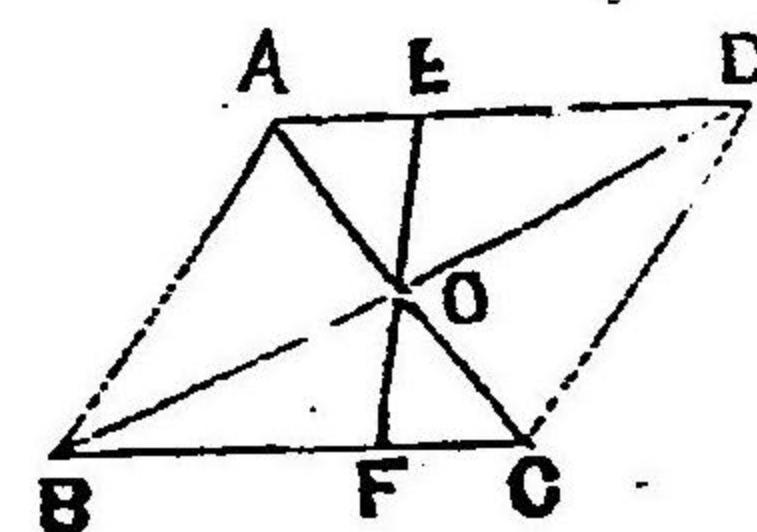


AD, BE, CF 平行ニシテ,
 $AB = BC$ ナラバ, $DE = EF$;
 又 $BE = \frac{1}{2}(AD \pm CF)$.

附言 此特別ナル場合ニ於テ三角形ノ二邊ノ中點ヲ結ビタル線ハ底ニ平行シ、且其半ニ等シ

2. 平行四邊形ハ、其對邊相等シク、其對角相等シク

又其對角線ハ互ニ二等分ス。
 又其對角線ノ交點ヲ通シテ二平行線ノ間ニ引キタル部分ハ此點ニテ二等分セラレ。



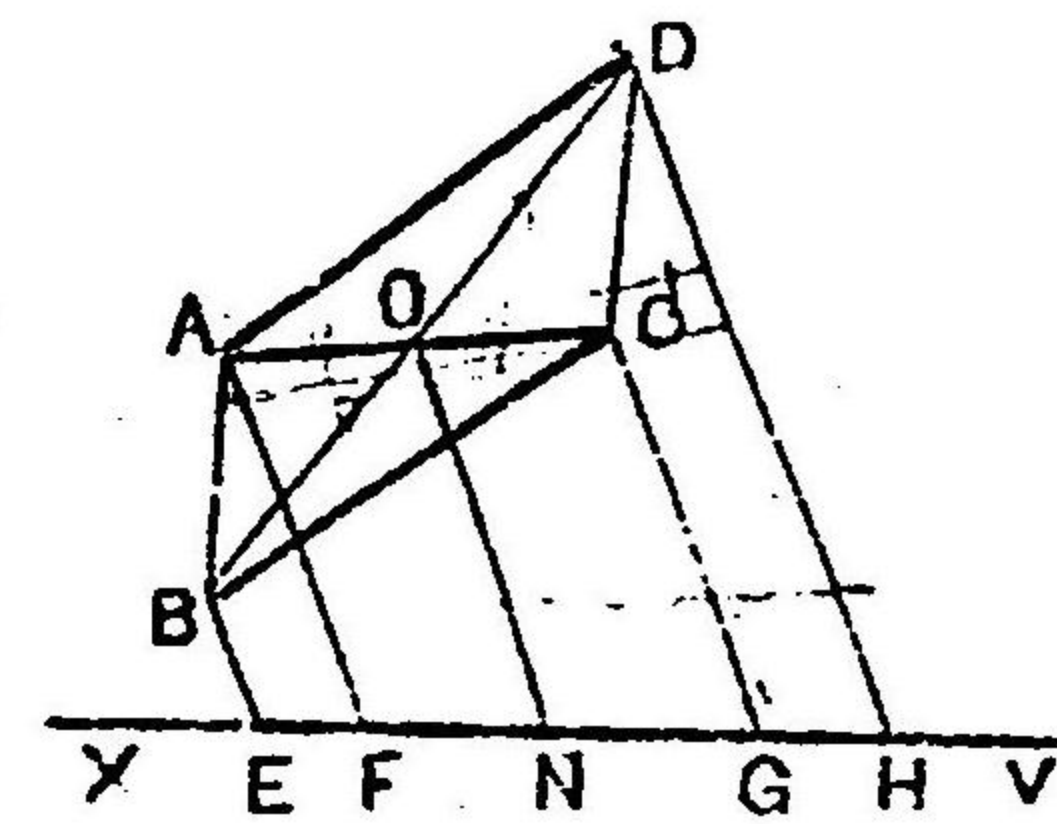
逆ニ、平行シタル等長ノ二直線ノ端ヲ結ベバ一雙ハ平行シ、一雙ハ互ニ二等分ス。

(矩形, 菱形, 正方形ハ此特別ナル場合ニ屬ス)

注意 此二定理ハ、他ノ定理或ハ問題ノ証明ニ對シテ最モ大切ノモノナリ; 又此定理ニ依テ作圖ヲナスコトハ後ノ作圖ノ部ニ擧ケ置キタルバ參照スベシ。

- (1) 平行四邊形 ABCD ノ對角頂ヨリ或一線 XY 上ニ引キタル平行線 AF, CG ノ和ハ, BE, DH ノ和ニ等シ。

(解) 對角線 AC, BD ノ交點ヲ O トシ,
 O ヨリ直線 XY 下シタル垂線ヲ ON トス。
 然ルキハ O, AC ノ中點ニシテ、且ツ AF, ON, CG ハ平行スルヲ以テ
 $AF + CG = 2ON$.



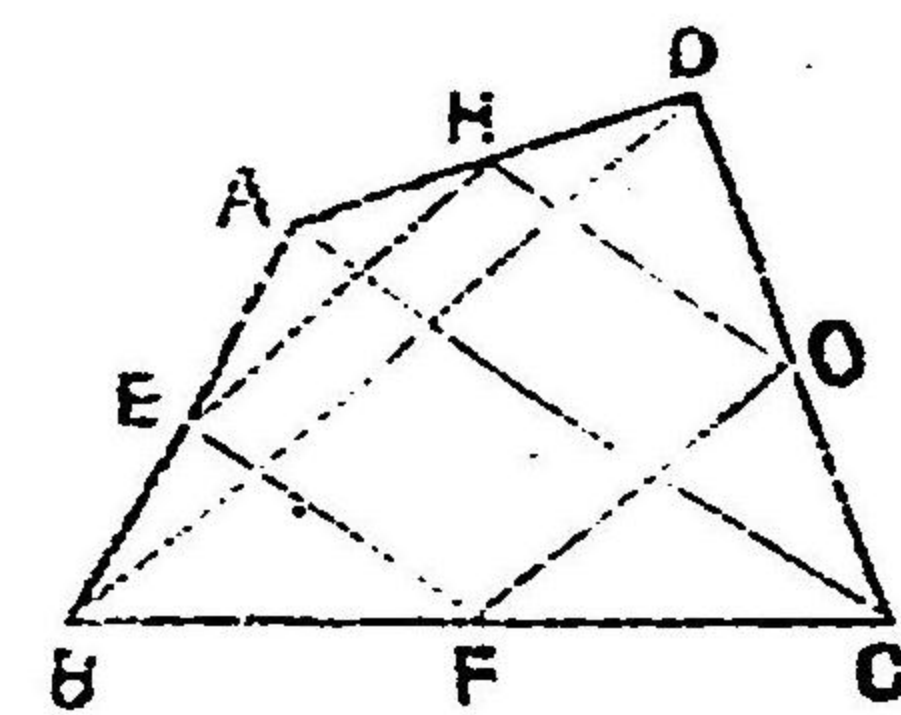
同理ニテ

$$BE + DH = 2ON.$$

$$\therefore AF + CG = BE + DH.$$

- (2) 四邊形ノ各邊ノ中點ヲ順次ニ結ベバ平行四邊形ヲナス

(解) 平行四邊形ヲ ABCD トシ、邊 AB, BC, CD, DA ノ中點ヲ E, F, G, H トス。然ルキ EFGH

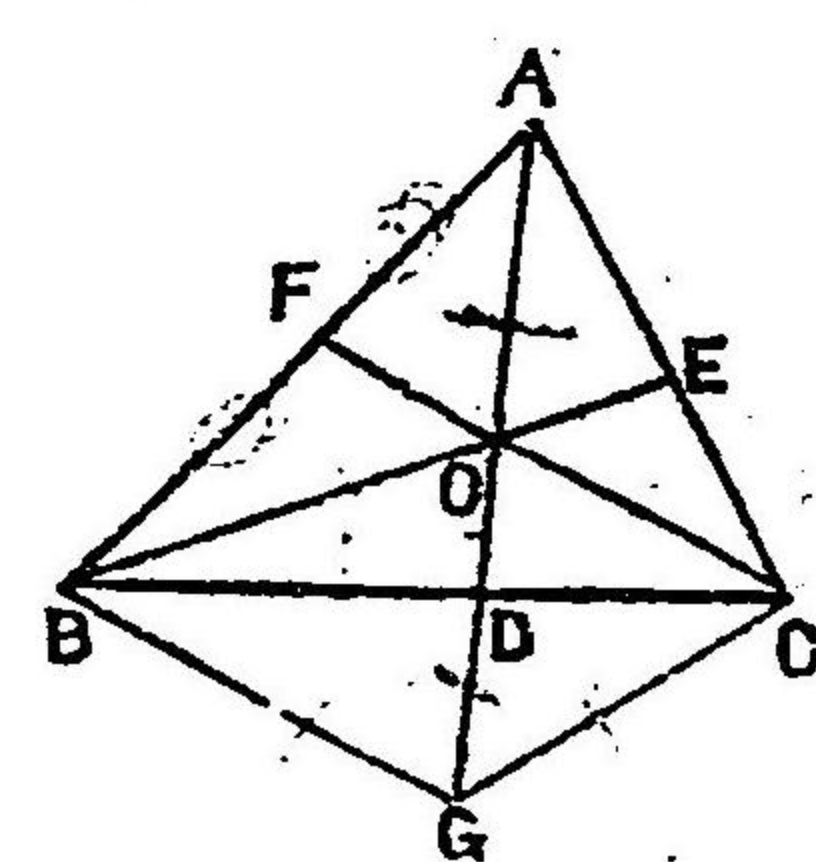


(154) 等距ノ平行線 平行四邊形

ハ平行四邊形ナリ。

何トナレバ E, F ハ AB, BC ノ中點ナルヲ以テ, $EF \parallel AC$. 同理ニテ $HG \parallel AC$. 同理ニテ EH, FG ハ各 AC ニ平行ナリ. 依テ EFGH ハ平行四邊形ナルヲ知ル.

(3) 三角形ノ三中線ハ同一ノ點ヲ過ギルヲ証セ.



(解) 三角形ヲ ABC トシ CA, AB ノ各中點ヲ E, F トシ, 又 BE, CF ノ交點ヲ O トス, AO ヲ結ビ之ヲ延長シテ BC ト交リタル點ヲ D トシ, 尙ホ更ラニ G ニマテ延長シテ $GO = AO$ ニ取ル.

然ルニ $AO = GO$, $AF = FB$ ナルヲ以テ $FO \parallel BG$, 又 $AO = OG$, $AE = EC$ ナルヲ以テ $EO \parallel CG$; 故ニ $OBGC$ ハ平行四邊形ナリ. 從テ OG, BC ハ互ニ二等分ス. 因テ D ハ BC ノ中點ナルコトヲ知ル, 即チ三中線ハ一點ニ會スルヲ知ル.

圓ノ性質

1. 圓心ヨリ一點ニ至ル距離ガ半徑ヨリ大等小ニ應テ, 其點ハ圓ノ外上内ニ在リ.
2. 圓ノ半徑ハ相等シク, 直徑ハ圓ヲ二等分ス.
3. 圓ノ中心角或ハ圓周角ハ之ニ對スル弧ノ大小ニ正比ス.
4. 圓ノ劣弧ニ於テハ大等小ノ弧ハ大等小ノ弦ヲ張り又優弧ニ於テハ之ニ反ス.
5. 圓心ト弦ハ中點トヲ結ヘバ其弦ニ直立ス. 又之ヲ反言ス.
6. 圓心ヲ距ル小等大ニ應テ弦ハ大等小ナリ.
7. 一直線上ニアラザル三點ヲ通ズル圓ハ唯一ツニ限ル.
8. 一直線ト一圓トノ交リ, 又一圓ト他圓トノ交リハ二點ヨリ多カラズ.
9. 相交ルニツノ圓ノ中心ヲ結ベハ, 其共通弦ヲ直角ニ二等分ス.
10. ニツノ切圓ノ中心ヲ結ベハ切點ヲ過ク.
11. 二圓ノ中心ノ距離ガ兩半徑ノ和ヨリ大等小ナルニ應テ, 全ク外ニアルカ, 外切スルカ, 相交ルカ, スベシ; 又其半徑ノ差ヨリ大等小ナルカニ應テ相交ルカ, 内切スルカ, 全ク内ニアリ.

(156) 圓ノ性質

12. 圓外ノ一點ヨリ圓ニ引ケル二切線ノ長ハ相等シ.
 13. 三角形ノ外接圓, 内接圓ハ各唯一ツアリ; 而テ其傍接圓ハ三ツアリ.

14. 三角形ノ一角頂ヨリ内接圓ノ切點ニ至ル距離ハ二邊ノ和ト底邊ノ差トノ半ニ等シク; 又其頂點ヨリ傍接圓ノ切點ニ至ル距離ハ三角形ノ半周ニ等シ.

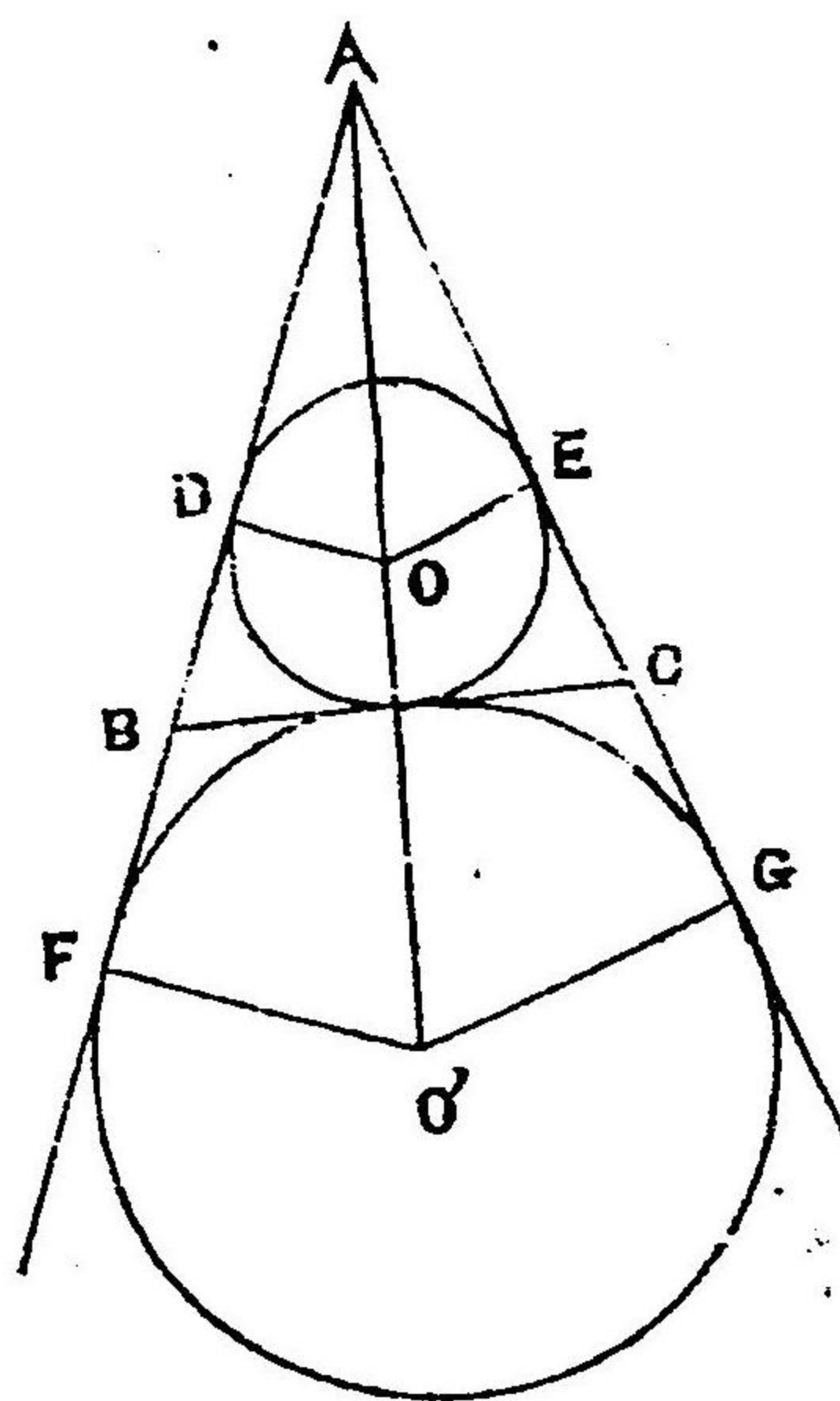
$$AD = AF$$

$$= \frac{1}{2}(AB + AC - BC).$$

又

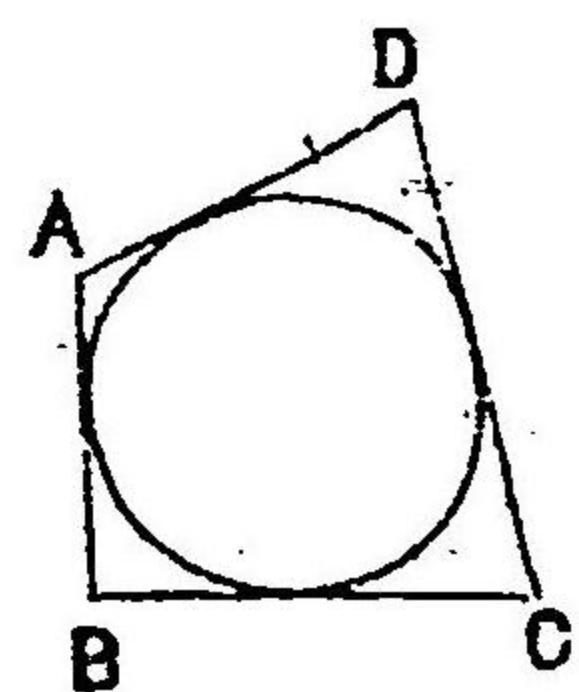
$$AF = AG$$

$$= \frac{1}{2}(AB + AC + BC)$$



15. 圓ノ外接四邊形ノ對邊ノ和ハ相等シ.

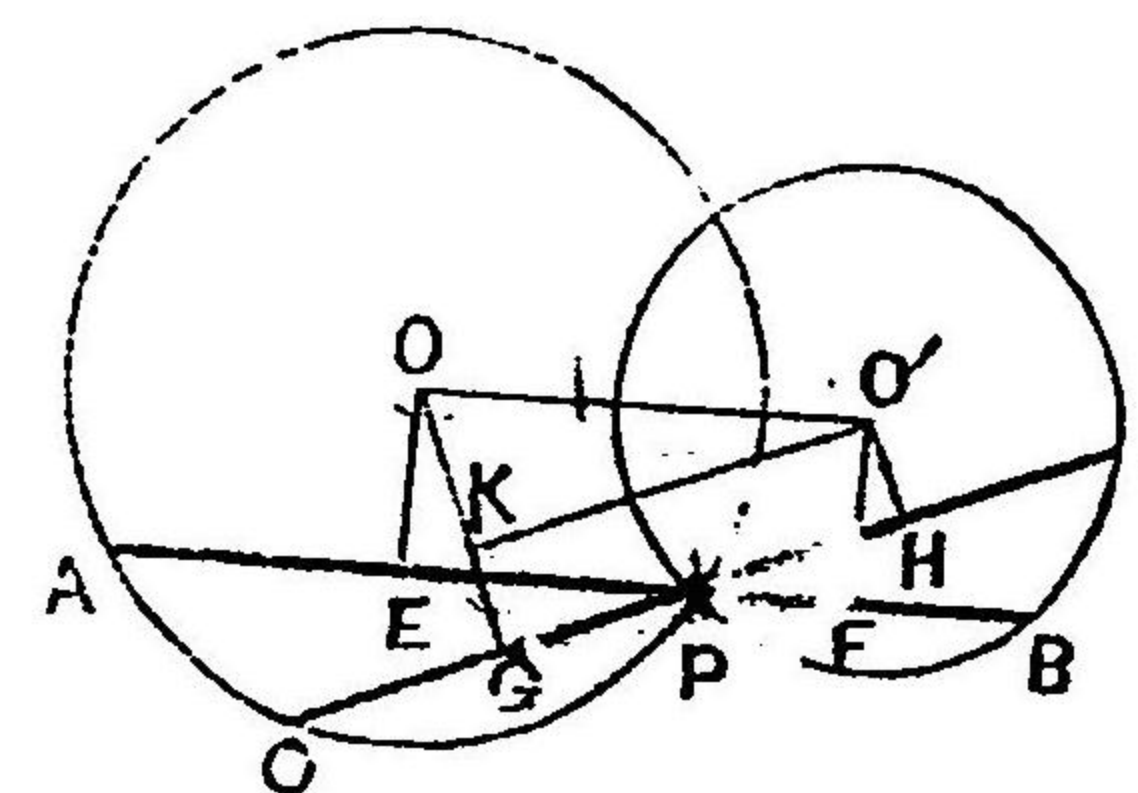
又此逆ハ眞ナリ.
 $AB + CD = BC + DA.$



圓ノ題解 (157)

(1) 兩圓ノ交點ノ一ヲ過ギリ, 兩圓周ニ限ラレタル諸直線ノ中, 其最大ナルモノハ兩圓ノ中心ヲ結ビ付ル直線ニ平行ナリ, 其証ヲ問フ.

(解) 中心 O, O' ナルニツノ圓ノ交點 P ヲ過ギル多ク直線ノ中, 兩圓ノ間ニ夾マレタル部分ノ最大ナルモノハ OO' ニ平行ナル直線 APB ナリ.



之ヲ証明スル爲ニ對偶命題, 即チ OO' ニ平行セザル任意ノ直線 CPD ハ APB ヨリ小ナルヲ証スレバ可ナリ.

O, O' ヨリ AB, CD ニ垂線ヲ引キ, 其足ヲ E, F, G, H トスレバ, EF, GH ハ夫々 AB, CD ノ半分ニ算ス.

O' ヨリ CD ニ平行線 $O'K$ ヲ引クトキ四邊形 $O'E, HK$ ハ矩形ナルニヨリ

$$EF = OO', \quad GH = O'K,$$

直角三角形 $OO'K$ ヨリ

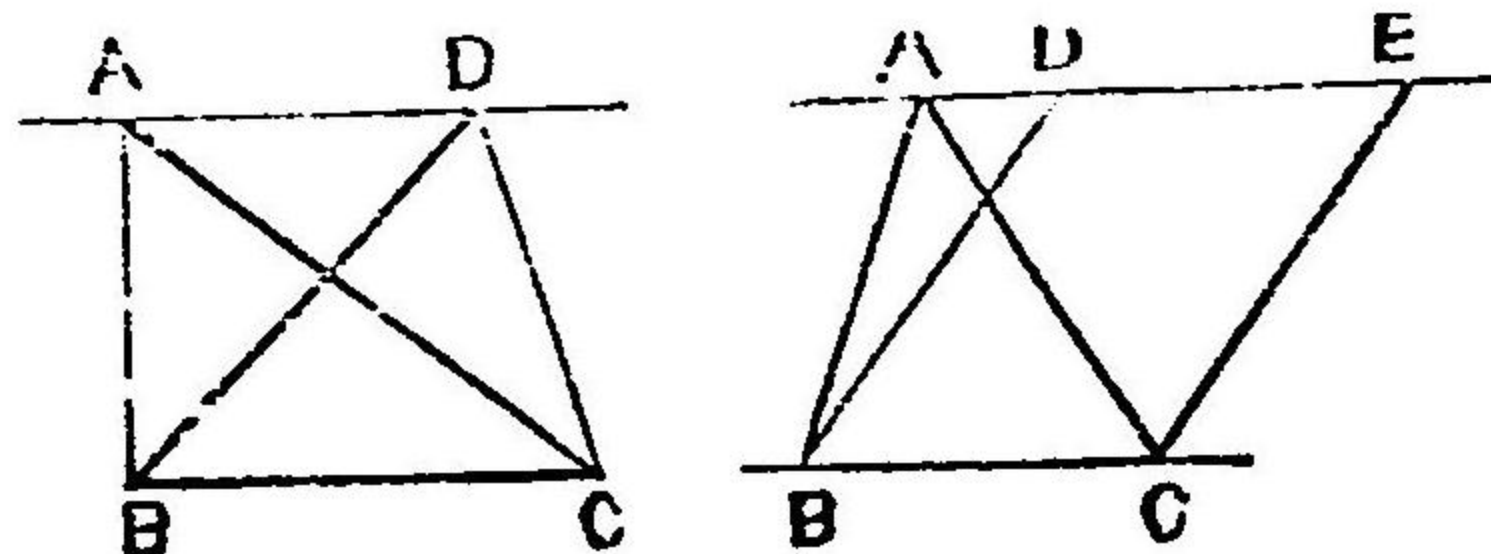
$$O'K < OO',$$

$$\therefore GH < EF,$$

$$\therefore CPD < APB.$$

面積ノ基本定理

1. 同底等高ノ平行四邊形或ハ三角形ハ其面積相等シ。
又同底等高ノ平行四邊形ハ其三角形ノ面積ノ二倍ナリ。



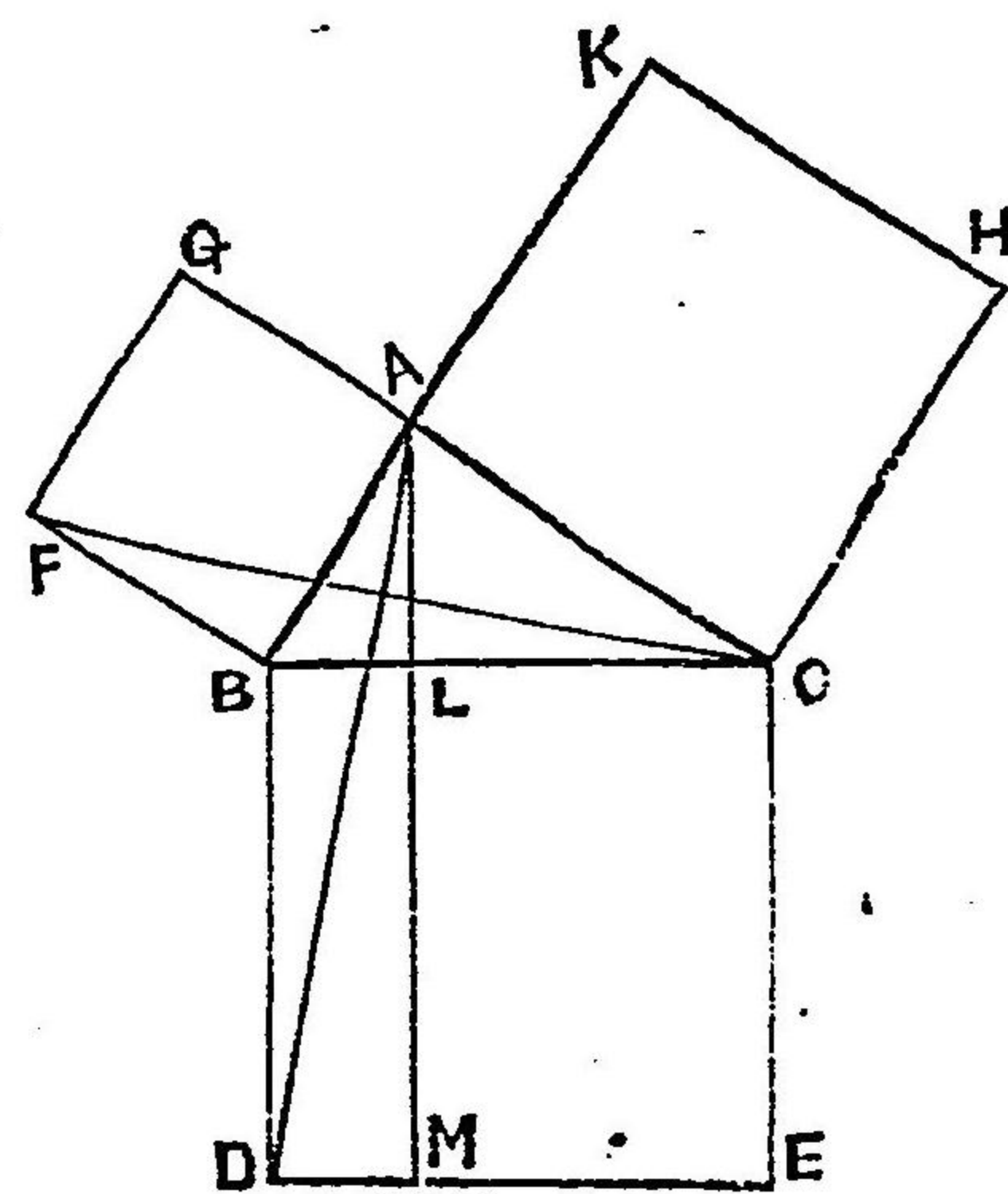
$$AD \parallel BC;$$

$$\triangle ABC = \triangle DBC.$$

$$2\triangle ABC = \text{平行四邊形 } DBCE.$$

此逆ニ同底等積ノ平行四邊形或ハ三角形ハ等高ヲ有ツ

2. 平行四邊形ノ對角線ニ沿フ餘
形ハ其面積相等シ。



3. 直角三角形ノ斜邊
上ノ正方形ハ他ノ二
邊ノ上ノ正方形ノ和
ニ等シ

(ピサゴラス定理)

$$AL \perp BC,$$

$$AB^2 + AC^2 = BC^2.$$

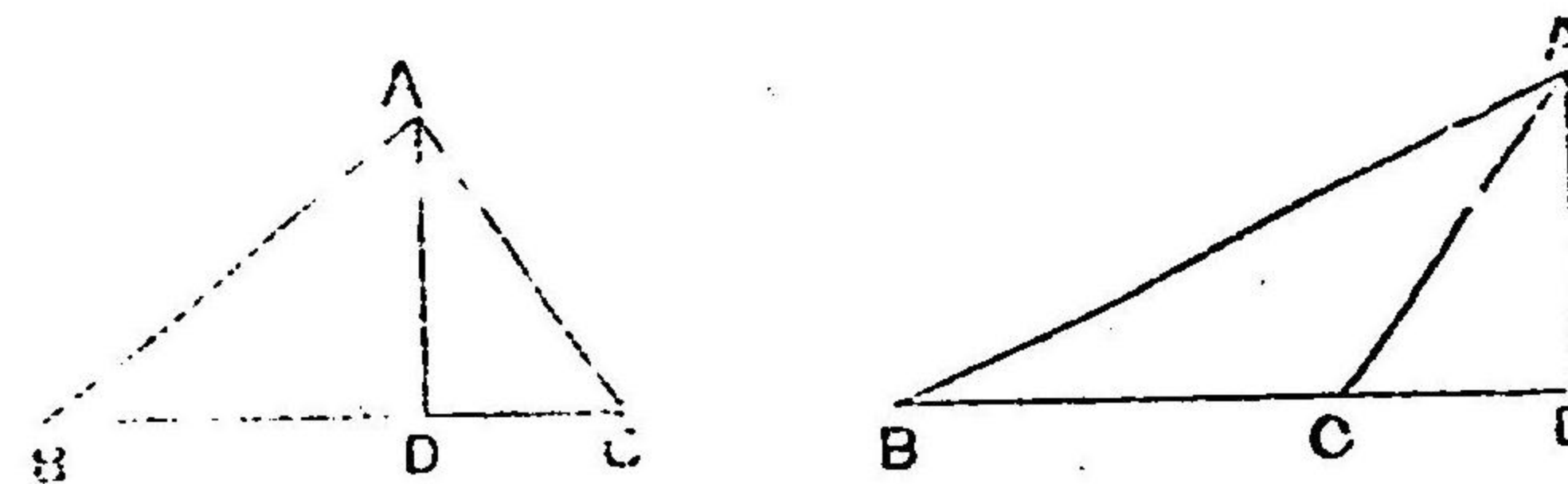
(正方形 ABCD
= 矩形 BDML)

(正方形 ACHK
= 矩形 LMEC)

面積ノ基本定理 (159)

4. 三角形ノ一邊ノ上ノ正方形ハ、其對角ガ銳角ナルト
鈍角ナルトニ應テ、他ノ二邊ノ上ノ正方形ノ和ニ、其
第二邊ト第三邊ガ第二邊ノ上ニナス正射影トナス矩形
ノ二倍ヲ減シ、或ハ加ヘタルモノニ等シ。

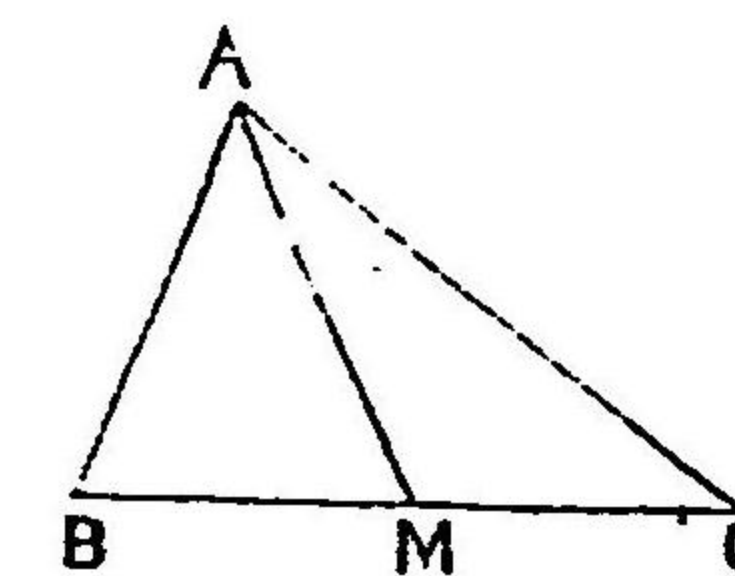
$$AB^2 = AC^2 + BC^2 \mp 2BC \cdot CD. \quad AD \perp BC.$$



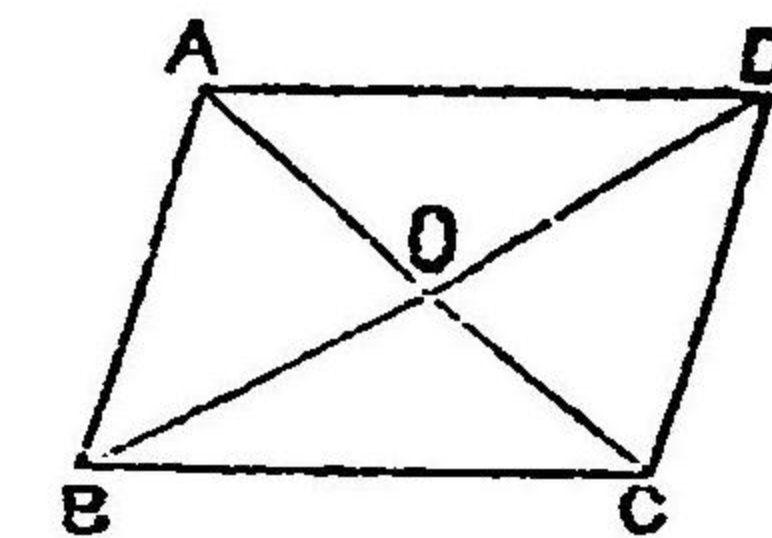
5. 三角形ノ二邊ノ上ノ正方形ノ
和ハ半底ノ上ノ正方形ト中線ノ
上ノ正方形トノ和ノ二倍ニ等シ。

$$BM = MC,$$

$$AB^2 + AC^2 = 2(BM^2 + AM^2)$$



6. 平行四邊形ノ各邊上ノ正方形
ノ和ハ對角線上ノ正方形ノ和ニ
等シ。



$$AB^2 + AD^2 = 2AO^2 + 2BO^2.$$

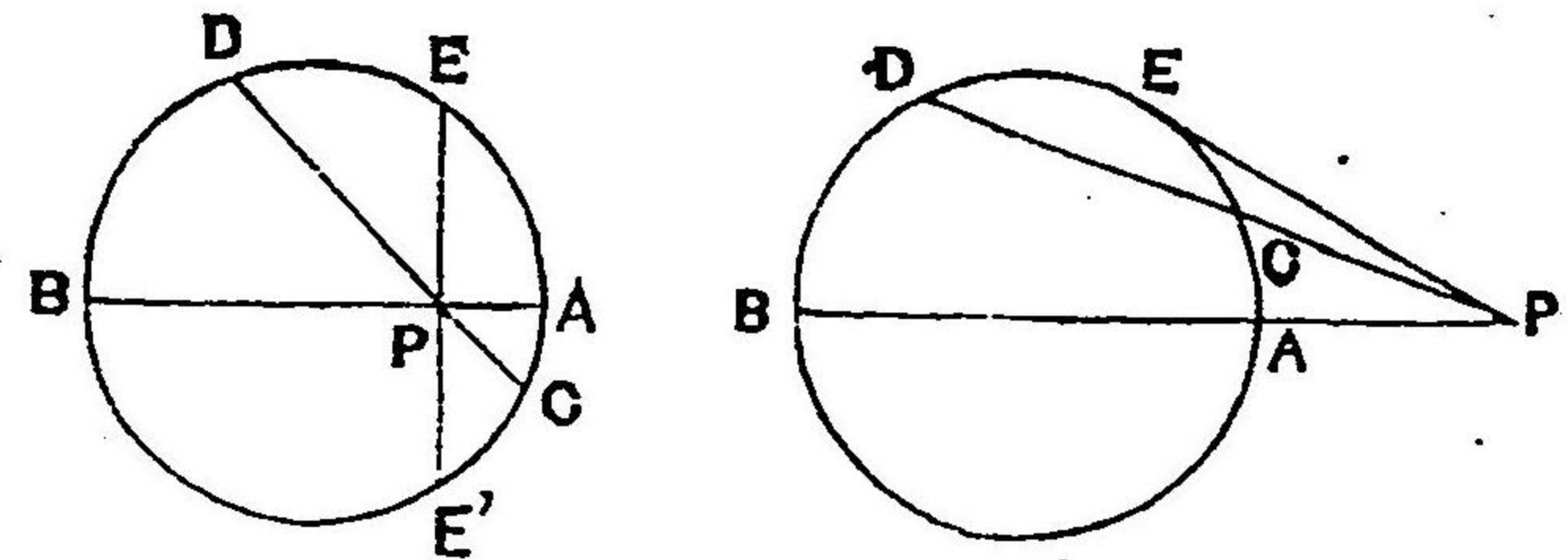
$$BC^2 + CD^2 = 2CO^2 + 2BO^2 \quad (+)$$

$$AB^2 + BC^2 + CD^2 + AD^2 = 4AO^2 + 4BO^2$$

$$= AC^2 + BD^2$$

7. 一定點Pヲ通シテ引キタル直線AB及C Dノ圓周ニ至ル分ノ包ム矩形ハ相等シ; $PA \cdot PB = PC \cdot PD$. 又若シ其點ガ圓内ニアリテ弦EE'ガPニテ二等分セラルハキ, 或ハ其點ガ圓外ニアリテ切線PEト成ルキハ

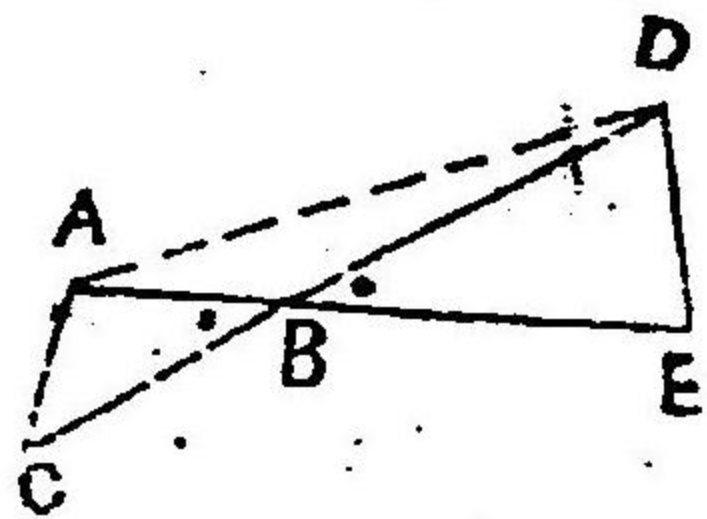
$$PE^2 = PA \cdot PB$$



此逆ニ, $PA \cdot PB = PC \cdot PD$ ナルキハ, A, B, C, Dノ四點ハ同圓周上ニアリ; 又 $PE^2 = PA \cdot PB$ ナルキハ, A, B, E三點ヲ通ズル圓ハPEニ切ス.

- † 8. $a : b :: c : d$ ナルキ, $ad = bc$. 即チ, 四線比例チナスキ, 其外項ノ包ム矩形ハ中項ノ包ム矩形ニ等シ. 又此逆ハ眞ナリ.

9. 等角ヲ有ツ二個ノ三角形或ハ平行四邊形ノ比ハ其角邊ノ包ム矩形ノ比ニ等シ.

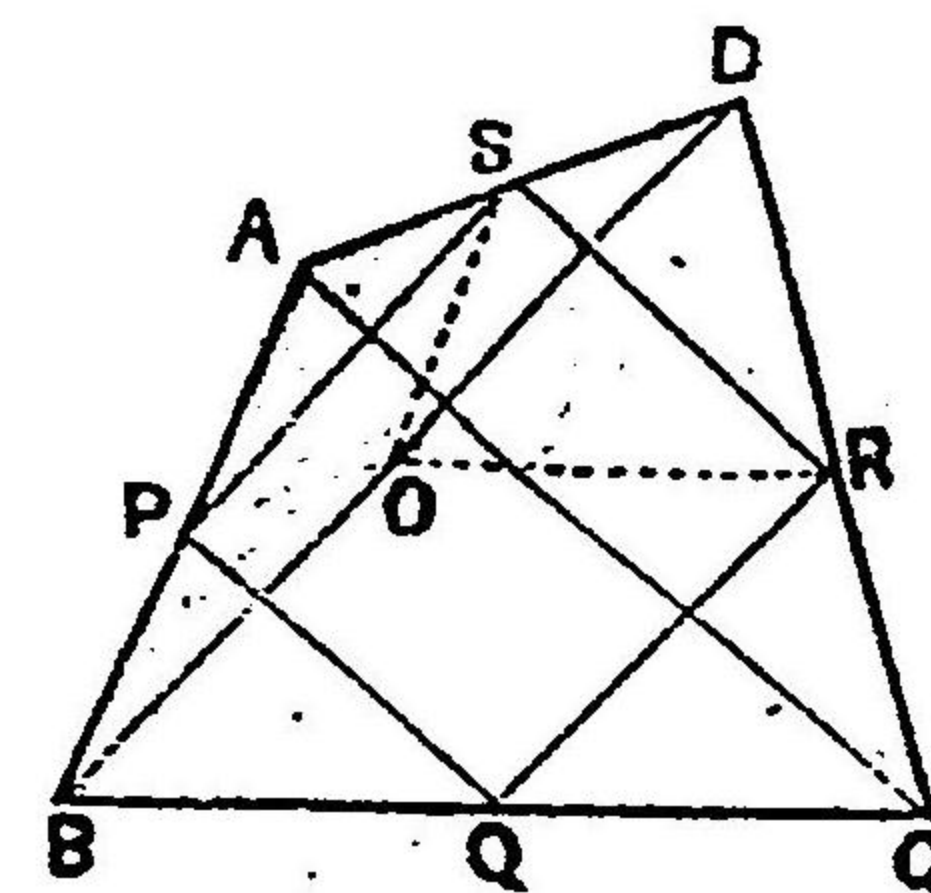


$$\triangle ABC : \triangle BDE = AB \cdot BC : BD \cdot BE$$

系 $\triangle ABC = \triangle BDE$ ナラバ $AB \cdot BC = BD \cdot BE$.

10. 相似三角形ノ面積ハ對應一邊ノ二乗比ナリ.
 11. 三角形ノ二立邊ノ包ム矩形ハ, 其高ト外接圓ノ直徑トノ包ム矩形ニ等シ.
 12. 圓内四邊形ノ對邊ノ包ム矩形ノ和ハ, 其對角線ノ包ム矩形ニ等シ. (トレミー定理) (頁156ヲ見ヨ)

- (1) 四邊形ノ各邊ノ中點ヲ順次ニ結ビ付クレバ平行四邊形ヲ得ベシ, 而シテ其積ハ原四邊形ノ半ニ等シ.



(解) ABCDヲ與ヘラレタル四邊形トシP, Q, R, Sヲ各邊ノ中點トスレバ, 四邊形PQRSハ平行四邊形ニシテ原四邊形ノ半分ニ等シ. P, SハAB, ADノ中點ナルヲ以テPSハBDニ平行

ナリ.

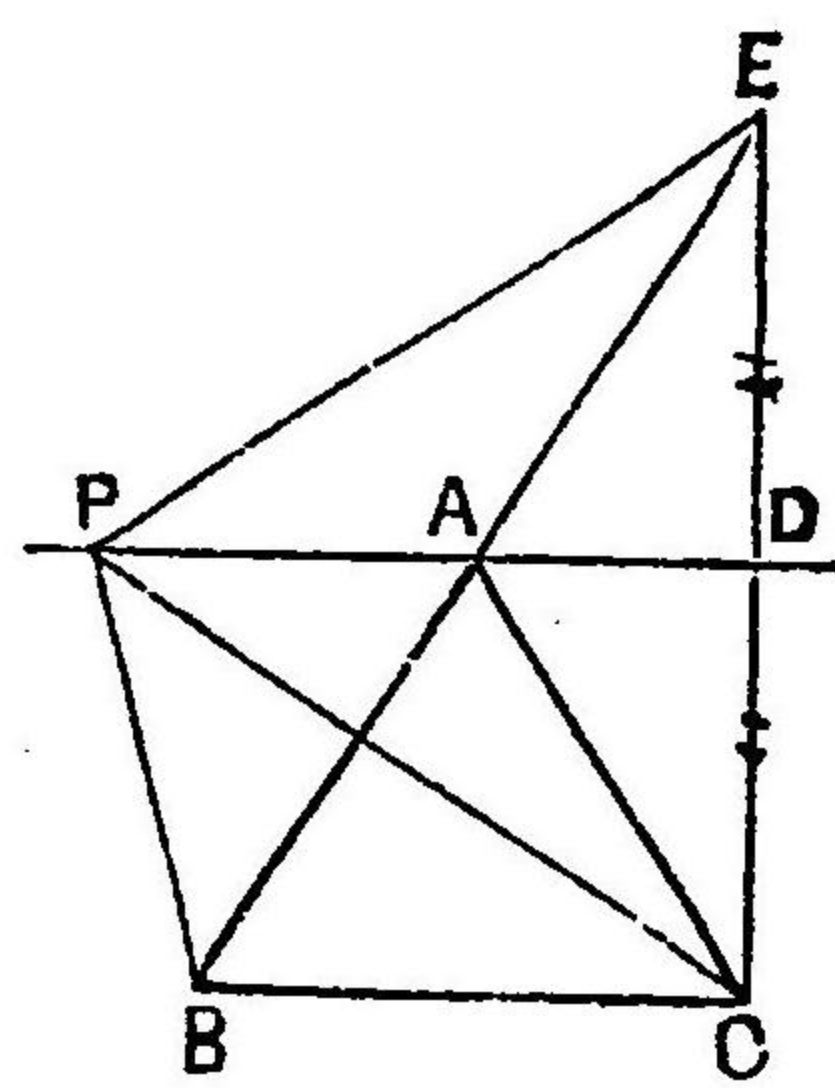
之ト同様ニQRハBDニ平行ナリ, 之ニ依テPS, QRハ互ニ平行ナリ, 同様ニPQハRSニ平行ナリ, 故ニ四邊形PQRSハ平行四邊形ナリ.

BDノ中點ヲOトシ, OS, ORヲ結ベバ四邊形BPSO, BQROハ平行四邊形ニシテ, 夫々三角形ABD, CBDノ半分ニ等シ, 故ニ面積BPSO, BQROハ此四邊形ノ半分ニ等シ, 然ルニSR=PQ

(162) 面積ノ題解

SO=PB, RO=QB ナルヲ以テ三角形 BPQ
ハ RSO ニ等シ, 故ニ面積 BPSORQ ハ平行
四邊形 PQRS ニ等シク即チ原四邊形ノ半分ナリ.

(2) 同底同高ヲ有スル三角形ノ中ニ就テ二等邊ノモ
ノ其周最小ナリ, 之ヲ証セ.



(解) 三角形 ABC ニ於テ
AB=AC トシ. 之ト同底同
高ヲ有スル三角形ヲ PBC ト
ス. 然ルルキハ

AB+AC < PB+PC.
Cヨリ AP ニ垂線 CD
ヲ作り且ツ之ヲ E ニ延長シテ
ED=DC トス. EA, EP
ヲ結ブ; 然ルルキハ

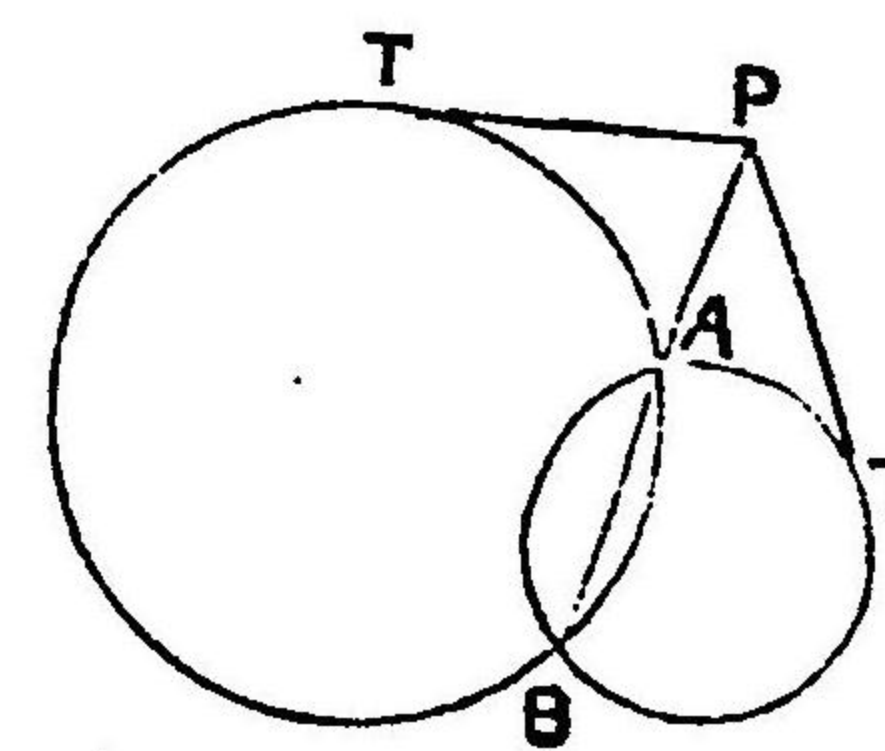
AE=AC, PE=PC,
又 $\angle PAB = \angle DAC = \angle EAD$ ナレバ BAE
ハ直線ナリ.

$PB+PE > BE$. (即チ BA+AE)
即チ $PB+PC > BA+AC$,
故ニ三角形 ABC ノ周ハ三角形
PBC ノ周ヨリ少ナリ

面積ノ題解 (163)

(3) AB が二ツノ圓ノ共通弦ナルキ AB ノ延
長上ノ一點ヨリ二圓ヘ引ケル切線ハ相等シ, 其証ヲ問フ.

(解) 二圓ガ A 及ビ B ニテ交ルトス, AB ノ
延長上ノ任意ノ點 P ヨリ各圓ニ切線 PT, PT'
ヲ作ルルキハ $PT=PT'$ ナルベシ.

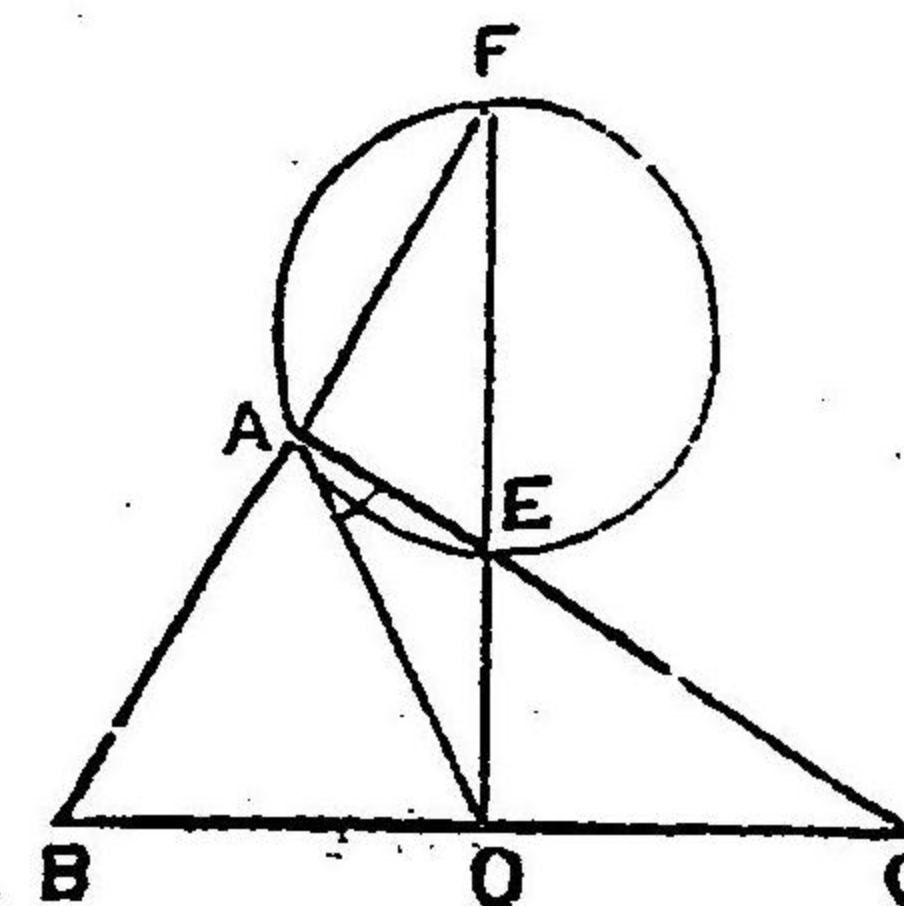


何トナレバ

$$PT^2 = PA \cdot PB = PT'^2$$

$$\therefore PT = PT'$$

(4) 直角三角形 ABC ノ斜邊 BC ノ中點 O
ヨリ此邊上ニ垂線ヲ立テ他ノ二邊ト E 及ビ F ニ於テ
交ラシメ又直角ノ頂點 A ヲ O ニ結ビ付クルルキハ, AO
ノ上ノ正方形ハ OE ト OF トノ包ム矩形ニ等シ, 之ヲ
証明セヨ.



(解) 三角形 AOC ハ二等邊
ナルヲ以テ

$$\angle OAC = \angle OCA$$

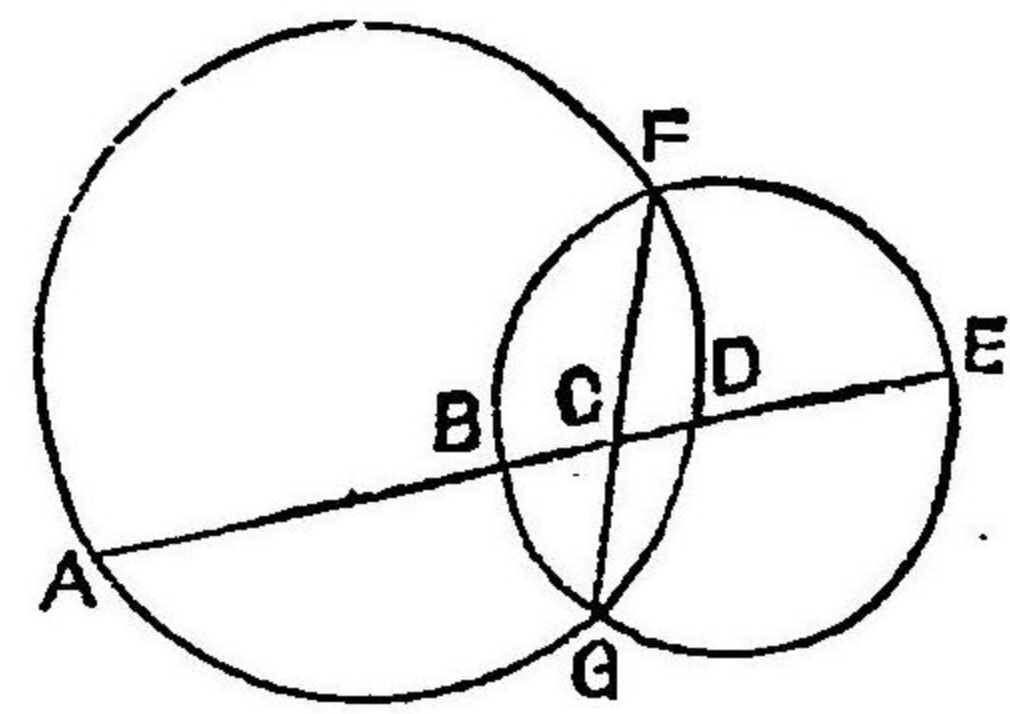
$$= \angle B \text{ ノ餘角}$$

又 直角三角形 BOF ヨリ
 $\angle BFO = \angle B \text{ ノ餘角}$

因テ三角形 AEF ニ外接スル圓ハ OA ニ切ス
ヘシ 故ニ $OA^2 = OE \cdot OF$.

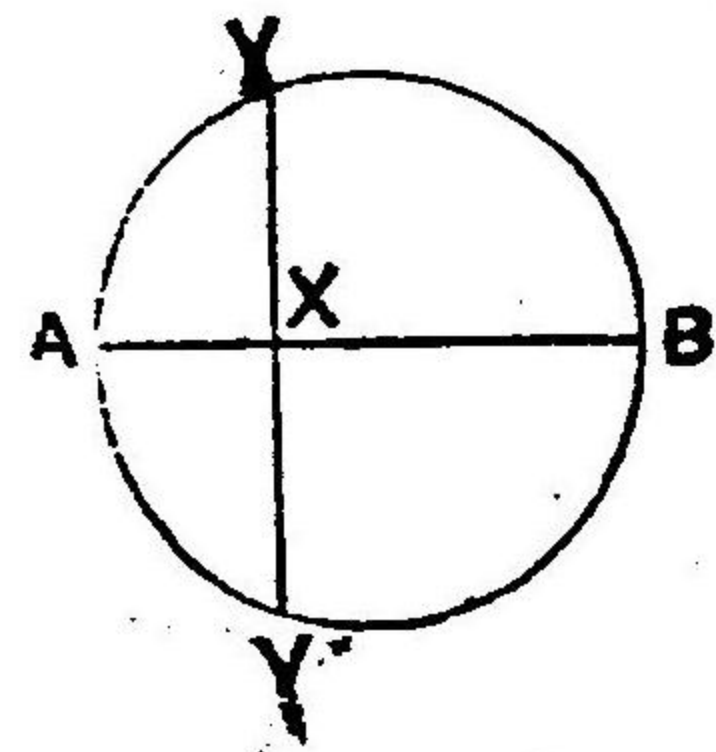
(164) 面積ノ題解

(5) 相交ル二ツノ圓ノ共通弦ノ上ニ在ル點 C ナ通
ツテ直線 ABCDE ナ引キ一ツノ圓トノ交リテ A,
D 他ノ圓トノ交リテ B, E トスルトキ
 $AB:BC=ED:DC$ ナルヲ証セ.



(解) 二ツノ圓ノ交點ヲ
F, G トス,
然ルキハ圓 AFG ヨリ
 $CF \cdot CG = AC \cdot DC$,
圓 EFG ヨリ
 $CF \cdot CG = CE \cdot BC$,
 $\therefore AC \cdot CD = CE \cdot BC$,
即チ $AC:BC = CE:CD$
因チ $AC - BC:BC = CE - CD:CD$.
即チ $AB:BC = ED:DC$.

(6) 圓ニ内接セル矩形ノ二邊ノ和ガ定長ナルモノ、
中ニ就テ其積ノ最大ナルハ其邊ノ相等シキトキニアリ.

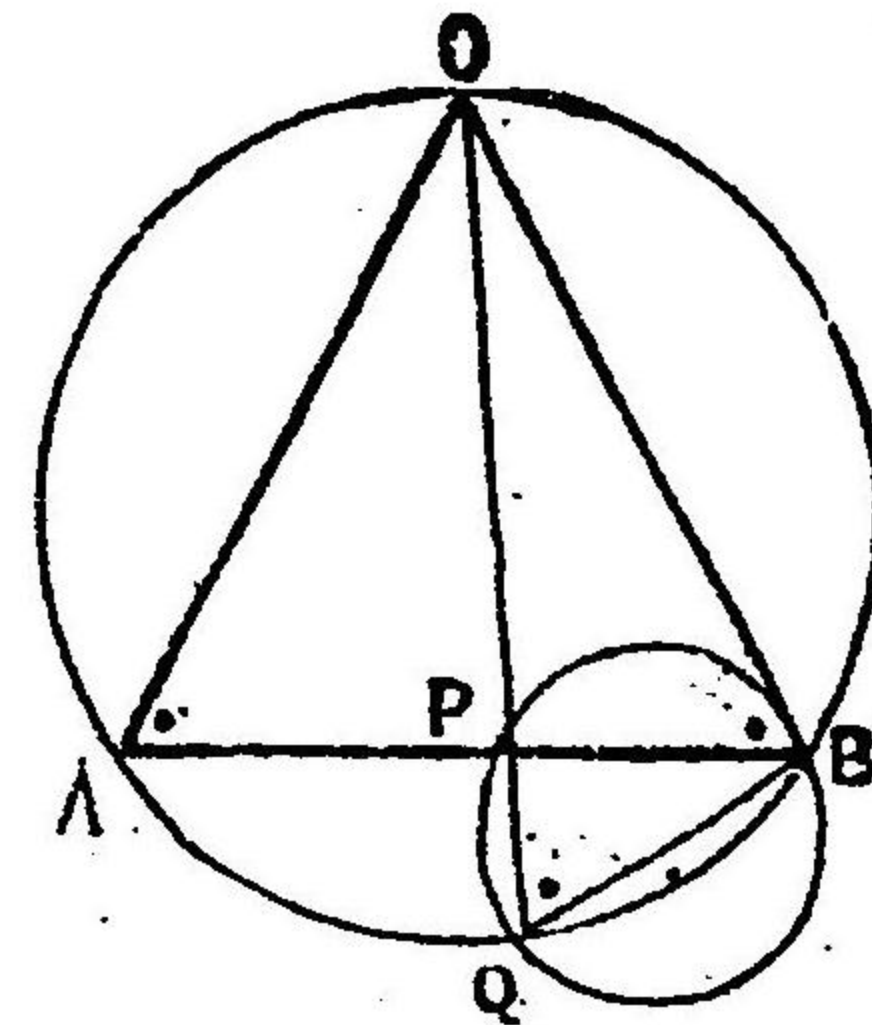


(解) AB ナ與ヘラレタル矩形ノ二
邊ノ和トス. AB ナ直径トシテ圓
ヲ畫キ AB 上ノ任意ノ點 X ヨリ
之ニ垂線 YX 作リ圓周トノ
交點ヲ Y 及ビ Y' トスレバ
 $AX \cdot XB = YX \cdot XA'$ ナリ.

面積ノ題解 (165)

今若シ此 AX 及ビ XB ノ有ツ矩形ヲ最大ナラシ
ムルニハ XY, 及ビ XY' ノ積ヲ最大ナラシム
ルヲ要ス; 而シテ之ガ最大ナルハ XY 及ビ XY'
ガ夫々半径トナルキ, 即チ X ガ AB ノ中點ニ來ル
キ, 即チ二邊相等シキキニアリ.

(7) 二等邊三角形 OAB ノ頂點 O ヨリ任意ノ直線
ヲ引キ底邊 AB ト P ニ於テ交ラシメ外接圓ノ周ト
Q ニ於テ交ラシムレバ OP ト OQ トノ包ム矩形ハ
常ニ相等シ.

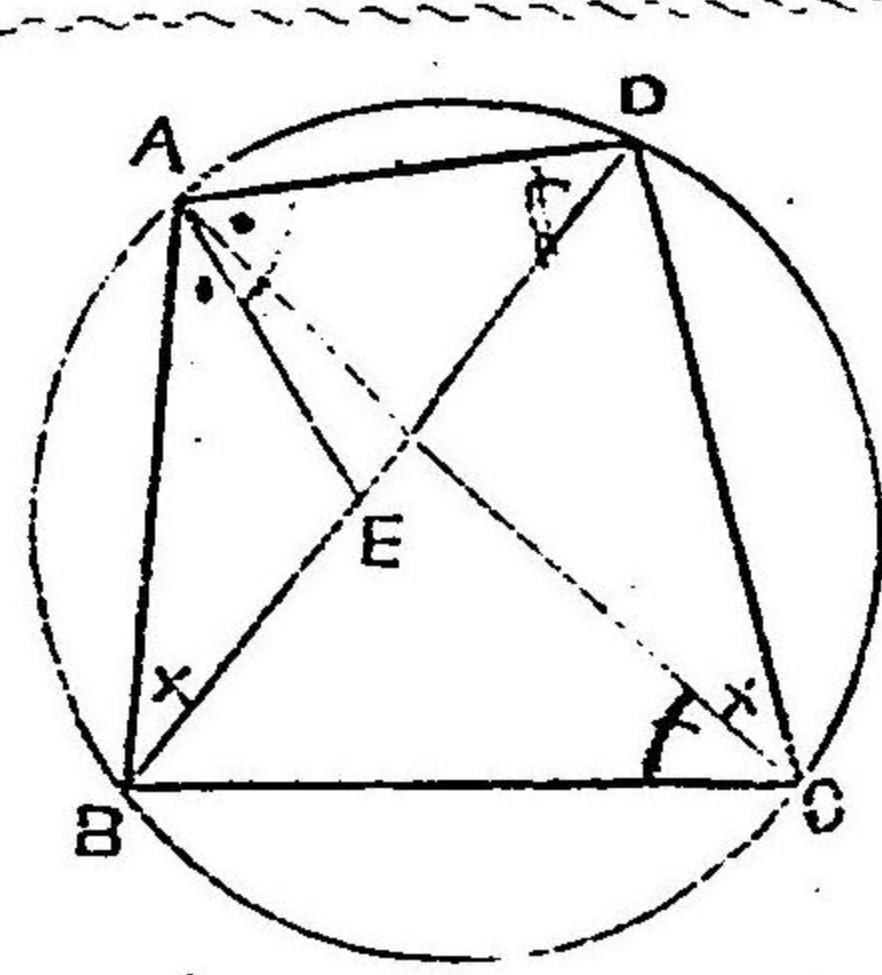


(解) BQ ナ結ベバ
 $\angle OBP = \angle A = \angle OQB$,
ナルヲ以テ若シ P, Q, B ノ
三點ヲ通ズル圓ヲ畫ケバ OB
ハ其圓ニ切スベシ, 之ニ依テ
 $OP \cdot OQ = OB^2$. (即チ一定)

(8) 圓ニ内接シ得ベキ四邊形ノ對角線ノ包ム矩形ハ
相對スル二邊ノ包ム矩形ノ和ニ等シ.

(解) DABC ナ 圓ニ内接スル四邊形トス, 然ル

(166) 面積ノ題解



キハ $AC \cdot BD = AB \cdot CD + AD \cdot BC$ ナルベシ、

証明 $\angle B$ 角 $\angle DAC$ = 等シキ角ヲナシテ線 AE ナ引キ BD ト E ニテ會セシム、

然ルキハ $\angle BAE = \angle DAC$, (作法ニ依リ)
 $\angle ABE = \angle ACD$, (同弧上ノ圓周角)

$\therefore \triangle ABE \sim \triangle ACD$
 $AB : BE = AC : CD$
 $\therefore BE \cdot AC = AB \cdot CD \dots\dots(1)$

同様ニ $\triangle EAD \sim \triangle BAC$ ナルニヨリ
 $AD : DE = AC : BC$
 $\therefore DE \cdot AC = AD \cdot BC \dots\dots(2)$

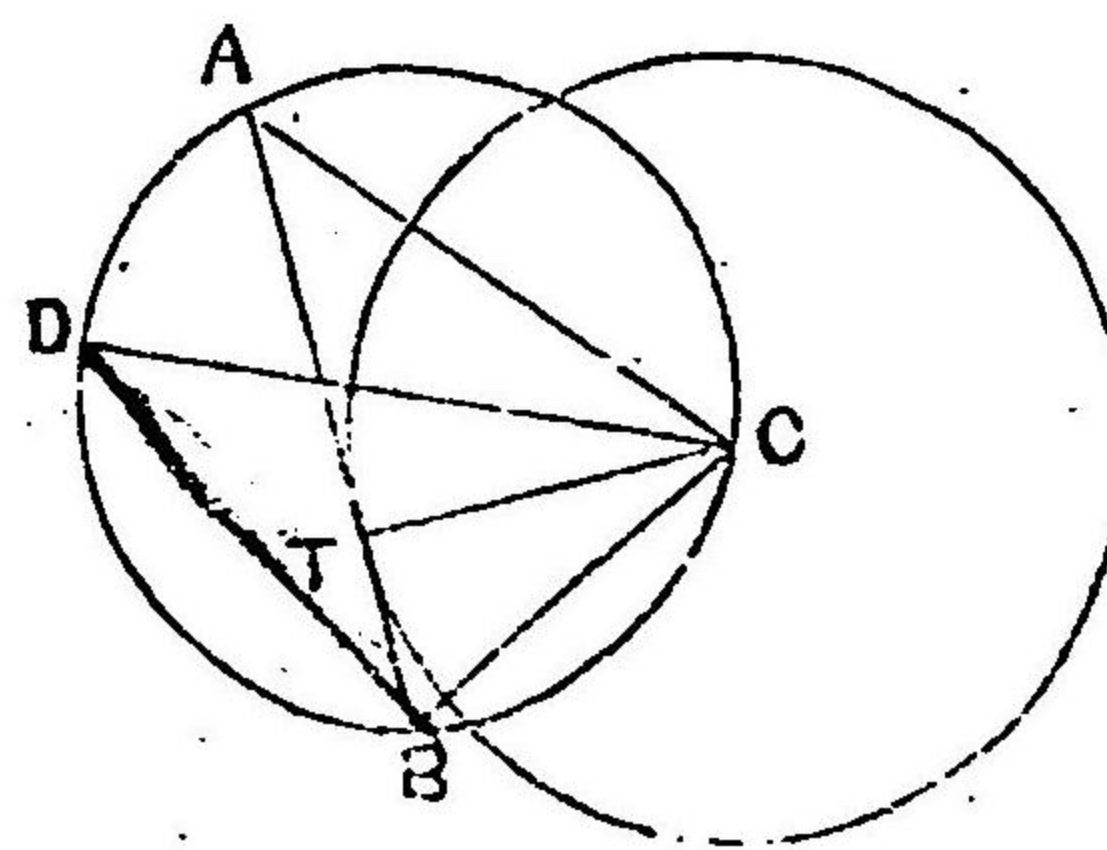
(1) ト (2) トヲ加ヘテ
 $(BE + ED) \cdot AC = AB \cdot CD + AD \cdot BC$
 即チ $BD \cdot AC = AB \cdot CD + AD \cdot BC$

(9) 一定圓周上ノ一點 T ヨリ切線 ATB ナ引キ其圓ノ中心 C ナ過ル他ノ一定圓ト A 及ビ B ニ於テ交ラルトス、 AC 及ビ BC ノ包ム矩形ハ一定不變ナルコトヲ証セ。

(解) 切點ヲ T トシ CT ナ結ビ第二ノ圓ノ直

面積ノ題解 (167)

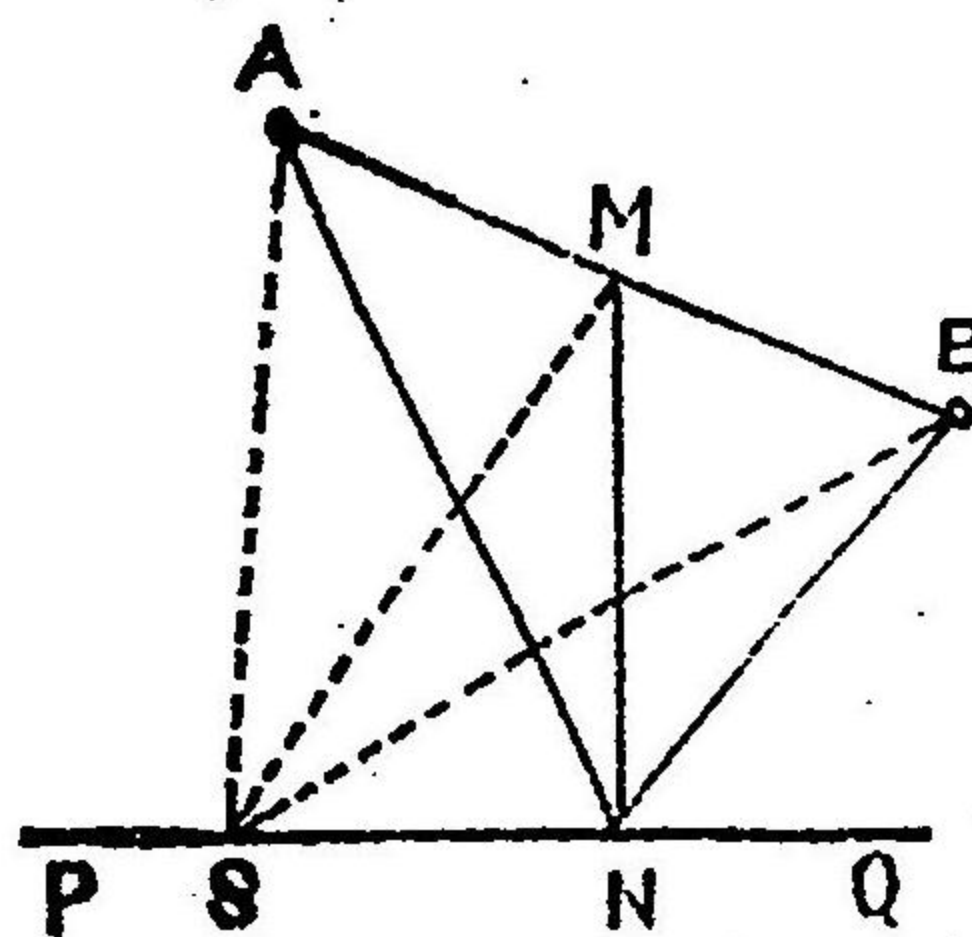
徑ヲ CD トシ BD ナ結ビ付ケヨ、然ルキハ二ツノ三角形 ACT, CDB ニ於テ



$\angle CAT = \angle CDB$,
 $\angle ATC = \angle CBD = \text{直角}$
 故ニ此二ツノ三角形 ACT, CDB ハ相似形ナリ。
 故ニ $CA : CT = CD : BC$
 故ニ $AC \cdot BC = CT \cdot CD$

而シテ CT ハ第一圓ノ半徑 CD ハ第二圓ノ直徑ニシテ何レモ一定ナリ故ニ CA, CB ノ包ム矩形ハ一定ナリ。

(10) 與ヘラレタル直線外ノ與ヘラレタル二ツノ點ヨリ之ニ引ケル二ツノ直線上ノ正方形和ガ最小ナル點ヲ求ム。



(解) 與ヘラレタル直線ヲ P, Q 其線外ノ點ヲ A, B トス。
 作法 A, B ナ結ビ其中點 M ナ求メ、 M ヨリ直線 PQ ニ垂線 MN ナ作り、其交點ヲ N トス、 N ハ求ムル一點ナリ。

(168) 面積ノ題解

証明 PQ 上ニ任意ノ一點 S チ取ル、

然ルルハ $MN < MS$ 、

而シテ $AN^2 + BN^2 = 2(MN^2 + AM^2)$

又 $AS^2 + BS^2 = 2(MS^2 + AM^2)$

∴ $AN^2 + BN^2 < AS^2 + BS^2$ 、

軌跡

注意 軌跡ハ作圖法ノ總テチ支配スルモノナレバ、
豫メ之ヲ知り置カザルベカラズ；而テ軌跡ノ研究ハ容易
キモノニアラズ、是レ亦豫メ注意ヲ怠ルコト勿レ。

1. 同方向ニアル點ノ軌跡ハ直線ナリ。
2. 一點ヨリ等距離ナル點ノ軌跡ハ圓周ナリ。
3. 一定線上ニ等角ヲ定ル角頂ノ軌跡ハ圓弧ナリ。
4. 二點ヨリ等距離ノ點ノ軌跡ハ、其二點ヲ結ブ直線ノ
中點ニ作レル垂線ナリ。
5. 二線ヨリ等距離ナル點ノ軌跡ハ、其角ヲ二等分スル
二個ノ直線ナリ。
6. 一線ヨリ等距離ナル點ノ軌跡ハ、其各傍ニ於ケル二
個ノ平行線ナリ。
7. 二點ヨリ定比ヲ有スル點ノ軌跡ハ、此二點ノ距離ヲ
其比ニ内分及ビ外分シタル兩分點ノ距離ヲ直徑トシタ
ル圓周ナリ。
8. 二直線ヨリ定比ヲ有スル點ノ軌跡ハ、其交點ヲ通ズ
ル二直線ナリ。但シ二線ガ平行ナル場合ニハ、之ニ
平行スル二直線ナリ。

注意 少クモ以上ノ軌跡ノ心得ナクシテ作圖問題ヲ
解カントスルハ、全ク此學ヲ解セザルモノノ行爲ナリ、

9. 一點ヨリ一直線ニ至ル諸線ノ中點ノ軌跡ハ、其點ヨリ直線ニ作レル垂線ノ中點ヨリ其線ニ平行ニ引キタル直線ナリ。

10. 圓ノ定弦ノ中點ノ軌跡ハ同心圓ナリ。

11. 一點ヨリ圓周上ニ至ル中點ノ軌跡ハ圓ナリ。

12. 圓内(或ハ外)ノ一點ヲ通ズル弦(或ハ割線)ニ、中心ヨリ垂線ヲ引クキ、其垂足ノ軌跡ハ圓(或ハ圓弧)ナリ。

13. 直交二線ノ間ニ定長直線ガ滑ルキ、其中點ノ軌跡ハ圓弧ナリ。

14. 直交二線ノ間ニ直三角形ノ斜邊ヲ置キテ滑ラシムルキ、其直角頂ノ軌跡ハ直線ナリ。

15. 一定點ニ一角頂ヲ有チ、一定線上ニ一角頂ヲ有ツ相似三角形ノ頂點ノ軌跡ハ二ツノ直線ナリ。

軌跡ノ問題ヲ解クニハ 直線ナルヤ圓ナルヤヲ考定シテ若シ直線ナラバ、其軌跡ハ點ノ方向ヲ決定スルコトニ依テ解決ヲ得ベキモノナルガ故ニ、隨テ其點ハ所題ノ中ノ一定點ト一定線トヲ求メ其何レノ方向ニアルヤヲ搜リ其定方向角ヲ發見スルヲ要ス; 又其軌跡ガ圓或ハ圓弧ナラバ、其軌跡ハ定點即チ中心ノ所在ト半徑ノ長サトヲ求ムルカ、或ハ定長直線即チ弦ト其弧ヲ張ル定角トヲ發見スルガニ依テ解決シ得ルモノナルバ、必ズ先ヅ之ヲ求ムルコトヲ心掛クベシ。

(1) 定圓 O ノ圓周上ノ動點 P ヨリ定直徑 AOB ニ垂線 PC ヲ引キ半徑 OP ヨリ OC ニ等シク OQ ヲ取ルキハ、 Q 點ノ軌跡如何。

(解) $OB = OP,$

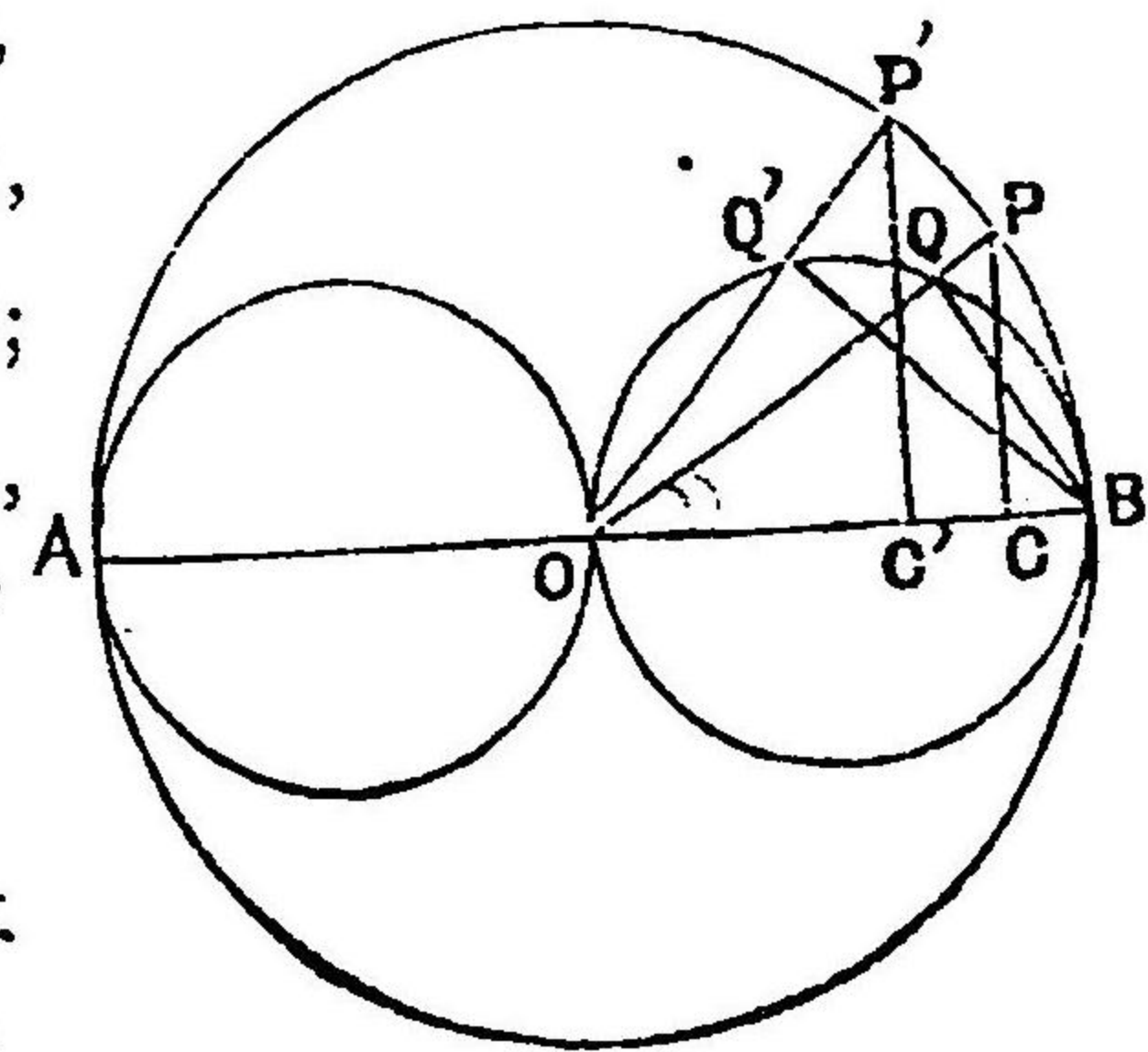
$OQ = OC,$

$\angle O = \angle O;$

$\therefore \triangle OQB \cong \triangle OCP,$

$\therefore \angle OQB = \angle OCP$

$= \angle R.$



Q ハ定線 OB ノ上

ニ定角(直角)ヲ張ルヲ

以テ Q 點ハ OB ヲ直徑トスル圓周上ニ在リ。

逆ニ此圓周上ニ他點 Q' ヲ取り、 OQ' ヲ引長シ定圓周トノ交點ヲ P' トシ、 P' ヨリ AB ニ垂線 $P'C'$ ヲ作レバ

$OP' = OB, \angle OC'P' = \angle OQ'B = \text{直角},$

$\angle O = \angle O$ ナルヲ以テ、 $\triangle OP'C' \cong \triangle OBQ'$

$\therefore OQ' = OC'.$

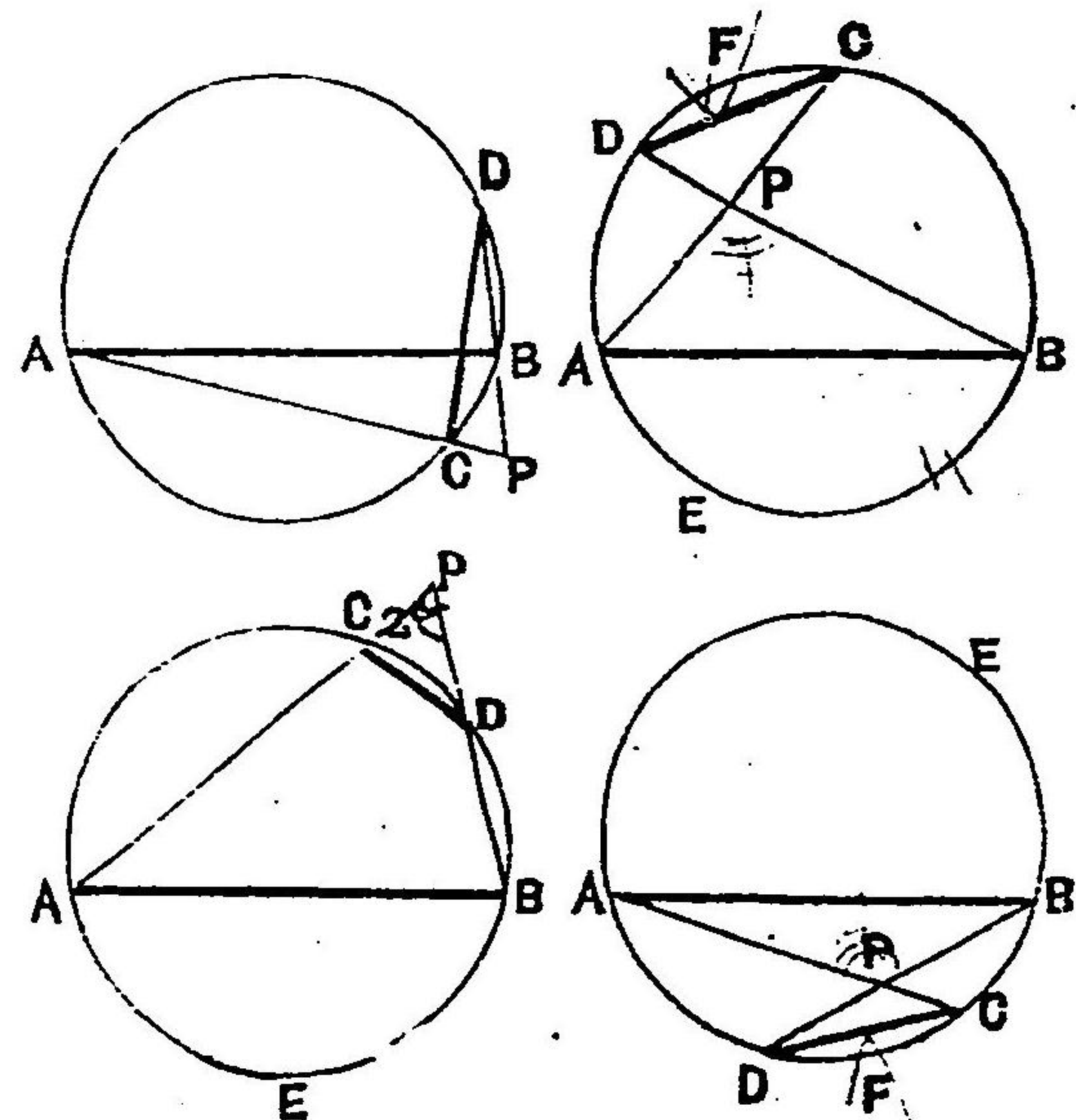
トナリテ、此要件ヲ満足ス。故ニ Q ノ軌跡ハ OB (并ニ AO) ヲ直徑トスル圓ナリ。

注意 軌跡ノ証明ハ常ニ逆ヲモ証明セザレバ充分ナラズ、然レモ、初學者ニハ甚困難ナルヲ以テ、次解ノ如ク多クハ之ヲ省略ス。

(172) 軌跡題解

(2) AB は與へラレタル圓ノ定弦ニシテ CD は長サ一定セル動弦ナリ、 AC, BD ノ交點ノ軌跡如何、

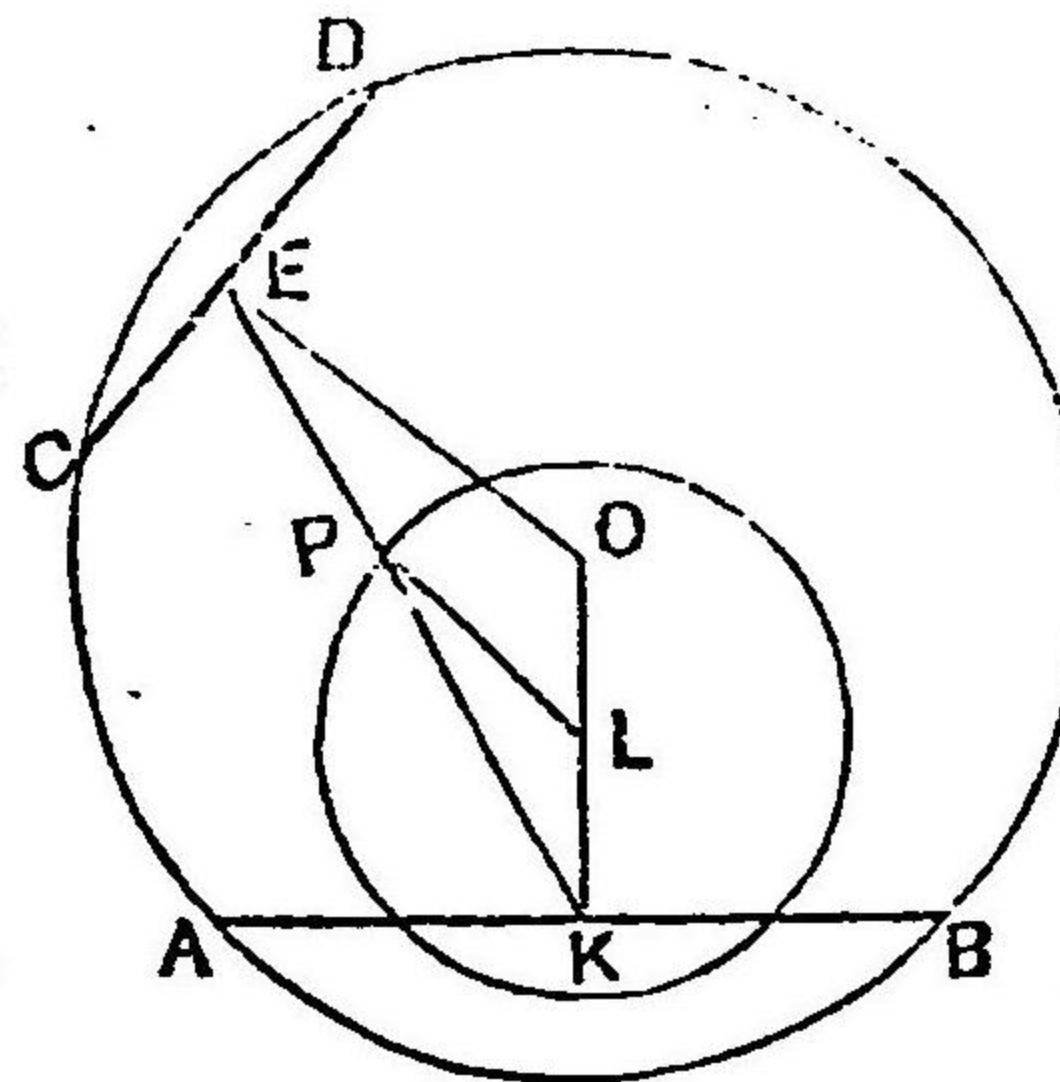
(解) AC, BD ノ交點ヲ P トスレバ角 APB は下ノ圖ニ以ケル右ノ一組ノ二ツノ弧 AEB, CFD ノ和半ヲ以テ測ラレ、左ノ一組ニ於テハ其差半ヲ以テ測ラレ、弧 CFD ハ弦 CD ノ長サ一定セルヲ以テ其大サ定マレリ、又 AEB ハ定弧ナリ、因テ角 APB ハ不易ナリ故ニ P ノ軌跡ハ AB ニ對シ不變ナル角ヲ含ム點ノ軌跡ニ同シクシテ一般ニ四ツノ AB ナ弦トスル圓弧ナリ。



軌跡題解 (173)

(3) 圓 C ニ於テ AB ナ定弦、 CD ナ定長動弦トシ、 AB, CD ノ中點 K, E ナ結ブ、其中點 P ノ軌跡如何。

(解) 圓心 O ト E, K ナ連結スルキ、 OE, OK ハ圓心ヨリ定長ノ弦ニ至ル距離ナルヲ以テ各一定ノ長サナ有ス。



定位置ノ直線 OK ノ中點 L ト P ナ連結スレバ、直線 PL ハ三角形 EOK ノ二邊ノ中點ヲ通ズル線ナルヲ以テ、 PL ハ EO ノ半ニ等シ。

故ニ P ハ定點 L ヨリ常ニ一定ノ距離ニアリ、由テ P ノ軌跡ハ圓ナリ。

附言 本題ノ解ヲ充分ニ知ラント欲セバ數學雜誌第三卷第一號ヲ見ヨ。

作 圖

1. 定直線ヲ二等分スルヲ.
2. 定角ヲ二等分スルヲ.
3. 定直線上(或ハ外)ノ一點ヨリ之ニ垂線ヲ作ルヲ.
4. 定線ニ定角ヲナスベキ一直線ヲ引クヲ.
5. 線外ノ一點ヨリ之ニ平行線ヲ引クヲ.
6. 三點ヲ通ズル圓ヲ畫クヲ.
7. 一線ヲ定比ニ内分, 或ハ外分スルヲ.
8. 三數ノ第四比例項ヲ求ムルヲ.

注意 以上ハ易題ニシテ, 之ヲ他ニ引用スルモ多ク

ハ証明ヲ要セザル已知ノ作法トナス.

9. 一定直線上ニ定角ヲ張ル弓形ヲ作ルヲ.
10. 一矩形ニ等シキ正方形ヲ作ルヲ.
11. 二點ヲ過キ一線ニ切スル圓ヲ畫クヲ.

注意 以上ノ三ツハ甚ダ要用ニシテ忘レ易キ作圖法
ナレバ, 恒ニ意ヲ用ヒテ記憶ニ存セシメヨ.

12. 三角形ノ三邊ヲ與ヘテ之ヲ作ルヲ.
13. 三角形ノ二邊ト一角トヲ與ヘテ之ヲ作ルヲ.
14. 三角形ノ二角ト一邊トヲ與ヘテ之ヲ作ルヲ.
15. 三角形ノ底邊ト高サト頂角トヲ與ヘテ之ヲ作ルヲ.
16. 三角形ノ底邊ト頂角ト二邊ノ和或ハ差ハ與ヘテ之

作 圖 ノ 考 ヘ 方 (175)

ヲ作ルヲ

注意 以上ノ五題ハ三角形作圖ノ基本ナリ.

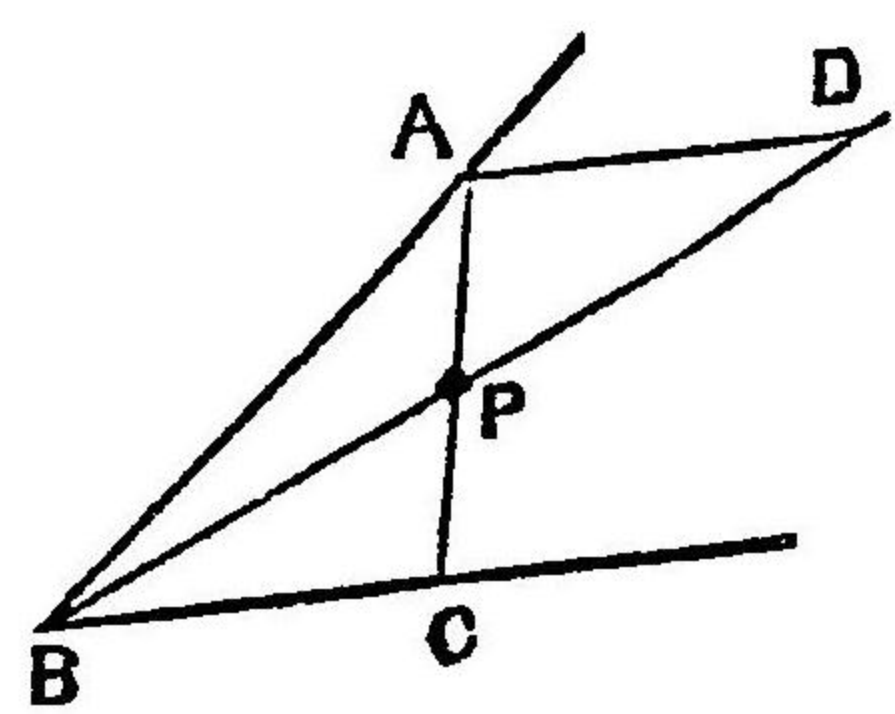
作 圖 ノ 考 ヘ 方

作圖題ヲ解クニハ先ヅ其解ガ出來タモノトシテ之ヲ
解析スルガ普通ノ順序ナレバ, 解折スレバトテ目當テナ
シニ行ヘバ非常ノ時間ヲ要スベシ, 故ニ例バ一定點ヲ通
ジテ一直線ヲ引キ直線ヲクハ圓ニ至ル其長サヲ此點ニテ
二等分セヨト云フ如キ問題アリトス, 然ルモ自身ハ線ノ
二等分ト云フヲニ就テ如何ナル知識ヲ有スルカヲ心ニ求
メザルベカラズ, 若シ此時ニ平行四邊形ノ對角線ハ互ニ
二等分スト云フヲ考ヘ附クカ, 或ハ又三角形ノ一邊ノ
二等分點ヨリ底邊ニ平行ニ引キタル線ハ他邊ヲ二等分ス
ト云フヲ考ヘ附クカスレバ, 其所設ノ問題ヲ此定理ニ
當テ適マル様ニ考ヘルガ, 問題ノ考ヘ方ナリ, 依テ下ニ
其解法ヲ掲ゲテ考ヘ方ヲ示サン.

(例 I.) 角 ABC 内(或ハ外)ノ一定點 P ヲ通ジ
テ直線 APC ヲ引キ AP ト CP ト等シカラシメヨ.

此作圖ヲ假ニ出來得タリトシ, 之ヲ平行四邊形ノ性
質ニ誘カントシテ考フルニ若シ APC ヲ平行四邊形
ノ對角線ト見レバ, P ハ其中點ニシテ AB 及ビ BC
ハ其二邊ト見做スヲ得.

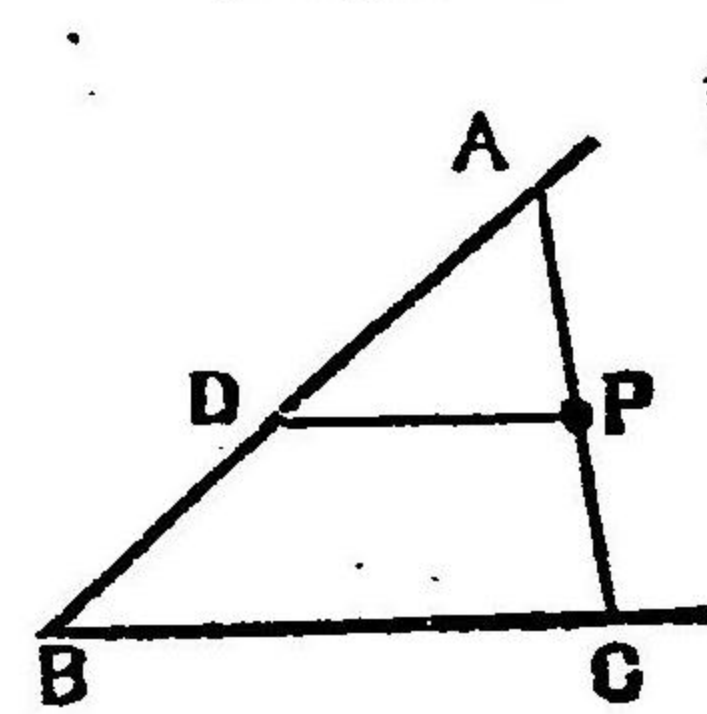
(176) 作圖ノ考ヘ方



依テ此形ヲ完成スル爲メ BP
ヲ結ビ之ヲ D マテ延長シ
DP=BP ニ作レバ平行四邊
形ノ一角頂 D ヲ得、D Eニ
定マレバ AD || BC ナルヲ
以テ、直ニ作圖法ヲ得。

(作圖法) BP ヲ結ビ之ヲ D ニ延長シテ DP=BP
トシ、D ヲ通ジテ DA ヲ BC ニ平行ニ引キ AB ト
ノ交點ヲ A トス、AP ヲ結ベハ是レ求ムル線ナリ。(証
略ス)

(別解)或ハ又此時ニ三角形ノ性質ヲ想像シテ、之ニ



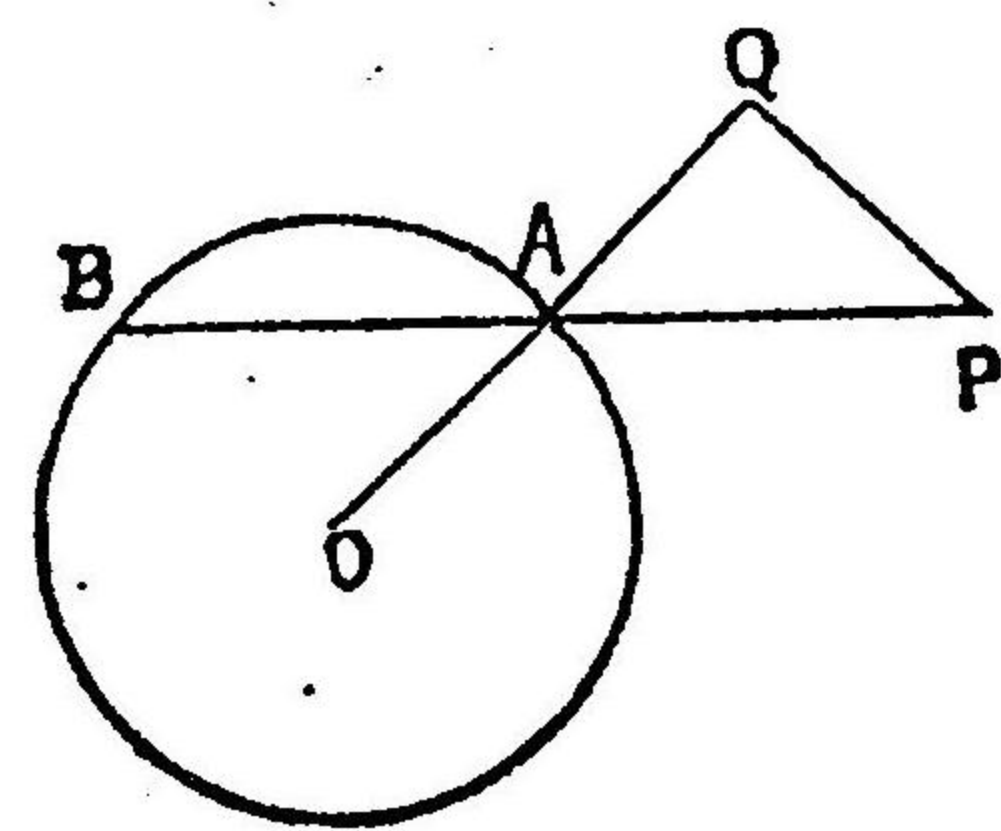
誘カントス然ルモ P ハ AC ノ中點ナ
ルヲ以テ若シ BC ニ平行ニ PD ヲ作
リ其 AB トノ交點ヲ D トスレバ
AD=DB ナルヲ明ニシテ隨テ次ノ
作圖法ヲ得

(作圖法) P ヲ通ジテ PD ヲ BC ニ平行ニ引キ AB
トノ交點ヲ D トシテ AD ヲ BD ニ等シク取り A ヲ
定メ AP ヲ結ベハ是レ所要ノ線ナリ。

(例 II) 定圓 O 外ノ一定點ヨリ割線 PAB ヲ作
リ其圓外ノ部分 PA ト圓内ノ部分 AB ト相等シカラ
シメヨ。

此作圖が假ニ出來タルモノトセヨ。然ルモ A ハ BP

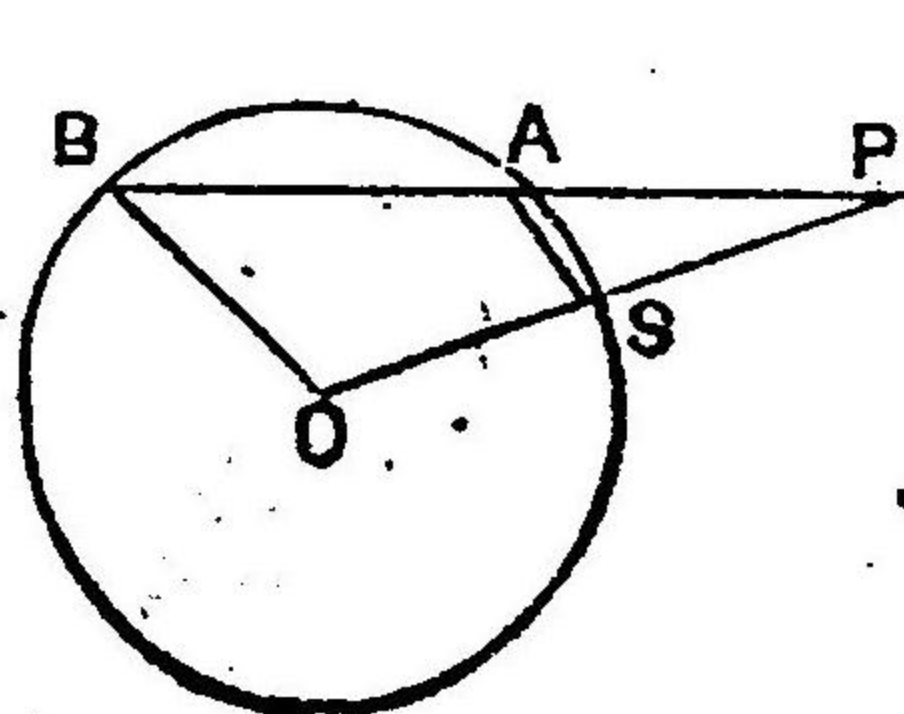
作圖ノ考ヘ方 (177)



ノ中點ナルガ故ニ之ヲ平行四
邊形ノ對角線ノ中點ニ見立テ
此形ヲ完成スル爲メ、OA
ヲ結ビ之ヲ Q ニ延長シテ
AQ ヲ AO ニ等シク取レ
バ B, O, P, Q ハ平行四

邊形ノ四ツノ角頂ナルコト明カナリ。四邊形ノ性質ニ依
テ QP=OB, 即チ定圓半徑ナルコトヲ知ル、隨テ次ノ
作圖法ヲ得。

(作圖法) O ヲ中心トシ定圓直徑ヲ半徑トシテ圓ヲ
畫キ、又 P ヲ中心トシ定圓半徑ヲ半徑トシテ圓ヲ畫キ



其交點ヲ Q トス、QO ヲ結
ビ之ト定圓周トノ交點ヲ A ト
シ、PA ヲ結ベハ所要線ヲ得

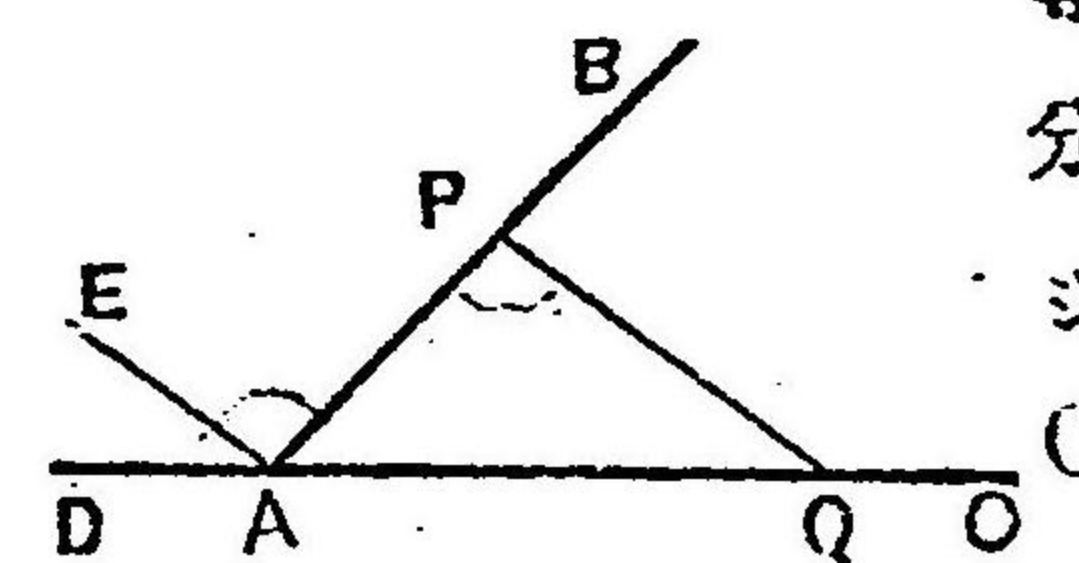
(別解)本題ヲ三角形ノ性質
ニ導カントスル爲メ、PO, BO

ヲ結ベハ A ハ三角形ノ邊 PB ノ二等分點トナルヲ以テ
AS ヲ BO ニ平行ニ引キ PO トノ交點ヲ S トス
レバ S ハ PO ノ中點トナル、PO ハ已知直線ナレバ
隨テ S ハ已知點ナリ。且ツ AS = 1/2 BO ナレバ、次ノ作
圖法ヲ得。

(作圖法) PO ヲ結ビ其中點 S ヲ求メ。S ヲ中心ト
シ定圓半徑ノ半ヲ半徑トシテ圓ヲ畫キ定圓周トノ交點ヲ
A トス。PA ヲ結ベハ是レ所要ノ直線ナリ。

(178) 作 圖 題 解

(1) AB, AC の二つの與へラレタル直線ニシテ P は AB 上ノ一點ナリトス, AC 上ニ一點 Q ナリトシテ角 APQ ナシテ角 AQP ノ三倍ナラシムベキ Q 點ノ位置ヲ定ムベシ.

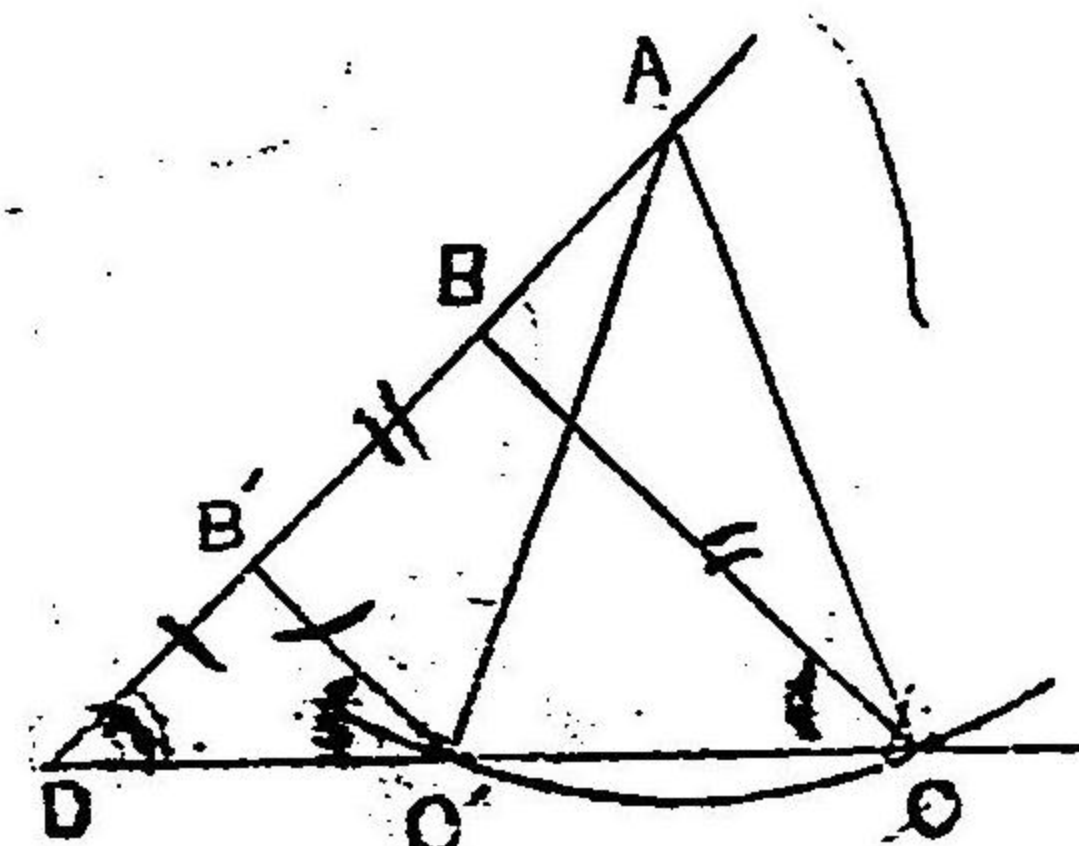


(解) AC ノ延長ト AB ガナス角 BAD ナ四等分シ, 其 AD ニ最モ近キ等分線ヲ AE トスレバ P ナ通シテ AE ニ平行スル直線ト A C トノ交點ハ所要ノ Q ナリ. 何トナレバハ $AE \parallel QP$ 行スルヲ以テ $\angle AQP = \angle DAE$,

而シテ
 $\angle AQP + \angle APQ = \angle BAD = 4\angle DAE = 4\angle AQP$
 $\therefore \angle APQ = 3\angle AQP$.

(2) 二邊ノ和ト斜邊トヲ與ヘテ直角三角形ヲ作ルヲ求ム.

(解) 直角ノ半分ニ等シキ角 CDA ノ一ツノ邊 DA ナ與ヘラレタル二ツノ邊ノ和ニ等シクシ, A ナ中心トシテ斜邊ニ等シキ半徑ヲ以テ弧ヲ畫キ CD ト C, C' ニ於テ交ラシメ, C 或ハ C' ヨリ AD ニ垂線 CB 或ハ



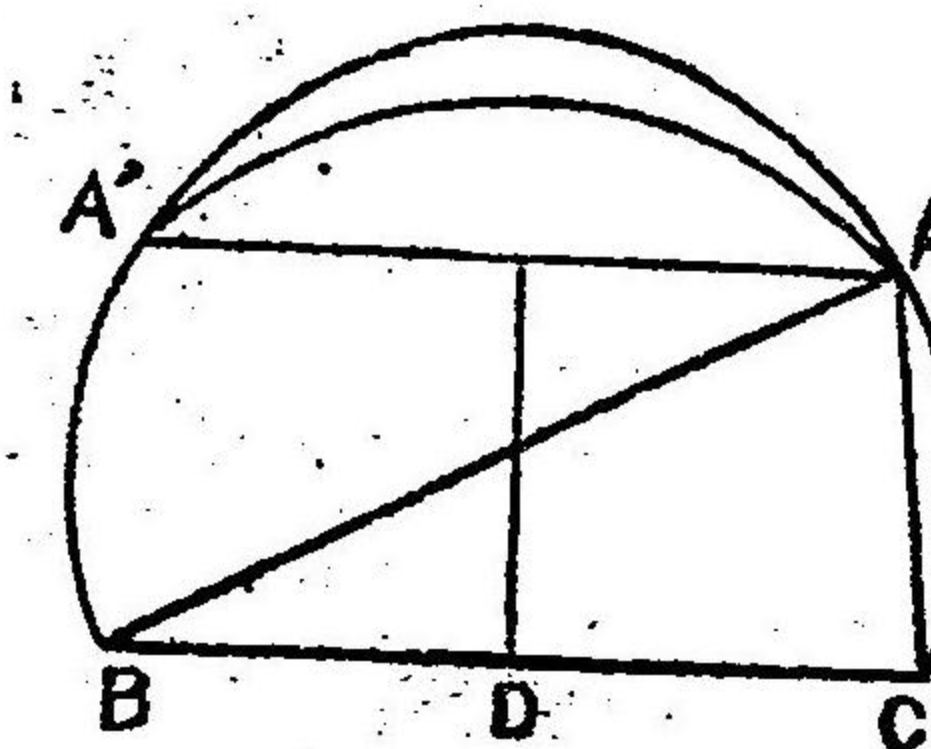
作 圖 題 解 (179)

$C'B'$ ナ引ケバ三角形 ABC 及ビ $AB'C'$ ハ所要ノ三角形ナリ.

何トナレバ角 B, B' ハ直角ニシテ, 角 D ハ其半ニ等シキヲ以テ角 $B'C'D, BCD$ ハ半直角ナリ. 因テ $B'D = B'C'$, $B'D = BC$; 故ニ $AB' + B'D = AB' + BC$, $AB + BD = AB + BC$ 即チ $AB' + B'C' = AB + BC$ トモニ與ヘラレタル二ツノ邊ノ和ニ等シ, 三角形 $AB'C', ABC$ ガ此要件ヲ満足スルヤ明カナリ.

(3) 底邊ト底邊ニ引キタル中線ト頂角トヲ與ヘテ三角形ヲ作ル法如何.

(解) 底邊ヲ a トシ, a ニ引キタル中線ヲ m トシ, 頂角ヲ α トシ三角形ヲ作ルコト.



一直線上ニ a ニ等シク BC ナ取り, BC ノ中點 D ナ中心トシ m ナ半徑トシテ圓弧 AA' ナ畫ケ, BC ナ弦トシ α ニ等シキ角ヲ含ム弓形ヲ畫キ弧 AA' トノ交點ヲ A, A' トスレバ三角形 $ABC, A'BC$ ハ所要ノモノナリ

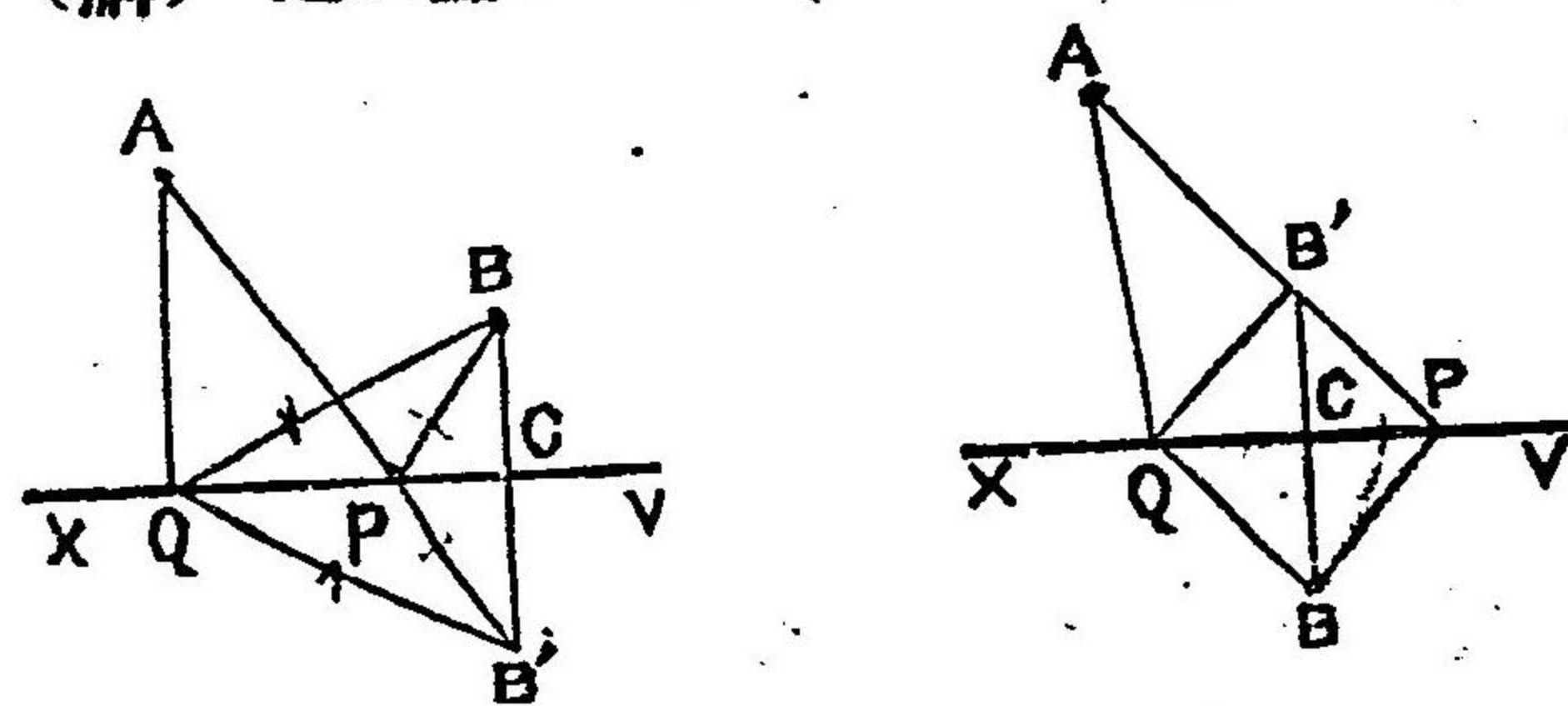
証明ハ作圖ニヨリ明瞭ナレバ略ス.
 D ヨリ BC ニ立ツル垂線ハ畫ケル二圓ノ中心ヲ過ケルヲ以テ共通弦 AA' ニ垂線ナリ, 因テ $AA' \perp BC$

(180) 作 圖 題 解

ハ平行ス; 故ニ其間ニアルニツノ弧モ相等シクシテ
 $\angle A'CB = \angle ABC$ ナリ, 故ニ兩三角形 ABC ,
 $A'BC$ ハ合同形ナリ, 故ニ唯一ノ解アリ.

(4) 二定點ヨリ一直線上ノ一點ニ至ル距離ノ和ノ最
 小, 及ビ其差ノ最大ヲ求ム.

(解) 定二點ヲ A, B' トシ, 定線ヲ XY トス.



B ヨリ XY ニ垂線 BC ヲ作り, 之ヲ B' マ
 テ引長シテ $B'C = BC$ ニ取り, A, B' ヲ結び其
 XY トノ交點ヲ P トスレバ P ハ求ムル點ナリ.

何トナレバ P ノ外ニ任意ノ一點 Q ヲ取ル; 然
 ルルハ $BP = B'P$, $BQ = B'Q$ ナルヲ以テ
 $AQ + B'Q > AB' = AP + B'P = AP + BP$,

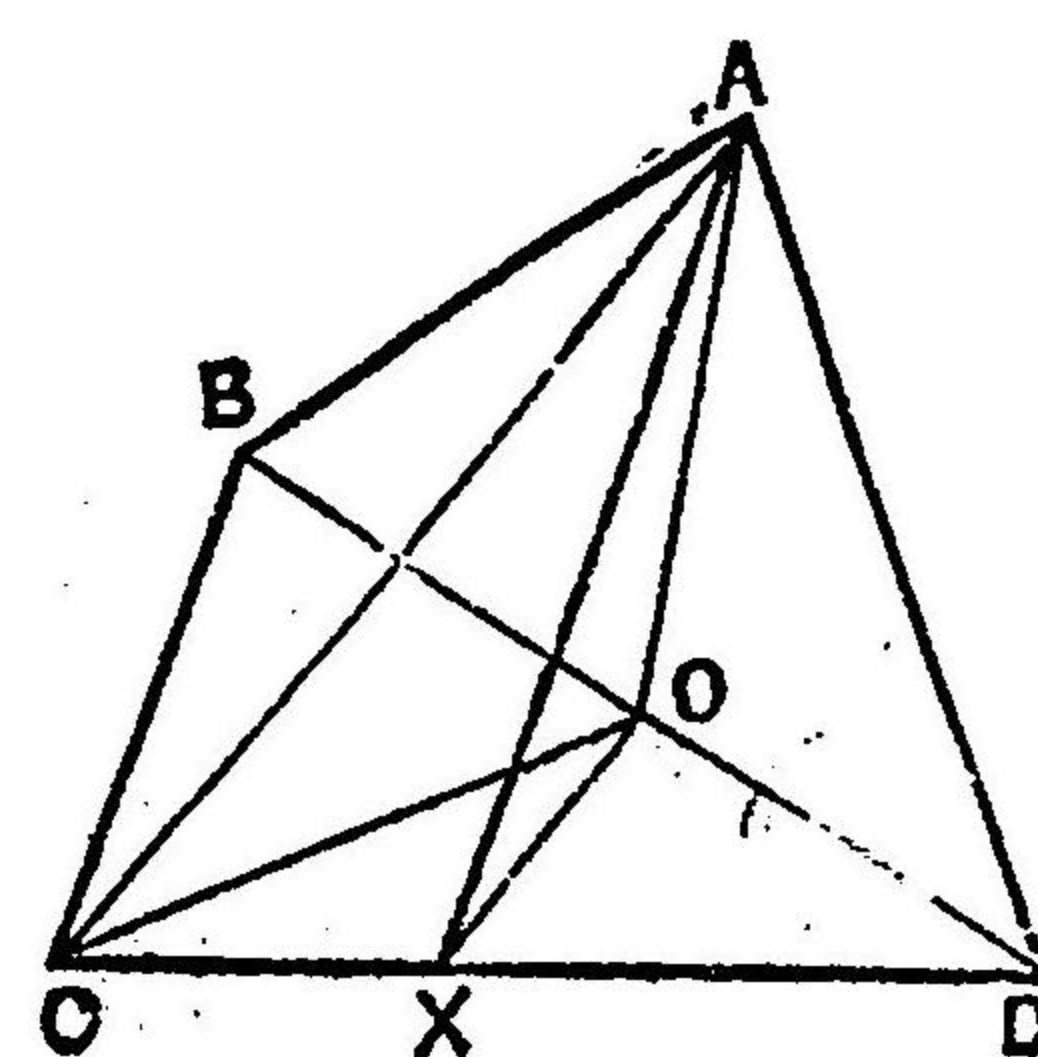
附言 A, B ガ線ノ両傍ニアルルノ和ノ最小, 又
 A, B ガ同傍ニアルルノ差ノ最大ハ, A, B ヲ結ベ
 ハ直ニ點 P ヲ得ルヲ以テ略セリ.

注意 此題ハ極大極小ノ問題中, 大切ナル場合ナリ
 忘ルルヲナカレ.

作 圖 題 解 (181)

(5) 任意ノ四邊形ノ一角頂ヨリ一直線ヲ出シテ此四
 邊形ノ面積ヲ二等分セヨ.

(解) 任意ノ四邊形ヲ $ABCD$ トシ其角頂ノ一
 ツ A ヲ通シテ其一直線ヲ引キ之ニ由テ其面積ヲ二等



分スルコトヲ求ム

作圖 A ヲ通ゼザル對角線
 BD ヲ作り其中點ヲ O トシ
 OA, OC ヲ結び付ケレバ
 面積 $ABCO, ADCO$ ハ明
 カニ相等シ A, C ヲ結び O
 ヲ過リ之ニ平行ニ OX ヲ作
 リ CD ト X ニ會セシメ

AX ヲ結ベバ是レ所要ノ線ナリ.

證明 AC, OX ハ平行スルヲ以テ $\triangle AXC = \triangle AOC$,

$$\therefore \triangle AXC + \triangle ABC = \triangle AOC + \triangle ABC$$

$$= \text{四邊形 } ABCO$$

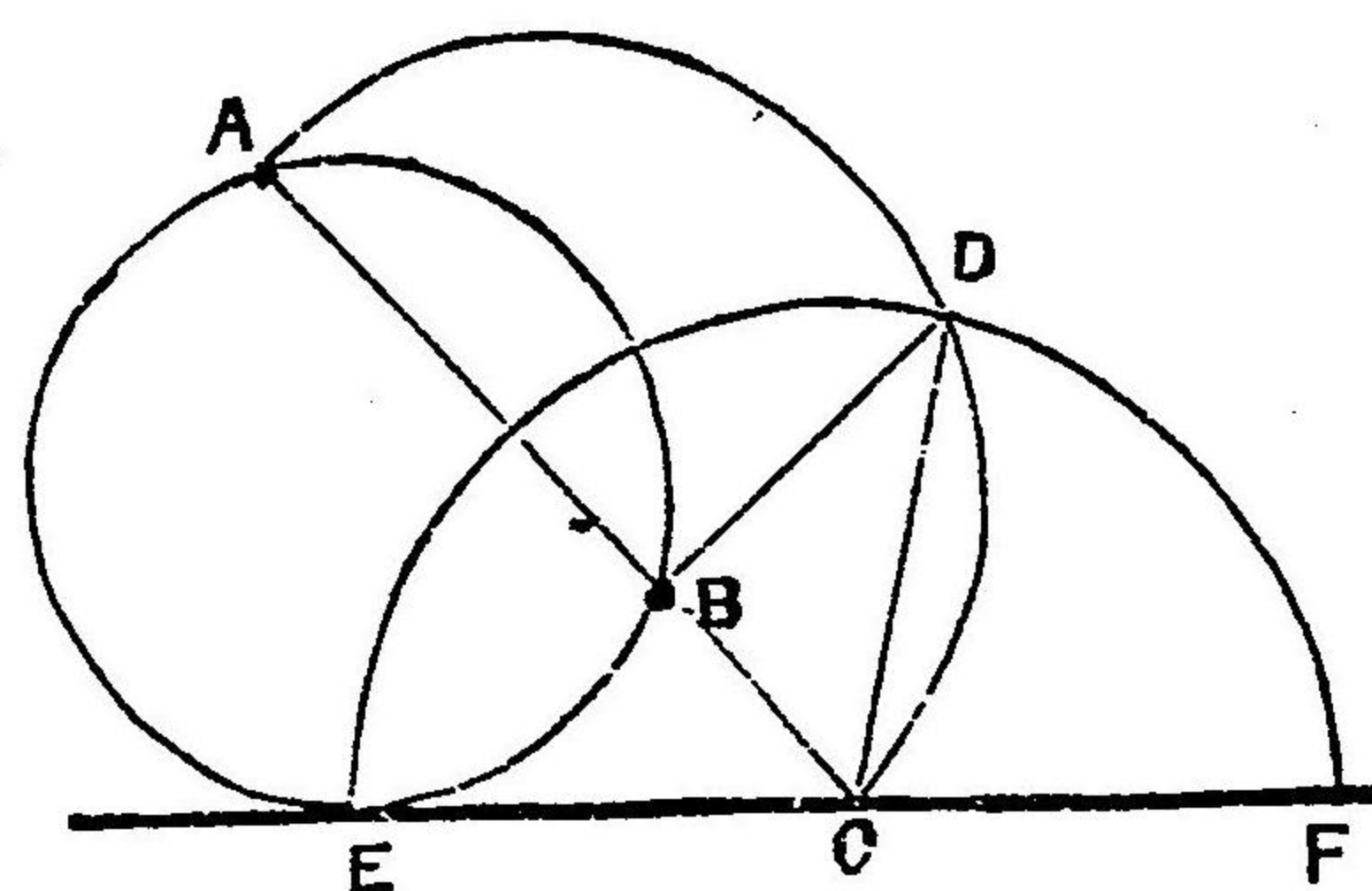
$$= \frac{1}{2}(\text{四邊形 } ABCD).$$

注意 此種ノ問題ノ中ニ就テ 「三角形ノ邊上ノ一
 點ヨリ一線ヲ出シテ其面積ヲ二等分セヨ」ト云フ問題最
 モ大切ナリ; 豫メ研究シ置クヘシ, 若シ此點ガ邊上ニア
 ラザレバ難題トナルコトヲ知ルベシ.

(182) 作 圖 題 解

(6) ニツノ與ヘラレタル點ヲ過ギテ一ツノ與ヘラレタル直線ニ切スル圓ヲ畫ケ。(何レノ教科書ニモ解アリ)

(解) 茲ニ普通ナラザル解ヲ掲ゲン



A, B ヲ與ヘラレタル二點 EF ヲ與ヘラレタル直線トシ A, B ヲ過リ EF ニ切スル圓ヲ畫クコトヲ求ム。

問題ヲ解キ得タルモノトシ ABE ヲ求ムル圓トセヨ, AB ヲ延長シ EF ト C 點ニ於テ會セシムレバ

$$CB:CA = \overline{CE}^2$$

今 AC ヲ直徑トシテ圓 ADC ヲ作り B ヨリ AC ニ垂線 BD ヲ作り CD ヲ結ベバ $CB:CA = \overline{CD}^2$

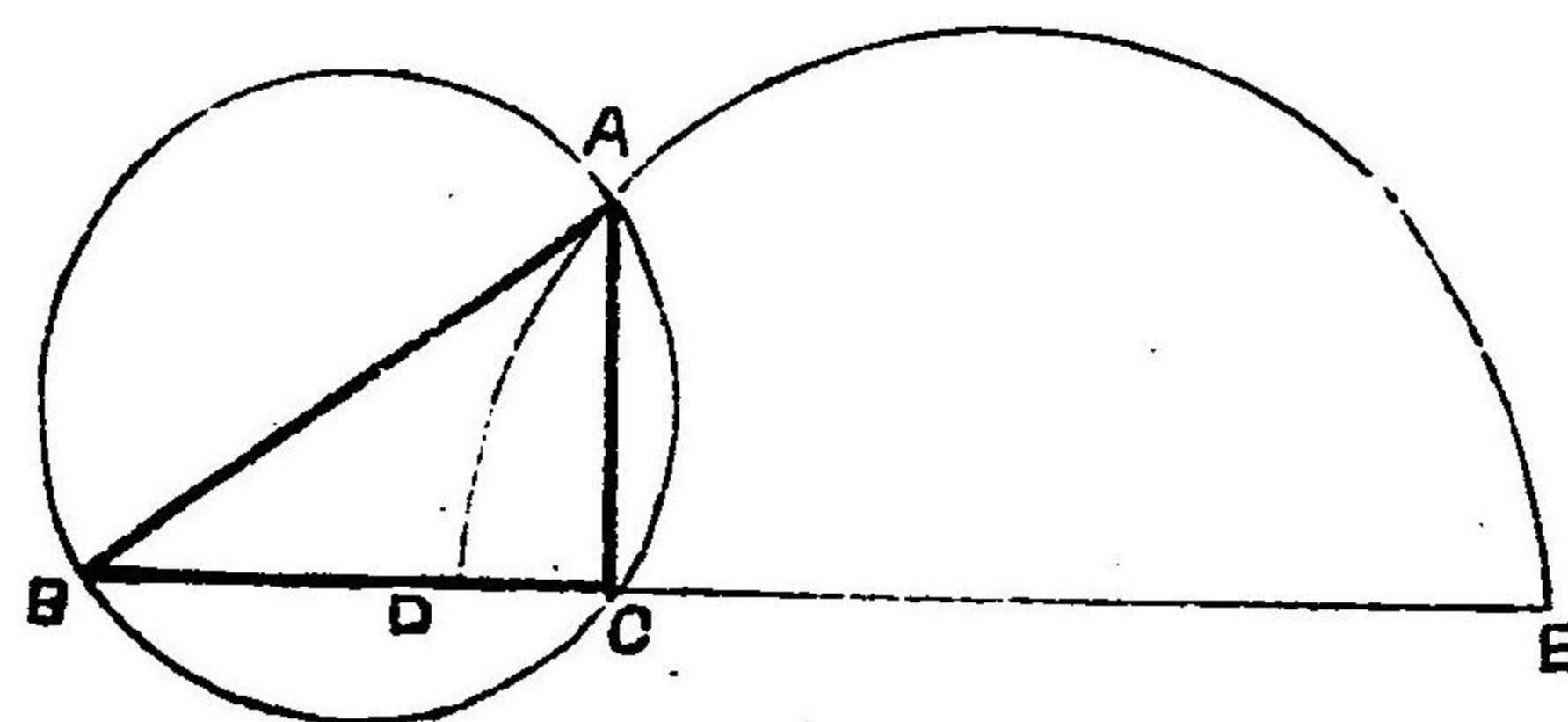
$$\therefore CE = CD$$

故ニ C ヲ中心トシ CD ヲ半徑トシテ圓 EDF ヲ畫キ與直線ト E, F ニ於テ交ラシムルキハ E, F ハ求ムル圓ト直線トノ切點ナリ, 何トナレバ斯クシテ得タル點ニ就テ $CB:CA = \overline{CE}^2 = \overline{CF}^2$ ナレバナリ。

作 圖 題 解 (183)

(6) 底邊ト頂角及ビ他ノ二邊ノ比ヲ與ヘテ三角形ヲ作レ

(解) 與ヘラレタル底邊ヲ BC, 頂角ヲ A, 他ノ二邊ノ比ヲ $m:n$ トス。



作圖 底邊 BC ノ上ニ與頂角 A ヲ含ムベキ弓形 BAC ヲ作り 又 BC ヲ定比 $m:n$ ノ如ク内分及ビ外分シテ其分點ヲ D 及ビ E トス, DE ヲ直徑トシテ圓 DAE ヲ畫キ前ノ弓形トノ交點ヲ A トスレバ ABC ハ求ムル所ノ三角形ナリ。

證明 底邊及ビ頂角ガ與ヘラルルハ其頂點ノ軌跡ハ其頂角ヲ含ム弓形即チ圓弧ナリ。又二邊ノ比ガ與ヘラルルハ其頂點ノ軌跡ハ其底邊ヲ定比ニ内分及ビ外分シタル兩分點間ノ距離ヲ直徑トシテ畫キタル圓ナリ。

之ニ由テ前ニ求メタル A ハ此軌跡ノ交リナルヲ以テ求ムル要件ヲ何レモ満足スルヲ明カナリ

比 例

1. 數多ノ平行線ガ二ツノ直線ト交リ、之ヲ數多ノ部分ニ截ルキハ、其一直線ノ部分ノ比ハ、他ノ直線ノ之ニ對應スル部分ノ比ニ等シ。逆ニ、二直線ヲ比例部分チ之ヲ結ベハ其線ハ平行スルカ或ハ一點ニ會ス。

附言 此特別ナル場合トシテ、三角形ノ底邊ニ平行ナル一線ヲ作り、其邊ヲ内分或ハ外分スレバ其部分ハ比例ヲナス。逆ニ、三角形ノ二邊ヲ比例部ニ分カテバ其分點ヲ結ビタル線ハ底ニ平行ス。

2. 同圓或ハ等圓ニ於テ中心角ノ比ハ其立ツ所ノ弧ニ正比ス。

3. 相等シキ高ノ平行四邊形（或ハ三角形）ノ面積ハ、其底邊ニ比例ヲナス。

（以上ハ比例ノ基本定理ナリ）。

4. 一定直線ハ之ヲ或定比ニ内分シ或ハ外分スルヲ得而テ其分點ハ各唯一ツニ限ル。

5. 相似三角形ハ各角相等シク其對應邊ハ比例ヲナス。三角形ノ相似ナル場合ハ (1)二角相等シキ; (2)二邊比例ヲナシテ、其夾角等シキキ; (3)三邊比例ヲナスキ; (4)兩意ノ場合、二邊比例ヲナシテ其一對應邊ノ對角相等シキキ、他ノ對應邊ノ對角ハ相等シキカ或ハ補角ヲナス; 而テ其角等シキキハ相似ナリ。

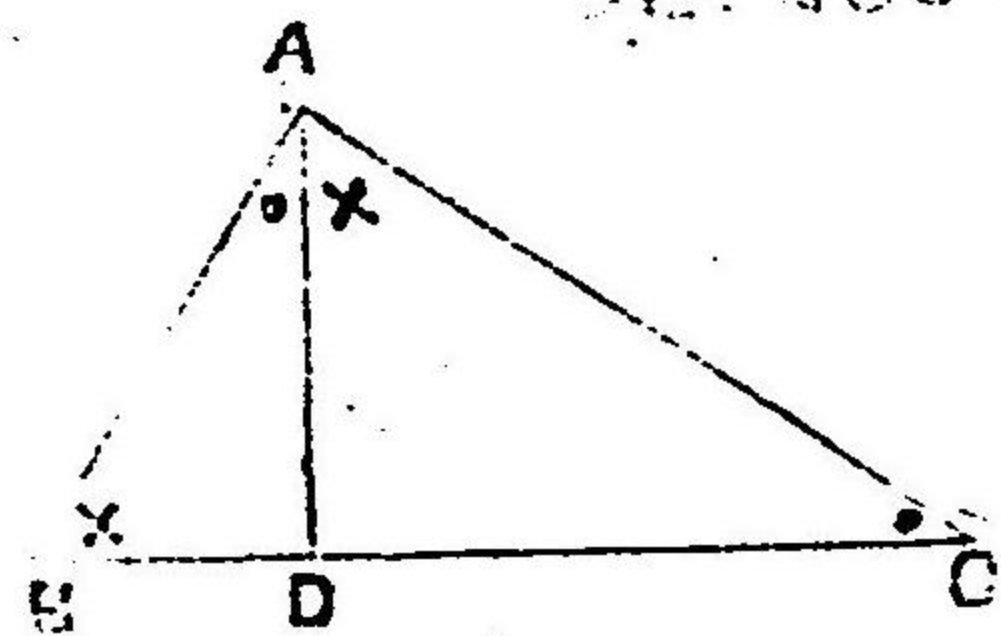
6. 三角形ノ頂角或ハ頂外角ノ二等分線ハ底邊ヲ他ノ二邊ノ比ニ内分或ハ外分ス。逆ニ、三角形ノ底邊ヲ二邊ノ比ニ内分或ハ外分シテ頂點ト結ベバ、其頂角或ハ頂外角ヲ二等分ス。

附言 本題ハ試験ニ大關係アリ特ニ記憶セヨ。

7. 對應邊夫々平行シタル相似形ノ對應シタル角頂ヲ結ベハ一點ニ會ス。

$$\begin{aligned} \triangle ADB &\sim \triangle CDA \\ \therefore OD:AD &= AD:DC \\ DB:AB &= AD:AC \end{aligned}$$

8. 直三角形ABCニ於テ、Aヲ直角、ADヲ斜邊BCヘノ垂線トスレバ、
 $BD:AD = AD:DC,$
 $BD:AB = AB:BC,$
 $DC:AC = AC:BC,$
 $AB^2:BC^2 = BD:DC,$



9. 相似三角形（一般ニ相似直線形）ノ面積ノ比ハ對應一邊ノ二乗比ナリ。

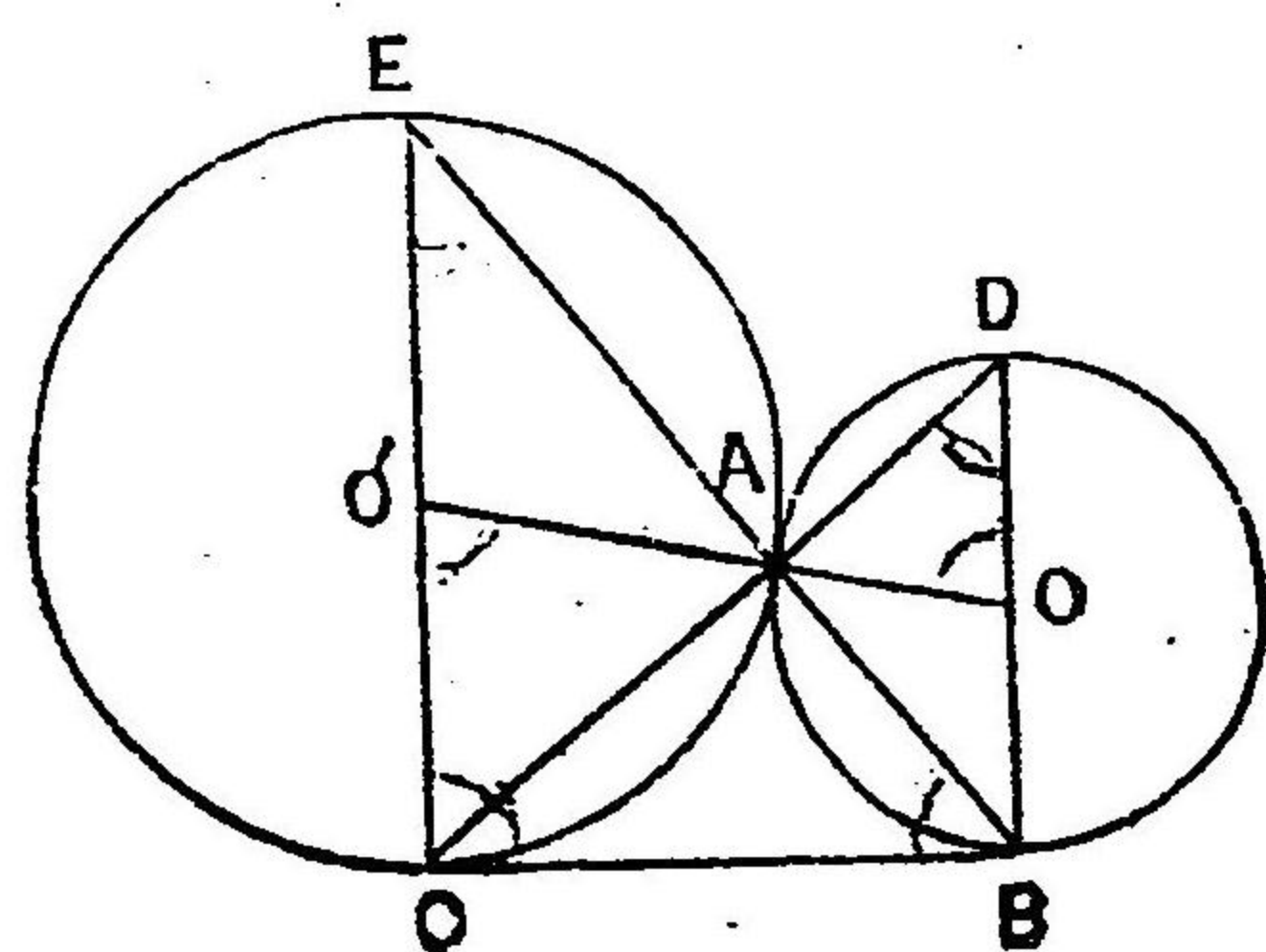
10. 一角ヲ等シクスルニツノ三角形ハ、其角ヲ夾ム二邊ノ相乘比ナリ。

注意 以上ハ比例スベキ量ノ關係ニ就テ最モ大切ナルモノナレバ、少クモ是等ノ關係ヲ記憶シ置クベシ。

(186) 比例題解

(1) ニツノ圓ガ外切スルキハ、切點ヲ過ラザル共通切線ノ其切點ノ間ニ在ル部分ハ、ニツノ圓ノ直径ノ間ノ比例中項ナリ。

(解) 中心 O, O' ニシテ A ニ於テ外切スルニ圓ノ共通切線ノ内、切點 A ヲ通セザルモノ、切點ノ間ニ在ル部分ヲ BC トシ、 B, C ヲ通ズル直径ヲ BD, CE トスレバ $BD:BC=BC:CE$ 。



A ヲ O, O', D, C ニ連結セヨ、然ルキハ兩圓ハ外切スルヲ以テ AO, AO' ハ一直線ヲナス; 又 BD, CE ハ切線 BC ニ垂線ナルヲ以テ互

ニ平行ナリ、故ニニツノ二等邊三角形 ADO, ACO' ノ頂角 O, O' ハ相等シク; 從テ底角 DAO, CAO' ハ相等シ、因テ AD, AC モ亦一直線ヲナス。

同様ニシテ AB, AE モ亦一直線ヲナス。サテ切線 BC ト其切點ヲ通ズル弦 AB トナス角 ABC ハ隣レル弓形ニ於テノ角 CDB ニ等シク。

又 $\angle ECB = \angle DBC = \text{直角}$ 因テニツノ三角形 ECB, DBC ハ相似形ニシテ

$$BD:BC=BC:CE,$$

比例題解 (187)

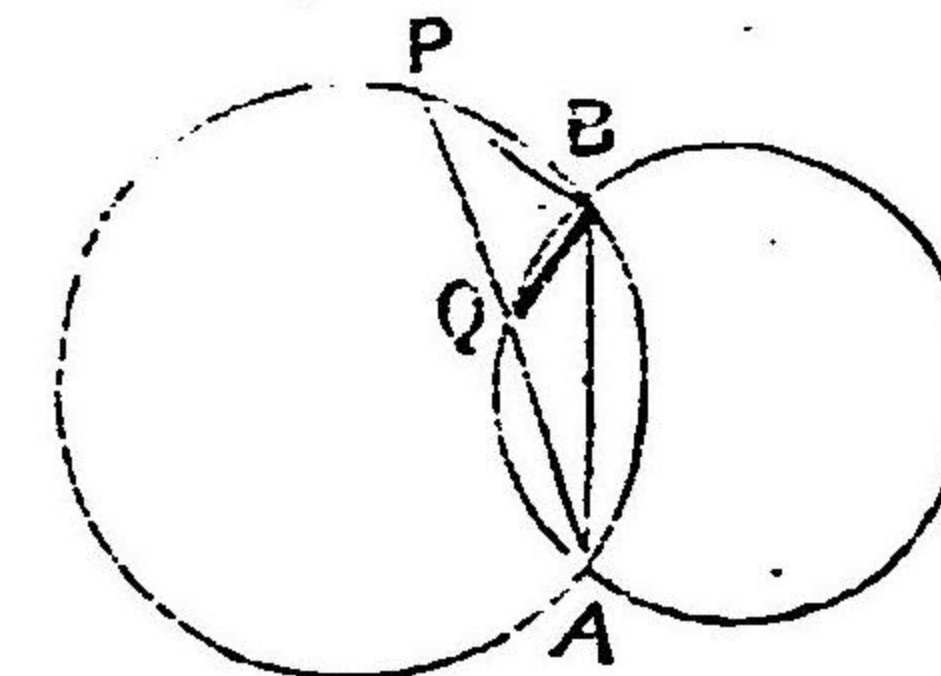
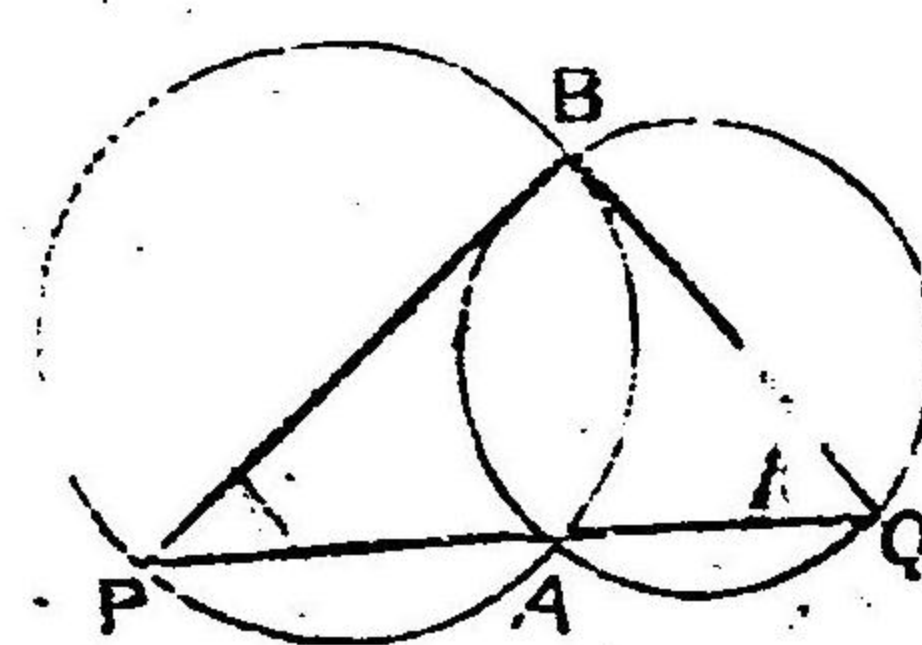
(2) AB ニテ交ルニ圓ノ A ヲ通ジテニ圓ニ終ルベキ直線 PQ ヲ引ケハ BP, BQ ハ定比ヲ有ツ。

(解) $\angle AQB$ ハ圓 AQB ノ定弧 AB ノ半ニテ測ラル、ヲ以テ、一定ノ角ナリ。

又 $\angle APB$ ハ圓 APB ノ定弧 AB ノ半ニテ測ラル、ヲ以テ一定ノ角ナリ。

故ニ三角形 BPQ ハ常ニ定角ヲ有ス。

故ニ比 $BP:BQ$ ハ一定ナリ。



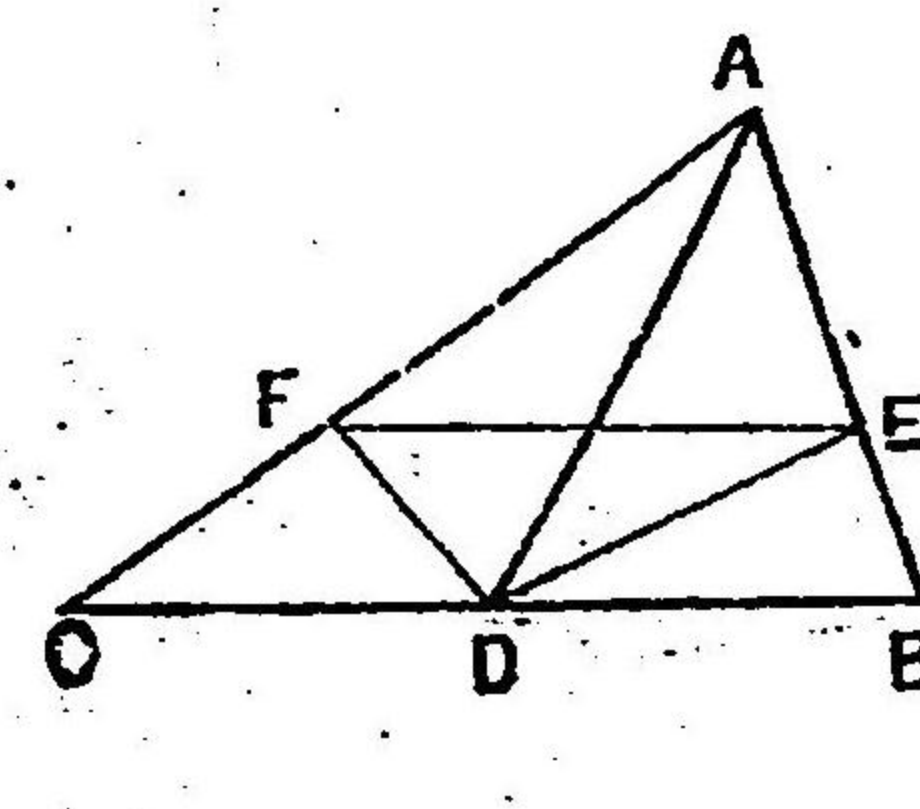
(3) 三角形 ABC ノ底邊 BC ノ中點ヲ D トシ、角 ADB 、角 ADC ノ二等分線ガ邊 AB 、邊 AC ニ會スル點ヲ夫々 E, F トセバ、 EF ハ BC ニ平行ナリ、其証ヲ求ム。

(解) DE, DF ハ夫々三角形 ADB, ADC ノ二等分線ナルガ故ニ

$$AE:EB=AD:DB.$$

$$AF:FC=AD:DC$$

$$(=DB)$$



$$\therefore AE:EB=AF:FC$$

(188) 比例題解

故ニ直線EFハ三角形ABCノ邊AB, ACト交リ
之ヲ等比ニ分ツヲ以テ, 底邊BCニ平行ナリ.

(4) ADヲ△ABCノA角ノ二等分線トスレバ

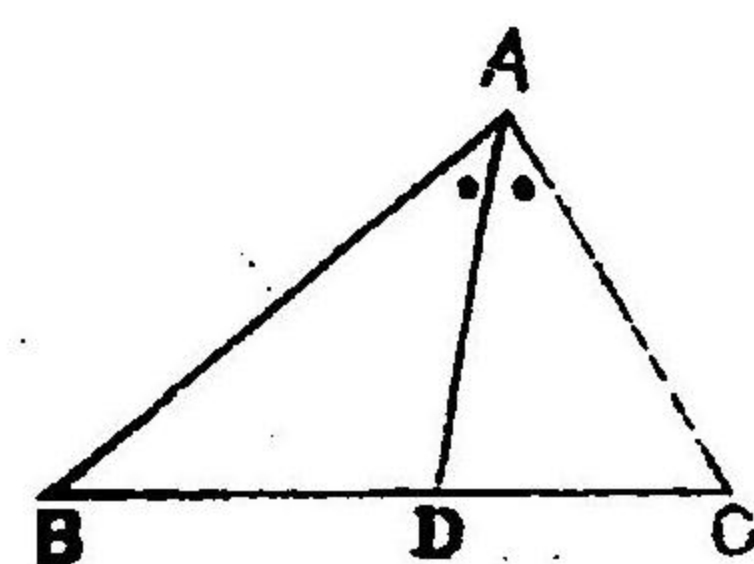
$$\triangle ABD : \triangle ACD = AB : AC,$$

ナル關係アリ

(a) 幾何學的ニ

(b) 三角術的ニ

之ヲ証明セヨ.



(解) (a) 同高ヲ有スル三角形ノ面積ハ底邊ニ
比例スルヲ以テ

$$\triangle ABD : \triangle ACD = BD : DC,$$

而シテ三角形ノ頂角ノ二等分線ハ底邊ヲ二邊ノ比ニ分
ツヲ以テ

$$BD : DC = AB : AC,$$

$$\therefore \triangle ABD : \triangle ACD = AB : AC.$$

$$(b) \triangle ABD = \frac{1}{2} AB \cdot AD \cdot \sin(\angle BAD)$$

$$= \frac{1}{2} AB \cdot AD \cdot \sin \frac{1}{2} A,$$

$$\triangle ACD = \frac{1}{2} AC \cdot AD \cdot \sin(\angle CAD)$$

$$= \frac{1}{2} AC \cdot AD \cdot \sin \frac{1}{2} A$$

$$\therefore \frac{\triangle ABD}{\triangle ACD} = \frac{\frac{1}{2} AB \cdot AD \cdot \sin \frac{1}{2} A}{\frac{1}{2} AC \cdot AD \cdot \sin \frac{1}{2} A} = \frac{AB}{AC}.$$

比例題解 (189)

(5) 三角形ABCノ頂角Aノ二等分線ガ底邊BCニ出
會フ點ヲDトシ, 又内心ヲOトセバ底邊ト他ノ二邊ノ和
トノ比ハDOトOAトノ比ニ等シ,

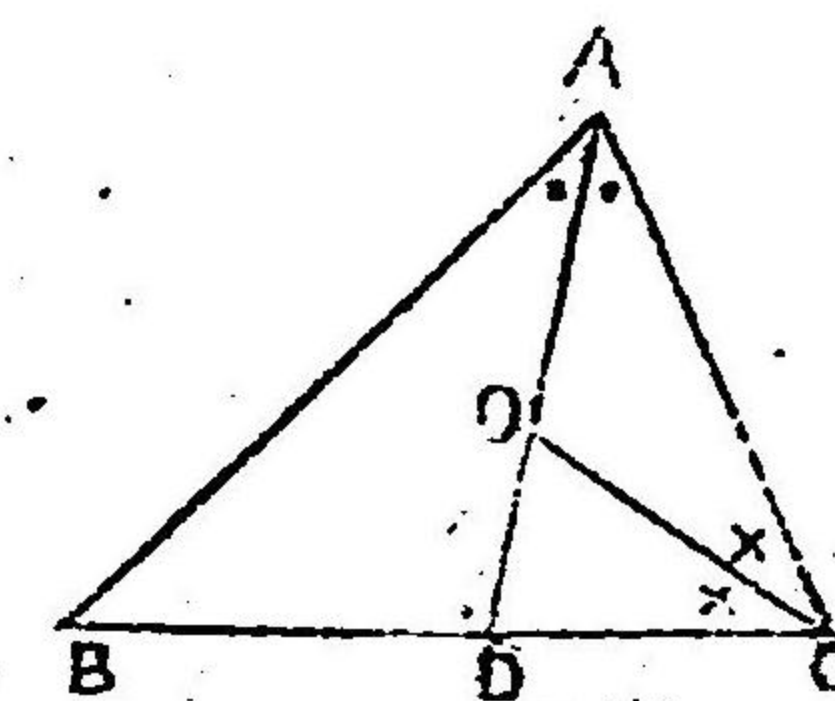
(解) ADハ三角形ノ頂角Aノ二等分線ナルヲ以

$$テ \quad BD : CD = AB : AC$$

$$\therefore BD + CD : CD = AB + AC : AC,$$

$$即チ \quad BC : CD = AB + AC : AC,$$

$$BC : AB + AC = CD : AC,$$



C, Oヲ結ブキハ角Cヲ二等分ズベシ, 依テ三角形
ACDヨリ

$$CD : AC = DO : OA,$$

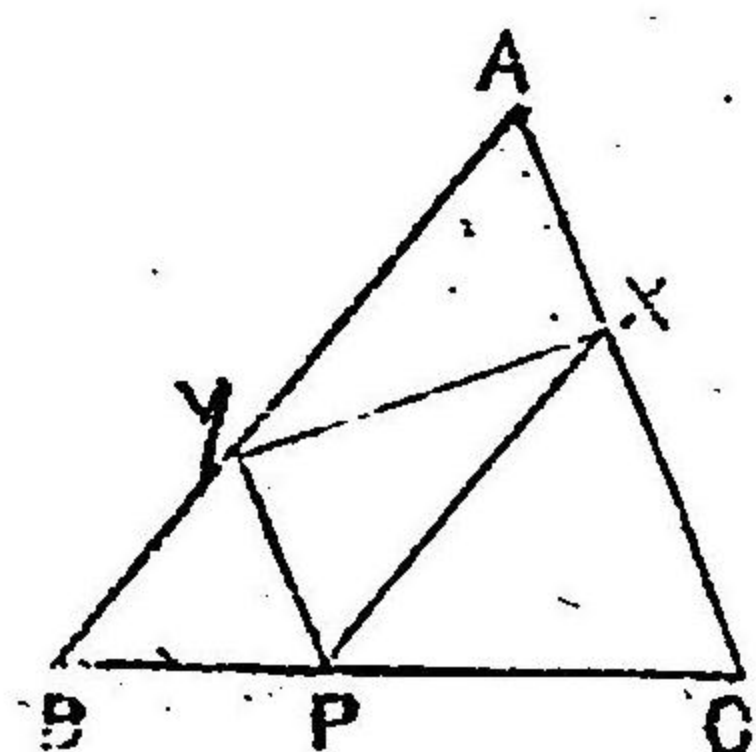
故ニ前ノ比例ト比シテ

$$BC : AB + AC = DO : OA.$$

(6) 三角形ABCノ底邊BCノ上ノ一點Pヨリ二
邊AB, ACニ平行ニPX, PYヲ引キテ夫々AC, AB
ニXY, ニテ會セシメヨ; 然ルキハ三角形AXYハ二

ツノ三角形 BPY, CPX ノ比例中項ナリ其証ヲ問フ.

(解) ニツノ三角形 AXY, BPY ハ平行線 AB, BX ノ間ニ在ルヲ以テ高サハ相等シ,



因テ $\triangle BPY : \triangle AXY = BY : AY$,
同様ニシテ

$$\triangle AXY : \triangle CPX = AX : CX.$$

又 AC, PY ハ平行スルヲ以テ
 $BY : AY = BP : PC$

同様ニシテ

$$AX : CX = BP : PC$$

$$\therefore BY : AY = AX : CX.$$

故ニ前ノ二ツノ比例ヨリ

$$\triangle BPY : \triangle AXY = \triangle AXY : \triangle CPX.$$

立体幾何試験ノ受方

16. 立体幾何ハ其定理問題甚ダ多カラズ、之ヲ丸呑
 ミニナスモ高ノ知レタルヲナリ; 況ンヤ幾何試験五問出
 ルトスレバ其中ニ立体ハ唯一問ナルベシ; 隨テ其一問ハ
 大切ナル部分ヨリ取ラザルベカラズ. 之ニ由テ考フル
 ニ球面三角形ハ先ヅ以テ必要ナシ; 空間定理ハ問題ニシ
 マリナキヲ以テ題ノ撰擇ニ苦ムベク、斯ク證シ來レバ立
 体幾何ノ試験題ニ最モ速スルハ四面体或ハ錐体ニ屬スル
 性質、即チ面角稜ノ關係或ハ面体積ヲ求ムルモノトナ
 ルベク、此他ハ小數ノ作圖題ニ過キズ; 見ヨ此十數年來
 ノ試験問題ニ此性質殆ンド十ノ七八ヲ占ムルヲ、而テ近
 來計算ノ流行ヨリ、之レガ面積体積ヲ求メシム、(尤モ計
 算ハ推シテ球面積或ハ球体積等ニモ及ブアリ) 今受験
 ニ便センガ爲メ、次ニ必ズ記憶スベキ定理或ハ問題ノ大
 切ナルモノノミヲ掲ゲヌレバ、此定理問題ハ受験前ニ教
 科書ニ就キ取調ベ置キ、其二週前ヨリハ少クモ一回之ヲ
 復習シ記憶ヲ確メ置クベシ.